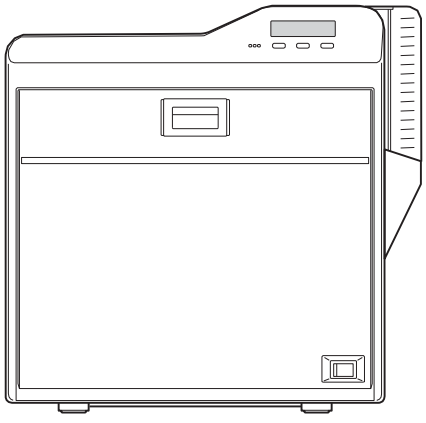
カードプリンター

K30 シリーズ　電子マニュアル



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「電子マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、別冊「はじめにお読みください」の「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

B5A-3291-00

もくじ

ご使用の前に

本書について 3
ご注意 3
免責事項....7
各部の名前とはたらき 7
仕様....10
付属品・別売品....10
オプション 11

操作するには

カードに印刷する 12
操作パネルについて....13
設定モードについて....15
　設定モードの流れ 17
　出荷時設定....19
セキュリティロックについて 20
操作パネルから設定できること....22
ステータスモニターから設定できること....30

交換するには

カードについて....31
インクリボンについて 32
再転写フィルムについて....33

お手入れについて

部品から探す 35
印刷結果から探す 43

こんなときは？

エラーが表示された....44
カードについて....46
インクリボンについて 54
再転写フィルムについて....56
思ったとおりの印刷結果にならない....57
思ったとおりに動作しない....58
修理を依頼する前に....58

準備

設置・接続....59
印刷メディアについて 60
プリンターとコンピューターの接続....64
コンピューターの設定....65
　動作環境 65
　インストール 66
　アンインストール 78
　IPSec について 83

ソフトウェアの設定

印刷の設定....86
　プリンタードライバーの設定 86
　印刷の設定例 97
　ポートモニターの設定....107
ステータスモニターの設定....108
インライン・エンコード....122
エラーコード一覧 124
よくある質問 128

本書について

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版，Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版，Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 10，Windows 8，Windows 7 と表記しています。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
  This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
  This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

■ 本文中の補足説明について

メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
ご注意：操作上の注意が書かれています。
☞　　：参考ページや参照項目を示しています。

ご注意

安全上のご注意

- ご使用前に下記の項目をすべて必ずお読みください。

絵表示について

- この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

■ この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

■ この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

■ 絵表示の説明

注意（警告）をうながす記号

一般的注意

感電

高温注意

手のはさみ込み注意

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

警告文

⚠警告

■ 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。火災や感電の原因となります。

一般的注意

電源プラグを抜く

- 煙が出ている、変なにおいがするなど異常のとき。
- 内部に水や金属物が入ってしまったとき。
- 落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき。（芯線の露出、断線など）
- このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。
- お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

■ ネジをはずしたり、分解、改造したりしない。

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
- 内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。
- この機器の外装カバー類ははずさないでください。感電の原因となります。

■ 電源コードを加工したり、無理な力を加えたりしない。また家具などの重い物を載せない。

禁止

一般的注意

- コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- 芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

⚠警告

■ 電源プラグの差し込みが不完全な状態で使わない。

禁止

- 接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。
- たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

■ 電源プラグにほこりや汚れがついた状態で使用しない。また金属物を近づけたりしない。

禁止

- 電気がほこりや汚れ、金属物を伝わり、火災や感電の原因となります。
- 半年に一度は、プラグをコンセントから抜いて点検し、プラグとコンセントの間にたまったほこりや汚れを取り除いてください。

■ 表示以外の電源電圧では使用しない。

禁止

- 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

■ 機器の開口部（通風孔、カードの出入り口、カセット挿入口など）から内部に異物を入れない。

禁止

電源プラグを抜く

- 金属類や、燃えやすいものなど、異物を内部に入れたり落としたりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 万一、機器内部に異物などが入った場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

■ 機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物を置かない。

禁止

電源プラグを抜く

- 液体が内部に入った場合は、電気が液体や金属物を伝わり、火災や感電の原因となります。
- 万一、機器内部に液体などが入った場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

■ ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所には置かない。

禁止

電源プラグを抜く

- 落ちたり、倒れたりして、故障や、けがの原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、倒したりして、本機を破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

■ 水をかけたりぬらしたりしない。

水ぬれ禁止

電源プラグを抜く

- 機器を水がかかる場所で使用したり、水にぬらす（つける、かける、こぼす）などして使用すると漏電によって火災や感電の原因となります。
- 万一、機器内部に水などが入った場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

■ ぬれた手でさわらない。

ぬれ手禁止

- 機器をぬれた手で扱うと感電の原因となります。

■ 雷が鳴ったら電源プラグに触れない。

接触禁止

- 誘導雷により、感電の恐れがあります。

■ 外部コンセントと接続の際は必ず付属の電源コードでアースに接続する。

一般的注意

- 付属の電源コード以外の物を使用すると故障の際に感電の原因となります。

■ 梱包袋に顔を突っ込んだり中に入ったりしない。

禁止

- 梱包袋で遊ばないでください。窒息する恐れがあります。
- 特に小さなお子様のいる場所では注意してください。

■ 故障状態のまま使用しない。

電源プラグを抜く

- 故障状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。
- すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

■ 心臓ペースメーカー装着部からは 22cm 以上離す。

禁止

- 装置内部の RF-ID 機能で使用している電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を与えることがあります。

■ カードがプリンターにつまったまま使用しない。

一般的注意

- 再転写の設定がカードに対して適切ではない場合など、カードが正しく排出されないことがあります。
- この状態のまま続けて使用するとカードが取り出せなくなったり、発煙し火災や感電の原因となります。

注意文

⚠注意

■ お手入れの前には、電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

• 電源を入れたままにしておくと、感電の原因となることがあります。

■ 長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく。

電源プラグを抜く

• 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

■ 電源コードや他の接続コードを接続した状態で移動しない。

電源プラグを抜く

• 接続した状態で移動すると、コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
• 移動の際、引っ掛かったりしてけがの原因となることがあります。

■ 機器の上にものを載せたまま移動しない。

禁止

• 倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 機器の上に重いものを載せない。

禁止

• 倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 機器の上に乗らない、ぶらさがらない。

禁止

• 倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。

■ 通風孔をふさがない。

禁止

• 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 開梱作業や、機器の移動または、持ち上げる際は、必ず二人以上で行う。

一般的注意

• 機器が落下して、けがをしたり、腰を痛めることがあります。

■ ヒートローラーおよびその周辺は高温になっています。

高温注意

• インクリボン、再転写フィルム、またつまったカードを取り出すときはヒートローラーおよびその周辺に、さわらないようにしてください。
• 作業する際は、十分冷えてから行うようにしてください。火傷をする恐れがあります。

■ 機器内部の点検について。

一般的注意

• 2〜3 年に一度くらいは内部の点検を販売店などにご依頼ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をせず使用し続けると火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部点検の費用については販売店などにご相談ください。

■ 次のような場所に置かない。

禁止

火災・感電の原因となることがあります。
• 湿気やほこりの多いところ。
• 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ。
• 熱器具の近く。
• 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
また、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットが変質することがあります。

■ 電源プラグの抜き差しはプラグを持つ。

禁止

• コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

ぬれ手禁止

• 感電する恐れがあります。

■ 電源コードを熱器具に近づけない。

禁止

• コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

■ カードホッパーのカード抑え、プリンタードアなどに手や指をはさまれないように。

手のはさみ込み注意

• カードの補充、インクリボン、再転写フィルムの取り付けやカードホッパーからカードを取り出すときに、手や指をはさまれないようにしてください。けがをする恐れがあります。

■ 電源コードは、本機に付属のものを必ず使用する。

禁止

• 耐圧の異なるコードや、傷ついたコードを使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

■ 電源コードを本機以外で使用しない。

禁止

• 電源コードを本機以外の製品で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ プリンターを設置・移動するときは、プリンター両側面下部（持ち手部）を両手で持つ。

手のはさみ込み注意

• かどや前後を持つと、床面や机などの間で指をはさむ恐れがあります。

使用上のご注意

- ご使用前に下記の項目をすべて必ずお読みください。

プリンターの設置について

- カード印刷をしないときは、電源を切りプリンター本体を覆うことのできるカバーを被せておくことをお勧めします。
- 本機に悪い影響を与えますので以下のような場所に設置しないでください。
  - じゅうたん敷きの部屋
  - 人の往来が激しい場所
  - ダンボールや紙類を扱う場所
  - コピー機の周辺など
  - 直射日光が当たる場所や（ストーブのような）熱器具の近く
  - 傾斜面や不安定な場所
  - エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所、あるいは温度の高い場所
- 設置するときは、プリンターの周囲に十分な空間をとってください。（側面は、周囲の壁から 20cm 以上離して設置してください。背面は、周囲の壁から 10cm 以上離してください。）
- プリンターを設置・移動するときは、手や指をはさまれないようプリンター両側面下部（持ち手部）を両手で持ってください。

■ 輸送モードの解除

- 設置するときに輸送モードが設定されていると、再転写フィルムを装着できません。再転写フィルムを装着しない状態でプリンターの電源を入れると、[Film Search]が操作パネルに表示され輸送モードが解除されます。

■ プリンターを輸送・移動する場合

- 必ず輸送モードの設定をしてください。
"輸送モードの設定" (☞ 29 ページ)

再転写フィルム／インクリボン／カードについて

■ 取扱方法

- 印刷メディア（再転写フィルムおよびインクリボン）ならびにカードの取り扱いに際しては、次の点に十分注意してください。
  - 変形したカードや、傷ついたカードを使うとカード搬送エラーの原因となります。
  - 印刷メディアならびにカードの印刷面を直接手で触れると、印刷ムラの原因となります。
  - 印刷部への異物の付着は、印刷抜けの原因となります。印刷メディアやカードの装着は、清潔な環境で行なってください。
  - 印刷メディアやカードの帯電はエラーの原因となります。カードのこすり合わせなど静電気が発生する行為はしないでください。
  - 低温保管されていた印刷メディアやカードを、交換または補充するときは、プリンターの使用環境温度に 1 時間以上保管してからご使用ください。
    そのまま使用すると結露が発生し、印刷不良や故障の原因となります。

■ 保管方法

- 印刷メディア（再転写フィルムおよびインクリボン）ならびにカードの保管状態が、印刷の画質に大きく影響する場合があります。保管場所は次のような場所を選んでください。

■ 保管環境

- 保管温度：5 °C ～ 25 °C
- 保管環境相対湿度：40 % ～ 60 %

■ 保管場所

- 次の場所での保管は印刷メディアやカードが変質することがありますので避けてください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 高温多湿の場所
  - 有機溶剤やジアゾ複写機の近く

■ 保管期間

- 印刷メディア（再転写フィルムおよびインクリボン）は、ご購入後、半年以内にご使用ください。
- カードについては、お買い上げ販売店にご相談ください。

再転写フィルム／インクリボンについて

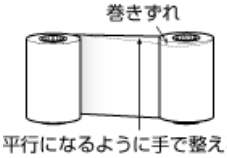
- 再転写フィルム／インクリボンを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。印刷面に触れると、印刷不良の原因となります。

■ 取りはずした場合

- 巻きずれが発生することがあります。巻きずれが発生したまま装着すると、印刷不良やエラーが発生することがあります。

■ 装着する場合

- 供給側と巻き取り側が平行になるように手で整えてください。
  手で整えるときは、印刷面に触れないように注意してください。
- 画面位置合わせは、カセットに貼付のラベルを参照してください。
  位置がずれると、印刷不良の原因となることがあります。



カードについて

- カードを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。カードの印刷面に触れると、印刷不良の原因となります。

■ 印刷後の取扱と保管方法

- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所での保管は避けてください。
- カードを下記の薬品や文具類に接触させると変色・退色することがあります。
  - アルコール、フィルムクリーナー、ジアゾコピーなどの有機溶剤。
  - 軟質塩ビ系のファイル、書類ケース、定期入れ、消しゴムなど。
  - 整髪料、化粧品など。

■ カードの種類

- 薄手のカードやカードの材質によっては、印刷に適さない場合があります。ご使用になるカード材質その他の仕様については、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。

■ カードがプリンター内部につまった場合

- 再転写の設定がカードに対して適切ではない場合など、カードが正しく排出されないことがあります。
  この状態のまま続けて使用するとカードが取り出せなくなったり、発煙し火災や感電の原因となります。
- カードがつまった場合は、電子マニュアルに記載の手順に従ってカードを取り除いてください。
- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

ご注意：

- カードホッパーのカードの厚さ調整が適切ではない場合、印刷不良や故障の原因となることがあります。
  必ずご使用されるカードに合わせて厚さを調整してください。
"カードの厚さ調整をする場合" (☞ 63 ページ)

免責事項

- 装置の故障、インクリボンの不具合、ならびにカードの特性などに起因して発生した印刷不良カードについては、補償しません。また印刷品質の不足に関しては、原則として保証できかねます。事前に十分なご評価をお願いします。

■ 使用カードについて

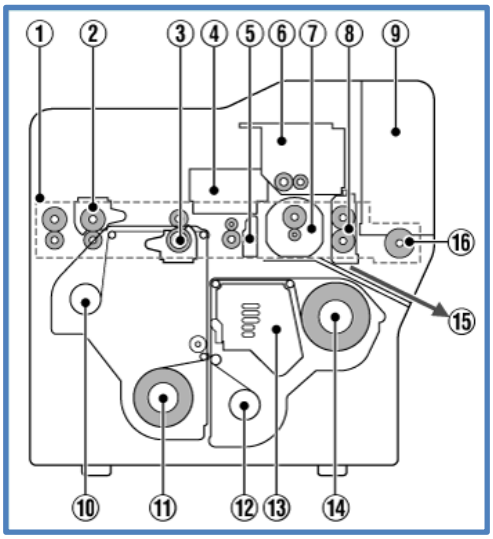
- カード材質によっては、印刷に適さない場合があります。また、カード表面状態によっては、装置のカード搬送、印刷機能にダメージを与えることがあります。
- カード起因による装置の寿命低下および故障については、補償しません。
- 反ったカードあるいは、IC カードのように厚みの不均一なカードは、それが JIS や ISO で定められている規格内でも、印刷やカード搬送に適さない場合があります。
- ご使用になるカードは、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。

■ バージョンアップ時の注意

- プリンターのファームウェア、プリンタードライバーのバージョンアップに起因して、以下のような不具合が発生する場合があります。
  - ご使用のアプリケーション・ソフトウェアからカード印刷ができなくなる。
  - プリンターあるいはアプリケーション・ソフトウェアの動作が不安定になる。
  - 印刷結果に不具合が発生する。
  - 印刷の色合いや濃度が変わる。
  - 微細文字の再現性能が変わる。
  - その他。
- バージョンアップを行う場合は、必ず現在ご使用のバージョンをメモに控えてから行なってください。また、これらの不具合が発生した場合は直ちにバージョンアップ以前のバージョンに戻してご使用ください。
- バージョンアップに起因して発生した印刷不良カードや印刷作業中断などの損害については、補償しません。

各部の名前とはたらき

内部機構配置図



① カード搬送部
- カードを搬送するためのローラーです。

② 反り矯正ユニット（オプション）
- 再転写後のカードの反りを矯正します。

③ 再転写ヒートローラー
- 再転写フィルムに印刷された画像をカードに転写します。

④ 非接触 IC エンコーダー（オプション）
- 非接触 IC カードにデータを書き込みます。

⑤ 接触 IC エンコーダー（コンタクト部）（オプション）
- 接触 IC カードにデータを書き込みます。

⑥ 磁気エンコーダー（オプション）
- 磁気ストライプカードにデータを書き込みます。

⑦ カード反転機（両面印刷機のみ）
- カードを反転させます。

⑧ クリーニングローラー
- カードに付着したほこりやゴミを取ります。

⑨ カードホッパー
- 給紙するカードを入れます。

⑩ 再転写フィルム（巻き取り側）
- 再転写フィルムの巻き取り側を取り付けます。

⑪ 再転写フィルム（供給側）
- 再転写フィルムの未使用側を取り付けます。

⑫ インクリボン（巻き取り側）
- インクリボンの巻き取り側を取り付けます。

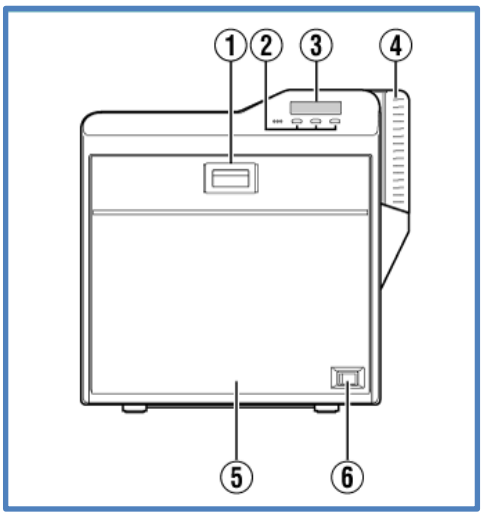
⑬ サーマルヘッド
- 再転写フィルムに画像を印刷します。

⑭ インクリボン（供給側）
- インクリボンの未使用側を取り付けます。

⑮ NG カード排出口
- カードつまり時などに NG カードが排出されます。

⑯ 給紙ローラー
- カードを給紙するためのローラーです。

前面



① スライドノブ
- プリンタードアを開閉します。
- 上へスライドさせ、手前に引くと開きます。

② 操作ボタン
- 操作パネルの表示内容を選択、確定します。

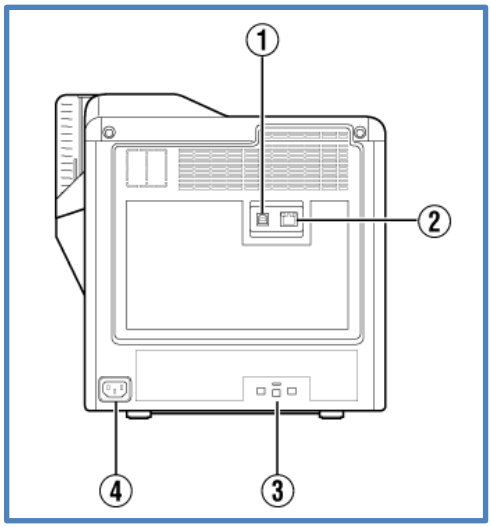
③ 操作パネル
- 設定内容、動作状況、エラーメッセージを表示します。

④ カードホッパー
- 給紙するカードを入れます。

⑤ プリンタードア

⑥ 電源スイッチ
- 電源を入／切します。
- ❙は「入」、❍は「切」です。

背面



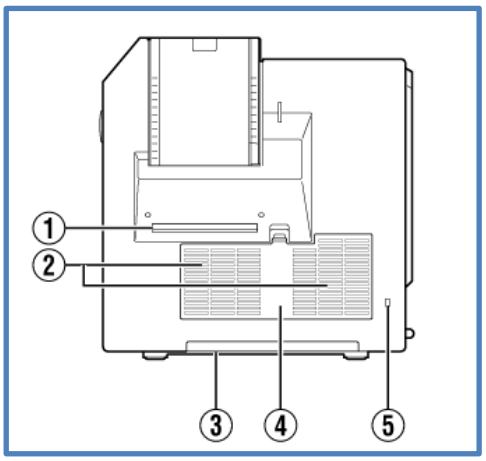
① USB ケーブル接続端子
- USB2.0 インターフェースケーブルを接続します。

② LAN ケーブル接続端子
- LAN ケーブルを接続します。

③ ケーブルクランプ
- USB ケーブル（付属品）を固定します。
"接続について" (☞ 64 ページ)

④ 電源入力端子
- 電源コードを接続します。

右側面



① NG カード排出口
- 電源を入れたとき、または初期化時にプリンター内部にカードが残っていた場合、カードが排出されます。
- 磁気ストライプカードや IC カードに異常が発生した場合、カードが排出されます。

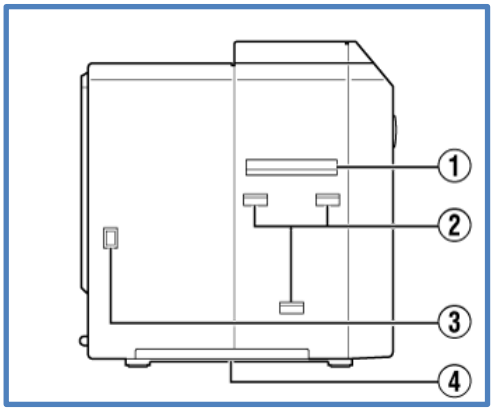
② 吸気ファン開口部
- 内部冷却用ファンの空気取り入れ口です。

③ 持ち手部
- 移動するときは、この部分を持ってください。

④ フィルターカバー
- ファンフィルターのカバーです。

⑤ セキュリティスロット
- ケンジントンロック互換の盗難防止装置を取り付けることができます。

左側面



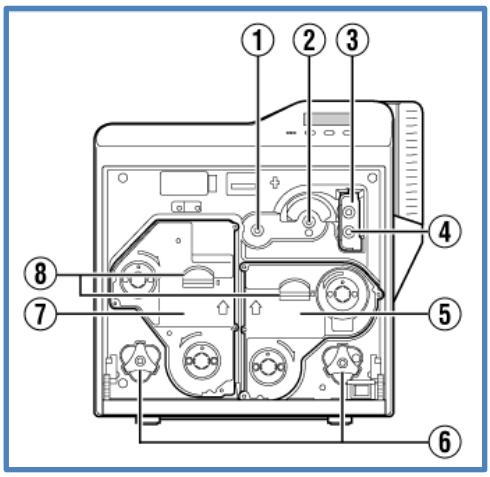
① カード排出口
- カードを排出します。

② カードスタッカー（付属品）取り付け口
- カードスタッカー（付属品）を取り付けます。

③ 赤外線通信窓
- 外部ユニットと連結して、赤外線通信によりデータを送受信します。

④ 持ち手部
- 移動するときは、この部分を持ってください。

プリンタードアオープン時



① カード搬送ローラーシャフト
- カードがつまったとき、ジョグダイヤルを取り付け、カード搬送ローラーを回します。

② カード反転機シャフト
- カードがつまったとき、ジョグダイヤルを取り付け、カード反転機を回します。

③ クリーニングユニット
- カードに付着したほこりやゴミを取ります。

④ クリーニングローラーシャフト
- カードがつまったとき、ジョグダイヤルを取り付け、クリーニングローラーを回します。

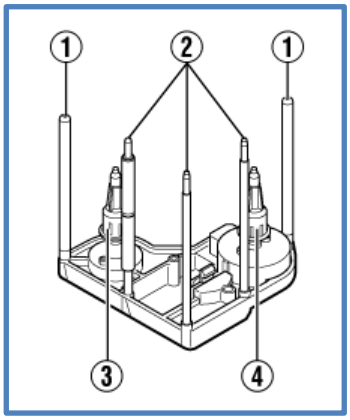
⑤ インクリボンカセット
- インクリボンを取り付けます。

⑥ ジョグダイヤル
- カードがつまったとき、本体から取りはずし、各シャフトに取り付け回転させます。

⑦ 再転写フィルムカセット
- 再転写フィルムを取り付けます。

⑧ カセットボタン
- 押して、インクリボンカセット／再転写フィルムカセットを引き出します。

インクリボンカセット



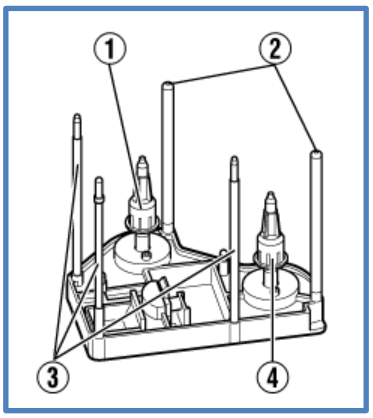
① ガイドシャフト
- カセットの取り付け位置をガイドします。

② シャフト
- インクリボンを沿わせて取り付けます。

③ ボビンホルダー（黒色）
- インクリボンの巻き取り側を固定します。

④ ボビンホルダー（黄色）
- インクリボンの未使用側を固定します。

再転写フィルムカセット



① ボビンホルダー（黒色）
- 再転写フィルムの巻き取り側を固定します。

② ガイドシャフト
- カセットの取り付け位置をガイドします。

③ シャフト
- 再転写フィルムを沿わせて取り付けます。

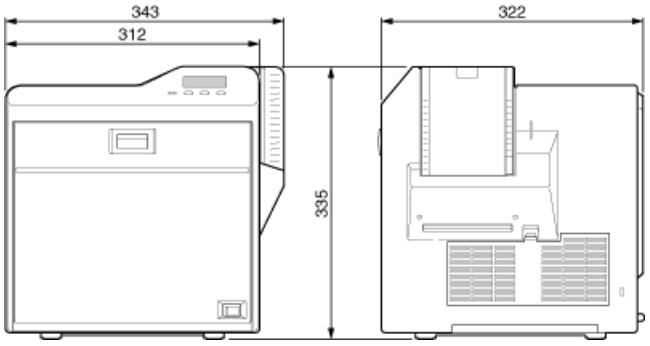
④ ボビンホルダー（緑色）
- 再転写フィルムの未使用側を固定します。

仕様

主な仕様

項目	内容
記録方式	昇華型再転写方式
給紙形態	自動供給
記録密度	300 dpi
表現階調	Y,M,C 各色　: 256 階調 レジン K　　: 2 階調
インターフェース	USB 2.0 (Hi-speed／Full Speed) Ethernet (100BASE-TX／10BASE-T)
使用環境条件	● ADシリーズ インクリボン/再転写フィルム 温度: 15 °C ～ 30 °C 湿度: 35 % ～ 70 %　結露なきこと ● ADシリーズ（ピールオフインク、UVインク） 温度: 17 °C ～ 28 °C 湿度: 35 % ～ 60 %　結露なきこと ● BAシリーズ インクリボン/再転写フィルム 温度: 20 °C ～ 30 °C 湿度: 35 % ～ 70 %　結露なきこと
保存環境条件	● プリンター本体 温度: -15 °C ～ 55 °C 湿度: 20 % ～ 80 % ● 印刷メディア（再転写フィルムおよび インクリボン），カード 温度: 5 °C ～ 25 °C 湿度: 40 % ～ 60 %
使用電源 ＜日本仕様＞	AC 100V - 120V, 50Hz / 60Hz
消費電流 ＜日本仕様＞	3.5 A
消費電力	310 W （フルオプション搭載時最大）
質量	約 13.5 kg （片面印刷機、反り矯正ユニット内蔵） 約 13.5 kg （両面印刷機、反り矯正ユニット除く）
寸法	343mm x 335mm x 322mm （幅 x 高さ x 奥行き）

外形寸法図



＊ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

付属品・別売品

付属品

プリンターの付属品を開梱時にご確認ください。

- CD-ROM
- 取扱説明書
- はじめにお読みください（LST1003）
- 電源コード（2m）
- クリーニングカード
- カードスタッカー
- USB 2.0 ケーブル（2m）
- 手袋
- カードピックアップ

別売品

ご購入の際は、お買い上げ販売店にご相談ください。
再転写フィルムおよびインクリボンは、ご購入後、半年以内にご使用ください。

- AD シリーズ インクリボン/再転写フィルム
- BA シリーズ インクリボン/再転写フィルム
- クリーニングキット　型名：CX210-CKIT1
  アルコール 50ml、磁気ヘッドクリーニングカード 5 枚、
  綿棒（大／小）各 5 本、キムワイプ 1 箱
- クリーニングカード　型名：CX210-CC1
  10 枚／セット

オプション

内蔵オプション

- 反り矯正ユニット
  印刷後のカードの反りを矯正する装置です。
- 磁気エンコーダー
  磁気ストライプカードにデータを書き込む装置です。
  両面印刷機のみインストールできます。
- 接触 IC エンコーダー
  接触 IC カードにデータを書き込む装置です。
- 非接触 IC エンコーダー
  非接触 IC カードにデータを書き込む装置です。

外部オプション

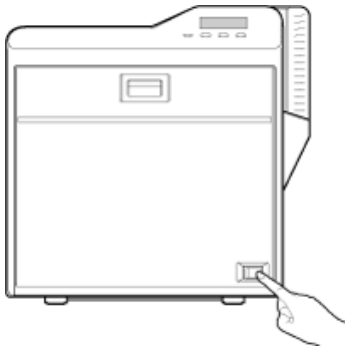
- カードラミネーター（片面仕様）
  カードの片面に保護層を接着する装置です。
- カードラミネーター（両面仕様）
  カードの両面に保護層を接着する装置です。

カードに印刷する

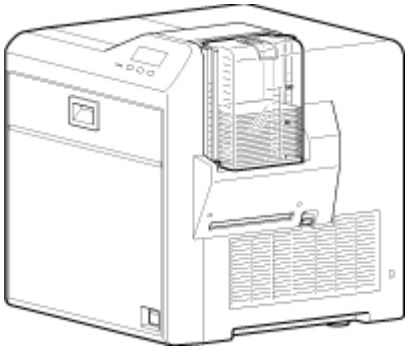
ご注意：

- プリンターの操作パネルに [Initializing..] または [Preheating..] と表示されているときは、プリンターが準備中です。印刷することができません。
- 磁気ストライプ面への印刷は、印刷不良が発生したり、カードの機能を損なうことがあります。印刷する場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- お客様が準備されたアプリケーション・ソフトウェアなどを使用して印刷する場合は、当該ソフトウェアの説明書を参照してください。

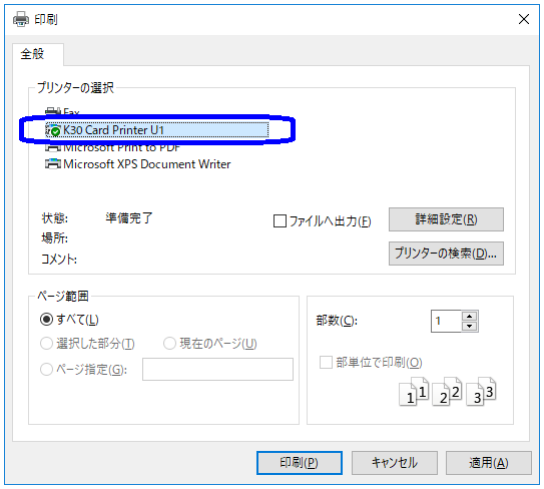
1 電源を入れる



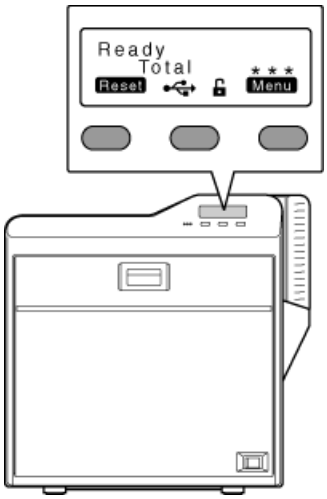
2 カードホッパーにカードが入っていることを確認する



3 ソフトウェアの印刷設定画面を開き、[プリンターの選択] から本機を選択する

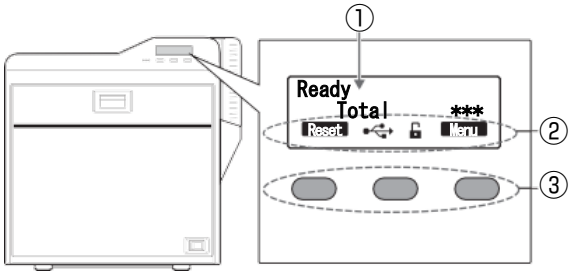


4 プリンターの操作パネルに [Ready] と表示されていることを確認し、印刷を開始する



操作パネルについて

各部の名前とはたらき



① 操作パネル
- 設定内容、動作状況、エラーメッセージを表示します。

② 状態アイコン／操作ボタン表示部
- 状態アイコンおよび操作ボタンの機能を表示します。

③ 操作ボタン
- 操作パネルに表示された操作ボタンの機能を選択します。

操作ボタンについて

■ プリンターを初期化します。

Reset

- Reset →⏎ の順番に押します。

■ 設定モードに入ります。

Menu

■ 設定を終了します。
また、押すごとに上位の設定項目を表示します。

Exit

■ 下位の設定項目を表示します。

Enter

■ 設定を確定または実行します。

⏎

■ 押すごとに次の設定項目を表示します。

Next

■ 押すごとに次の設定を表示します。

↓

■ 設定変更モードに入ります。

Change

- Change と表示されない設定項目は、コンピューターのステータスモニターから設定変更をすることができます。
"ステータスモニターの設定" (☞ 108 ページ)

■ 表示文字のスクロールモードに入ります。

Scroll

■ 表示文字を左へ 1 文字スクロールします。

←

■ 表示文字を右へ 1 文字スクロールします。

→

操作パネルの状態アイコン表示について

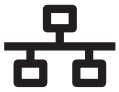
■ USB 接続
- IP アドレス確定

ネットワーク経由でプリンター情報を参照することができます。ただし印刷は USB 経由となります。

- IP アドレス未確定

■ ネットワーク接続
- IP アドレス確定

- IP アドレス未確定



■ セキュリティロック状態
- 施錠状態

- 開錠状態

操作パネルの動作表示について

● 背景色

動作状況により背景色が変わります。

- 起動時
  ブライトグリーン
- 通常時
  スカイブルー
- Reset での初期化時、操作パネルからのテスト印刷時、クリーニング時、ダウンロード時、操作パネルからのセキュリティロック設定時
  ライトパープル
- エラー発生時
  レッド

■ 起動中

```
Boot Up..
```

■ 初期化中

```
Initializing..
```

■ プリヒート中

```
Preheating..
```

■ レディ状態

```
Ready
```

■ カード搬送中および NG カード排出中

```
Moving..
```

■ 印刷中

```
Printing..
```

■ テスト印刷中

```
Testing..
```

■ 給紙中

```
Loading..
```

■ ダウンロード中

```
Downloading..
```

■ 磁気エンコード中

```
MG Encoding..
```

■ IC エンコード中

```
IC Encoding..
```

■ ヒートローラーの温度を設定された温度に調整中

```
Heating..
```

■ 再転写中

```
Retransfer..
```

■ 清掃中

```
Cleaning..
```

■ パワーセーブ状態

```
Sleeping..
```

設定モードについて

- 設定内容をプリンターの操作パネルから確認することができます。
"操作パネルから設定できること" (☞ 22 ページ)
"設定モードの流れ" (☞ 17 ページ)
"出荷時設定" (☞ 19 ページ)
- 設定の変更は、コンピューターのステータスモニターから行います。
"ステータスモニターの設定" (☞ 108 ページ)

Cleaning

- カード搬送ローラー、ヒートローラーおよび磁気ヘッドを清掃するときに設定します。

"カード搬送ローラー／ヒートローラー" (☞ 37 ページ)
"磁気ヘッド" (☞ 39 ページ)

■ 設定内容

- Rollers

カード搬送ローラーおよびヒートローラーを清掃するときに選択します。

- MG

磁気ヘッドを清掃するときに選択します。

Counter Reset

- フリーカウンターおよびエラーカウンターをリセットします。

"カウンターのリセット" (☞ 26 ページ)

Test Print

- プリンターに内蔵のテストパターンまたは各種設定内容を印刷します。

"テスト印刷" (☞ 23 ページ)

■ 設定内容

- Test Print：Test Pattern, Printer Setting, Network Setting, Lami Setting

Download

- ファームウェアを更新します。

"ファームウェアの更新" (☞ 24 ページ)

Transport Mode

- 輸送モードを設定します。

"輸送モードの設定" (☞ 29 ページ)

Media

- 印刷メディアの設定内容を表示します。

■ 設定内容

- Ink Type：YMCK, YMCKPO, YMCKK, YMCKUV

インクリボンの種類を表示します。

- Film Type：1000, 750

再転写フィルムの種類に合わせて設定します。

- Card Thickness：Standard, Thin

カードの厚さに合わせて設定します。

Standard　：0.76mm のカードに対応
Thin　：0.25mm のカードに対応

Print

- 印刷の設定内容を表示します。

■ 設定内容

- YMC Level：-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3

YMC（カラー）の濃度を設定します。
値が大きいほど、濃くなります。

- Black Level：-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3

K（黒）の濃度を設定します。
値が大きいほど、濃くなります。

- Black Mode：Standard, Fine

K（黒）の印刷モードを設定します。
[Black Level]で濃度を上げても文字がかすれる場合、[Fine]に設定します。印刷時間が[Standard]設定時より、長くなります。

- UV Level：-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3

UV インクの濃度を設定します。
値が大きいほど、濃くなります。
UV 印刷時、耐熱性の低いカードや高温環境では、カードの反りが大きくなる場合があります。

- PO Level：-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3

ピールオフインクの濃度を設定します。

ご注意：

- ピールオフの設定は、お買い上げ販売店にご相談ください。

Retransfer

- 再転写モードの設定内容を表示します。

■ 設定内容

- Temp Level：-2, -1, 0, 1, 2

再転写ヒートローラーの温度を設定します。
値が大きいほど高温になります。
使用するカードによっては、うまく転写されない場合があります。うまく転写されない場合は、設定値を 1 段階ずつ上げてください。
再転写ヒートローラーの温度が高いほど、カードへの転写性能は向上しますが、熱によるカードの変形が大きくなります。
温度設定の変更後に初期化しない場合は、印刷動作を開始後、温度制御します。

- Speed (Front)：-3, -2, -1, 0, 1, 2

表面の再転写速度を設定します。
値が大きいほど速くなります。
使用するカードによって一部分が転写されない場合があります。設定値を下げると転写性能は向上しますが、熱によるカード変形が大きくなります。

- Speed (F-UV)：-3, -2, -1, 0, 1, 2

UV インクの印刷を再転写フィルム 2 パネルで行う場合、表面 2 パネル目の再転写速度を設定します。値が大きいほど速くなります。

- Speed (Back)：-3, -2, -1, 0, 1, 2

裏面の再転写速度を設定します。
値が大きいほど速くなります。
使用するカードによっては、両面印刷したときにカードが反る場合があります。カードが反る場合は、設定値を表面より 1 段階上げてください。

- Speed (B-UV)：-3, -2, -1, 0, 1, 2

UV インクの印刷を再転写フィルム 2 パネルで行う場合、裏面 2 パネル目の再転写速度を設定します。値が大きいほど速くなります。

- MG Peel Mode：Standard, MG Stripe

再転写フィルムの剥がし方を設定します。
カードによっては、磁気ストライプの近傍にうまく転写されない場合があります。磁気ストライプカードでは、設定を [MG Stripe] にすると良化の可能性があります。

- Standby Mode：Front wait, Back wait

ラミネーターを接続して両面印刷する場合、ラミネーターが [Ready] になるまで再転写待機状態になります。表裏のどちらで待機させるかを選択します。

- Backside Cool：On, Off

両面印刷時、裏面の再転写前にカード冷却時間を設ける設定をします。[On] に設定すると、カードの反りが改善する可能性があります。

Bend Remedy

- 反り矯正モードの設定内容を表示します。

■ 設定内容

- Temp Level：-5, -4, -3, -2, -1, 0, Off

反り矯正ヒートローラーの温度を設定します。
値が大きいほど高温になります。
温度設定の変更後に初期化しない場合は、印刷動作を開始後、温度制御します。

- Speed：-2, -1, 0, 1, 2

反り矯正速度を設定します。
値が大きいほど速くなります。

Heat Roller

- パワーセーブモード、または低温待機モードの設定内容を表示します。

■ 設定内容

- Power Saving：5, 10, 15, 20, 25, 30, 45, 60, Off (単位:分)

パワーセーブモードの時間を設定します。
[Ready]の状態で、印刷および操作を設定した時間行わない場合、再転写ヒートローラー、反り矯正ヒートローラーおよび操作パネルのバックライトが OFF になり、電力を節約します。
パワーセーブ中は、[Sleeping..]と表示されます。
操作パネルから一時的に解除したい場合は、Reset →↵ を押して、初期化してください。

- HR Control：Off, On

30 分以上カードを印刷しない場合、再転写ヒートローラーの温度を下げて待機する設定をします。
次のカード印刷で自動復帰しますが、1 枚目のみ印刷時間が長くなります。通常は[On]に設定してください。

Setting

- プリンターの設定内容を表示します。
- プリンターの操作パネルから設定することもできます。

■ 設定内容

- Display：
  - Mode：Counter, Laminator State

  操作パネルに表示する内容を設定します。
  "表示モードの設定" (☞ 25 ページ)
  - Counter：Total Cnt, Head Cnt, Free Cnt, Cleaning Cnt, Error Cnt

  操作パネルに表示するカウンターの種類を設定します。
  "カウンターの設定" (☞ 25 ページ)
  - Contrast：-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3

  操作パネル表示の濃さを設定します。
  "コントラストの設定" (☞ 27 ページ)
- Buzzer：On, Off

エラー発生時および設定変更時にブザーを鳴らす設定をします。
"ブザーの設定" (☞ 28 ページ)

- Unit No.：No.1 ～ No.10

USB 環境に合わせて、プリンターのユニット番号を設定します。
"ユニット番号の設定" (☞ 28 ページ)

Option

- オプションの設定内容を表示します。

■ 設定内容

- MG：None, ISO, JIS

磁気エンコーダーの有無、または種類を表示します。

- IC Antenna：None, Installed

非接触 IC エンコーダーの有無を表示します。

- IC Contact：None, ISO Type, JIS Type

接触 IC エンコーダー（コンタクト部）の有無、または種類を表示します。

- Contact IC R/W：None, Installed

接触 IC R/W の有無を表示します。

- Bend Remedy HR：None, Installed

反り矯正ユニットの有無を表示します。

- Turn Over：None, Installed

カード反転機の有無を表示します。

MG

- 磁気エンコーダーの設定内容を表示します。

■ 設定内容

- ISO Type：Loco, Hico

ISO 磁気ストライプカードにデータを書き込むときの抗磁力を設定します。

- JIS Type：Loco, Hico

JIS 磁気ストライプカードにデータを書き込むときの抗磁力を設定します。

- Retry Count：0, 1, 2, 3

磁気ストライプの書き込み、または読み取りに失敗した場合の最大リトライ数を設定します。

Network

- ネットワークの設定内容を表示します。

■ 設定内容

- Printer Name：ASCII 文字列（10 文字）

プリンターの名前を設定します。

- Host IF：LAN, USB

インターフェースを設定します。
USB インターフェースが接続されている場合、LAN に設定しても初期化を開始時、設定が USB になります。

- IPv4：
  DHCP：On, Off
  Setting：IP Address, Subnet Mask, Gateway
  Effective IP：IP Address

IPv4 を設定します。

- IPv6：
  Adrs Config：Auto, Manual
  Setting：IP Address, Prefix Len, Gateway
  Effective IP：IP Address1, IP Address2, IP Address3

IPv6 を設定します。

- Session Time Out：Off, 10min, 20min, 30min, 60min

セッションのタイムアウト時間を設定します。

- MAC Address：16 進文字列

MAC アドレスを表示します。

- IPSec Mode：Off, On

IPSec の有無を設定します。

  - IPSec Type：not Setting, Preshared, Certificate

  IPSec の認証方法を表示します。

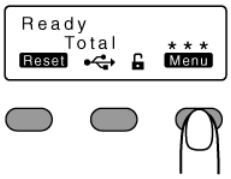
設定モードの流れ

- 設定内容をプリンターの操作パネルから確認することができます。
- 設定の変更は、コンピューターのステータスモニターから行います。

"設定モードについて" (☞ 15 ページ)

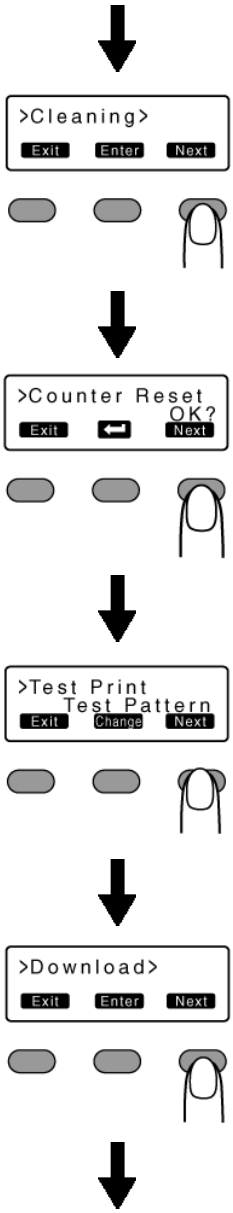
1 Menu を押す

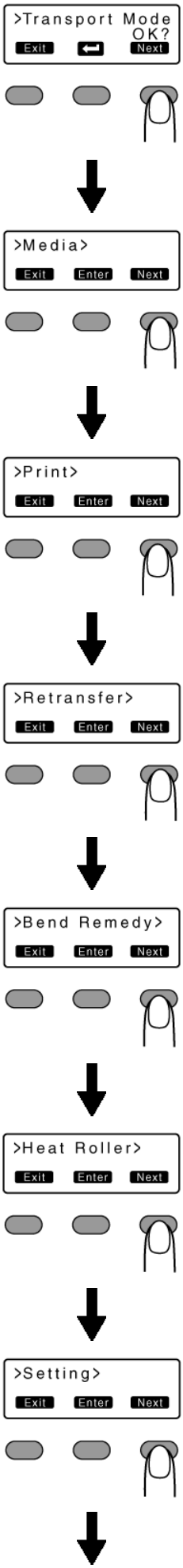
- 設定モードに入ります。

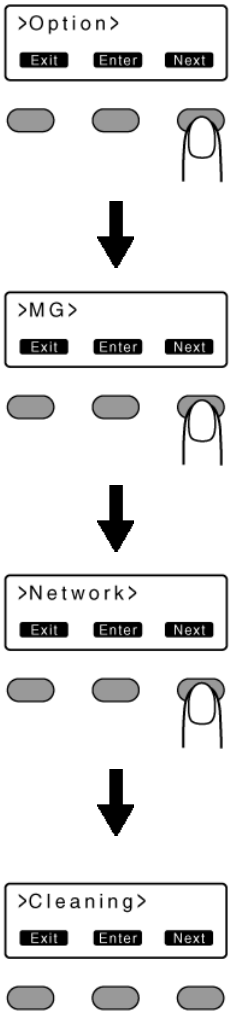


2 Next を押す

- 押すごとに、次の設定項目が表示されます。
- Enter を押すと、下位の設定項目が表示されます。
- Change を押すと、設定変更モードに入ります。
- ↵ を押すと、設定を確定または実行します。
- Exit を押すと、上位の設定項目が表示されます。






>Option>
Exit Enter Next
>MG>
Exit Enter Next
>Network>
Exit Enter Next
>Cleaning>
Exit Enter Next

出荷時設定

■ Media

項目	出荷時設定
Ink Type	−
Film Type	1000
Card Thickness	Standard

■ Print

項目	出荷時設定
YMC Level	0
Black Level	0
Black Mode	Standard
UV Level	3
PO Level	0

■ Retransfer

項目	出荷時設定
Temp Level	1
Speed(Front)	2
Speed(F-UV)	2
Speed(Back)	2
Speed(B-UV)	2
MG Peel Mode	Standard
Standby Mode	Front Wait
Backside Cool	Off

■ Bend Remedy

項目	出荷時設定
Temp Level	Off
Speed	2

■ Heat Roller

項目	出荷時設定
Power Saving	Off
HR Control	On

■ Setting

項目		出荷時設定
Display	Mode	Counter
	Counter	Total Cnt
	Contrast	0
Buzzer		On
Unit No.		No.1

■ MG

項目	出荷時設定
ISO Type	Hico
JIS Type	Loco
Retry Count	1

■ Network

項目			出荷時設定
Printer Name			PRINTER01
Host IF			LAN
IPv4	DHCP		On
	Setting	IP Address	192.168.0.141
		Subnet Mask	255.255.255.0
		Gateway	192.168.0.1
	Effective IP	IP Address	−
IPv6	Adrs Config		Auto
	Setting	IP Address	None
		Prefix Len	64
		Gateway	None
	Effective IP	IP Address 1	−
		IP Address 2	−
		IP Address 3	−
Session Time Out			Off
Mac Address			−
IPSec Mode			Off
IPSec Type			not Setting

セキュリティロックについて

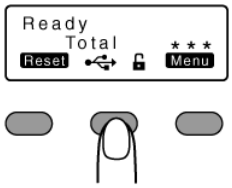
- セキュリティロック機能は、プリンタードアとカードホッパーを施錠することにより、プリンタードアの開放とカードの取り出しを禁止することができます。
- コンピューターのステータスモニターで施錠、開錠します。
"ステータスモニター" (☞ 120 ページ)
- プリンター本体にセキュリティキー番号を登録すると、プリンターの操作パネルからセキュリティキー番号を入力することにより、セキュリティロックを開錠することができます。
- セキュリティキー番号を忘れた場合は、お買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

セキュリティキー番号の登録

- セキュリティキー番号を変更したい場合は、セキュリティキー番号を削除してから登録しなおしてください。

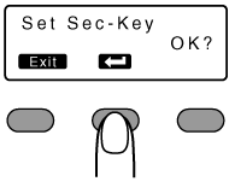
1 操作ボタン（中央）を 3 秒以上押す

- [Set Sec-Key OK?] が表示されます。

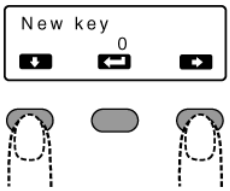


2 ↵ を押す

- [New key] が表示されます。



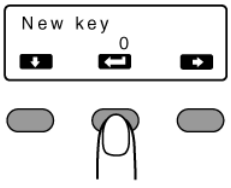
3 数字を入力する



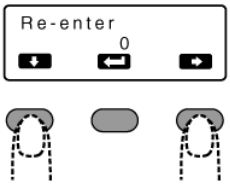
- 8 桁まで入力することができます。
- ↓ を押すごとに数字が 1 つ増えます。
- → を押すごとに 1 桁増えます。

4 ↵ を押す

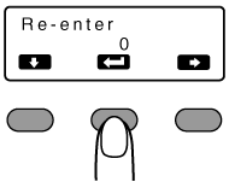
- [Re-enter] が表示されます。



5 [New key] で入力した数字を入力する



6 ↵ を押す



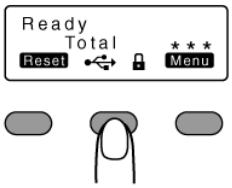
- [New key] で入力した数字と一致した場合は、[Ready] に戻り、セキュリティキー番号が登録されます。
- [New key] で入力した数字と一致しない場合は、[Set Sec-Key OK?] に戻ります。再度、数字を入力してください。

セキュリティロックの解除

- 施錠したセキュリティロックを開錠することができます。

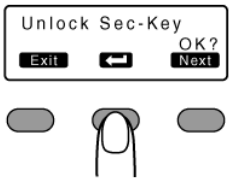
1 操作ボタン（中央）を 3 秒以上押す

- [Unlock Sec-Key OK?] が表示されます。

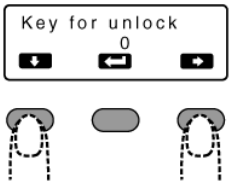


2 ↵ を押す

- [Key for unlock] が表示されます。

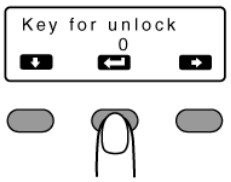


3 登録したセキュリティキー番号を入力する



- ↓ を押すごとに数字が 1 つ増えます。
- → を押すごとに 1 桁増えます。

4 ↵ を押す



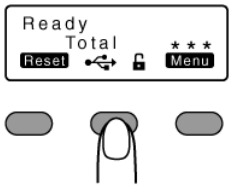
- 登録した数字と一致した場合は、[Ready] に戻り、セキュリティロックが解除されます。
- 登録した数字と一致しない場合は、[Unlock Sec-Key OK?] に戻ります。再度、数字を入力してください。

セキュリティキー番号の削除

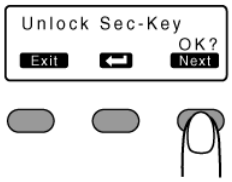
- 登録したセキュリティキー番号を削除することができます。
- セキュリティキー番号を変更したい場合は、セキュリティキー番号を削除してから登録しなおしてください。

1 操作ボタン（中央）を 3 秒以上押す

- [Unlock Sec-Key OK?] が表示されます。

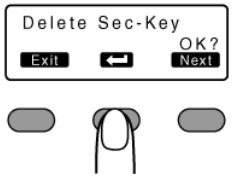


2 Next を押し、[Delete Sec-Key OK?] にする

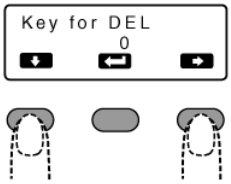


3 ↵ を押す

- [Key for DEL] が表示されます。

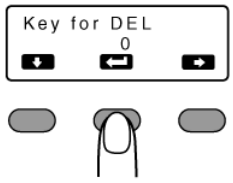


4 登録したセキュリティキー番号を入力する



- ↓ を押すごとに数字が 1 つ増えます。
- → を押すごとに 1 桁増えます。

5 ↵ を押す



- 登録した数字と一致した場合は、[Ready] に戻り、セキュリティキー番号が削除されます。
- 登録した数字と一致しない場合は、[Delete Sec-Key OK?] に戻ります。再度、数字を入力してください。

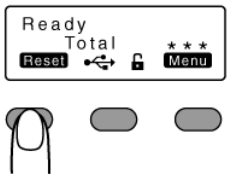
操作パネルから設定できること

初期化

- 電源を入れると、自動的にインクリボンと再転写フィルムの頭出し（初期化）を行います。
- 操作パネルの操作ボタンで初期化することができます。

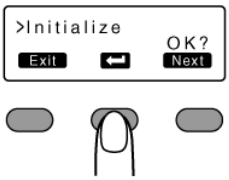
1 Reset を押す

- [Initialize OK?] が表示されます。



2 ↵ を押す

- [Initializing..] が表示され、プリンターが初期化されます。



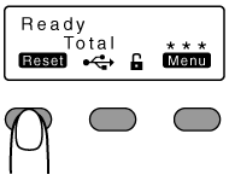
カセット取り付け時の初期化

メモ：

- インクリボンカセットおよび再転写フィルムカセットをプリンター本体から取りはずしている間に、インクリボンおよび再転写フィルムにほこりが付く場合があります。ほこりの大きさによっては色抜けなどの原因となります。このような印刷不良を避けるため、カセットを取り付けたあとの初期化時に、1 画面分または 2 画面分を先送りすることをお勧めします。

1 Reset を押す

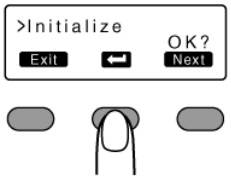
- [Initialize OK?] が表示されます。



■ 画面を送らずに初期化する場合

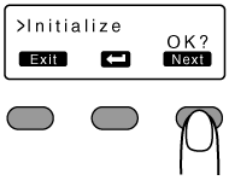
① ↵ を押す

- [Initializing..] が表示され、プリンターが初期化されます。



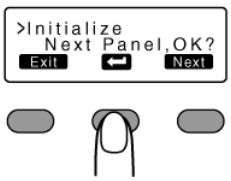
■ 1 画面分送って初期化する場合

① Next を押し、[Next Panel, OK?] にする



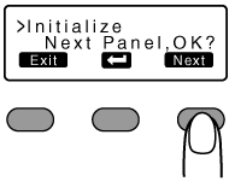
② ↵ を押す

- [Initializing..] が表示され、インクリボンおよび再転写フィルムを 1 画面分送ってプリンターが初期化されます。



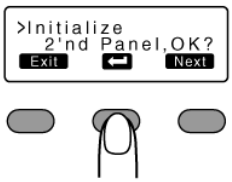
■ 2 画面分送って初期化する場合

① Next を押し、[2'nd Panel, OK?] にする



② ↵ を押す

- [Initializing..] が表示され、インクリボンおよび再転写フィルムを 2 画面分送ってプリンターが初期化されます。



テスト印刷

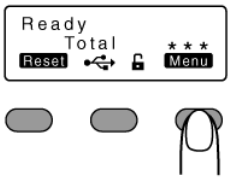
- プリンターに内蔵のテストパターンまたは各種設定内容を印刷します。
- システムにトラブルが発生した場合、プリンター単体で動作させコンピューター側かプリンター側かの切り分けができます。

■ テスト印刷の種類

- Test Pattern:
片面 1 枚の標準カラーパターンを印刷します。
- Printer Setting:
プリンターの設定内容を印刷します。
- Network Setting:
ネットワークの設定内容を印刷します。
- Lami Setting:
ラミネーターの設定内容を印刷します。

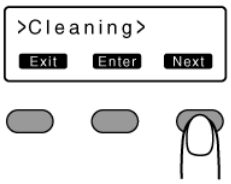
1 Menu を押す

- [Cleaning] が表示されます。



2 Next を押し、[Test Print] にする

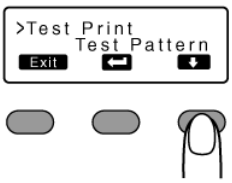
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



3 Change を押す

- テスト印刷の種類選択画面が表示されます。

4 ↓ を押し、テスト印刷の種類を選択する

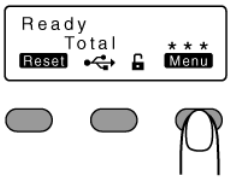


5 ↵ を押す

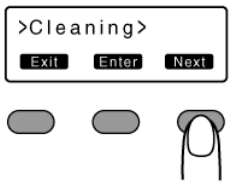
- テスト印刷を開始します。

ファームウェアの更新

1 Menu を押す
- [Cleaning] が表示されます。



2 Next を押し、[Download] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



3 Enter を押す
- [Download Ready] が表示され、コンピューターからのダウンロードデータ待ち状態になります。

4 コンピューターからデータのダウンロードを開始する
- [Downloading..] が表示されます。

ご注意：
- コンピューターからデータのダウンロード中に電源を切らないでください。
  プリンターのファームウェアが破壊され動作しなくなります。

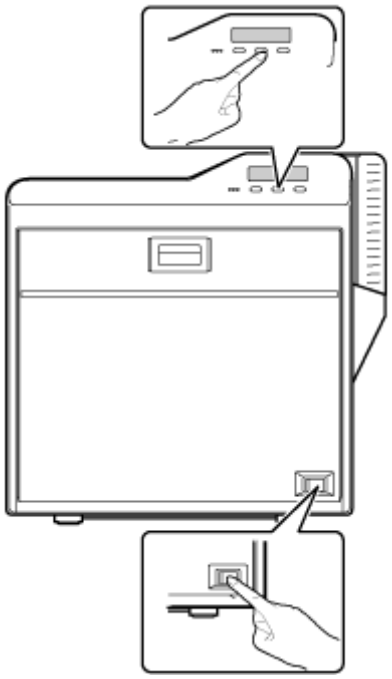
- コンピューターからデータのダウンロードを終了すると、[Download Ready] が表示されます。

5 [Download Ready] が表示されたら、Exit を押す
6 [Please Power Off] が表示されたら、電源を切る
- 再度、電源を入れるとファームウェアが更新されます。

■ ダウンロードに失敗して起動できなくなった場合

- プリンターのファームウェアのダウンロードに失敗した場合、再起動時にプリンターが起動できなくなります。この様な場合には、以下の手順で再度ダウンロードしてください。

① 操作ボタン（中央）を押しながら電源を入れる
- [SBP2 Running] が表示され、コンピューターからのダウンロードデータ待ち状態になります。



② コンピューターからデータのダウンロードを開始する
- [Downloading..] が表示されます。
- コンピューターからデータのダウンロードを終了すると、[SBP2 Running] が表示されます。

③ [SBP2 Running] が表示されたら、電源を切る
- 再度、電源を入れるとファームウェアが更新されます。

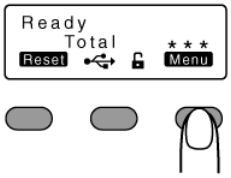
表示モードの設定

- 操作パネルに表示する内容を設定します。

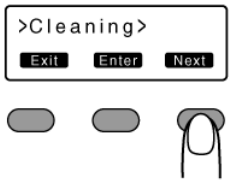
■ 設定内容

- Counter：
"カウンターの設定"で設定したカウンターを表示します。
- Laminator State：
ラミネーターを接続している場合は、ラミネーターの動作状態を表示します。ラミネーターを接続していない場合は、カウンターを表示します。

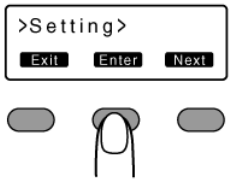
1 Menu を押す
- [Cleaning] が表示されます。



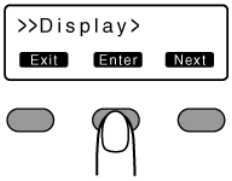
2 Next を押し、[Setting] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



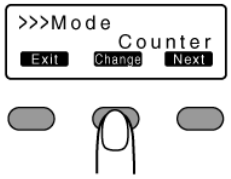
3 Enter を押す
- [Display] が表示されます。



4 Enter を押す
- [Mode] が表示されます。



5 Change を押す
- 設定変更モードに入ります。



6 ▼ を押し、設定を選択する

7 ↵ を押し、設定を確定する
- ↵ を押すと、設定を確定し前画面に戻ります。

8 Exit を押し、設定モードを抜ける
- 押すごとに上位の設定項目が表示されます。

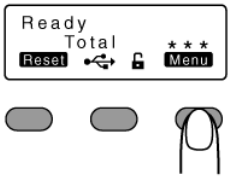
カウンターの設定

- 操作パネルに表示するカウンターの種類を設定します。

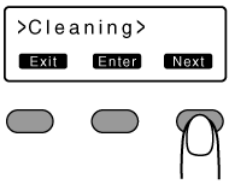
■ カウンターの種類

- Total Cnt：トータルカウンター
正常に印刷されたカードの合計枚数を表示します。
- Head Cnt：ヘッドカウンター
同一ヘッドの合計インク印刷面数を表示します。
- Free Cnt：フリーカウンター
正常に印刷されたカードの枚数を表示します。リセットすることができます。
- Cleaning Cnt：クリーニングカウンター
前回のクリーニング後から正常に印刷されたカードの枚数を表示します。
- Error Cnt：エラーカウンター
正常に印刷されなかったカードの枚数が表示されます。リセットすることができます。

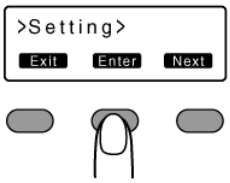
1 Menu を押す
- [Cleaning] が表示されます。



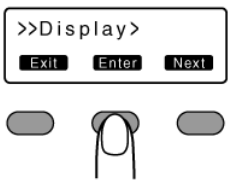
2 Next を押し、[Setting] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



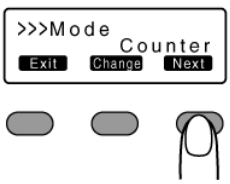
3 Enter を押す
- [Display] が表示されます。



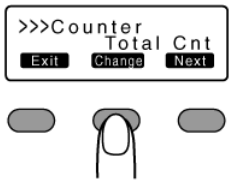
4 Enter を押す
- [Mode] が表示されます。



5 Next を押し、[Counter] にする



6 Change を押す
- 設定変更モードに入ります。



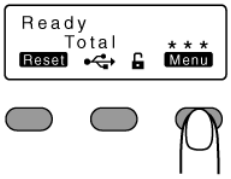
7 ▼ を押し、設定を選択する
8 ↵ を押し、設定を確定する
- ↵ を押すと、設定を確定し前画面に戻ります。

9 Exit を押し、設定モードを抜ける
- 押すごとに上位の設定項目が表示されます。

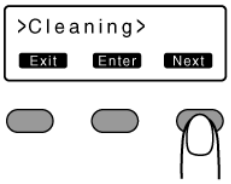
カウンターのリセット

- フリーカウンターおよびエラーカウンターをリセットします。

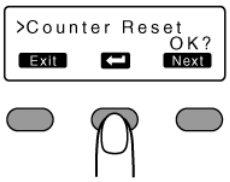
1 Menu を押す
- [Cleaning] が表示されます。



2 Next を押し、[Counter Reset] にする



3 ↵ を押す
- フリーカウンターおよびエラーカウンターがリセットされます。



■ リセットの確認をする場合

- "カウンターの設定"で [Free Cnt] または [Error Cnt] を選択してください。

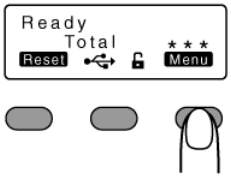
コントラストの設定

- 操作パネル表示の濃さを設定します。

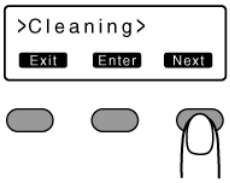
■ 設定内容

- -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3
  値が大きいほど濃くなります。

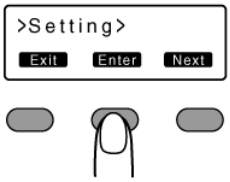
1 Menu を押す
- [Cleaning] が表示されます。



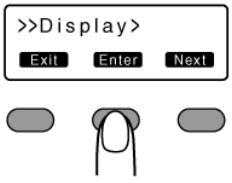
2 Next を押し、[Setting] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



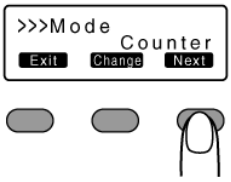
3 Enter を押す
- [Display] が表示されます。



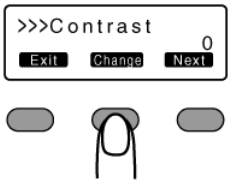
4 Enter を押す
- [Mode] が表示されます。



5 Next を押し、[Contrast] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



6 Change を押す
- 設定変更モードに入ります。



7 ▼ を押し、設定を選択する

8 ↵ を押し、設定を確定する
- ↵ を押すと、設定を確定し前画面に戻ります。

9 Exit を押し、設定モードを抜ける
- 押すごとに上位の設定項目が表示されます。

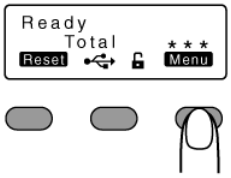
ブザーの設定

- エラー発生時および設定変更時にブザーを鳴らす設定をします。

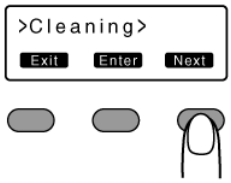
■ 設定内容

- On：ブザーが鳴ります
- Off：ブザーが鳴りません

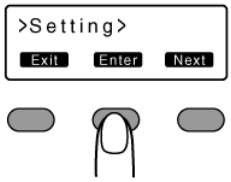
1 Menu を押す
- [Cleaning] が表示されます。



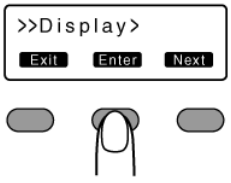
2 Next を押し、[Setting] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



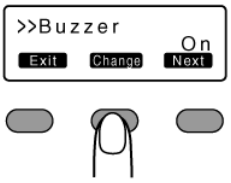
3 Enter を押す
- [Display] が表示されます。



4 Next を押し、[Buzzer] にする



5 Change を押す
- 設定変更モードに入ります。



6 を押し、設定を選択する

7 を押し、設定を確定する
- を押すと、設定を確定し前画面に戻ります。

8 Exit を押し、設定モードを抜ける
- 押すごとに上位の設定項目が表示されます。

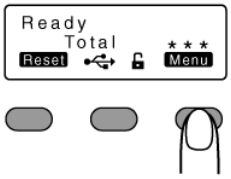
ユニット番号の設定

- USB 環境に合わせて、プリンターのユニット番号を設定します。

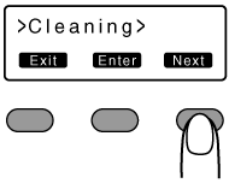
■ 設定内容

- No.1 ～ No.10

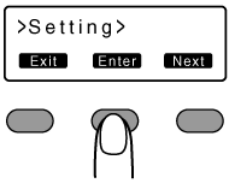
1 Menu を押す
- [Cleaning] が表示されます。



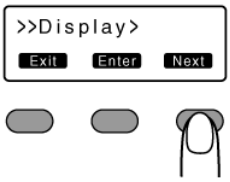
2 Next を押し、[Setting] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



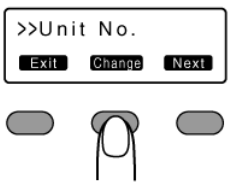
3 Enter を押す
- [Display] が表示されます。



4 Next を押し、[Unit No.] にする
- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



5 Change を押す
- 設定変更モードに入ります。



6 を押し、設定を選択する
- ユニット番号は、No.1 から No.10 まで選択することができます。

7 を押し、設定を確定する
- を押すと、設定を確定し前画面に戻ります。

8 Exit を押し、設定モードを抜ける
- 押すごとに上位の設定項目が表示されます。

9 電源を切る
- 再度、電源を入れると設定の変更が反映されます。

輸送モードの設定

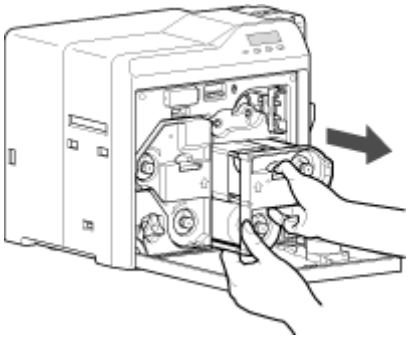
- プリンターを輸送または移動するときに、ヒートローラーを安全な位置に固定します。

ご注意：

- プリンターを輸送または移動するときは、必ず輸送モードの設定をしてください。輸送モードを設定しないと故障の原因となります。

1 プリンタードアを開ける

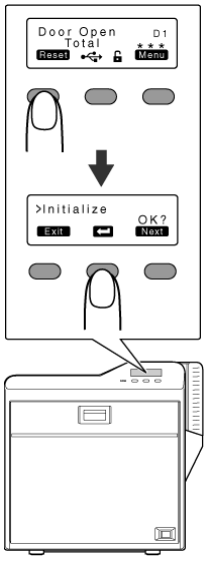
2 カセットボタンを押しながら、インクリボンカセット（右側）を取り出し、インクリボンをはずす



3 カセットボタンを押しながら、再転写フィルムカセット（左側）を取り出し、再転写フィルムをはずす

4 プリンタードアを閉める

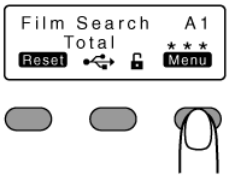
5 Reset →↵ を押して、初期化する



6 プリンターの操作パネルが [Film Search] と表示されていることを確認する

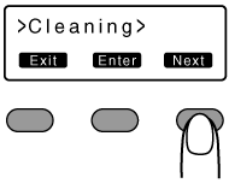
7 Menu を押す

- [Cleaning] が表示されます。

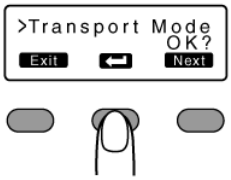


8 Next を押し、[Transport Mode] にする

- 押すごとに次の設定項目が表示されます。



9 ↵ を押す



- 輸送モードが設定されると、[Please Power Off] が表示されます。

10 電源を切り、カセットを取り付ける

ご注意：

- 輸送モード設定時は、再転写フィルムを取り付けたまま再転写フィルムカセットをプリンターに装着することはできません。

■ 輸送モードの解除

- プリンタードアを閉めた状態で、電源を入れ、輸送モードを解除してください。

ステータスモニターから設定できること

"ステータスモニターの設定" (☞ 108 ページ)

カードについて

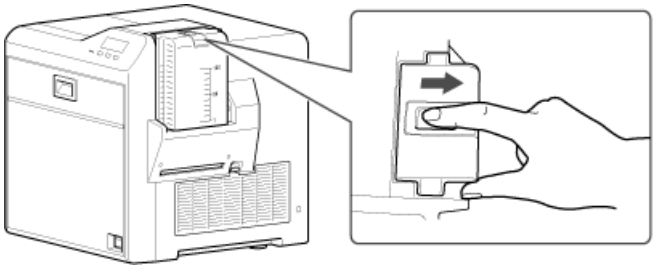
カードがなくなった

- カードを補充してください。
- カードホッパーには、0.76mm 厚のカードを約 100 枚収納することができます。

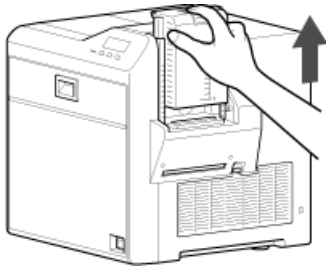
ご注意：

- お買い上げ販売店の指定カードを用意してください。
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カードの印刷面を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。カードを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- カードホッパーに収納するカードは、カードつまりを避けるためカードの厚さに関係なく 100 枚程度を目安にしてください。
- 新しいカードを使用するときは、静電気などでカード同士が互いに貼り付いていないことを十分確認してからセットしてください。
- カードは揃えてセットしてください。カードホッパーカバーが閉まらず、破損の原因となります。
- 磁気ストライプ面への印刷は、印刷不良が発生したり、カードの機能を損なうことがあります。印刷する場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- 両方の機能（磁気ストライプ、接触 IC）があるカードをセットする場合は、接触 IC カードのセット方法でセットしてください。

1 カードホッパーノブを [OPEN] にする



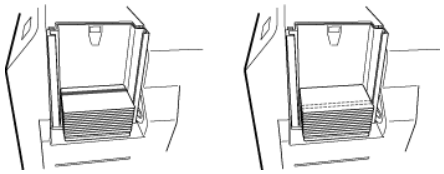
2 カードホッパーカバーを引き上げて取りはずす



3 カードの向きを合わせてセットする

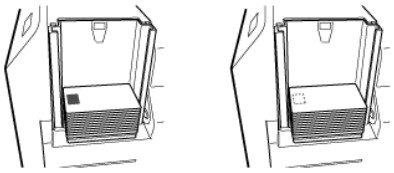
■ 磁気ストライプカードの場合

- 磁気ストライプがプリンター側の上面、またはプリンター外側の下面になるようにセットします。



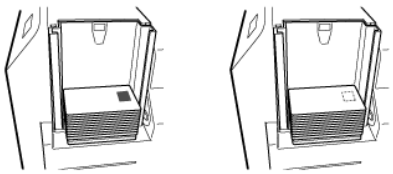
■ JIS 接触 IC カードの場合

- IC 端子がプリンター前面側の上面、または IC 端子がプリンター前面側の下面になるようにセットします。
- 片面印刷機の場合は、IC 端子がプリンター前面側の下面になるようにセットします。

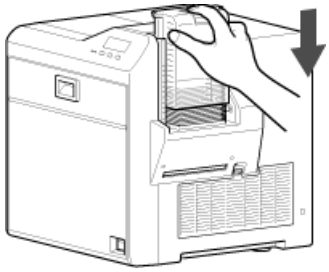


■ ISO 接触 IC カードの場合

- IC 端子がプリンター背面側の上面、または IC 端子がプリンター背面側の下面になるようにセットします。
- 片面印刷機の場合は、IC 端子がプリンター背面側の下面になるようにセットします。



4 カードホッパーカバーを取り付け、カードホッパーノブを ［LOCK］にする



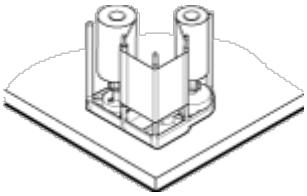
インクリボンについて

インクリボンがなくなった

- インクリボンを交換してください。

ご注意：

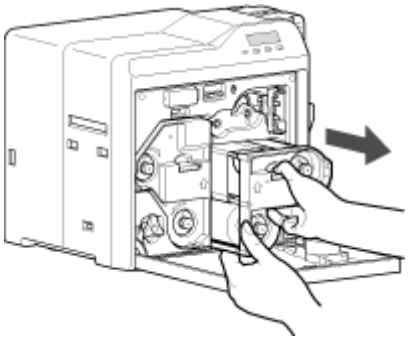
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。



- インク面（取り付けたときに外側になる面）を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。インクリボンを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- 使用中のインクリボンは、カセットのシールに記載してある矢印に、未使用のイエロー面がくるように取り付けてください。イエロー面の位置がずれると、印刷が薄くなる原因となります。
- インクリボンを装着したカセットは重いので、カセットを取り扱うときは、落とさないように両手で持って作業してください。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- 交換時は、プリンター本体のボビンホルダー（4 か所）を清掃してください。ボビンホルダーにボビンとの摩擦により出た削りかすが付着すると、カードやインクリボン、再転写フィルムなどの上に落ち、印刷不良の原因となります。
"ボビンホルダー" (☞ 40 ページ)

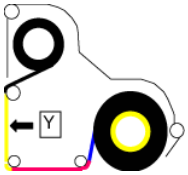
1 プリンタードアを開ける

2 カセットボタンを押しながらインクリボンカセット（右側）を引き出し、インクリボンをはずす

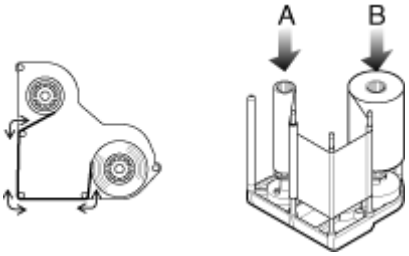


3 新しいインクリボンを取り付ける

- カセットのシールに記載してある表示を参考にしてください。

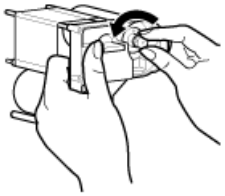


① インク面を外側にし、未使用のイエロー面をカセットの矢印に合わせ 3 本のシャフトに沿って広げます。
② インクリボンがガイドの内側に収まるように、ボビンホルダーに最後までしっかり差し込みます。
- A：巻き取り側（黒色）
- B：未使用側（黄色）

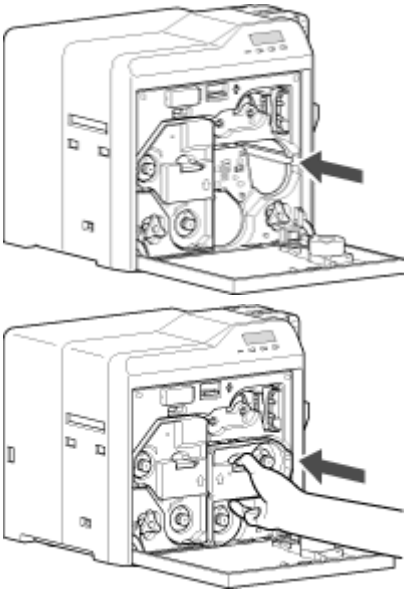


4 インクリボンの巻きだるみを取る

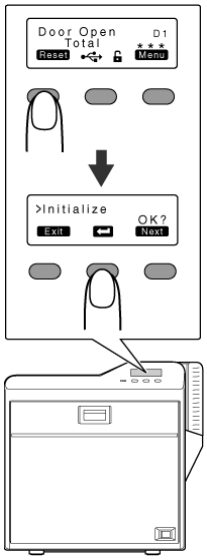
① カセットを支えます。
② ツマミを矢印の方向に回転させます。



5 カセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める



6 Reset →⏎ を押して、初期化する



メモ：

- 印刷不良を避けるため、インクリボンカセットおよび再転写フィルムカセットを取り付けたあとは、1 画面分または 2 画面分を先送りすることをお勧めします。

"カセット取り付け時の初期化" (☞ 22 ページ)

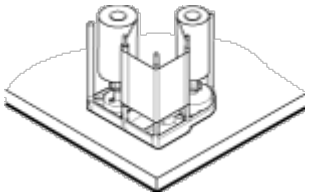
再転写フィルムについて

再転写フィルムがなくなった

- 再転写フィルムを交換してください。

ご注意：

- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。

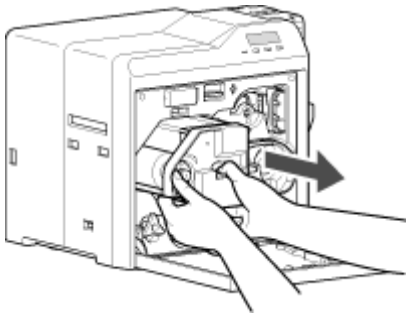


- 再転写面（取り付けたときに外側になる面）を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。再転写フィルムを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- 再転写フィルムを装着したカセットは重いので、カセットを取り扱うときは、落とさないように両手で持って作業してください。
- 使用中の再転写フィルムは、カセットのシールに記載してある矢印に、未使用のフィルム面がくるように取り付けてください。位置がずれていると、エラーや印刷が薄くなる原因となります。
- 新しいフィルムを取り付けるときは、巻き取り側に黒線を 3 本以上巻き取ってください。十分に巻き取らないと故障の原因となります。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- 交換時は、プリンター本体のボビンホルダー（4 か所）を清掃してください。ボビンホルダーにボビンとの摩擦により出た削りかすが付着すると、カードやインクリボン、再転写フィルムなどの上に落ち、印刷不良の原因となります。

"ボビンホルダー" (☞ 40 ページ)

1 プリンタードアを開ける

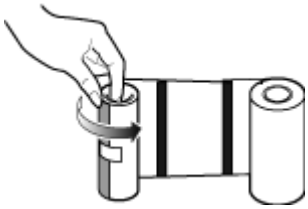
2 カセットボタンを押しながら再転写フィルムカセット（左側）を引き出し、再転写フィルムをはずす



3 新しい再転写フィルムを取り付ける

- カセットのシールに記載してある表示を参考にしてください。

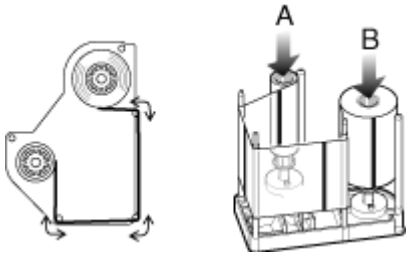
① 巻き取り側に黒線 3 本分以上の再転写フィルムを巻き取ります。



② 再転写面を外側にし、未使用の面をカセットの矢印に合わせて 3 本のシャフトに沿って広げます。

③ 再転写フィルムがガイドの内側に収まるように、ボビンホルダーに最後までしっかり差し込みます。

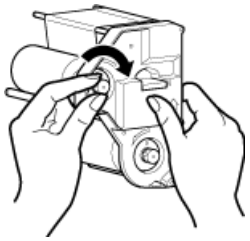
- A：巻き取り側（黒色）
- B：未使用側（緑色）



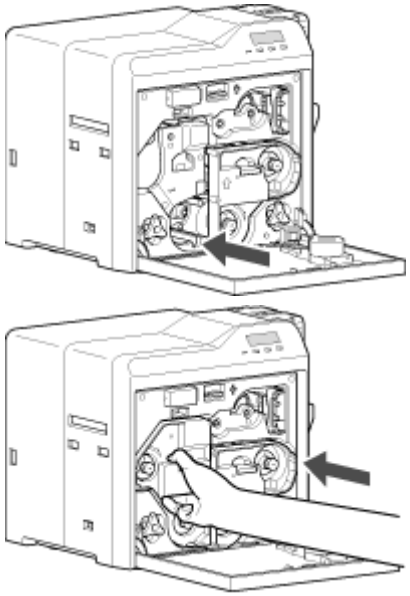
4 再転写フィルムの巻きだるみを取る

① 再転写フィルムカセットを支えます。

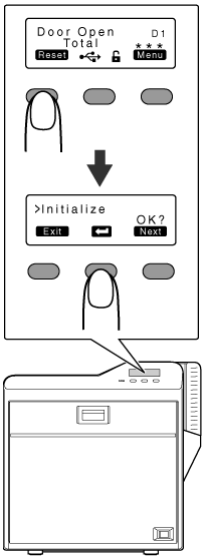
② ツマミを矢印の方向に回転させます。



5 カセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める



6 Reset →⏎ を押して、初期化する



メモ：

- 印刷不良を避けるため、インクリボンカセットおよび再転写フィルムカセットを取り付けたあとは、1 画面分または 2 画面分を先送りすることをお勧めします。

"カセット取り付け時の初期化" (☞ 22 ページ)

部品から探す

■ 定期点検のお願い

- 印刷不良や故障を未然に防止するために、サービスマンによる定期点検の実施をお願いします。点検についての詳細はお買い上げ販売店にご相談ください。

クリーニングローラー

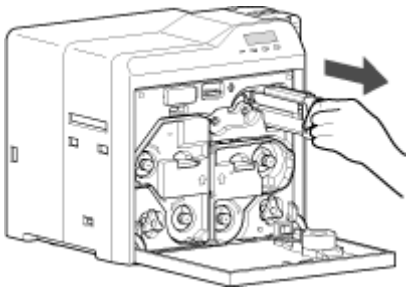
- クリーニングローラーは、カードに付着したゴミやほこりを取ります。
- クリーニングローラーが汚れると、印刷後のカードが白く抜けたり汚れが目立つようになります。また、カードつまりの原因にもなります。

ご注意：

- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- 電源が切れていることを確認してから作業してください。
- 毎日使用する場合は、作業終了後に必ず清掃してください。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- 水洗いしたあとは、完全に乾くまで取り付けないでください。
- クリーニングローラーは、水以外（アルコールなど）で洗わないでください。
- 約１年間使用後は、クリーニングユニットを交換してください。交換については、お買い上げ販売店にご相談ください。
- 清掃が終了したら、取りはずした部品が元の位置に戻っていることを確認してください。元に戻っていない場合、動作不良の原因となります。

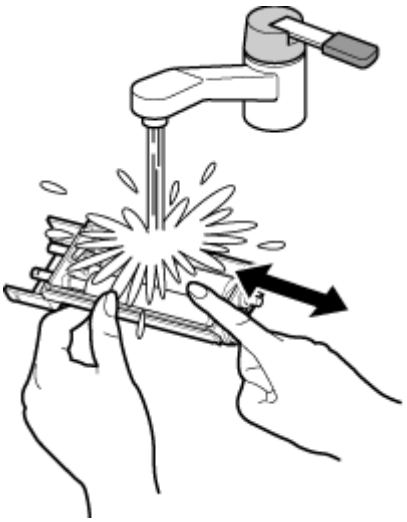
1 プリンタードアを開ける

2 クリーニングユニットを取り出す

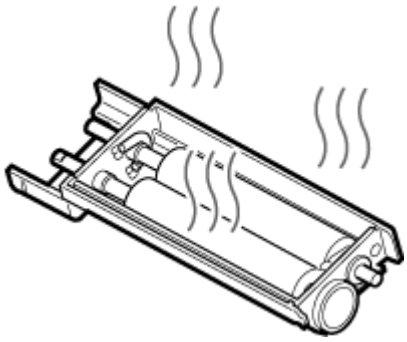


3 クリーニングローラーを水洗いする

- ローラー部分に水をかけながら指でクリーニングローラー表面のゴミを取り除いてください。

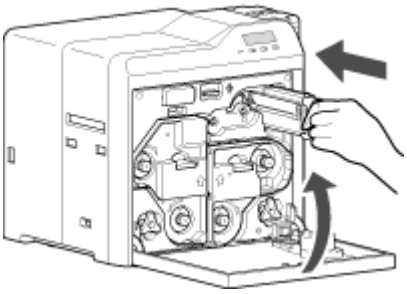


4 クリーニングローラーを自然乾燥する



5 クリーニングユニットをセットし、プリンタードアを閉める

- ローラー面を右側にし、奥まで確実にセットしてください。



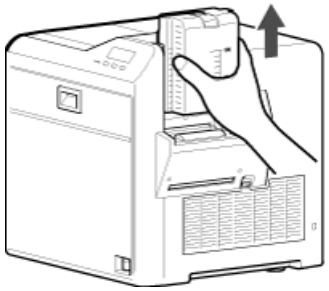
給紙ローラー

- 給紙ローラーが汚れると、カードつまりの原因となります。

ご注意：

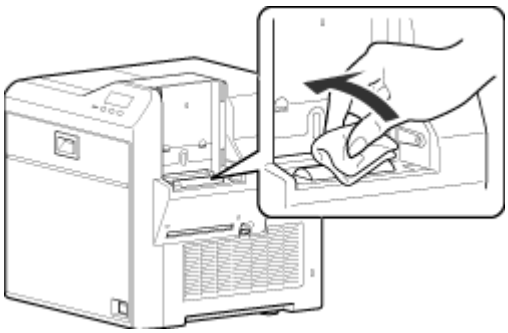
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- 電源が切れていることを確認してから作業してください。
- 清掃が終了したら、取りはずした部品が元の位置に戻っていることを確認してください。元に戻っていない場合、動作不良の原因となります。
- 別売品については、お買い上げ販売店にご相談ください。

1 カードホッパーを取りはずす

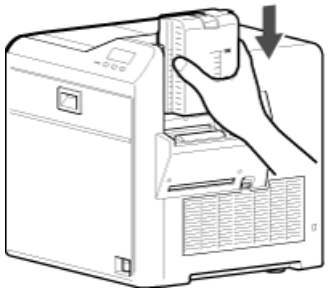


2 キムワイプ（別売）にアルコール（別売）を含ませ給紙ローラーの表面を拭く

- 給紙ローラーを反時計回りに回しながら拭きます。



3 カードホッパーを取り付ける



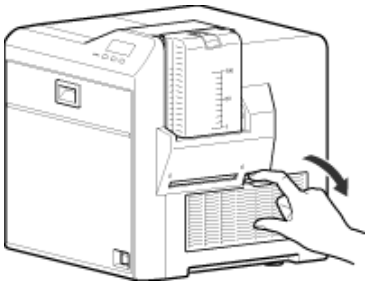
ファンフィルター

- ファンフィルターが汚れると、印刷後のカードが白く抜けたり、汚れが目立つようになります。
- 約 10,000 枚印刷ごとに清掃してください。

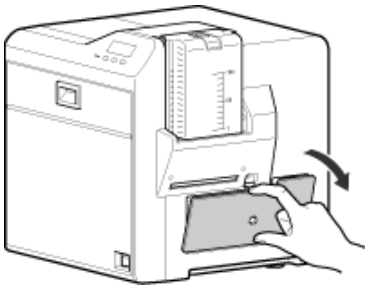
ご注意：

- 電源が切れていることを確認してから作業してください。
- 清掃が終了したら、取りはずした部品が元の位置に戻っていることを確認してください。元に戻っていない場合、動作不良の原因となります。
- 約 1 年間使用後は、ファンフィルターを交換してください。交換については、お買い上げ販売店にご相談ください。

1 プリンター側面のフィルターカバーをはずす

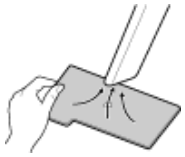


2 ファンフィルターをはずす

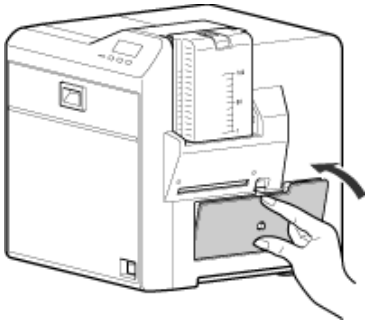


3 掃除機でファンフィルターに付着しているゴミを取り除く

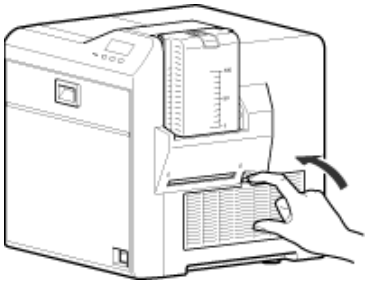
- 掃除機に吸い込まれないように、フィルターは手で押さえて作業してください。



4 ファンフィルターをセットする



5 フィルターカバーをセットする

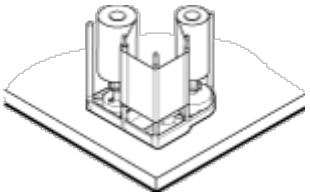


カード搬送ローラー／ヒートローラー

- カード搬送ローラーおよびヒートローラーが汚れると、印刷後のカードが白く抜けたり、汚れが目立つようになります。
- 約 1,000 枚印刷ごとに清掃してください。

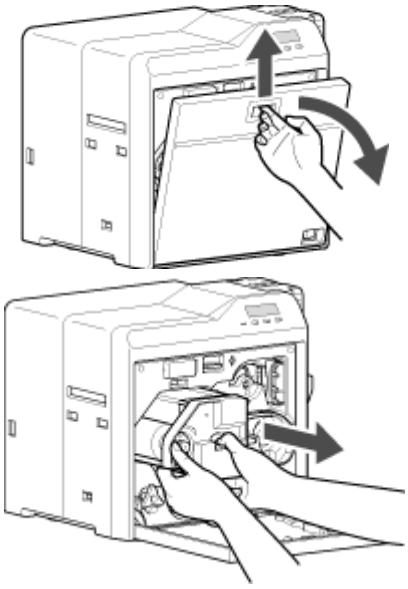
ご注意：

- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カード搬送ローラーおよびヒートローラーを清掃する前に、必ずクリーニングローラーの清掃をしてください。クリーニングローラーが汚れていると、クリーニングカードにクリーニングローラーの汚れが付着し清掃能力が低下する原因となります。
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。



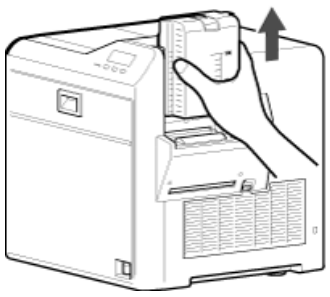
- クリーニングカード挿入時、カードつまりが発生した場合は、電源を入れなおしてください。カードが排出されます。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- クリーニングカードは、1 回のみ使用できます。汚れたカードを何度も使用すると、ローラーの汚れや故障の原因となります。
- 清掃が終了したら、取りはずした部品が元の位置に戻っていることを確認してください。元に戻っていない場合、動作不良の原因となります。
- 別売品については、お買い上げ販売店にご相談ください。

1 プリンタードアを開け、カセットボタンを押しながら再転写フィルムカセット（左側）を取り出す

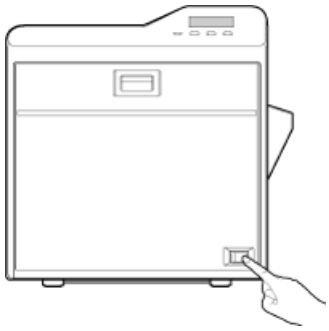


2 プリンタードアを閉める

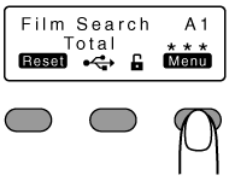
3 カードホッパーを取りはずす



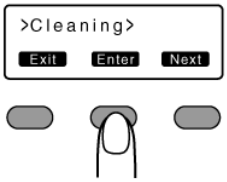
4 電源を入れる



5 Menu を押し、[Cleaning] にする

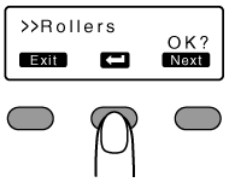


6 Enter を押し、[Rollers] にする



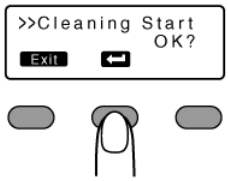
7 ↵ を押す

- [Film Checking..] が表示され、その後 [Cleaning Start OK?] と表示されます。

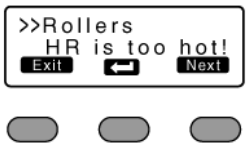


8 クリーニングカード（別売）の剥離紙をはがす

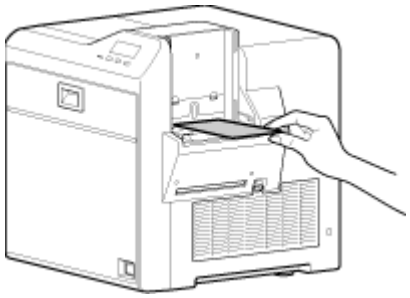
9 ↵を押す
- [Cleaning..] と表示されます。



ご注意：
- 再転写ヒートローラーが熱い場合、[HR is too hot!] が表示されます。電源を切り、再転写ヒートローラーが完全に冷えてから清掃してください。

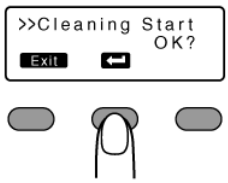


10 20 秒以内にクリーニングカード（別売）を挿入する
- ローラーがカードを引き込み自動で清掃されます。
- カードが排出されると、[Cleaning Start OK?] と表示されます。

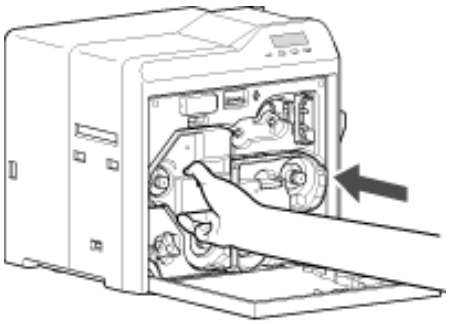


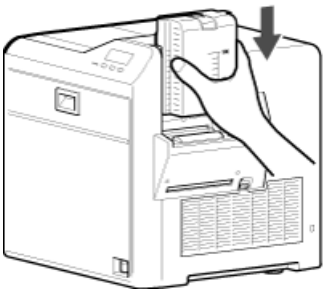
ご注意：
- ↵を押してから、20 秒以内にカードを入れてください。
- ↵を押してから、20 秒経過するとブザーが鳴り、約 10 秒後に [Jam(Hopper)] が表示されエラーになります。
  Reset →↵を押し、エラーを解除してください。
- 標準サイズのカードを挿入した場合は、カードが自動的に NG カード排出口に排出され [Cleaning Start OK?] と表示されます。

11 ↵を押して、再度、クリーニングカードを挿入する
- 粘着面を逆向きにして、挿入してください。



12 クリーニングカードが排出されたら電源を切り、再転写フィルムカセットを取り付けプリンタードアを閉じ、カードホッパーを取り付ける





- 再度、電源を入れるときは、約 10 秒以上たってから入れてください。

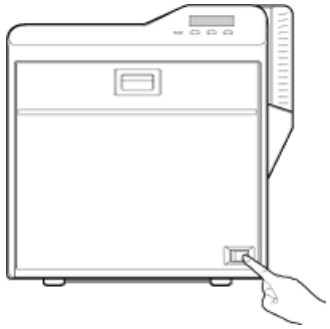
磁気ヘッド

- 磁気ヘッドが汚れると磁気ストライプカードへの書き込み／読み込みがエラーになる原因となります。
- 約 1,000 枚ごとに清掃してください。

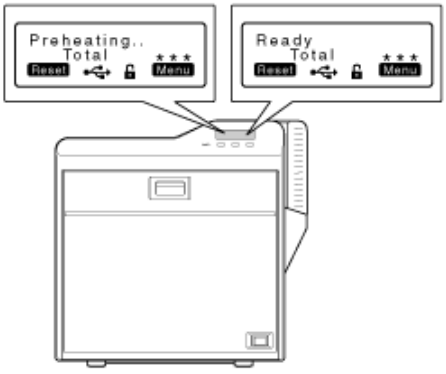
ご注意：

- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- 磁気ヘッドを清掃する前に、必ずクリーニングローラーの清掃をしてください。クリーニングローラーが汚れていると、クリーニングカードにクリーニングローラーの汚れが付着し清掃能力が低下する原因となります。
- 清掃が終了したら、取りはずした部品が元の位置に戻っていることを確認してください。元に戻っていない場合、動作不良の原因となります。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- 別売品については、お買い上げ販売店にご相談ください。
- 磁気ヘッドクリーニングカードが汚れてきた場合は交換してください。汚れたカードを使用するとヘッドを汚し故障の原因となります。

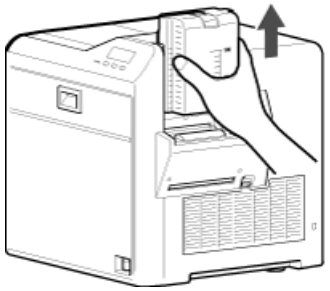
1 電源を入れる



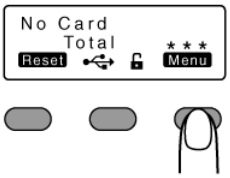
2 プリンターの操作パネルが [Ready] または [Preheating..] と表示されていることを確認する



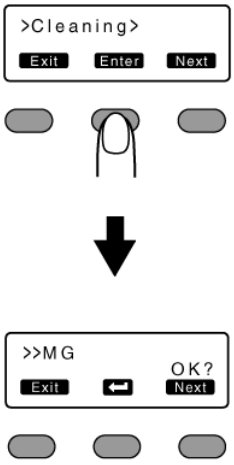
3 カードホッパーを取りはずす



4 Menu を押し、[Cleaning] にする

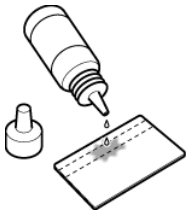


5 Enter → Next を押し、[MG] にする

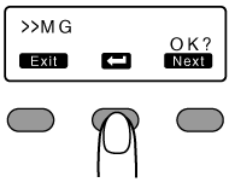


6 磁気ヘッドクリーニングカード（別売）にアルコールを塗布する

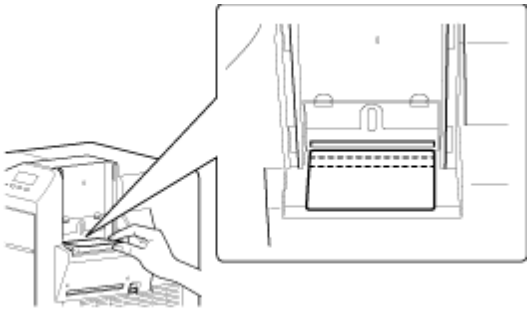
- 磁気ストライプの位置に 3〜4 滴塗布します。



7 ↵ を押す



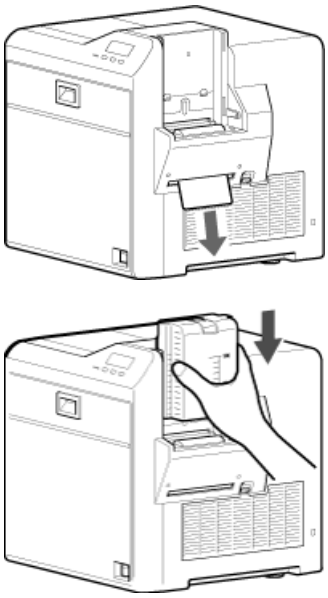
8 20 秒以内に磁気ヘッドクリーニングカードを挿入する



ご注意：

- ↵ を押してから、20 秒以内にカードを入れてください。
- ↵ を押してから、20 秒経過するとブザーが鳴り、約 10 秒後に [Jam(Hopper)] が表示されエラーになります。
  Reset → ↵ を押し、エラーを解除してください。

9 クリーニングカードが排出されたら電源を切り、カードホッパーを取り付ける



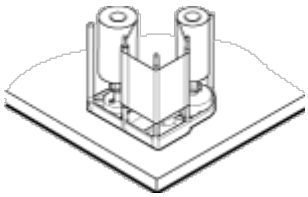
- 再度、電源を入れるときは、約10秒以上たってから入れてください。

ボビンホルダー

- ボビンホルダーにボビンとの摩擦により出た削りかすが付着すると、カードやインクリボン、再転写フィルムなどの上に落ち、印刷不良の原因となります。

ご注意：

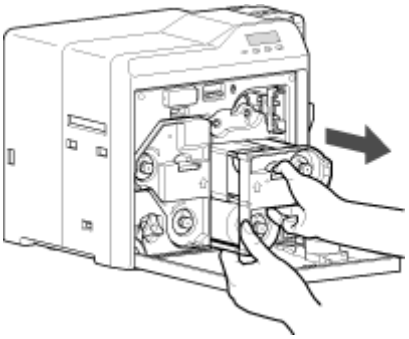
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- 電源が切れていることを確認してから作業してください。
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。



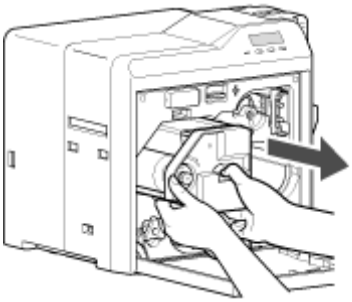
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- インクリボンや再転写フィルムを交換するときは、毎回清掃してください。
- 清掃が終了したら、取りはずした部品が元の位置に戻っていることを確認してください。元に戻っていない場合、動作不良の原因となります。
- 別売品については、お買い上げ販売店にご相談ください。

1 プリンタードアを開ける

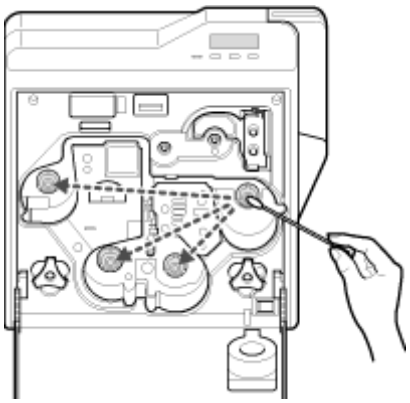
2 カセットボタンを押しながらインクリボンカセット（右側）を取り出す



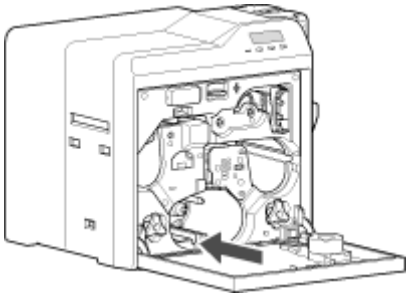
3 カセットボタンを押しながら再転写フィルムカセット（左側）を取り出す

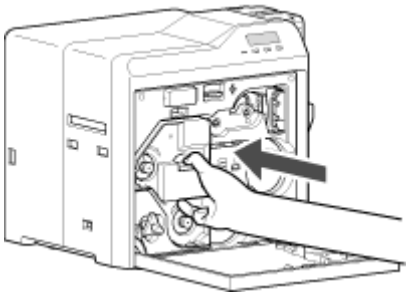


4 綿棒（大）にアルコールを含ませてボビンホルダー（4 か所）を拭く（綿棒、アルコール：別売）

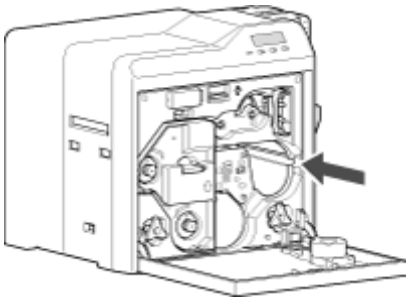


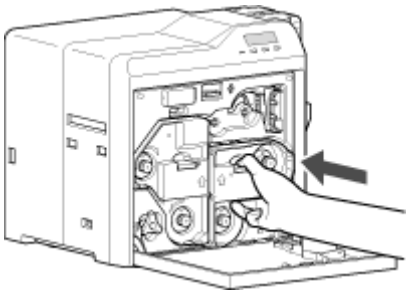
5 再転写フィルムカセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入する





6 インクリボンカセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める



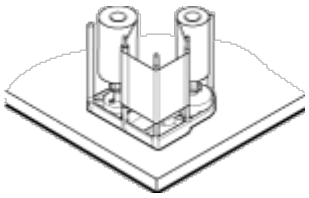


サーマルヘッド

- サーマルヘッドが汚れると、印刷後のカードに線が入る原因となります。
- 約 10,000 画面印刷ごとに清掃してください。

ご注意：

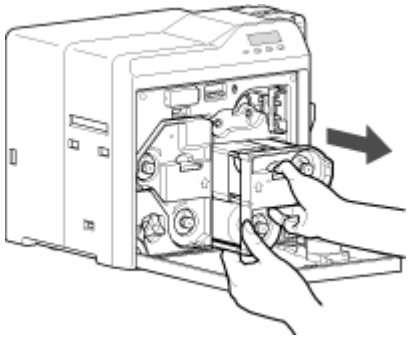
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- 電源が切れていることを確認してから作業してください。
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。



- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- 人体が帯電したまま、サーマルヘッドに触れるとサーマルヘッドが破損することがあります。プリンターの金属部分に触れてから作業をしてください。
- サーマルヘッドに金属などをぶつけないように注意してください。破損の原因となります。
- 清掃が終了したら、取りはずした部品が元の位置に戻っていることを確認してください。元に戻っていない場合、動作不良の原因となります。
- 別売品については、お買い上げ販売店にご相談ください。

1 プリンタードアを開ける

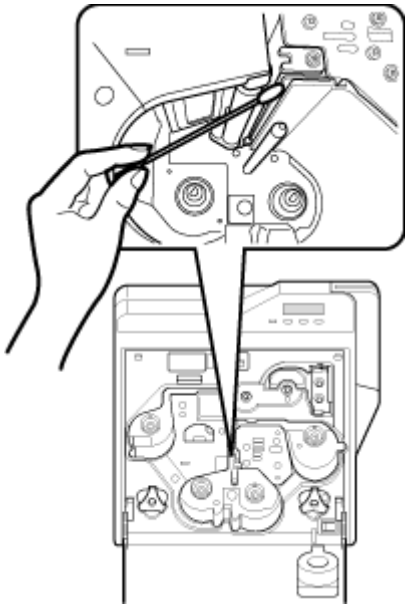
2 カセットボタンを押しながらインクリボンカセット（右側）を取り出す



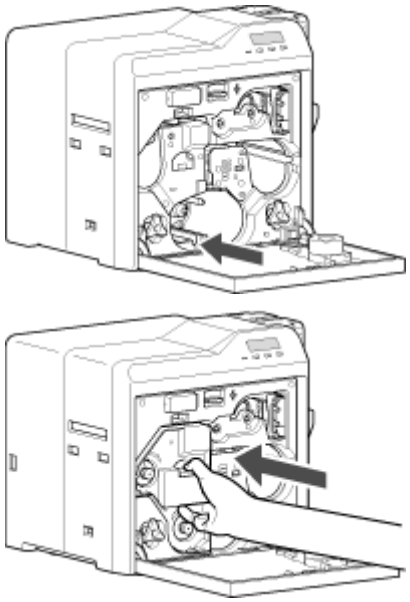
3 カセットボタンを押しながら再転写フィルムカセット（左側）を取り出す

4 綿棒（大）にアルコールを含ませてサーマルヘッドを拭く
（綿棒、アルコール：別売）

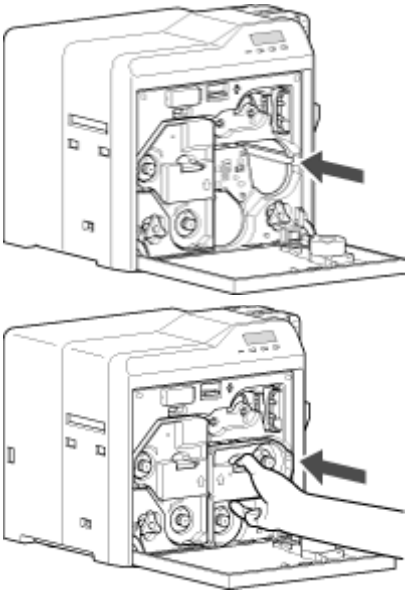
- 水平方向にていねいに拭いてください。



5 再転写フィルムカセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入する



6 インクリボンカセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める



印刷結果から探す

白く抜けたり、汚れが目立つ

- "クリーニングローラーの清掃をしてください。" (☞ 35 ページ)
- "ファンフィルターの清掃をしてください。" (☞ 36 ページ)
- "カード搬送ローラー／ヒートローラーの清掃をしてください。" (☞ 37 ページ)
- "ボビンホルダーの清掃をしてください。" (☞ 40 ページ)

カードがつまる

- "クリーニングローラーの清掃をしてください。" (☞ 35 ページ)
- "給紙ローラーの清掃をしてください。" (☞ 36 ページ)

磁気ストライプカードへの書き込み／読み込みがエラーになる

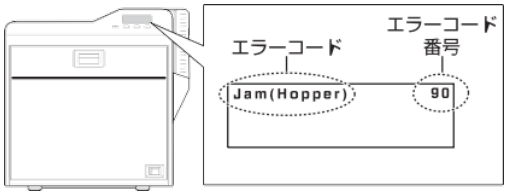
- "磁気ヘッドの清掃をしてください。" (☞ 39 ページ)

印刷後のカードに線が入る

- "サーマルヘッドの清掃をしてください。" (☞ 41 ページ)

エラーが表示された

- 操作パネルに表示されたエラーコードおよびエラーコード番号を確認してください。



エラーコード一覧

- 下記のエラーコード番号をクリックすると、エラー内容へジャンプします。

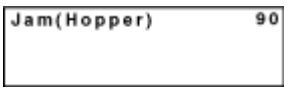
"44" (☞ 45 ページ) "90" (☞ 44 ページ) "91" (☞ 44 ページ)
"92" (☞ 44 ページ) "93" (☞ 44 ページ) "94" (☞ 44 ページ)
"95" (☞ 44 ページ)
"A1" (☞ 44 ページ) "A2" (☞ 44 ページ) "A8" (☞ 44 ページ)
"AB" (☞ 45 ページ) "AC" (☞ 45 ページ)
"B0" (☞ 44 ページ) "B1" (☞ 44 ページ) "B2" (☞ 45 ページ)
"C1" (☞ 45 ページ) "C2" (☞ 45 ページ) "C3" (☞ 45 ページ)
"D1" (☞ 44 ページ) "D8" (☞ 45 ページ)
"F0" (☞ 45 ページ) "F1" (☞ 45 ページ) "F2" (☞ 45 ページ)
"F3" (☞ 45 ページ) "F4" (☞ 45 ページ) "F5" (☞ 45 ページ)
"F6" (☞ 45 ページ) "F8" (☞ 45 ページ)

No Card

- カードがなくなりました。
  "カードを補充してください。" (☞ 31 ページ)
- カードホッパーが装着されていません。
  "カードホッパーを装着してください。" (☞ 63 ページ)

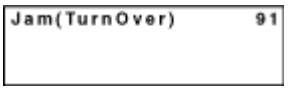
メモ：
- カードがなくなった状態およびカードホッパーが装着されていない状態では、操作パネル表示が点滅します。

Jam(Hopper) 90



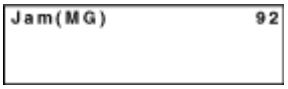
- カードがカードホッパーおよびクリーニングローラー付近につまりました。
  "カードを取り除いてください。" (☞ 46 ページ)

Jam(TurnOver) 91



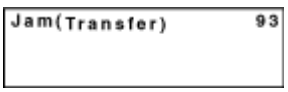
- カードがカード反転機付近につまりました。
  "カードを取り除いてください。" (☞ 47 ページ)

Jam(MG) 92



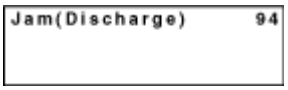
- カードが磁気エンコード部につまりました。
  "カードを取り除いてください。" (☞ 49 ページ)

Jam(Transfer) 93



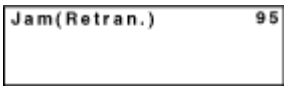
- カードがカード搬送ローラー部につまりました。
  "カードを取り除いてください。" (☞ 50 ページ)

Jam(Discharge) 94



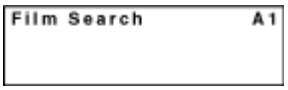
- カードがカード排出口付近につまりました。
  "カードを取り除いてください。" (☞ 51 ページ)

Jam(Retran.) 95



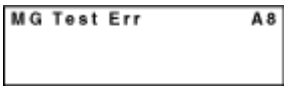
- カードが再転写ヒートローラー付近につまりました。
  "カードを取り除いてください。" (☞ 52 ページ)

Film Search A1



- 再転写フィルムが切れています。
  "再転写フィルムを修復してください。" (☞ 56 ページ)

MG Test Err A8

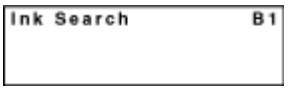


- 磁気エンコーダー自己診断で書き込みエラーが発生しました。
  Reset →↵ を押して、初期化してください。

Ink Error B0

- 不正なインクリボンが装着されています。
  正しいインクリボンを装着してください。

Ink Search B1



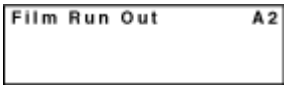
- インクリボンが切れています。
  "インクリボンを修復してください。" (☞ 54 ページ)

Door Open D1

- プリンタードアが開いています。
  プリンタードアを閉めてから Reset →↵ を押して、初期化してください。
- クリーニングユニットが装着されていません。
  クリーニングユニットを装着し、プリンタードアを閉めてから Reset →↵ を押して、初期化してください。

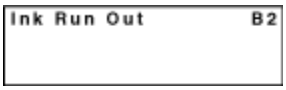
メモ：
- プリンタードアが開いた状態、およびクリーニングユニットが装着されていない状態では、操作パネル表示が点滅します。

Film Run Out A2



- 再転写フィルムがなくなりました。
  "新しい再転写フィルムに交換してください。" (☞ 33 ページ)

Ink Run Out B2

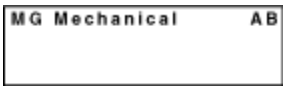


- インクリボンがなくなりました。
"新しいインクリボンに交換してください。" (☞ 32 ページ)

Hardware 44

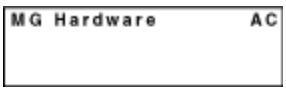
- プリンターでハードウェア障害が発生しました。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

MG Mechanical AB



- 磁気エンコーダーの機構部でエラーが発生しました。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

MG Hardware AC



- 磁気エンコーダーでハードウェア障害が発生しました。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

Cam Error C1

- ヒートローラーの動作不良が発生しました。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

HR Overheat C2

- 反り矯正ヒートローラー、または再転写ヒートローラーの温度が高すぎます。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

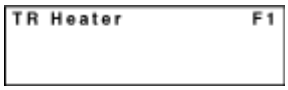
Hardware D8

- 初期化時に、ハードウェアエラーが発生しました。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

TR Overheat F0

- 再転写ヒートローラーの温度が高すぎます。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

TR Heater F1



- 再転写ヒートローラーが故障しています。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

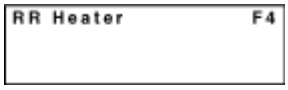
TR Thermister F2

- 再転写ヒートローラーのサーミスターが故障しています。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

RR Overheat F3

- 反り矯正ヒートローラーの温度が高すぎます。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

RR Heater F4

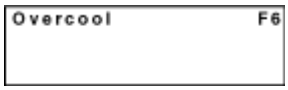


- 反り矯正ユニットが故障しています。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

RR Thermister F5

- 反り矯正ヒートローラーのサーミスターが故障しています。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

Overcool F6

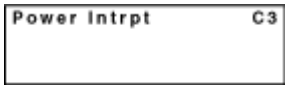


- プリンターの使用環境温度が低すぎます。
"使用環境条件を確認してください。" (☞ 10 ページ)
使用環境条件内の使用で再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

Head Overheat F8

- サーマルヘッドの温度が高すぎます。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

Power Intrpt C3



- 瞬断を検知しました。
電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。

カードについて

カードがなくなった

- "カードを補充してください。" (☞ 31 ページ)

カードがつまった

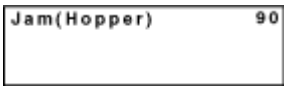
- カードがつまった場所により、操作パネルにエラーコードが表示されます。
- エラーコードを確認し、手順に従ってカードを取り除いてください。

ご注意：

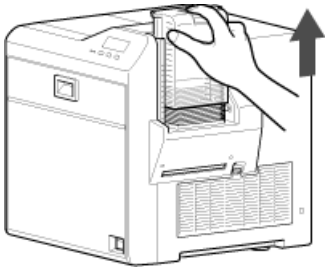
- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カードホッパーを取り扱うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- カードの印刷面を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。カードを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。

エラーコード　Jam(Hopper) 90

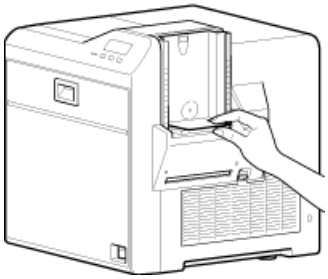
- カードがカードホッパーおよびクリーニングローラー付近につまりました。



1 カードホッパーカバーを取りはずし、未使用のカードを取り除く



2 つまっているカードを手で取り除く



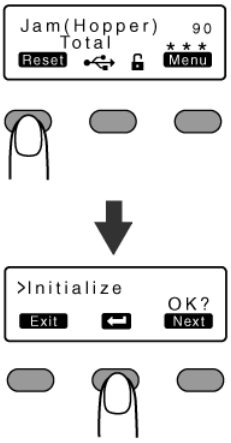
"カードが手で取り除けない場合" (☞ 46 ページ)

3 未使用のカードを元の位置に戻す

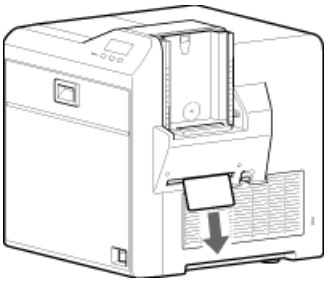
4 カードホッパーカバーを取り付ける

■ カードが手で取り除けない場合

① Reset →↵ を押して、初期化する



- カードが NG カード排出口から排出されます。

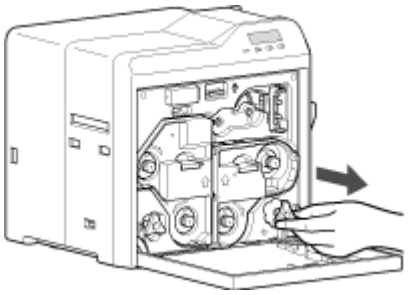


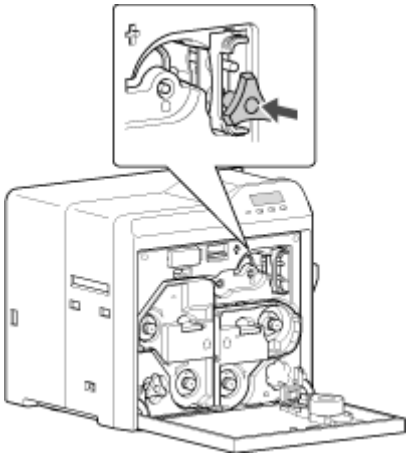
"手順 3 へ" (☞ 46 ページ)
"カードが排出されない場合" (☞ 47 ページ)

■ カードが排出されない場合

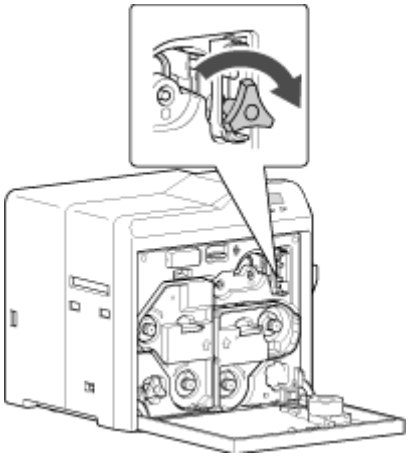
① 電源を切る
② プリンタードアを開け、カードの位置を確認する

③ ジョグダイヤルをクリーニングローラーシャフトに取り付ける





④ カードの位置を確認しながら、クリーニングローラーシャフトを時計回り方向に回す



⑤ カードがカード給紙口から排出されたら取り除く

ご注意：

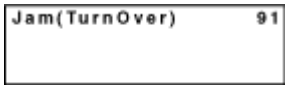
- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

⑥ ジョグダイヤルを元の位置に戻し、プリンタードアを閉める
⑦ 電源を入れる

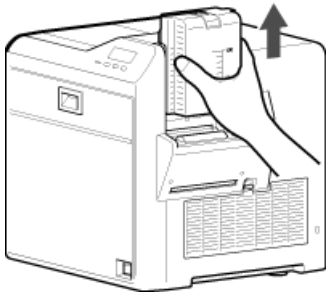
"手順 3 へ" (☞ 46 ページ)

エラーコード　Jam(TurnOver) 91

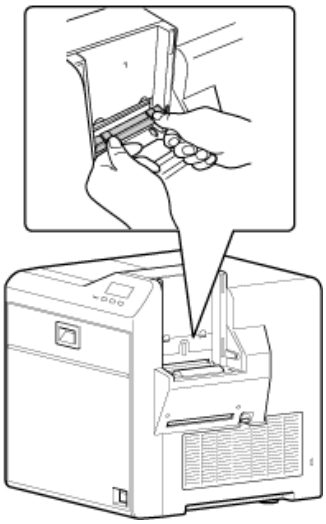
- カードがカード反転機付近につまりました。



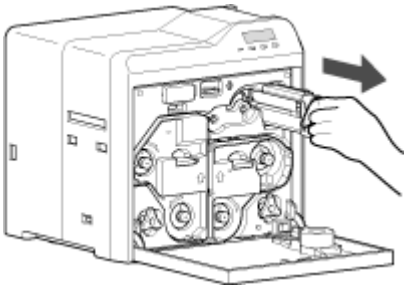
1 電源を切る
2 カードホッパーを取りはずす



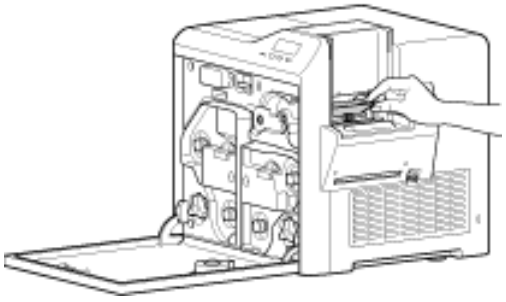
3 カード給紙口カバーを取りはずす



4 プリンタードアを開け、クリーニングユニットを取り出す



5 カード給紙口からカード反転機にあるカードを取り除く

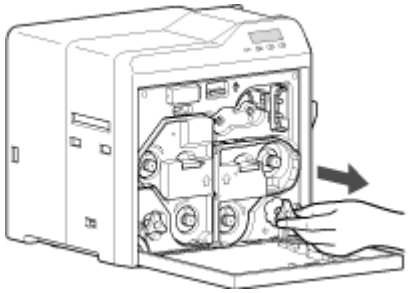


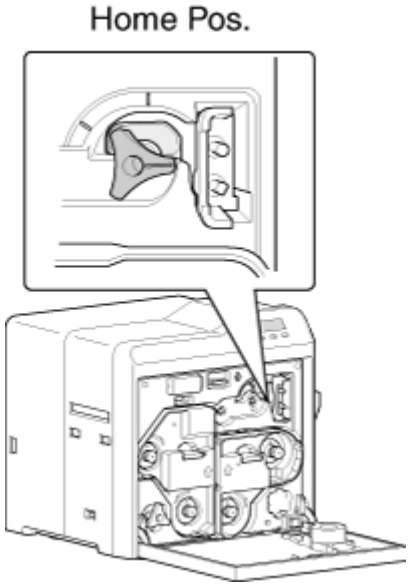
"カードが取り除けない場合" (☞ 48 ページ)

6 クリーニングユニットを取り付ける

7 ジョグダイヤルをカード反転機シャフトに取り付け、カード反転機を "Home Pos." にする

- "Home Pos." とは、ジョグダイヤルのスリットが右側に向き、カード反転機が水平になる位置です。





8 ジョグダイヤルを元の位置に戻す

9 カード給紙口カバーとカードホッパーを取り付け、プリンタードアを閉める

10 電源を入れる

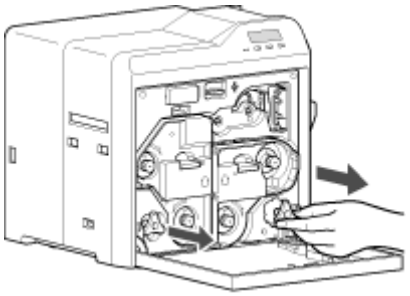
ご注意：

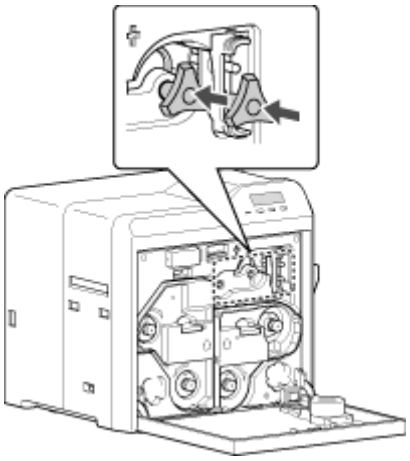
- Jam(TurnOver) が発生したあと、つまっているカードを取り除いても、カード反転機を "Home Pos." にしないと [Jam(TurnOver)] と表示されます。
- Jam(TurnOver) が発生したときにプリンタードアを開けると、[Please Adjust Turn Unit Pos!] と表示されます。つまっているカードを取り除き、カード反転機を "Home Pos." にしてください。

■ カードが取り除けない場合

① クリーニングユニットを取り付ける

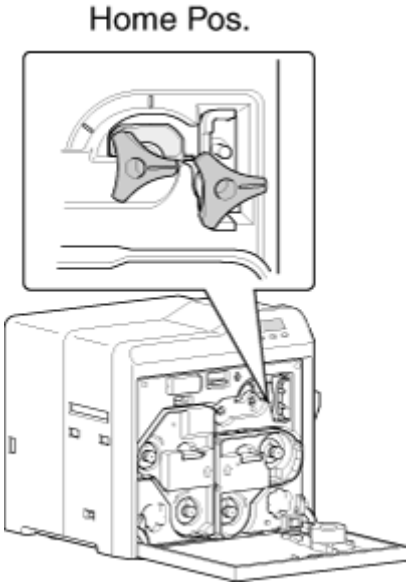
② ジョグダイヤルをクリーニングローラーシャフトと、カード反転機シャフトに取り付ける





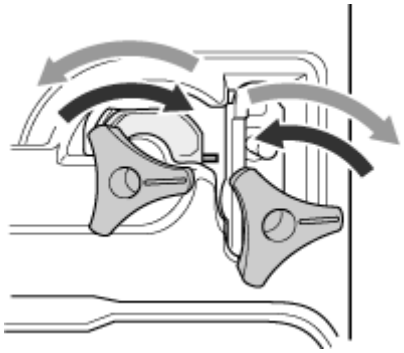
③ カード反転機を "Home Pos." にする

- "Home Pos." とは、ジョグダイヤルのスリットが右側に向き、カード反転機が水平になる位置です。



- カードがカード反転機から、はみ出している場合は、クリーニングローラーシャフトを回し、カードをカード反転機の中へ移動します。

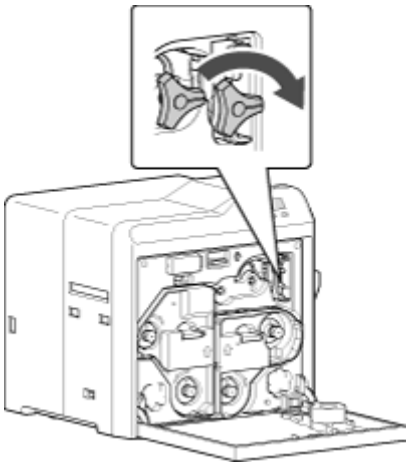
- カード反転機を回転させると、カード反転機内のカードが外に移動します。カードがカード反転機の中に保持されるように、クリーニングローラーシャフトを回しながらカード反転機を回転させ "Home Pos." にします。



ご注意：

- カード反転機が引っかかり回転しない場合は、ジョグダイヤルで無理にカード反転機を回さないでください。
  カード反転機が故障する原因となります。

④ クリーニングローラーシャフトを時計回り方向に回す



⑤ カードがカード給紙口から排出されたら取り除く

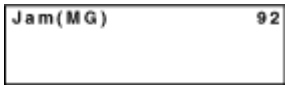
ご注意：

- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

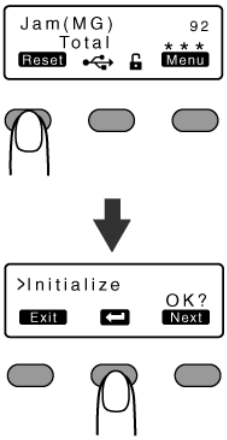
"手順 8 へ" (☞ 48 ページ)

エラーコード　Jam(MG) 92

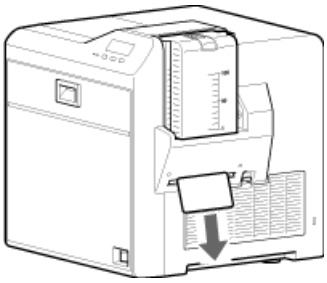
- カードが磁気エンコード部につまりました。



1 Reset →⏎ を押して、初期化する

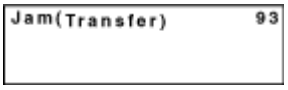


- カードが NG カード排出口から排出されます。

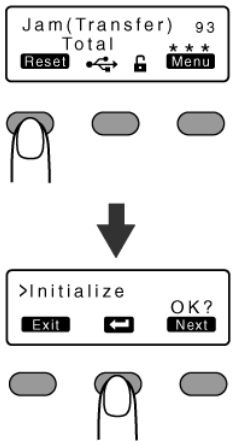


エラーコード　Jam(Transfer) 93

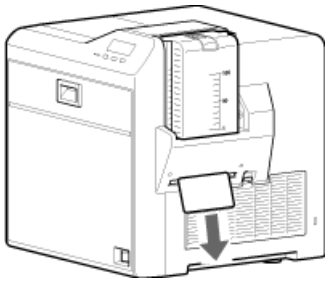
- カードがカード搬送ローラー部につまりました。



1 Reset →↵ を押して、初期化する

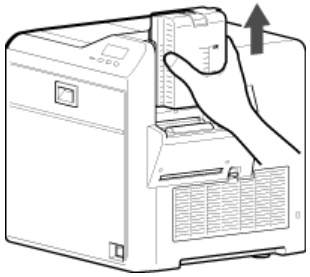


- カードが NG カード排出口から排出されます。

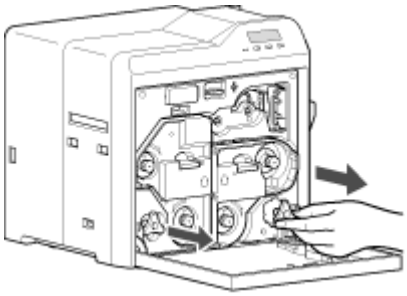


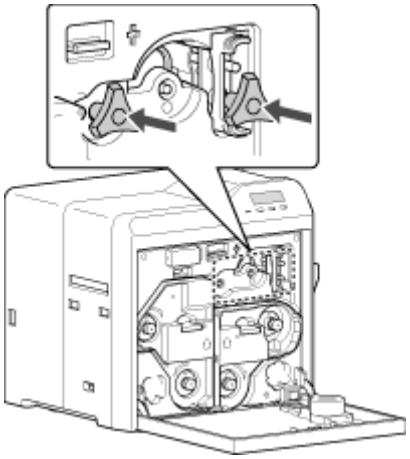
■ カードが排出されない場合

① 電源を切り、カードホッパーを取りはずす

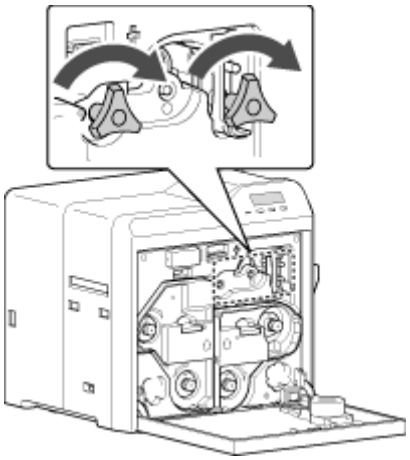


② プリンタードアを開け、カードの位置を確認する
③ ジョグダイヤルをカード搬送ローラーシャフトと、クリーニングローラーシャフトに取り付ける





④ カードの位置を確認しながら、カード搬送ローラーシャフトとクリーニングローラーシャフトを時計回り方向に回す



- カードがカード給紙口から排出されたら取り除きます。（片面印刷機の場合は、カードが NG カード排出口から排出されます。）

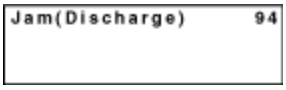
ご注意：

- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

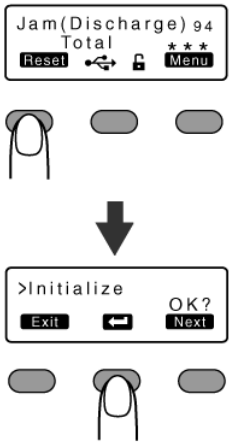
⑤ ジョグダイヤルを元の位置に戻す
⑥ カードホッパーを取り付けてプリンタードアを閉める
⑦ 電源を入れる

エラーコード　Jam(Discharge) 94

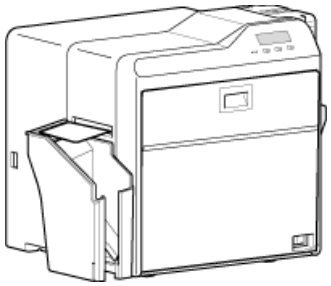
- カードがカード排出口付近につまりました。



1 Reset →⏎ を押して、初期化する



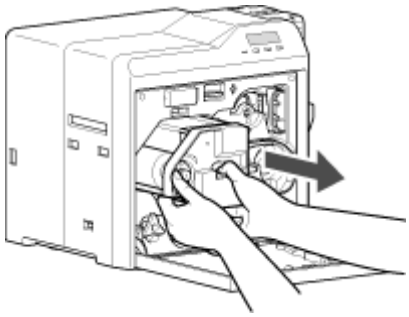
- カードがカード排出口から排出されます。



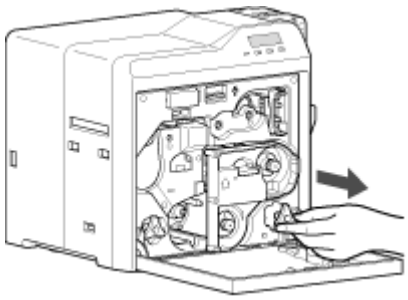
■ カードが排出されない場合

① 電源を切り、プリンタードアを開ける

② 再転写フィルムカセットを引き出し、カードの位置を確認する



③ ジョグダイヤルをカード搬送ローラーシャフトに取り付ける



④ カードの位置を確認しながら、カード搬送ローラーシャフトを反時計回り方向に回す

- カードがカード排出口から排出されます。

ご注意：

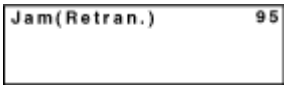
- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

⑤ ジョグダイヤルを元の位置に戻し、再転写フィルムカセットを取り付ける

⑥ プリンタードアを閉め、電源を入れる

エラーコード　Jam(Retran.) 95

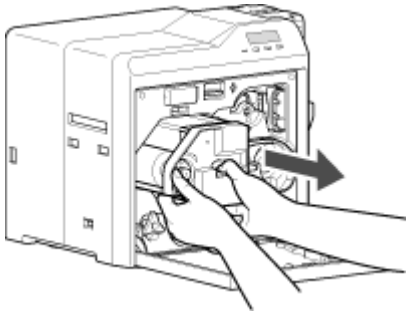
- カードが再転写ヒートローラー付近につまりました。



1 プリンタードアを開ける

- [Please Remove Jam Card!] または [Please Close Door] が表示されます。

2 再転写フィルムカセットを引き出す



ご注意：

- カードが再転写フィルムに貼り付いている場合があります。再転写フィルムが引っかからないようにゆっくりと引き出してください。
- [Please Close Door] が表示された場合は、再転写フィルムがはさまり、再転写フィルムカセットが引き出せません。
  一度、プリンタードアを閉めてから再転写フィルムカセットを引き出してください。

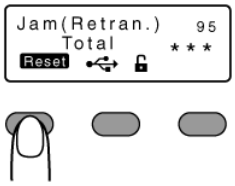
3 カードを取り除く

"カードが再転写フィルムに貼り付いている場合" (☞ 52 ページ)
"カードがプリンター本体の中にある場合" (☞ 53 ページ)
"再転写ヒートローラーの右側のカード搬送ローラーにはさまっている場合" (☞ 53 ページ)
"再転写ヒートローラーの左側のカード搬送ローラーにはさまっている場合" (☞ 54 ページ)

4 再転写フィルムカセットを取り付け、プリンタードアを閉める

5 Reset を押す

- [Jam Card Removed?] が表示されます。

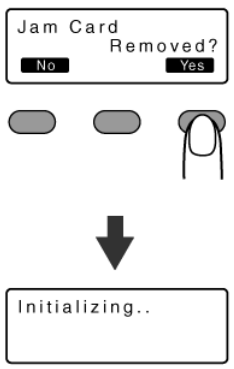


6 Yes を押す

ご注意：

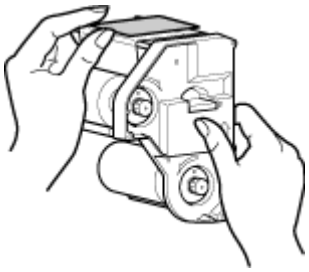
- カードを取り除かずにプリンターを初期化すると、故障の原因となります。必ずカードを取り除いてから Yes を押してください。

- [Initializing..] が表示され、プリンターが初期化されます。



■ カードが再転写フィルムに貼り付いている場合

- カードを手で取り除きます。



ご注意：

- カードが熱くなっている場合があります。カードを取り除くときは、火傷に注意してください。

"手順 4 へ" (☞ 52 ページ)

■ カードがプリンター本体の中にある場合

- カード搬送ローラーにはさまらずに中に残ってしまった場合は、カードピックアップ（付属品）を使ってカードを取り除きます。

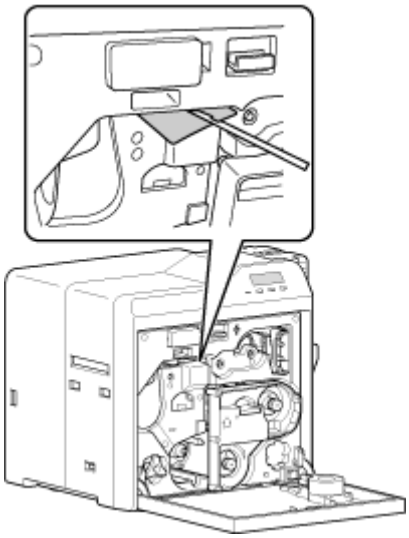
① 電源を切る

② プリンターの中に残されたカードの位置を確認する

③ カードピックアップ（付属品）の先端でカードをはさみこむ

- カードをプリンターの中に落とさないように注意してください。

④ カードをはさんだまま落とさないようにゆっくり引き出す



ご注意：

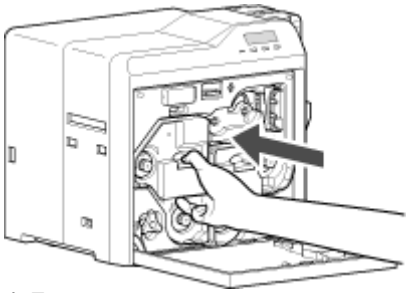
- カードが熱くなっている場合があります。カードを取り除くときは、火傷に注意してください。
- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

メモ：

はさみ方の見本

- 上の図を参考にカードをはさみ込んでください。

⑤ 再転写フィルムカセットを取り付け、プリンタードアを閉める

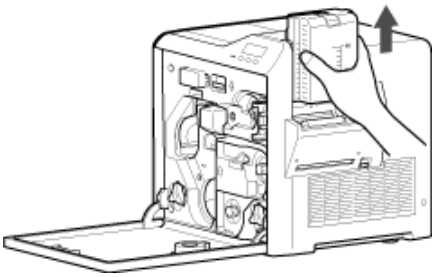


⑥ 電源を入れる

"手順 5 へ" (☞ 52 ページ)

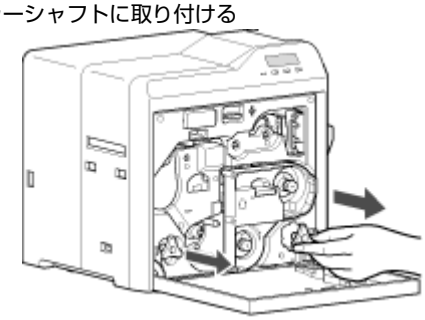
■ 再転写ヒートローラーの右側のカード搬送ローラーにはさまっている場合

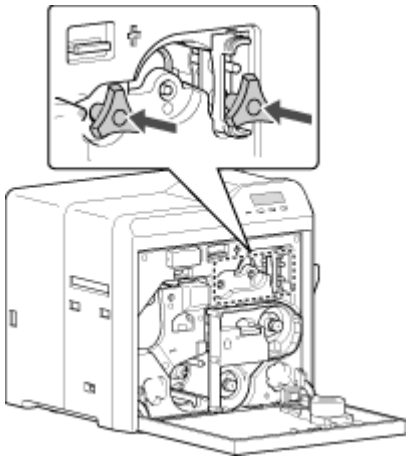
① 電源を切り、カードホッパーを取りはずす



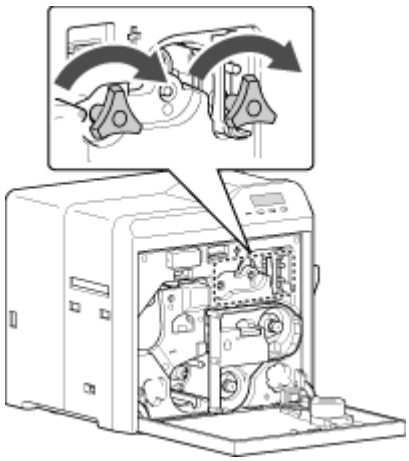
② カードの位置を確認する

③ ジョグダイヤルをカード搬送ローラーシャフトと、クリーニングローラーシャフトに取り付ける





④ カードの位置を確認しながら、カード搬送ローラーシャフトとクリーニングローラーシャフトを時計回り方向に回す



- カードがカード給紙口から排出されたら取り除きます。（片面印刷機の場合は、カードが NG カード排出口から排出されます。）

ご注意：

- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

⑤ ジョグダイヤルを元の位置に戻し、カードホッパーを取り付ける

⑥ 再転写フィルムカセットを取り付け、プリンタードアを閉める

⑦ 電源を入れる

"手順 5 へ" (☞ 52 ページ)

■ 再転写ヒートローラーの左側のカード搬送ローラーにはさまっている場合

① 電源を切る
② カードの位置を確認する
③ ジョグダイヤルをカード搬送ローラーシャフトに取り付ける

④ カードの位置を確認しながら、カード搬送ローラーシャフトを反時計回り方向に回す

- カードがカード排出口から排出されます。

ご注意：

- カードが取り除けない場合は、無理に取り除かずにお買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。

⑤ ジョグダイヤルを元の位置に戻す
⑥ 再転写フィルムカセットを取り付け、プリンタードアを閉める
⑦ 電源を入れる

"手順 5 へ" (☞ 52 ページ)

インクリボンについて

インクリボンがなくなった

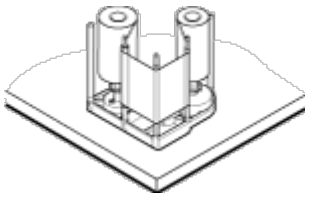
- "インクリボンを交換してください。" (☞ 32 ページ)

インクリボンが切れた

- インクリボンを修復してください。

ご注意：

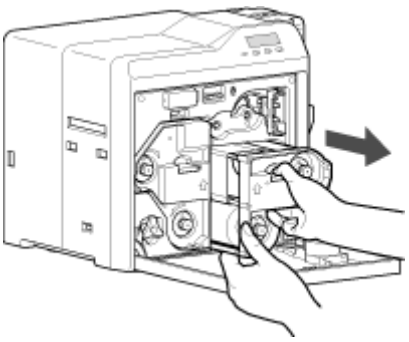
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。



- インク面（取り付けたときに外側になる面）を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。インクリボンを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- インクリボンを装着したカセットは重いので、カセットを取り扱うときは、落とさないように両手で持って作業してください。
- 使用中のインクリボンは、カセットのシールに記載してある矢印に、未使用のイエロー面がくるように取り付けてください。イエロー面の位置がずれると、印刷が薄くなる原因となります。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- 交換時は、プリンター本体のボビンホルダー（4 か所）を清掃してください。ボビンホルダーにボビンとの摩擦により出た削りかすが付着すると、カードやインクリボン、再転写フィルムなどの上に落ち、印刷不良の原因となります。
  "ボビンホルダー" (☞ 40 ページ)

1 プリンタードアを開ける

2 カセットボタンを押しながらインクリボンカセット（右側）を引き出す

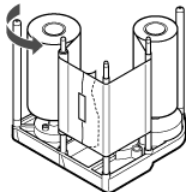


3 切断箇所をハサミで切り取り、供給側の未使用部分と巻き取り側を段差がないようにセロハンテープで貼る

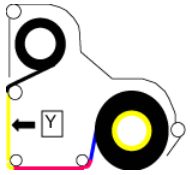
ご注意：

- 巻き取り側の使用済みインクリボンは捨てないでください。

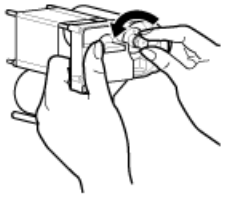
4 巻き取り側を手で回し、切断箇所が見えなくなるまで巻き取る



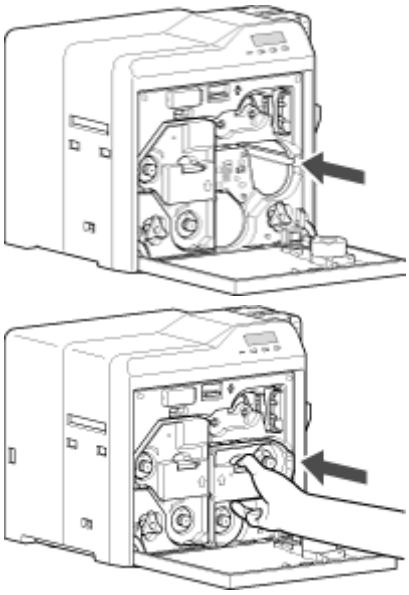
- カセットのシールに記載してある矢印に、未使用のイエロー面を合わせてください。



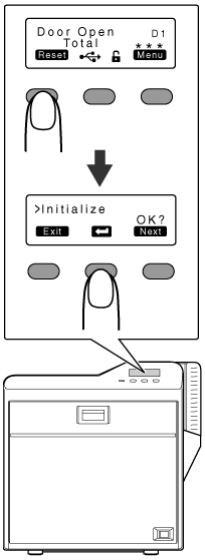
5 インクリボンの巻きだるみを取る



6 カセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める



7 Reset →⏎ を押して、初期化する



メモ：

- 印刷不良を避けるため、インクリボンカセットおよび再転写フィルムカセットを取り付けたあとは、1 画面分または 2 画面分を先送りすることをお勧めします。

"カセット取り付け時の初期化" (☞ 22 ページ)

再転写フィルムについて

再転写フィルムがなくなった

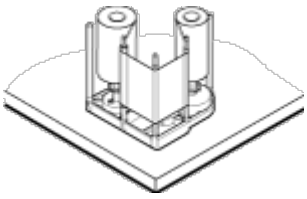
- "再転写フィルムを交換してください。" (☞ 33 ページ)

再転写フィルムが切れた

- 再転写フィルムを修復してください。

ご注意：

- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。

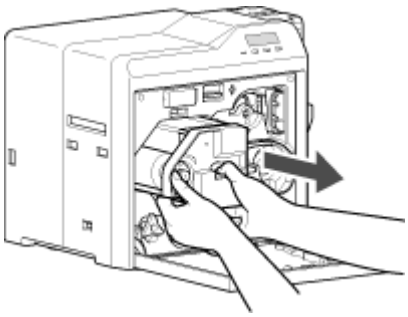


- 再転写面（取り付けたときに外側になる面）を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。再転写フィルムを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- 再転写フィルムを装着したカセットは重いので、カセットを取り扱うときは、落とさないように両手で持って作業してください。
- 使用中の再転写フィルムは、カセットのシールに記載してある矢印に、未使用のフィルム面がくるように取り付けてください。位置がずれていると、エラーや印刷が薄くなる原因となります。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。
- 交換時は、プリンター本体のボビンホルダー（4 か所）を清掃してください。ボビンホルダーにボビンとの摩擦により出た削りかすが付着すると、カードやインクリボン、再転写フィルムなどの上に落ち、印刷不良の原因となります。

"ボビンホルダー" (☞ 40 ページ)

1 プリンタードアを開ける

2 カセットボタンを押しながら再転写フィルムカセット（左側）を引き出す

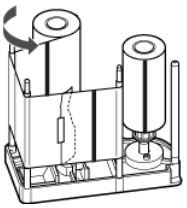


3 切断箇所をハサミで切り取り、供給側の未使用部分と巻き取り側を段差がないようにセロハンテープで貼る

ご注意：

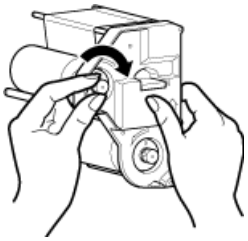
- 巻き取り側の使用済み再転写フィルムは捨てないでください。

4 巻き取り側を手で回し、切断箇所が見えなくなるまで巻き取る

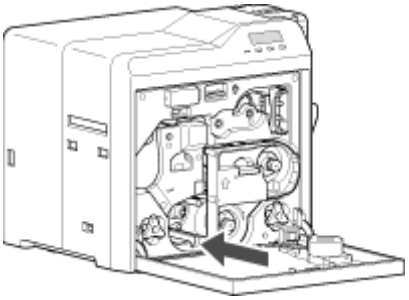


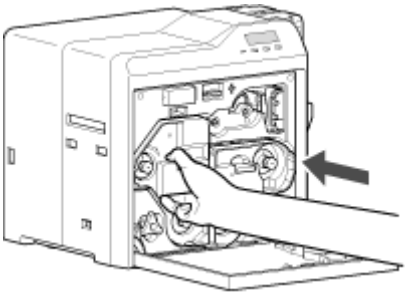
- カセットのシールに記載してある矢印に、未使用のフィルム面を合わせてください。

5 再転写フィルムの巻きだるみを取る

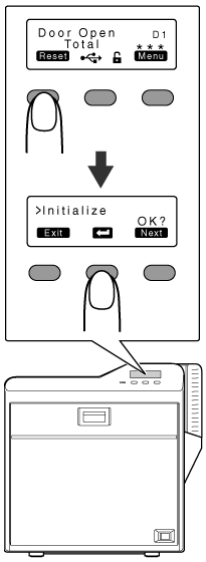


6 カセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める





7 Reset →⏎ を押して、初期化する



メモ：

- 印刷不良を避けるため、インクリボンカセットおよび再転写フィルムカセットを取り付けたあとは、1 画面分または 2 画面分を先送りすることをお勧めします。

"カセット取り付け時の初期化" (☞ 22 ページ)

再転写フィルムカセットがプリンターに入らない

- プリンタードアを閉めた状態で、電源を入れ、輸送モードを解除してください。
- 輸送モード設定時は、再転写フィルムを取り付けたまま再転写フィルムカセットをプリンターに装着することはできません。

"輸送モードの設定" (☞ 29 ページ)

思ったとおりの印刷結果にならない

印刷後のカードに線が入る

- "サーマルヘッドの清掃をしてください。" (☞ 41 ページ)

印刷後のカードが白く抜ける

- "クリーニングローラーの清掃をしてください。" (☞ 35 ページ)
- "ファンフィルターの清掃をしてください。" (☞ 36 ページ)
- "カード搬送ローラー／ヒートローラーの清掃をしてください。" (☞ 37 ページ)
- "ボビンホルダーの清掃をしてください。" (☞ 40 ページ)

印刷後のカードにはがれが発生する

- "再転写モードの設定を確認してください。" (☞ 113 ページ)

全体的にきれいに印刷されない

- "クリーニングローラーの清掃をしてください。" (☞ 35 ページ)
- "ファンフィルターの清掃をしてください。" (☞ 36 ページ)
- "カード搬送ローラー／ヒートローラーの清掃をしてください。" (☞ 37 ページ)
- "ボビンホルダーの清掃をしてください。" (☞ 40 ページ)
- カードの表面が汚れていませんか？

汚れのないカードをご使用ください。

単色で印刷される

- 印刷設定で単色指定されていませんか？
- アプリケーション・ソフトウェアの設定が単色印刷になっていませんか？

印刷設定を確認してください。

意味不明の文字や画像が印刷される

- コンピューター側で本機のプリンタードライバーを選んでいますか？

本機のプリンタードライバーを選んでください。

- USB ケーブルがはずれかかっていませんか？

USB ケーブルをしっかり差し込んでください。

再転写がうまくされない

- カードの印刷面が汚れていませんか？

汚れのないカードをご使用ください。

- 周囲の温度、またはカード表面の温度が低くありませんか？

十分に本機とカードが暖まってからご使用ください。

"使用環境条件を確認してください。" (☞ 10 ページ)

- 再転写の速度設定が早くありませんか？

標準（+2）よりマイナスの値（+1～-3）にしてください。

- 再転写ヒートローラーの温度が低くありませんか？

標準（+1）よりプラスの値（+2）にしてください。

思ったとおりに動作しない

カードが給紙されない

- 給紙ローラーが汚れていませんか？

"給紙ローラーの清掃をしてください。" (☞ 36 ページ)

- クリーニングローラーが汚れていませんか？

"クリーニングローラーの清掃をしてください。" (☞ 35 ページ)

- カードの厚さ調整は正しいですか？

"カードの厚さ調整を確認してください。" (☞ 63 ページ)

- カード同士が貼り付いていませんか？

新しいカードを使用するときは、静電気などでカード同士が互いに貼り付いていないことを十分確認してからセットしてください。

電源が入らない

- 電源スイッチが切りになっていませんか？（O の位置）

電源スイッチを入れてください。（| の位置）

- 電源コードがはずれていませんか？

電源コードをしっかり差し込んでください。

- コンセントに電気が来ていますか？

コンセントに他の電気製品を接続してみてください。正常に動作する場合は、プリンターの故障が考えられます。お買い上げ販売店にご相談ください。

印刷が始まらない／途中で止まる

- プリンタードアが開いていませんか？

"プリンタードアをしっかり閉め、初期化してください。" (☞ 22 ページ)

- コンピューターと接続されていますか？

コンピューターとプリンターを USB ケーブル／LAN ケーブルで正しく接続してください。

- 使用している USB ケーブルの全長が長すぎませんか？

USB ケーブルは 2m 以内で使用することをお勧めします。

- カードはセットしましたか？

"カードを正しくセットしてください。" (☞ 31 ページ)

- インクリボンは取り付けてありますか？

"インクリボンを正しく取り付けてください。" (☞ 32 ページ)

- 再転写フィルムは取り付けてありますか？

"再転写フィルムを正しく取り付けてください。" (☞ 33 ページ)

- 本機のプリンタードライバーを選んでいますか？

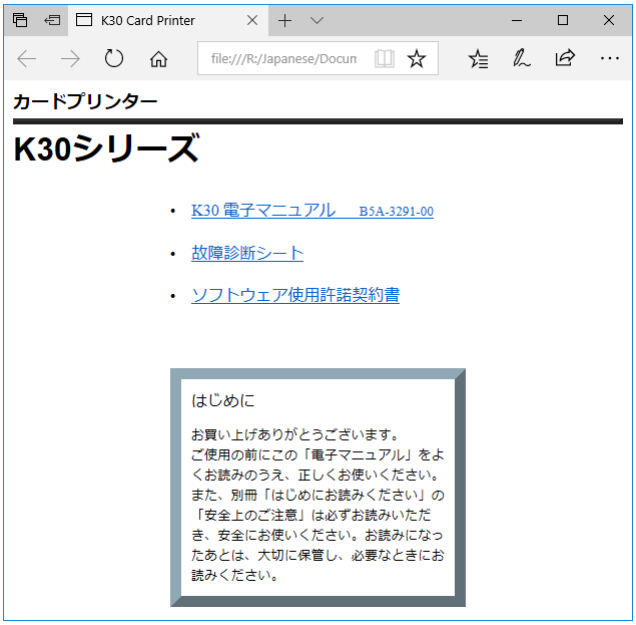
本機のプリンタードライバーを選んでください。

修理を依頼する前に

故障診断シートに症状をご記入ください。

1 付属の CD-ROM から電子マニュアルを開くか、インストールした電子マニュアルを開いてください。

インストーラーについて(☞ 65 ページ)
電子マニュアルのインストール (☞ 76 ページ)



2 ［故障診断シート］をクリックすると PDF ファイルが表示されます。

3 PDF ファイルを印刷してご記入ください。

設置・接続

プリンターの設置について

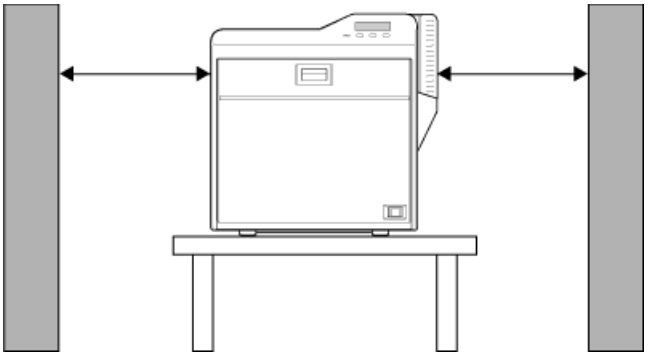
ご注意：

- 使用環境範囲外で使用すると、転写不良や印刷不良の原因となります。「設置場所についてのご注意」、「使用環境条件」を確認してください。

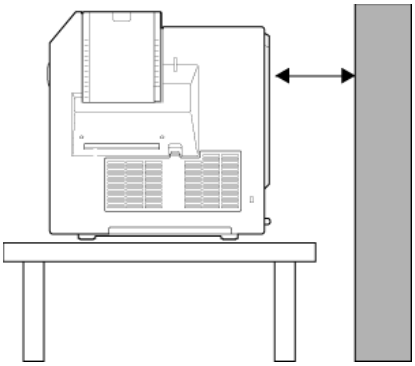
"設置場所についてのご注意" (☞ 6 ページ)
"使用環境条件" (☞ 10 ページ)

プリンターの背面および側面に冷却ファン用通風孔があります。

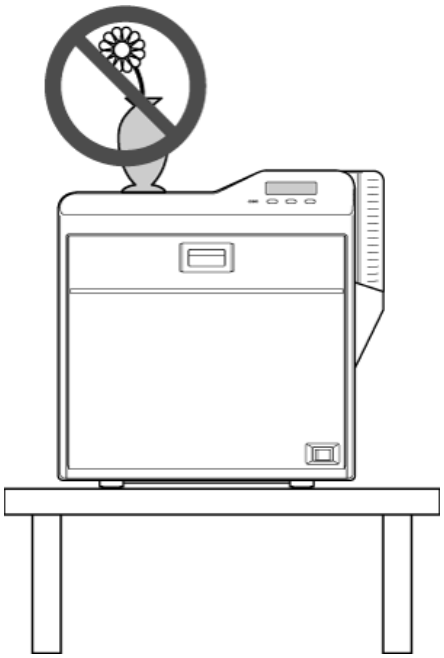
- 側面は、周囲の壁から 20cm 以上離して設置してください。



- 背面は周囲の壁から 10cm 以上離してください。

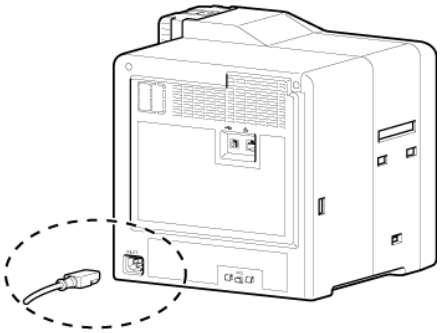


- プリンターの上面に物を置かないでください。



電源コードの接続について

1 電源コード（付属品）をプリンター背面の電源入力端子に差し込む



2 コンセントに電源コード（付属品）を差し込む

メモ：

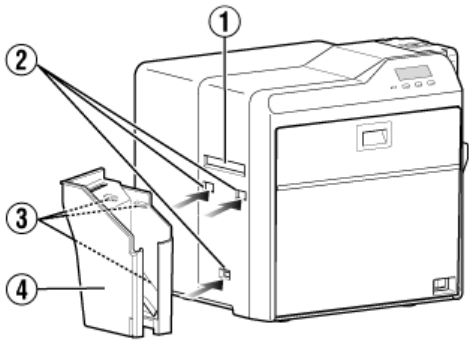
- 電圧変動の可能性がある場合は、AVR（安定化電源）を使用してください。また、瞬時停電の可能性がある場合には、AVR の代わりに無停電電源をご使用になることをお勧めします。

ご注意：

- 電源コンセントは、必ずアース端子付き専用電源を使用してください。
- プリンターの電源コードは直接コンセントに差し込み、他の装置とは絶対に共用しないでください。

カードスタッカー（付属品）について

1 カードスタッカーのツメをカードスタッカー取り付け口に引っかける



① カード排出口
② カードスタッカー取り付け口
③ ツメ
④ カードスタッカー

メモ：

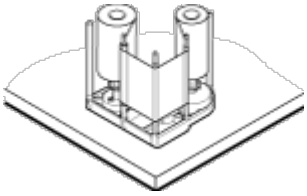
- カードスタッカーには、0.76mm 厚のカードを約 100 枚収納することができます。

印刷メディアについて

インクリボンを取り付ける

ご注意：

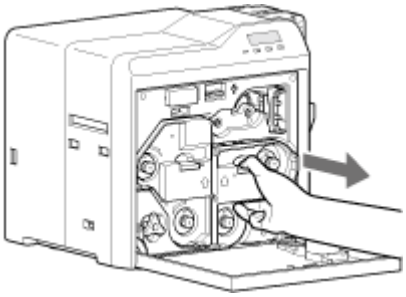
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。



- インク面（取り付けたときに外側になる面）を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。インクリボンを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- インクリボンを装着したカセットは重いので、カセットを取り扱うときは、落とさないように両手で持って作業してください。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。

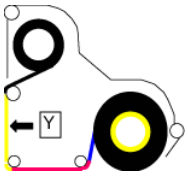
1 プリンタードアを開ける

2 カセットボタンを押しながらインクリボンカセット（右側）を引き出す

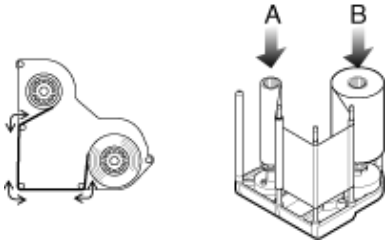


3 新しいインクリボンを取り付ける

- カセットのシールに記載してある表示を参考にしてください。

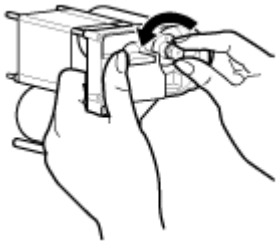


① インク面を外側にし、未使用のイエロー面をカセットの矢印に合わせ 3 本のシャフトに沿って広げます。
② インクリボンがガイドの内側に収まるように、ボビンホルダーに最後までしっかり差し込みます。
- A：巻き取り側（黒色）
- B：未使用側（黄色）

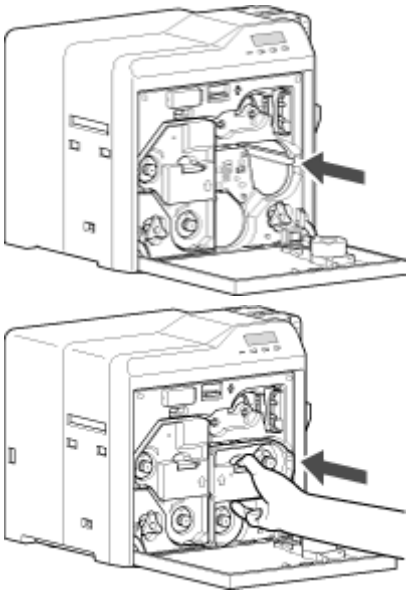


4 インクリボンの巻きだるみを取る

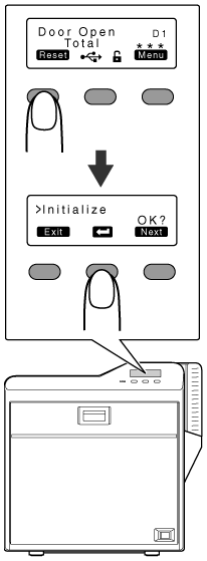
① カセットを支えます。
② ツマミを矢印の方向に回転させます。



5 カセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める



6 Reset →↵ を押して、初期化する



メモ：

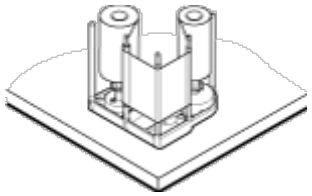
- 印刷不良を避けるため、インクリボンカセットおよび再転写フィルムカセットを取り付けたあとは、1 画面分または 2 画面分を先送りすることをお勧めします。

"カセット取り付け時の初期化" (☞ 22 ページ)

再転写フィルムを取り付ける

ご注意：

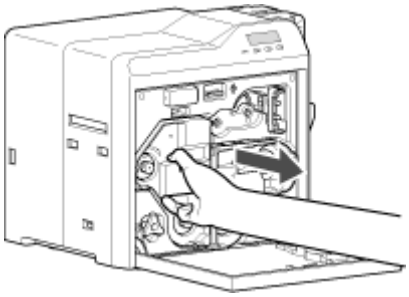
- カセットは、図のように平らな場所に立てて置いてください。床などに触れるとゴミなどが付着し、印刷不良の原因となります。



- 再転写面（取り付けたときに外側になる面）を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。再転写フィルムを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- 再転写フィルムを装着したカセットは重いので、カセットを取り扱うときは、落とさないように両手で持って作業してください。
- 新しいフィルムを取り付けるときは、巻き取り側に黒線を 3 本以上巻き取ってください。十分に巻き取らないと故障の原因となります。
- プリンタードアの上で作業しないでください。また、重いものを載せたり負荷をかけないでください。破損の原因となります。

1 プリンタードアを開ける

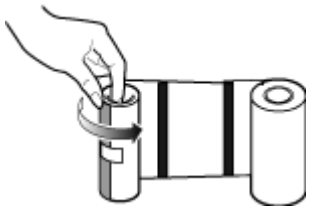
2 カセットボタンを押しながら再転写フィルムカセット（左側）を引き出す



3 新しい再転写フィルムを取り付ける

- カセットのシールに記載してある表示を参考にしてください。

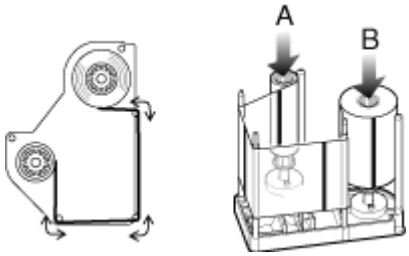
① 巻き取り側に黒線 3 本分以上の再転写フィルムを巻き取ります。



② 再転写面を外側にし、未使用の面をカセットの矢印に合わせて 3 本のシャフトに沿って広げます。

③ 再転写フィルムがガイドの内側に収まるように、ボビンホルダーに最後までしっかり差し込みます。

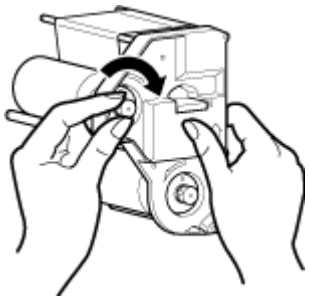
- A：巻き取り側（黒色）
- B：未使用側（緑色）



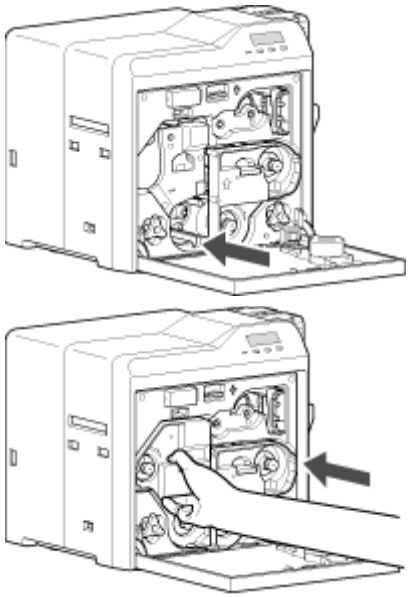
4 再転写フィルムの巻きだるみを取る

① 再転写フィルムカセットを支えます。

② ツマミを矢印の方向に回転させます。



5 カセットをガイドレールに沿って「カチッ」と音がするまで挿入し、プリンタードアを閉める

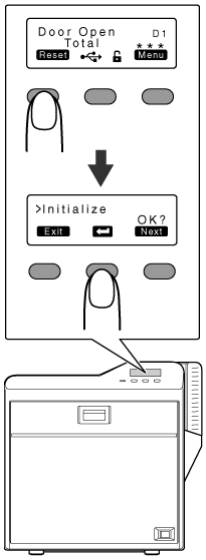


ご注意：

- 輸送モード設定時は、再転写フィルムを取り付けたまま再転写フィルムカセットをプリンターに装着することはできません。プリンタードアを閉めた状態で電源を入れ、輸送モードを解除してください。

"輸送モードの設定" (☞ 29 ページ)

6 Reset →↵ を押して、初期化する



メモ：

- 印刷不良を避けるため、インクリボンカセットおよび再転写フィルムカセットを取り付けたあとは、1 画面分または 2 画面分を先送りすることをお勧めします。

"カセット取り付け時の初期化" (☞ 22 ページ)

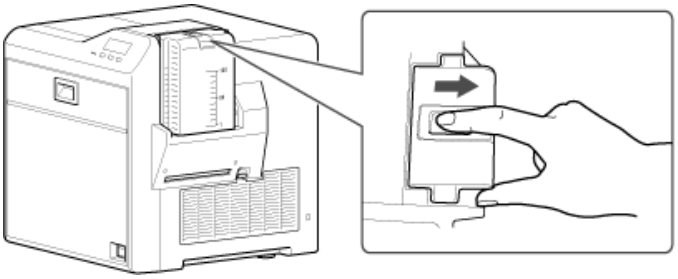
カードをセットする

- カードホッパーには、0.76mm 厚のカードを約 100 枚収納することができます。

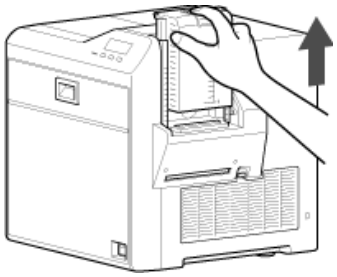
ご注意：

- お買い上げ販売店の指定カードを用意してください。
- セキュリティロックが施錠されている場合は、セキュリティロックを開錠してください。作業終了後、再度セキュリティロックを施錠してください。
- カードの印刷面を手で触らないでください。印刷不良の原因となります。カードを取り扱うときは、付属の手袋をご使用ください。
- カードホッパーに収納するカードは、カードつまりを避けるためカードの厚さに関係なく 100 枚程度を目安にしてください。
- 新しいカードを使用するときは、静電気などでカード同士が互いに貼り付いていないことを十分確認してからセットしてください。
- カードは揃えてセットしてください。カードホッパーカバーが閉まらず、破損の原因となります。
- 磁気ストライプ面への印刷は、印刷不良が発生したり、カードの機能を損なうことがあります。印刷する場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- 両方の機能（磁気ストライプ、接触 IC）があるカードをセットする場合は、接触 IC カードのセット方法でセットしてください。

1 カードホッパーノブを[OPEN]にする



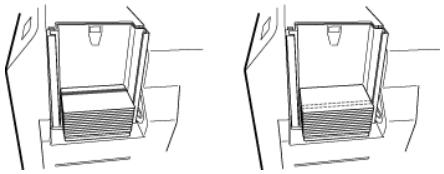
2 カードホッパーカバーを引き上げて取りはずす



3 カードの向きを合わせてセットする

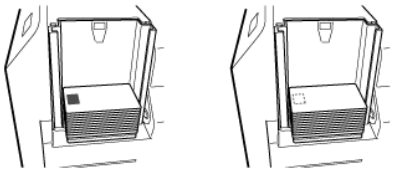
■ 磁気ストライプカードの場合

- 磁気ストライプがプリンター側の上面、またはプリンター外側の下面になるようにセットします。



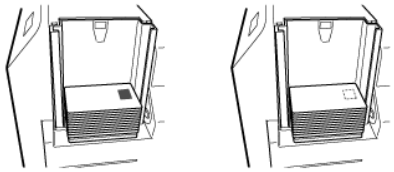
■ JIS 接触 IC カードの場合

- IC 端子がプリンター前面側の上面、または IC 端子がプリンター前面側の下面になるようにセットします。
- 片面印刷機の場合は、IC 端子がプリンター前面側の下面になるようにセットします。

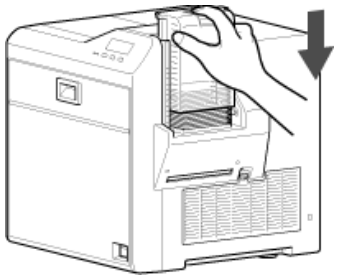


■ ISO 接触 IC カードの場合

- IC 端子がプリンター背面側の上面、または IC 端子がプリンター背面側の下面になるようにセットします。
- 片面印刷機の場合は、IC 端子がプリンター背面側の下面になるようにセットします。



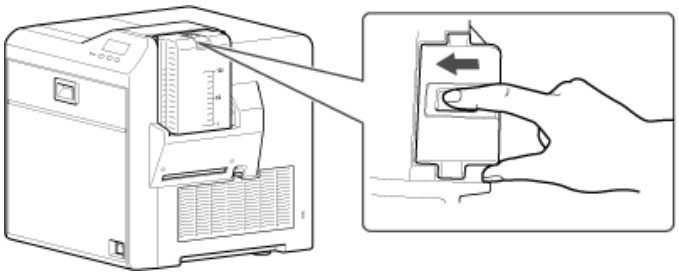
4 カードホッパーカバーを取り付け、カードホッパーノブを [LOCK] にする



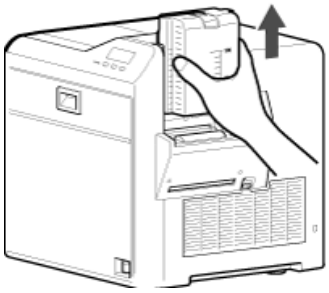
■ カードの厚さ調整をする場合

- 調整可能なカードの厚さは 0.25mm～1.00mm です。
  出荷時は 0.76mm の厚さの範囲にセットされています。
  必ずご使用されるカードに合わせて厚さを調整してください。

① カードホッパーノブを [LOCK] にする

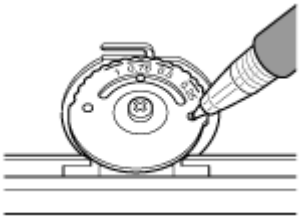


② カードホッパーを取りはずす



③ カードセパレーターの穴にボールペンなどを差し込んでゆっくり回す

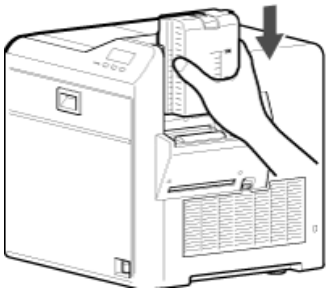
- ご使用のカード厚の範囲を目安に合わせてください。



メモ：

- 印刷時、カードが出ないまたは引っかかる場合は、カードセパレーターを 1 目盛りずつ時計回りに回して調整してください。
- 印刷時、カードが 2 枚出る場合は、カードセパレーターを 1 目盛りずつ反時計回りに回して調整してください。

④ カードホッパーを取り付ける



プリンターとコンピューターの接続

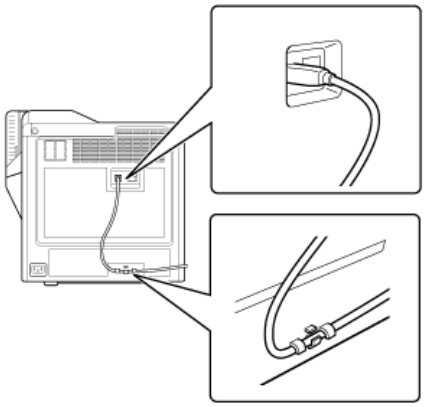
USB ケーブルで接続する

ご注意：

- プリンターが印刷中はコンピューターの電源を切ったり、コンピューターを休止状態やスタンバイにしないでください。カードがプリンター内に残ったまま動作を停止することがあります。
- USB ケーブルは、端子の向きを合わせて奥までしっかりと差し込んでください。
- コンピューターのディスプレイやキーボードに付いている USB コネクターには、接続しないでください。正常に認識されない場合があります。
- USB ハブを使用している場合は、コンピューターに直接、接続しているハブに接続してください。

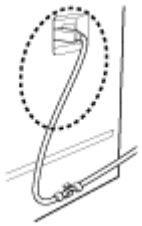
1 プリンターとコンピューターの電源を切る

2 USB ケーブルをプリンター背面の USB ケーブル接続端子に差し込み、"ケーブルクランプ" (☞ 8 ページ) に USB ケーブルを通す



ご注意：

- 図のように USB ケーブルをケーブルクランプ側に引きすぎると、プリンターの USB コネクターに負荷がかかり、接続不良の原因となります。



3 USB ケーブルをコンピューターの USB ケーブル接続端子に差し込む

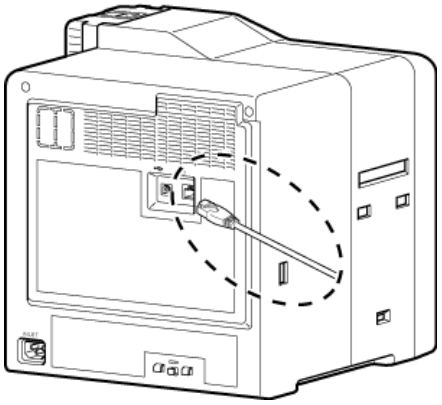
LAN ケーブルで接続する

ご注意：

- LAN ケーブルは、端子の向きを合わせて奥までしっかりと差し込んでください。
- LAN ケーブルは、誤動作などを避けるためにシールドタイプをご使用ください。
- 電源投入時に USB ケーブルが接続されていると USB が優先になります。

1 プリンターとコンピューターの電源を切る

2 LAN ケーブルをプリンター背面の LAN ケーブル接続端子に差し込む



3 LAN ケーブルをコンピューターが接続しているネットワーク上に設置されたハブの接続端子に差し込む

複数のプリンターを接続する

- 1 台のコンピューターから複数台のプリンターを USB 接続する場合は、プリンターごとに 1 から 10 までの異なったユニット番号を設定してください。
  "ユニット番号の設定" (☞ 28 ページ)
- ネットワークに複数台のプリンターを接続する場合は、プリンターごとに異なった IP アドレスを設定してください。

コンピューターの設定

- "動作環境" (☞ 65 ページ)
- "インストール" (☞ 66 ページ)
- "アンインストール" (☞ 78 ページ)
- "IPSec について" (☞ 83 ページ)
- "プリンタードライバーの設定" (☞ 86 ページ)
- "ポートモニターの設定" (☞ 107 ページ)
- "ステータスモニターの設定" (☞ 108 ページ)
- "インライン・エンコード" (☞ 122 ページ)
- "エラーコード一覧" (☞ 124 ページ)
- "よくある質問" (☞ 128 ページ)

動作環境

ソフトウェアは以下の環境で動作します。

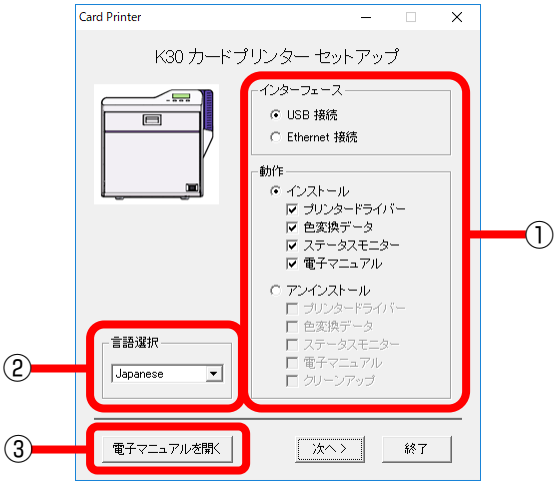
- Microsoft Windows 10 32bit / 64bit 日本語版
- Microsoft Windows 8 32bit / 64bit 日本語版 (Windows 8.1 を含む)
- Microsoft Windows 7 32bit / 64bit 日本語版 (Service Pack 1)

ソフトウェア使用許諾契約書について

- ソフトウェアのご使用には「ソフトウェア使用許諾契約書」への同意が必要です。ご使用前に必ずお読みください。

インストーラーについて

- インストーラー（自動実行プログラム）を用いると、プリンターのソフトウェアを簡単にインストールできます。また、電子マニュアルを開けます。
- インストーラーは、Windows の言語設定に合わせて、各プログラムをインストールします。プログラムの言語を変更したい場合は、言語選択のプルダウンメニューを使用してください。



① インストール／アンインストール
② 言語選択
③ 電子マニュアルを開く

メモ：

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
  "ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
  インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。

ソフトウェアの自動再生

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。

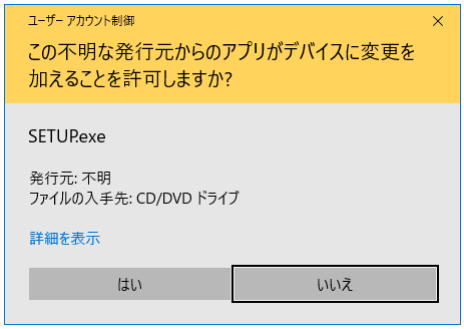
■ Windows 10 / Windows 8 の場合

① 付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- 自動再生の画面が表示されます。

② [SETUP.exe の実行]をクリックする

- [ユーザーアカウント制御]画面が表示されます。



③ [はい]をクリックする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。

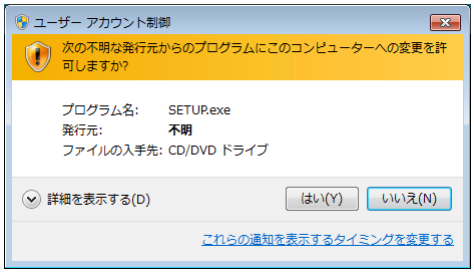
■ Windows 7 の場合

① 付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- [自動再生]画面が表示されます。

② [SETUP.exe の実行]をクリックする

- [ユーザーアカウント制御]画面が表示されます。



③ [はい]または[許可]をクリックする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。

インストール

ご注意：

- ソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループ）でログオンしてください。
- コンピューター環境の影響により、この電子マニュアルの一部の図が表示されないことがあります。その場合は、その手順をスキップしてください。

- "プリンタードライバー【USB 接続】" (☞ 66 ページ)
- "プリンタードライバー【Ethernet 接続】" (☞ 69 ページ)
- "プリンターのネットワーク共有" (☞ 72 ページ)
- "ステータスモニター" (☞ 73 ページ)
- "USB ドライバー" (☞ 75 ページ)
- "電子マニュアル" (☞ 76 ページ)
- "色変換データ" (☞ 77 ページ)

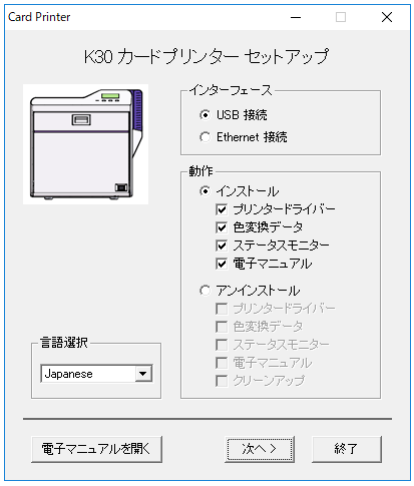
プリンタードライバーのインストール 【USB 接続】

ご注意：

- インストーラーの指示があるまで、プリンターの電源を入れないでください。
- インストーラーの指示があるまで、プリンターを USB に接続しないでください。
- プリンターを USB ハブ経由で接続する場合は、USB ハブを動作可能な状態にしてください。指示があるまでプリンターを USB ハブに接続しないでください。
- 実行中のソフトウェアがある場合は、終了してください。
- 印刷中のドキュメントがある場合は、印刷がすべて終了するまでお待ちください。

1 Windows を起動し、付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。



メモ：

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
  "ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
  インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用しない場合は、CD-ROM 内の「Japanese￥USB_Soft￥install.exe」をダブルクリックし、プリンタードライバーのインストーラーを起動してください。

2 カードプリンターセットアップ画面の[プリンタードライバー]をチェックする

① 使用する言語を[言語選択]のプルダウンメニューから選択する
- [Japanese]を選択すると、日本語版プログラムに切り換わります。
- [English]を選択すると、英語版プログラムに切り換わります。

② [インターフェース]の[USB 接続]を選択する

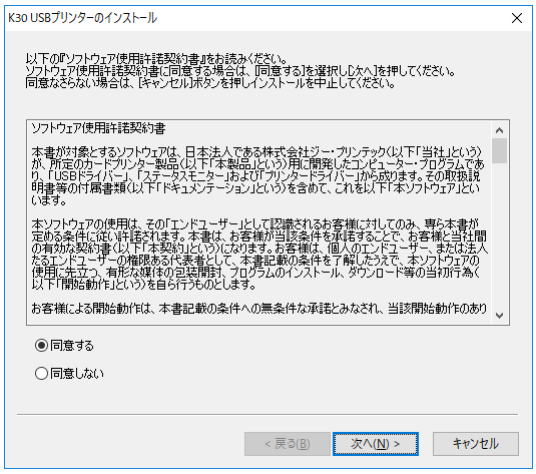
③ [動作]の[インストール]を選択し、[プリンタードライバー]をチェックする

メモ：

- 他の項目もチェックすると、同時にインストールすることができます。すべてをチェックした場合、電子マニュアル，プリンタードライバー，色変換データ，ステータスモニターの順番でインストールします。
- ステータスモニターは、USB 接続と Ethernet 接続のプリンターで共通で使用します。
- [電子マニュアルを開く]をクリックすると、電子マニュアルが開きます。
- [終了]をクリックすると、インストールを終了します。

3 [次へ]をクリックする

- [K30 USB プリンターのインストール]画面が表示されます。

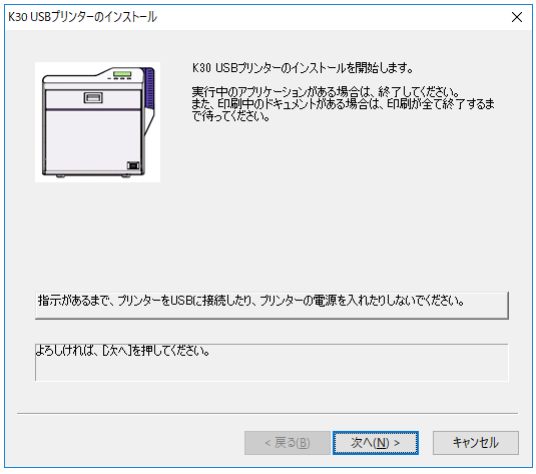


4 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読む

- 同意する場合は、[同意する]を選択してください。
- 同意しない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを中止してください。

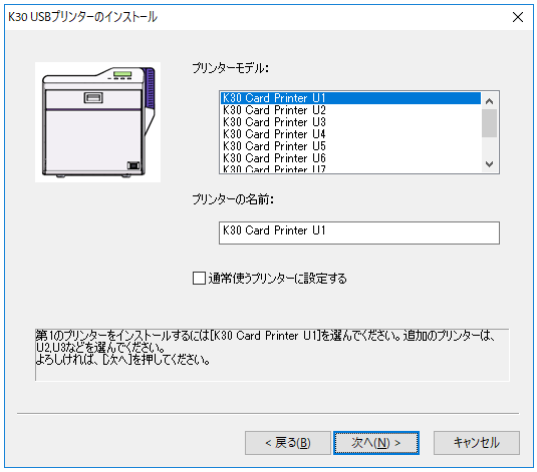
5 [次へ]をクリックする

- インストール開始画面が表示されます。



6 内容を確認し、[次へ]をクリックする

- [プリンターモデル]、[プリンターの名前]設定画面が表示されます。



① プリンターのユニット番号に合わせて[プリンターモデル]を選択する
"ユニット番号の設定" (☞ 28 ページ)

- プリンターのユニット番号に合わせて[プリンターモデル]を選択してください。組み合わせが正しくないと、インストールできない場合があります。

プリンターのユニット番号	プリンターモデルの選択肢	USB デバイス名
1（出荷設定）	K30 Card Printer U1	CX-7000 U1
2	K30 Card Printer U2	CX-7000 U2
3	K30 Card Printer U3	CX-7000 U3
4	K30 Card Printer U4	CX-7000 U4
5	K30 Card Printer U5	CX-7000 U5
6	K30 Card Printer U6	CX-7000 U6
7	K30 Card Printer U7	CX-7000 U7
8	K30 Card Printer U8	CX-7000 U8
9	K30 Card Printer U9	CX-7000 U9
10	K30 Card Printer U10	CX-7000 U10

② [プリンターの名前]を入力する

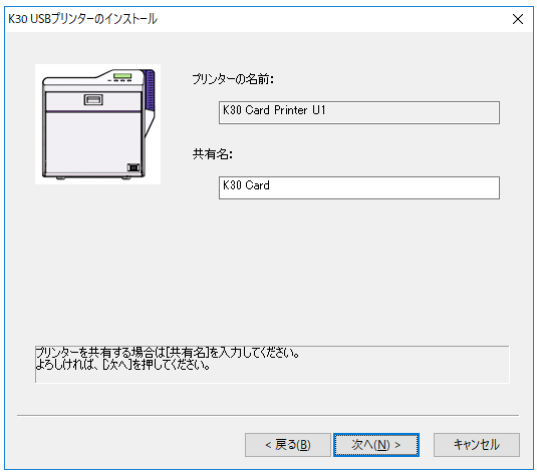
③ 必要に応じて[通常使うプリンターに設定する]をチェックする

メモ：

- インストール終了後でも、通常使うプリンターに設定できます。

7 [次へ]をクリックする

- 共有名の入力画面が表示されます。
- プリンターを共有する場合は、共有名を入力してください。
- プリンターを共有しない場合は、共有名を空欄にしてください。

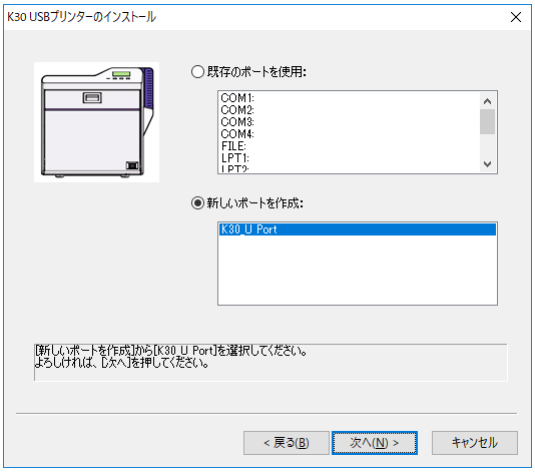


メモ：

- インストール終了後でも、共有名を設定できます。

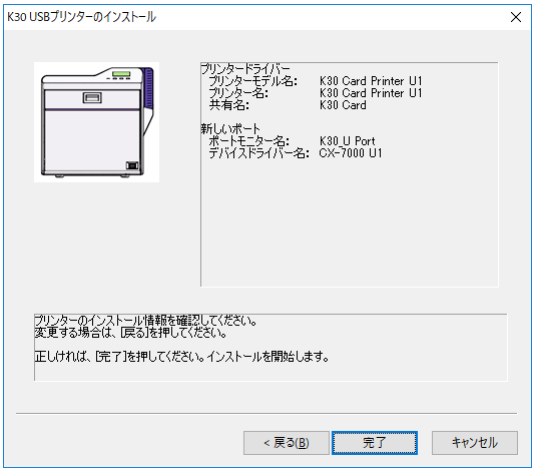
8 [次へ]をクリックする

- ポート選択画面が表示されます。
- [新しいポートを作成]の[K30_U Port]を選択してください。



9 [次へ]をクリックする

- インストール情報確認画面が表示されます。

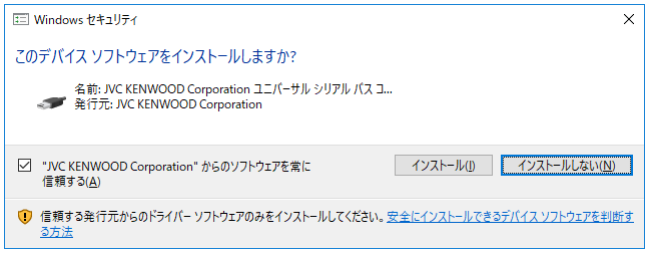


10 インストール情報を確認し、[完了]をクリックする

- 設定を変更する場合は、[戻る]をクリックしてください。

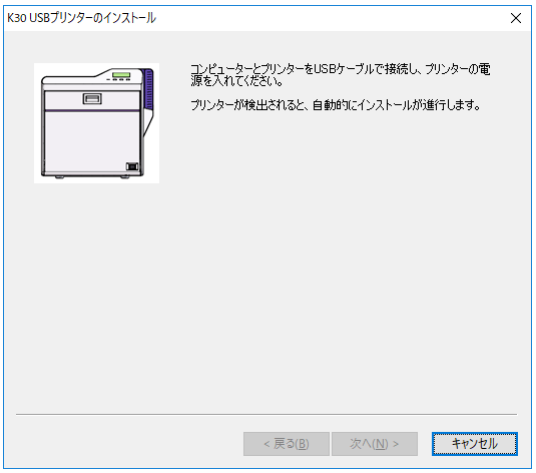
■ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 の場合

- [Windows セキュリティ]画面が表示されます。



① [インストール]をクリックする

- USB ケーブル接続指示画面が表示されます。



11 プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続する

12 プリンターの電源を入れる

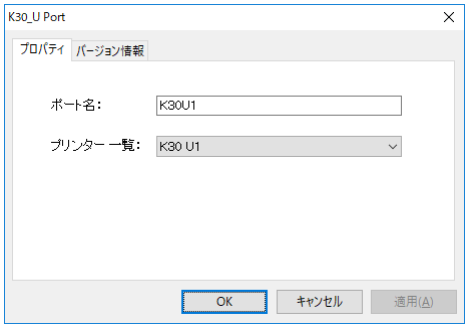
- プリンターを検出すると、自動的にインストールを開始します。
- 正しく接続されていない場合は、インストールを開始しません。接続状態を確認してください。

■ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 の場合

- [Windows セキュリティ]画面が表示されます。

① [インストール]をクリックする

- [K30_U Port]画面が表示されます。



13 [プロパティ]タブを選択する

① [プリンター一覧]からプリンターを選択する

メモ：

- [プリンター一覧]に「未接続です」と表示された場合、USB 接続が正しくありません。インストールを済ませ、再インストールしてください。
- [プリンター一覧]に「未選択です」と表示された場合、プルダウンメニューからインストール中のプリンターのユニット番号と一致する USB デバイス名を選択してください。

② ポート名を入力する

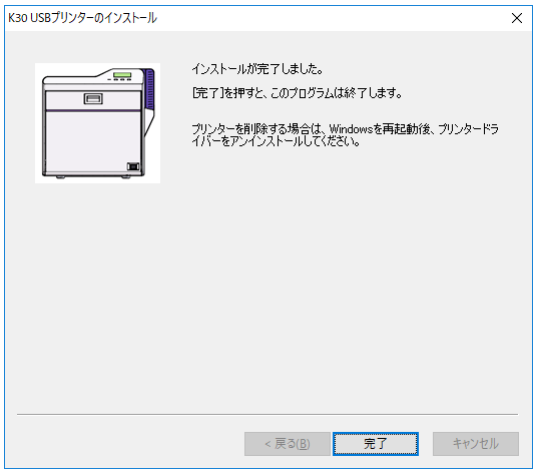
14 [OK]をクリックする

■ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 の場合

- [Windows セキュリティ]画面が表示されます。

① [インストール]をクリックする

- プリンターのインストール完了画面が表示されます。

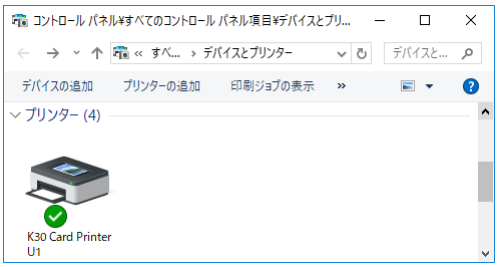


15 [完了]をクリックする

- インストールを終了します。

16 [コントロール パネル]の[デバイスとプリンター]または[プリンタ]を開く

- プリンターが追加されていることを確認してください。



ご注意：

- プリンターを削除する場合は、Windows を再起動したあとに「プリンタードライバーのアンインストール」を実施してください。

プリンタードライバーのインストール【Ethernet (LAN)接続】

ご注意：

- プリンターの IP アドレスなどについては、事前に設定してください。
- プリンターを USB に接続しないでください。
- インストーラーの指示があるまでプリンターを Ethernet (LAN)に接続しないでください。
- インストーラーの指示があるまでプリンターの電源を入れないでください。
- プリンターを LAN ハブ経由で接続する場合は、LAN ハブが動作可能な状態にしてください。
- 実行中のソフトウェアがある場合は、終了してください。
- 印刷中のドキュメントがある場合は、印刷がすべて終了するまでお待ちください。

1 Windows を起動し、付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。

メモ：

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
"ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用しない場合は、CD-ROM 内の「Japanese¥LAN_Soft¥install.exe」をダブルクリックし、プリンタードライバーのインストーラーを起動してください。

2 カードプリンターセットアップ画面の[プリンタードライバー]をチェックする

① 使用する言語を[言語選択]のプルダウンメニューから選択する
- [Japanese]を選択すると、日本語版プログラムに切り換わります。
- [English]を選択すると、英語版プログラムに切り換わります。

② [インターフェース]の[Ethernet 接続]を選択する

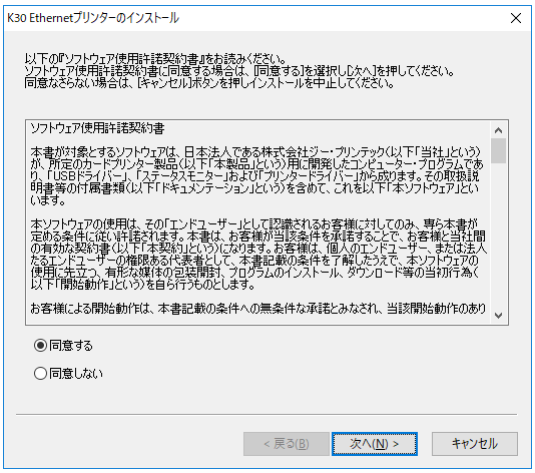
③ [動作]の[インストール]を選択し、[プリンタードライバー]をチェックする

メモ：

- 他の項目もチェックすると、同時にインストールすることができます。すべてをチェックした場合、電子マニュアル，ステータスモニター，プリンタードライバー，色変換データの順番でインストールします。
- ステータスモニターは、USB 接続と Ethernet 接続のプリンターで共通で使用します。
- [電子マニュアルを開く]をクリックすると、電子マニュアルが開きます。
- [終了]をクリックすると、インストールを終了します。

3 [次へ]をクリックする

- [K30 Ethernet プリンターのインストール]画面が表示されます。

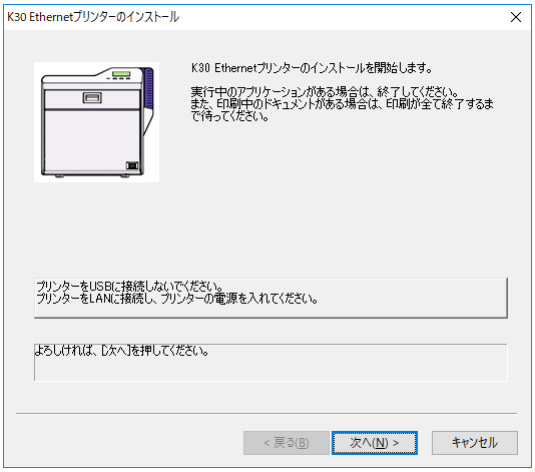


4 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読む

- 同意する場合は、[同意する]を選択してください。
- 同意しない場合は、[キャンセル]をクリックしインストールを中止してください。

5 [次へ]をクリックする

- インストール開始画面が表示されます。

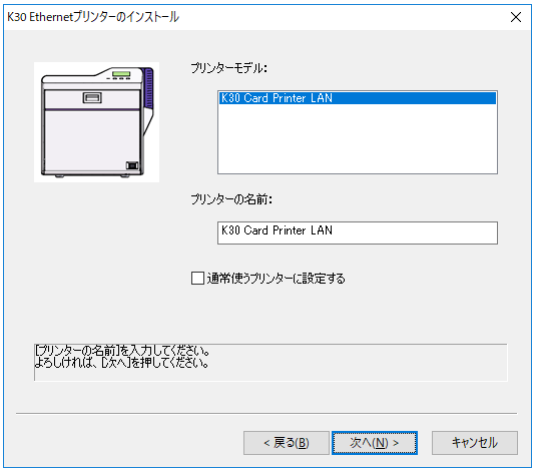


6 プリンターとコンピューターを LAN ケーブルで接続する

7 プリンターの電源を入れる

8 内容を確認し、[次へ]をクリックする

- [プリンターモデル]、[プリンターの名前]設定画面が表示されます。



① [プリンターモデル]を選択する

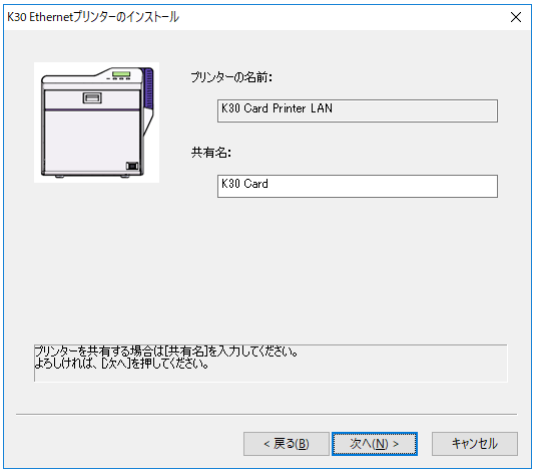
② [プリンターの名前]を入力する

③ 必要に応じて[通常使うプリンターに設定する]をチェックする

メモ：

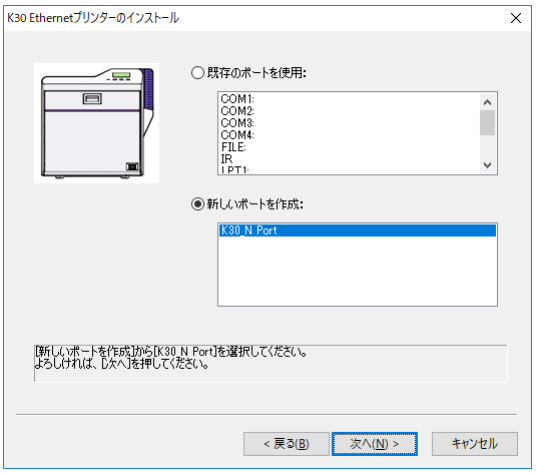
- インストール終了後でも、通常使うプリンターに設定できます。

9 [次へ]をクリックする
- 共有名の入力画面が表示されます。
- プリンターを共有する場合は、共有名を入力します。
- プリンターを共有しない場合は、共有名を空欄にしてください。

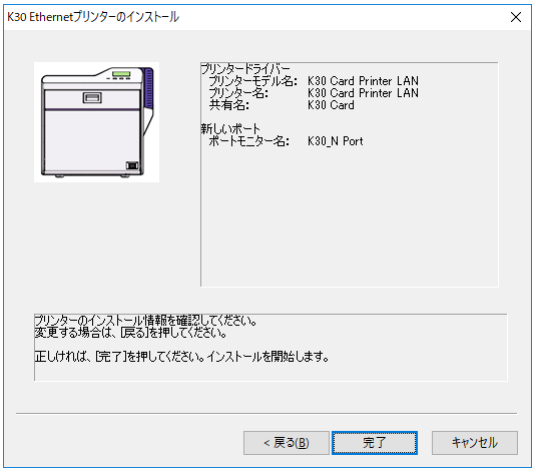


メモ：
- インストール終了後でも、共有名を設定できます。

10 [次へ]をクリックする
- ポート選択画面が表示されます。
- [新しいポートを作成]の[K30_N Port]を選択してください。



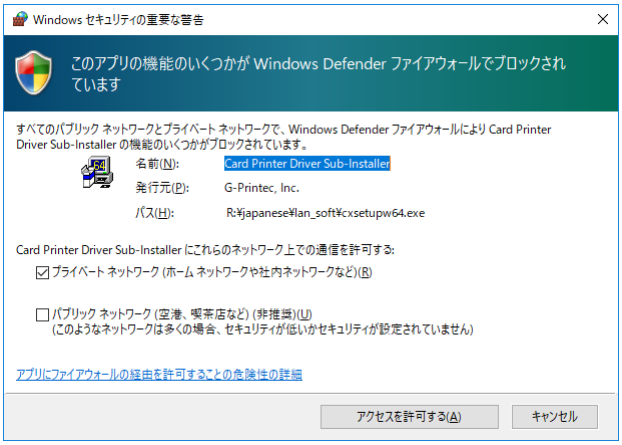
11 [次へ]をクリックする
- インストール情報確認画面が表示されます。



12 インストール情報を確認し、[完了]をクリックする
- 設定を変更する場合は、[戻る]をクリックしてください。

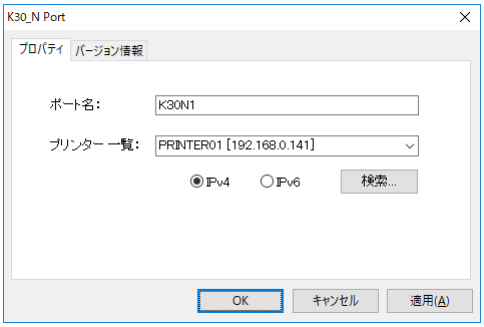
■ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 の場合
- [Windows セキュリティ]画面が表示されます。

① [インストール]をクリックする
- [Windows セキュリティの重要な警告]画面が表示されます。



② [アクセスを許可する]または[ブロックを解除する]をクリックする
- [キャンセル]または[ブロックする]をクリックすると、正常に動作しなくなります。

- [K30_N Port]画面が表示されます。



13 [プロパティ]タブを選択する

① [プリンター一覧]からプリンターを選択する
- IPv4 アドレスで接続する場合は、[IPv4]を選択し、[検索]をクリックしてプリンターを検索してください。[IPv4]をクリック後、[プリンター一覧]に IPv4 アドレスを直接入力すると、プリンターを検索できます。
- IPv6 アドレスで接続する場合は、[IPv6]を選択し、[検索]をクリックしてプリンターを検索してください。[IPv6]をクリック後、[プリンター一覧]に IPv6 アドレスを直接入力すると、プリンターを検索できます。

メモ：
- [プリンター一覧]に「未接続です」と表示された場合、Ethernet (LAN)の接続が正しくありません。
[検索]をクリックしてもインストール中のプリンターが見つからない場合は、インストールを済ませ、再インストールしてください。
- [プリンター一覧]に「未選択です」と表示された場合、プルダウンメニューからインストール中のプリンターの IP アドレスと一致する項目を選択してください。

② [ポート名]を入力する

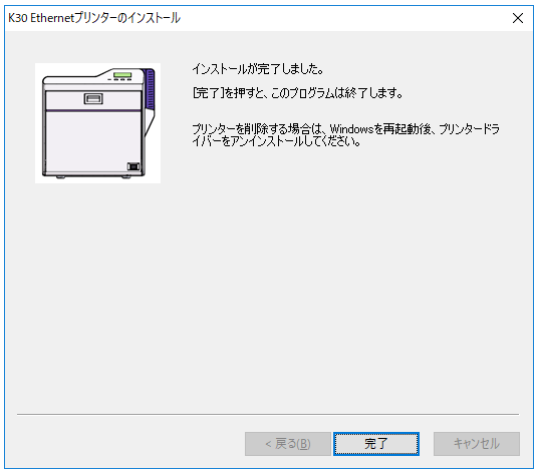
14 [OK]をクリックする

■ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 の場合

- [Windows セキュリティ]画面が表示されます。

① [インストール]をクリックする

- プリンターのインストール完了画面が表示されます。

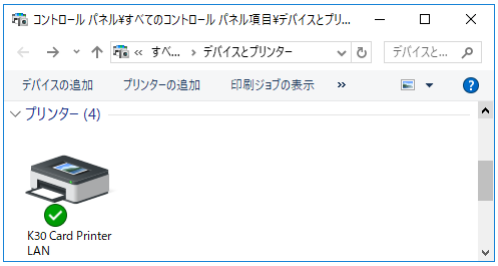


15 [完了]をクリックする

- インストールを終了します。

16 [コントロール パネル]の[デバイスとプリンター]または[プリンタ]を開く

- プリンターが追加されていることを確認してください。



ご注意：

- プリンターを削除する場合は、Windows を再起動したあとに「プリンタードライバーのアンインストール」を実施してください。

プリンタードライバーの更新

1 プリンタードライバーを削除する

"プリンタードライバーのアンインストール" (☞ 78 ページ)

2 Windows を再起動する

3 再度、プリンタードライバーをインストールする

"プリンタードライバーのインストール" (☞ 66 ページ)

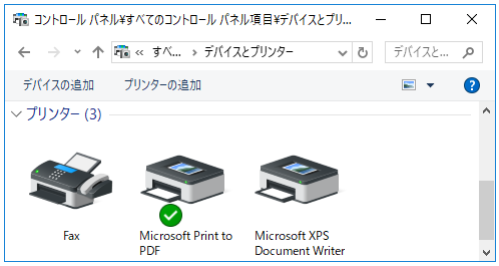
プリンターのネットワーク共有

ご注意：

- プリンターが接続されているコンピューターへアクセスできることを確認してください。
- プリンターが共有できることを確認してください。

1 [コントロール パネル]の[デバイスとプリンター]または[プリンタ]を開く

- [プリンター]画面が表示されます。



2 ツールバーの[プリンターの追加]または[プリンタのインストール]をクリックする

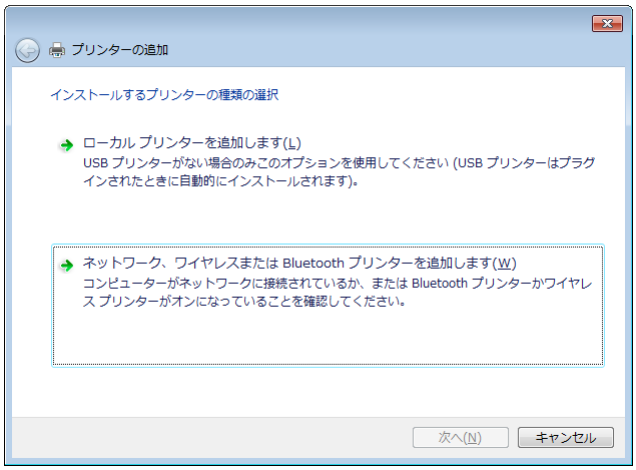
■ Windows 10 の場合

- プリンターを選択する画面が表示されます。

① プリンターを選択して、[次へ]をクリックする

■ Windows 7 などの場合

- [プリンターの追加]画面が表示されます。



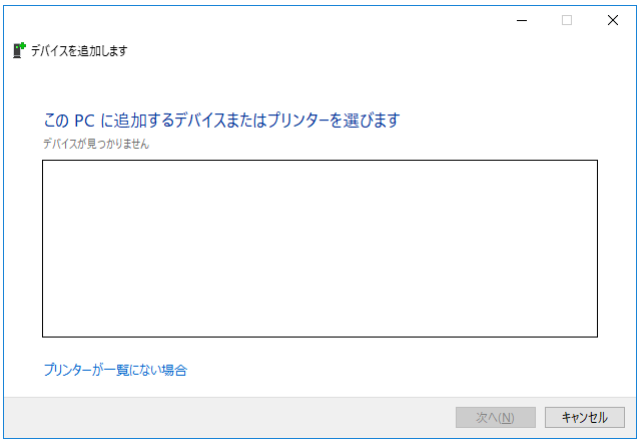
① [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します]をクリックする

- プリンターを選択する画面が表示されます。

② プリンターを選択して、[次へ]をクリックする

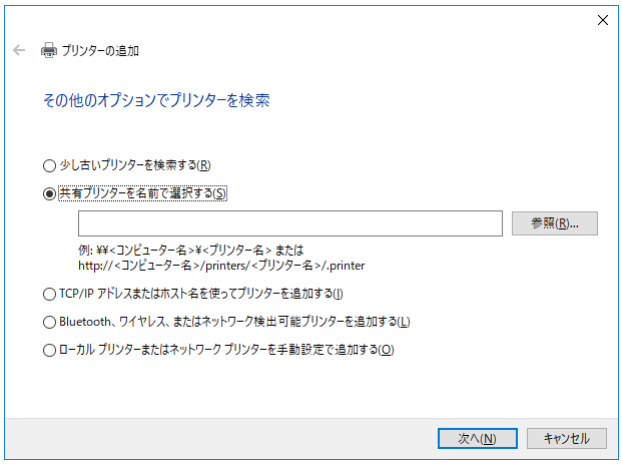
■ プリンターが一覧にない場合

- プリンターを選択する画面が表示されます。



① [プリンターが一覧にない場合]をクリックする

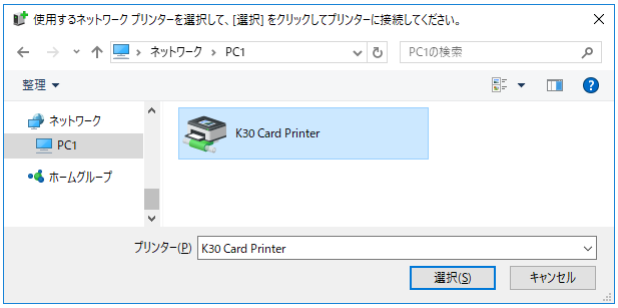
- プリンターの選択画面が表示されます。



② [共有プリンターを名前で選択する]をクリックする

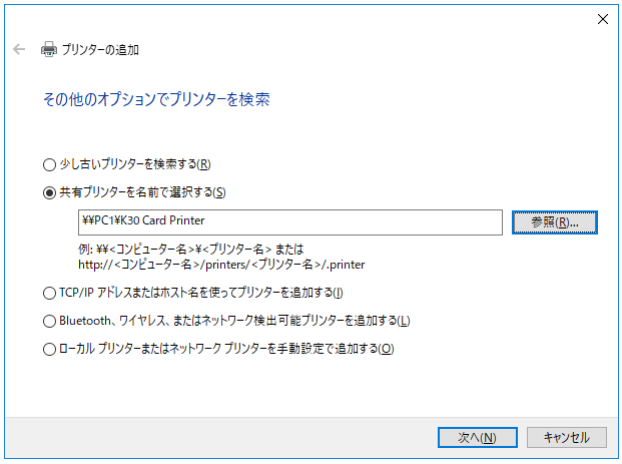
③ [参照]をクリックする

- プリンターを選択する画面が表示されます。



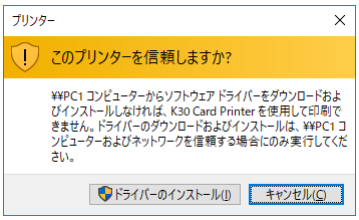
④ プリンターを選択して、[選択]をクリックする

- プリンターの選択画面が表示されます。



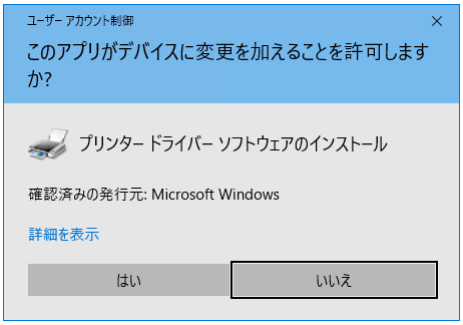
⑤ [次へ]をクリックする

- ドライバーのインストール確認画面が表示されます。



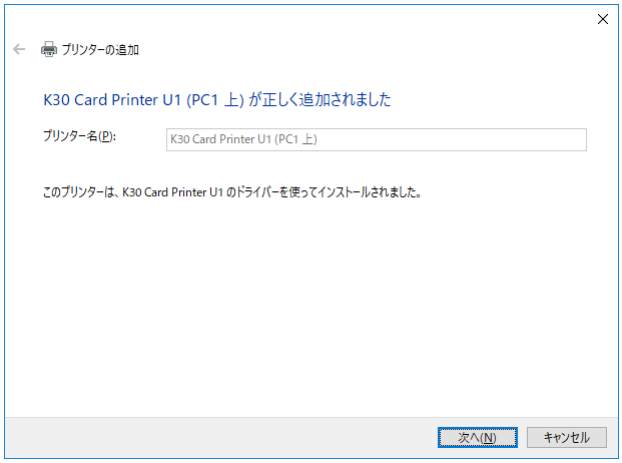
3 [ドライバーのインストール]をクリックする

- [ユーザーアカウント制御]画面が表示されます。



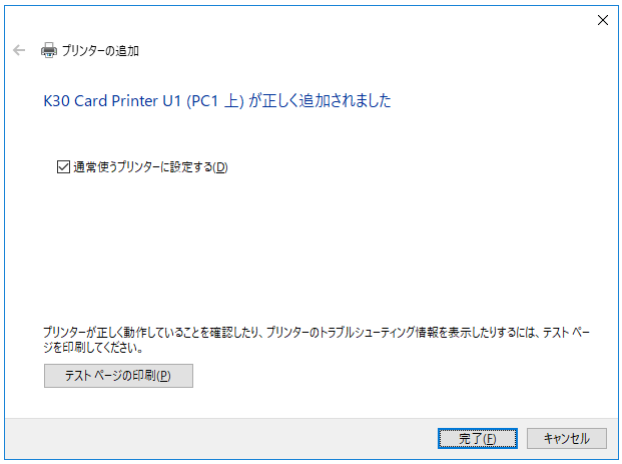
4 [はい]または[続行]をクリックする

- プリンター追加確認の画面が表示されます。



5 [次へ]をクリックする

- プリンター追加完了の画面が表示されます。



6 必要に応じて[通常使うプリンタに設定する]をチェックし、[完了]をクリックする

- プリンターのネットワーク共有が完了します。

7 [コントロール パネル]の[デバイスとプリンター]または[プリンタ]を開く

- プリンターが追加されていることを確認してください。

ご注意：

- コンピューターのアクセス権限が適正でない場合、プリンタードライバーのインストールが完了しても印刷できないことがあります。
- ネットワーク管理者の指示に従って、アクセス権限を適正にしてください。

ステータスモニターのインストール

ご注意：

- ステータスモニターは、USB 接続と Ethernet 接続のプリンターで共通で使用します。
- ステータスモニターは、1 台のコンピューターに 1 回のみインストールしてください。
- プリンタードライバーをアンインストール後、ステータスモニターを引き続き使用する場合は、ステータスモニターを更新してください。
"ステータスモニターの更新" (☞ 74 ページ)

1 Windows を起動し、付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。

メモ：

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
"ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用しない場合は、CD-ROM 内の「Japanese￥Software￥STT_MON￥install.exe」をダブルクリックし、ステータスモニターのインストーラーを起動してください。

2 カードプリンターセットアップ画面の[ステータスモニター]をチェックする

① 使用する言語を[言語選択]のプルダウンメニューから選択する
- [Japanese]を選択すると、日本語版プログラムに切り換わります。
- [English]を選択すると、英語版プログラムに切り換わります。

② [インターフェース]の[USB 接続]または[Ethernet 接続]を選択する

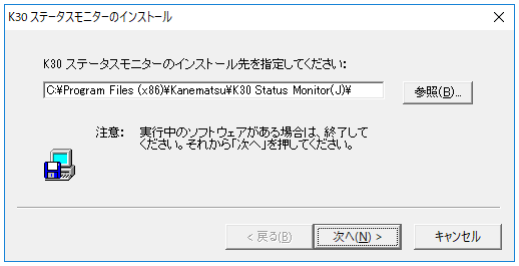
③ [動作]の[インストール]を選択し、[ステータスモニター]をチェックする

メモ：

- 他の項目もチェックすると、同時にインストールすることができます。
- [電子マニュアルを開く]をクリックすると、電子マニュアルが開きます。
- [終了]をクリックすると、インストールを終了します。

3 [次へ]をクリックする

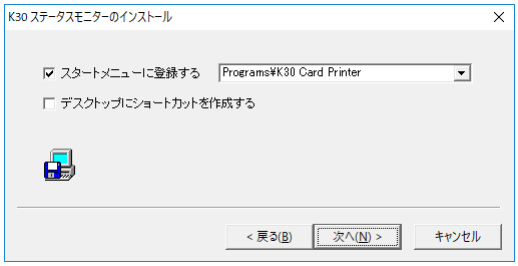
- ステータスモニターのインストール画面が表示されます。



- 表示されているインストール先を変更する場合は、[参照]をクリックし、インストール先のフォルダーを指定してください。

4 [次へ]をクリックする

- ステータスモニターの登録を選択する画面が表示されます。

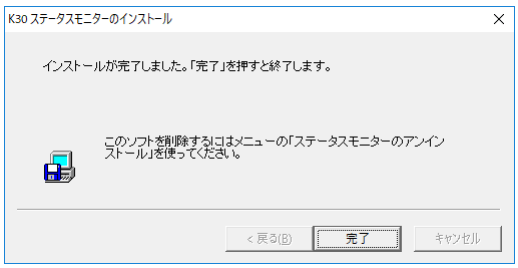


① [スタートメニューに登録する]をチェックする
- 表示されているスタートメニューの登録を変更する場合は、[スタートメニューに登録する]のリストから選択してください。

② 必要に応じて[デスクトップにショートカットを作成する]をチェックする

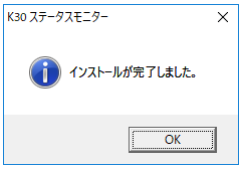
5 [次へ]をクリックする

- インストールを開始します。
- インストールが終了すると、インストール完了画面が表示されます。



6 [完了]をクリックする

- インストール完了確認画面が表示されます。

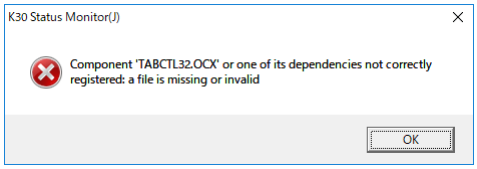


7 [OK]をクリックする

- インストールを終了します。
- [スタートメニュー]からステータスモニターを起動できます。

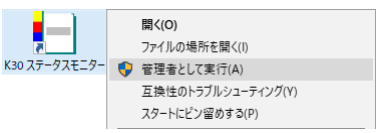
ご注意：

- ステータスモニターの実行を開始したとき、次のエラーが発生する場合があります。



【原因】 Windows が認識できないプログラムとして、実行を禁止しました。

【対応】 「管理者として実行」を選択し管理者権限のあるユーザーとして、ステータスモニターを実行してください。以降、Windows に認識されたプログラムとなり、このエラーは発生しません。



- 管理者権限のあるユーザーでログオンした場合でも、実行時に管理者権限がないユーザーとして扱われることがあります。

ステータスモニターの更新

1 ステータスモニターを削除する

"ステータスモニターのアンインストール" (☞ 81 ページ)

2 再度、ステータスモニターをインストールする

"ステータスモニターのインストール" (☞ 73 ページ)

USB ドライバーのインストール

ご注意：

- USB 接続・プリンタードライバーのインストール過程で、USB ドライバーがインストールされます。
- ステータスモニターの[プリンター選択]画面で[プリンター名]以外の項目を設定したい場合のみ、USB ドライバーを追加でインストールしてください。
- インストーラーの指示があるまで、プリンターの電源を入れないでください。
- インストーラーの指示があるまで、プリンターを USB に接続しないでください。
- プリンターを USB ハブ経由で接続する場合は、USB ハブを動作可能な状態にしてください。指示があるまでプリンターを USB ハブに接続しないでください。

Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 の場合

1 Windows を起動する

2 付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

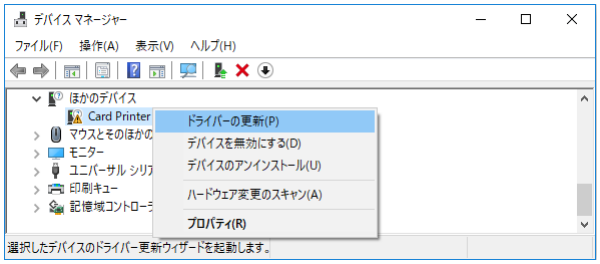
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」は使用しません。このプログラムを終了してください。

3 コンピューターとプリンターを USB ケーブルで接続し、プリンターの電源を入れる

- コンピューターが自動的にプリンターを検出します。

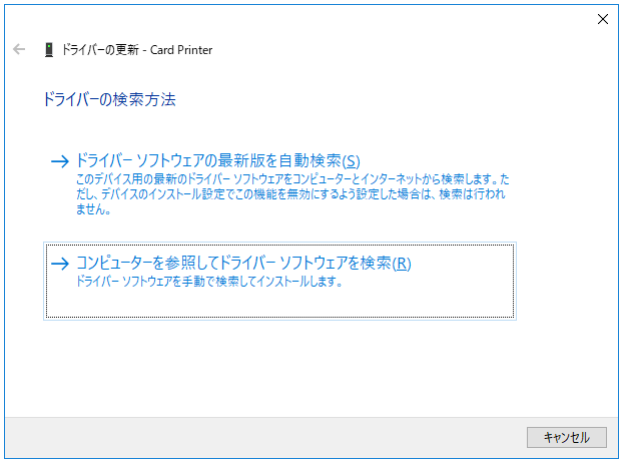
4 [コントロール パネル]の[デバイス マネージャー]を開く

- [ほかのデバイス]の中に[Card Printer]が見つかっていることを確認してください。



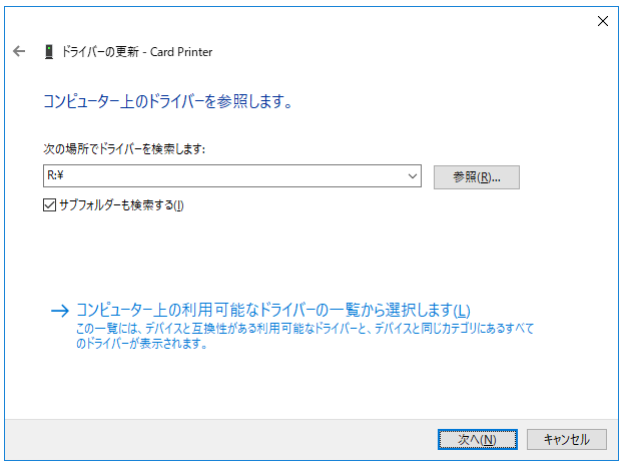
5 [Card Printer]のメニューで[ドライバー ソフトウェアの更新]をクリックする

- [ドライバー ソフトウェアの更新]画面が表示されます。



6 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]をクリックする

- ソフトウェアの参照画面が表示されます。



① [次の場所でドライバーソフトウェアを検索します:]に CD-ROM を選択する

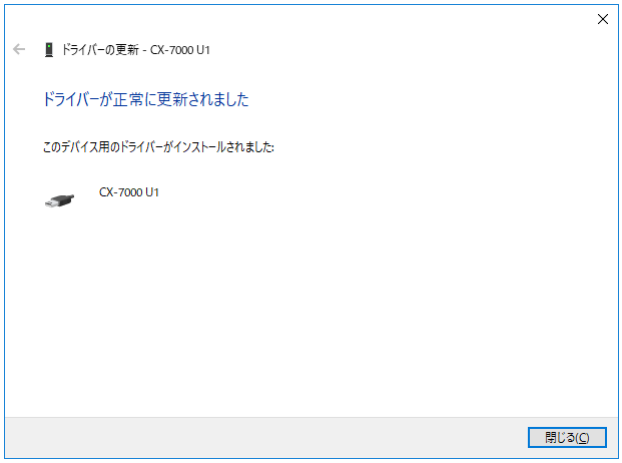
② [サブフォルダーも検索する]をチェックする

7 [次へ]をクリックする

- [Windows セキュリティ]画面が表示されます。

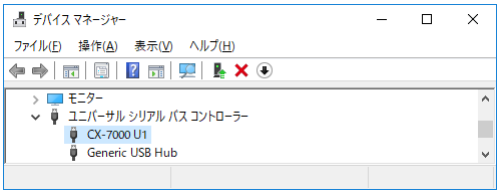
8 [インストール]をクリックする

- インストール終了画面が表示されます。



9 [閉じる]をクリックする

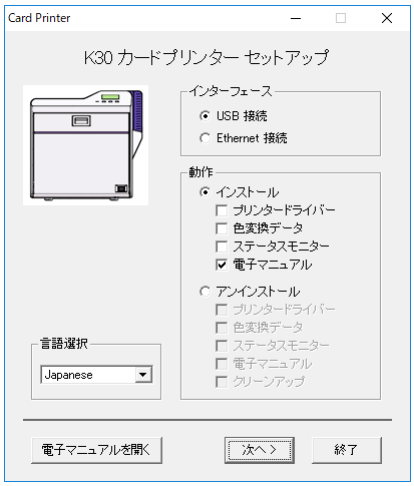
- USB ドライバーのインストールが完了します。



電子マニュアルのインストール

1 Windows を起動し、付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。



メモ：

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
"ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用しない場合は、CD-ROM 内の「Japanese￥Document￥Manual￥install.exe」をダブルクリックし、電子マニュアルのインストーラーを起動してください。

2 カードプリンターセットアップ画面の[電子マニュアル]をチェックする

① 使用する言語を[言語選択]のプルダウンメニューから選択する
- [Japanese]を選択すると、日本語版プログラムに切り換わります。
- [English]を選択すると、英語版プログラムに切り換わります。

② [インターフェース]の[USB 接続]または[Ethernet 接続]を選択する

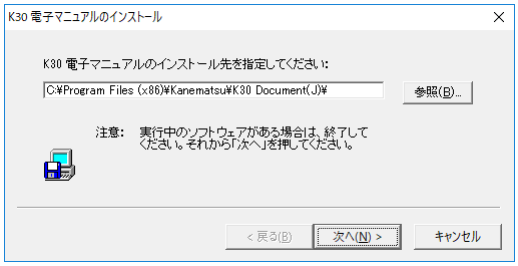
③ [動作]の[インストール]を選択し、[電子マニュアル]をチェックする

メモ：

- 他の項目もチェックすると、同時にインストールすることができます。
- [電子マニュアルを開く]をクリックすると、電子マニュアルが開きます。
- [終了]をクリックすると、インストールを終了します。

3 [次へ]をクリックする

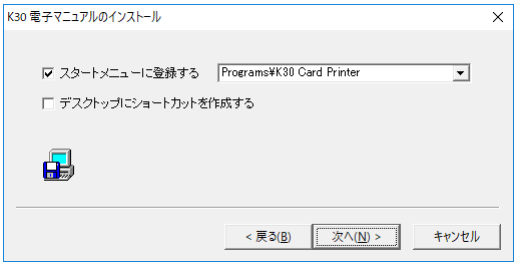
- 電子マニュアルのインストール画面が表示されます。



- 表示されているインストール先を変更する場合は、[参照]をクリックし、インストール先のフォルダーを指定してください。

4 [次へ]をクリックする

- 電子マニュアルの登録を選択する画面が表示されます。

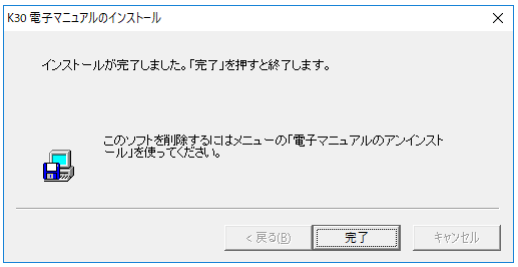


① [スタートメニューに登録する]をチェックする
- 表示されているスタートメニューの登録を変更する場合は、[スタートメニューに登録する]のリストから選択してください。

② 必要に応じて[デスクトップにショートカットを作成する]をチェックする

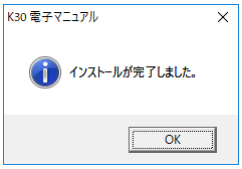
5 [次へ]をクリックする

- インストールを開始します。
- インストールが終了すると、インストール完了画面が表示されます。



6 [完了]をクリックする

- インストール完了確認画面が表示されます。



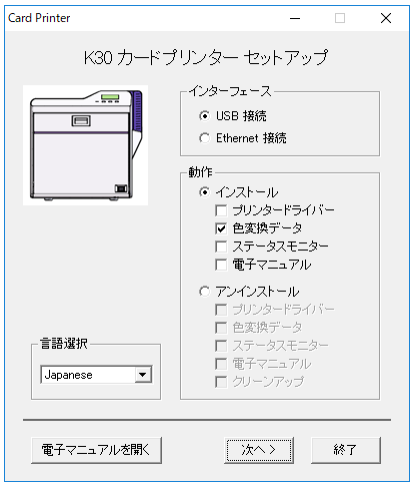
7 [OK]をクリックする

- インストールを終了します。
- [スタートメニュー]から電子マニュアルを開くことができます。

色変換データのインストール

1 Windows を起動し、付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。



メモ：

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
  "ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
  インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用しない場合は、CD-ROM 内の「Common￥Data￥LUT24￥install.exe」をダブルクリックし、色変換データのインストーラーを起動してください。

2 カードプリンターセットアップ画面の[色変換データ]をチェックする

① 使用する言語を[言語選択]のプルダウンメニューから選択する
- [Japanese]を選択すると、日本語版プログラムに切り換わります。
- [English]を選択すると、英語版プログラムに切り換わります。

② [インターフェース]の[USB 接続]または[Ethernet 接続]を選択する

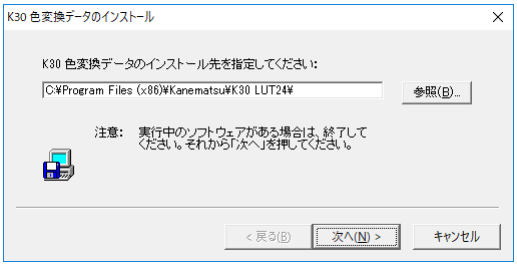
③ [動作]の[インストール]を選択し、[色変換データ]をチェックする

メモ：

- 他の項目もチェックすると、同時にインストールすることができます。
- [電子マニュアルを開く]をクリックすると、電子マニュアルが開きます。
- [終了]をクリックすると、インストールを終了します。

3 [次へ]をクリックする

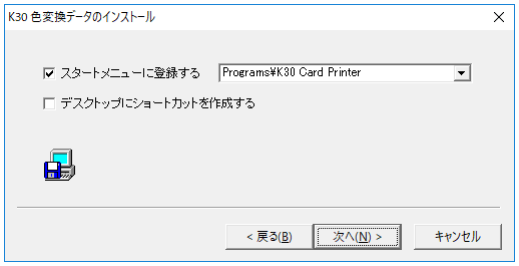
- 色変換データのインストール画面が表示されます。



- 表示されているインストール先を変更する場合は、[参照]をクリックし、インストール先のフォルダーを指定してください。

4 [次へ]をクリックする

- 色変換データの登録を選択する画面が表示されます。

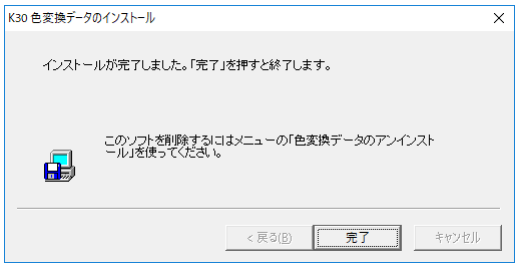


① [スタートメニューに登録する]をチェックする
- 表示されているスタートメニューの登録を変更する場合は、[スタートメニューに登録する]のリストから選択してください。

② 必要に応じて[デスクトップにショートカットを作成する]をチェックする

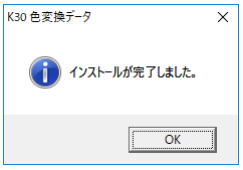
5 [次へ]をクリックする

- インストールを開始します。
- インストールが終了すると、インストール完了画面が表示されます。



6 [完了]をクリックする

- インストール完了確認画面が表示されます。



7 [OK]をクリックする

- インストールを終了します。

アンインストール

ご注意：

- ソフトウェアをアンインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループ）でログオンしてください。
- コンピューター環境の影響により、この電子マニュアルの一部の図が表示されないことがあります。その場合は、その手順をスキップしてください。

- "プリンタードライバー【USB 接続】" (☞ 78 ページ)
- "プリンタードライバー【Ethernet 接続】" (☞ 79 ページ)
- "ステータスモニター" (☞ 81 ページ)
- "電子マニュアル" (☞ 81 ページ)
- "色変換データ" (☞ 82 ページ)

プリンタードライバーのアンインストール 【USB 接続】

ご注意：

- 実行中のソフトウェアがある場合は、「アンインストール」を実行しないでください。
- 印刷中のドキュメントがある場合は、印刷がすべて終了するまでお待ちください。

1 Windows を起動する

2 コンピューターとプリンターを USB ケーブルで接続し、プリンターの電源を入れる

ご注意：

- コンピューターから USB 接続のプリンターが認識されていることを確認してください。USB 接続が認識できない場合、USB ドライバーを正しく削除できません。

3 付属の CD-ROM をコンピューターにセットする

- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。

メモ：

- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
  "ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
  インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用しない場合は、CD-ROM 内の「Japanese￥USB_Soft￥uninstall.exe」をダブルクリックし、プリンタードライバーのアンインストーラーを起動してください。

4 カードプリンターセットアップ画面の[プリンタードライバー]をチェックする

① 使用する言語を[言語選択]のプルダウンメニューから選択する
- [Japanese]を選択すると、日本語版プログラムに切り換わります。
- [English]を選択すると、英語版プログラムに切り換わります。

② [インターフェース]の[USB 接続]を選択する

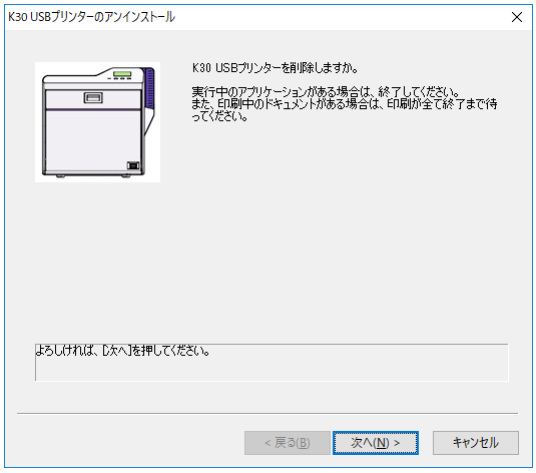
③ [動作]の[アンインストール]を選択し、[プリンタードライバー]をチェックする

メモ：

- 他の項目もチェックすると、同時にアンインストールすることができます。

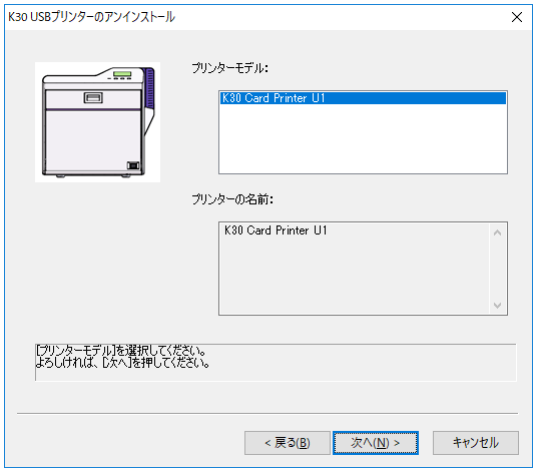
5 [次へ]をクリックする

- [K30 USB プリンターのアンインストール]画面が表示されます。



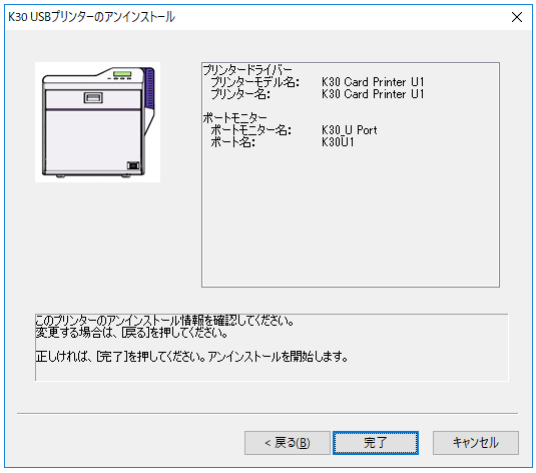
6 内容を確認し、[次へ]をクリックする

- プリンターモデルの選択画面が表示されます。



7 アンインストールするプリンターを選択し、[次へ]をクリックする

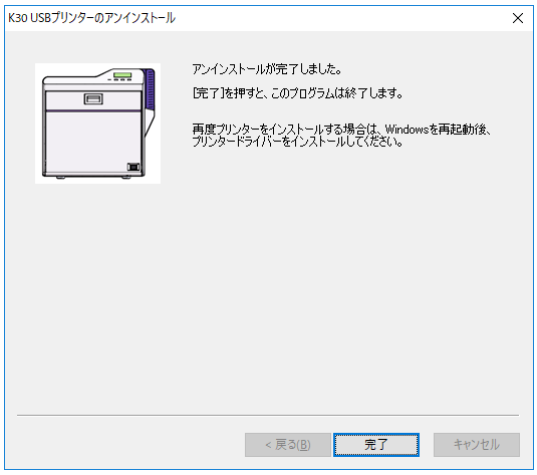
- アンインストール情報確認画面が表示されます。



8 内容を確認し、[完了]をクリックする
- プリンターを変更する場合は、[戻る]をクリックしてください。

ご注意：
- USB 接続プリンタードライバーは、ユニット番号ごとにアンインストールしてください。

- アンインストール完了画面が表示されます。



9 [完了]をクリックする
- アンインストールを終了します。

ご注意：
- プリンタードライバーを再度インストールする場合は、Windows を再起動したあとに「プリンタードライバーのインストール」を実施してください。

プリンタードライバーのアンインストール【Ethernet (LAN)接続】

ご注意：
- 実行中のソフトウェアがある場合は、「アンインストール」を実行しないでください。
- 印刷中のドキュメントがある場合は、印刷がすべて終了するまでお待ちください。

1 Windows を起動する

2 コンピューターとプリンターを LAN ケーブルで接続し、プリンターの電源を入れる

ご注意：
- プリンターに USB ケーブルを接続しないでください。

3 付属の CD-ROM をコンピューターにセットする
- カードプリンターセットアップ画面が表示されます。

メモ：
- コンピューターの CD-ROM ドライブが自動再生の場合は、インストーラーが自動的に実行されます。
"ソフトウェアの自動再生" (☞ 65 ページ)
インストーラーが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM の自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用しない場合は、CD-ROM 内の「Japanese￥LAN_Soft￥uninstall.exe」をダブルクリックし、プリンタードライバーのアンインストーラーを起動してください。

4 カードプリンターセットアップ画面の[プリンタードライバー]をチェックする

① 使用する言語を[言語選択]のプルダウンメニューから選択する
- [Japanese]を選択すると、日本語版プログラムに切り換わります。
- [English]を選択すると、英語版プログラムに切り換わります。

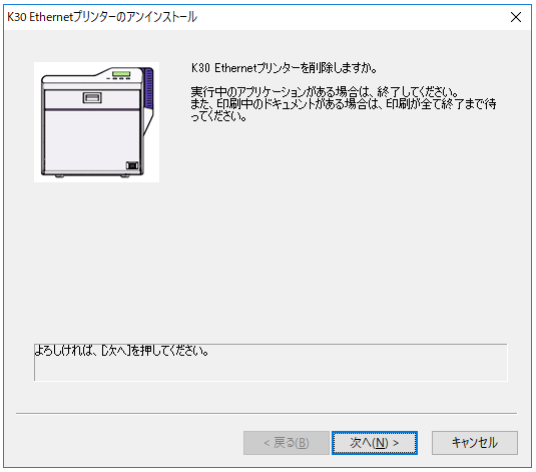
② [インターフェース]の[Ethernet 接続]を選択する

③ [動作]の[アンインストール]を選択し、[プリンタードライバー]をチェックする

メモ：
- 他の項目もチェックすると、同時にアンインストールすることができます。

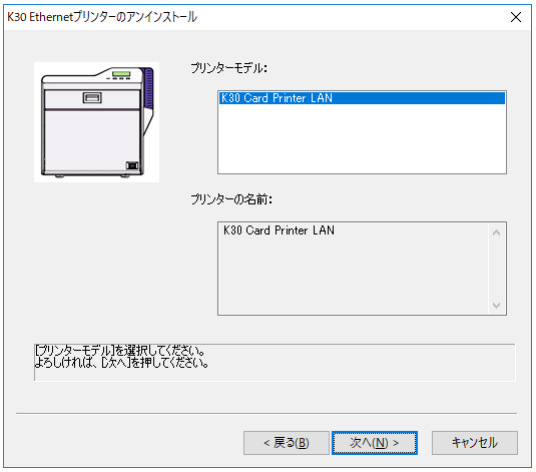
5 [次へ]をクリックする

- [K30 Ethernet プリンターのアンインストール]画面が表示されます。



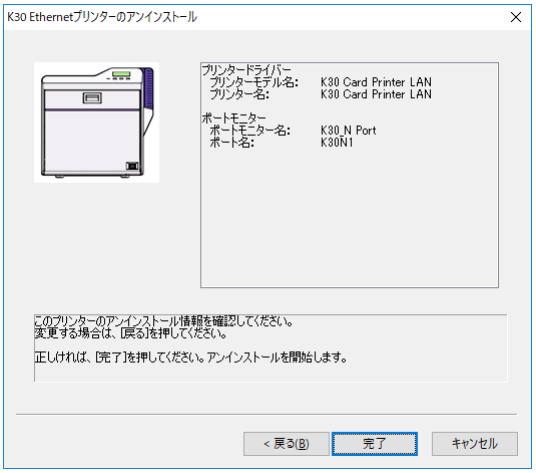
6 内容を確認し、[次へ]をクリックする

- プリンターモデルの選択画面が表示されます。



7 アンインストールするプリンターを選択し、[次へ]をクリックする

- アンインストール情報確認画面が表示されます。



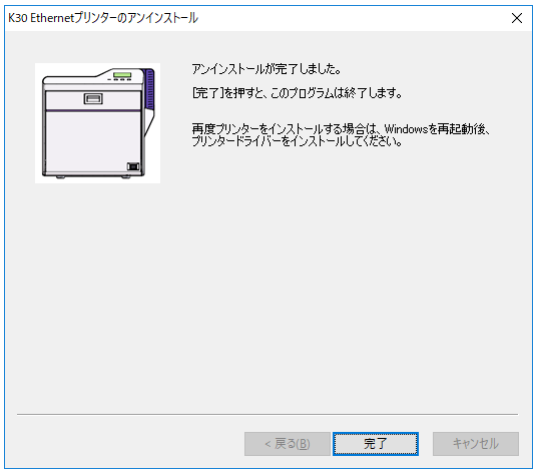
8 内容を確認し、[完了]をクリックする

- プリンターを変更する場合は、[戻る]をクリックしてください。

ご注意：

- Ethernet (LAN)接続のプリンタードライバーを複数インストールした場合、すべての Ethernet (LAN)接続のプリンタードライバーが削除されます。

- アンインストール完了画面が表示されます。



9 [完了]をクリックする

- アンインストールを終了します。

ご注意：

- プリンタードライバーを再度インストールする場合は、Windows を再起動したあとに「プリンタードライバーのインストール」を実施してください。

ステータスモニターのアンインストール

ご注意：

- 実行中のソフトウェアがある場合は、「アンインストール」を実行しないでください。
- 印刷中のドキュメントがある場合は、印刷がすべて終了するまでお待ちください。

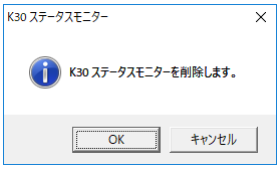
1 ステータスモニターを終了する

2 [コントロール パネル]の[プログラムと機能]または[プログラムの追加と削除]から[K30 ステータスモニター]を選択する

メモ：

- ステータスモニターのインストール時に[スタートメニューに登録する]を選択した場合は、[スタートメニュー]の[ステータスモニターのアンインストール]からアンインストールすることもできます。
- 自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用してアンインストールすることもできます。
"ステータスモニターのインストール" (☞ 73 ページ)

- ステータスモニター削除の確認画面が表示されます。

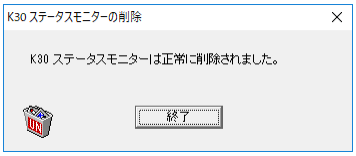


3 [OK]をクリックする

メモ：

- [エラー]画面が表示された場合、[OK]をクリックしアンインストールを続行してください。

- ステータスモニター削除の終了画面が表示されます。



4 [終了]をクリックする

- アンインストールを終了します。

電子マニュアルのアンインストール

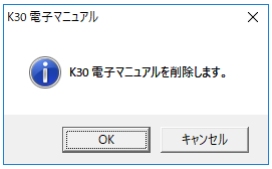
1 電子マニュアルを終了する

2 [コントロール パネル]の[プログラムと機能]または[プログラムの追加と削除]から[K30 電子マニュアル]を選択する

メモ：

- 電子マニュアルのインストール時に[スタートメニューに登録する]を選択した場合は、[スタートメニュー]の[電子マニュアルのアンインストール]からアンインストールすることもできます。
- 自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用してアンインストールすることもできます。
"電子マニュアルのインストール" (☞ 76 ページ)

- 電子マニュアル削除の確認画面が表示されます。

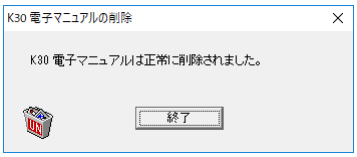


3 [OK]をクリックする

メモ：

- [エラー]画面が表示された場合、[OK]をクリックしアンインストールを続行してください。

- 電子マニュアル削除の終了画面が表示されます。



4 [終了]をクリックする

- アンインストールを終了します。

色変換データのアンインストール

ご注意：

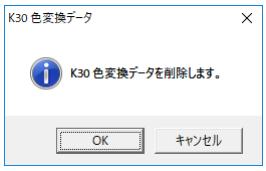
- 印刷中のドキュメントがある場合は、印刷がすべて終了するまでお待ちください。

1 [コントロール パネル]の[プログラムと機能]または[プログラムの追加と削除]から[K30 色変換データ]を選択する

メモ：

- 色変換データのインストール時に[スタートメニューに登録する]を選択した場合は、[スタートメニュー]の[色変換データのアンインストール]からアンインストールすることもできます。
- 自動実行プログラム「SETUP.exe」を使用してアンインストールすることもできます。
"色変換データのインストール" (☞ 77 ページ)

- 色変換データ削除の確認画面が表示されます。

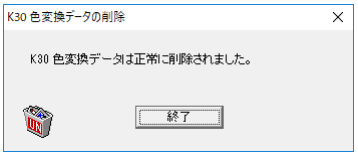


2 [OK]をクリックする

メモ：

- [エラー]画面が表示された場合、[OK]をクリックしアンインストールを続行してください。

- 色変換データ削除の終了画面が表示されます。

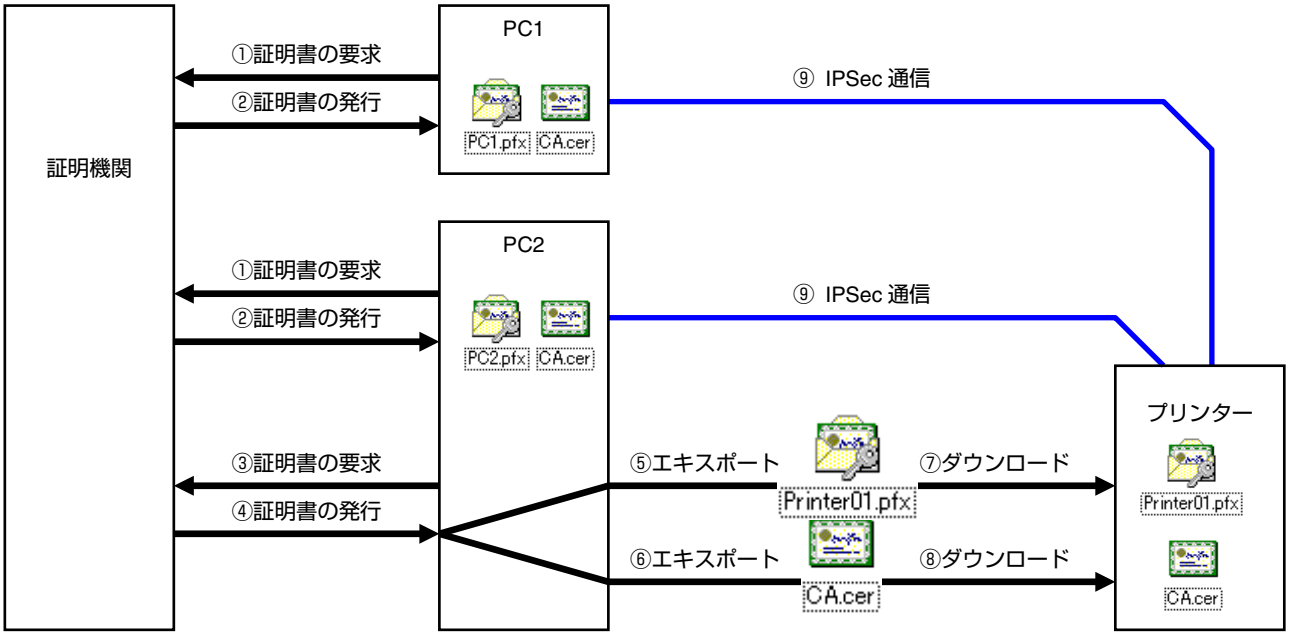


3 [終了]をクリックする

- アンインストールを終了します。

IPSec について

設定の流れ



証明書の認証

① 「PC 用の証明書」を証明機関に要求します。
② 証明機関から「PC 用の証明書」と「証明機関の証明書」が発行されます。これを PC にインストールします。
③ 「プリンター用の証明書」を証明機関に要求します。
④ 証明機関から「プリンター用の証明書」と「証明機関の証明書」が発行されます。これを PC にインストールします。
⑤ 「プリンター用の証明書」をエキスポートし、ファイルに保存します。
⑥ 「証明機関の証明書」をエキスポートし、ファイルに保存します。
⑦ プリンターを USB 接続し、ステータスモニターで「プリンター用の証明書」をダウンロードします。
⑧ プリンターを USB 接続し、ステータスモニターで「証明機関の証明書」をダウンロードします。
⑨ プリンターをネットワーク(Ethernet)接続し、PC の IPSec（IP セキュリティ）を有効にすると、IPSec 通信が開始されます。

メモ：

- 上記①～④ は、ネットワーク管理者にご相談ください。

事前共有キー認証

① プリンターを USB 接続し、ステータスモニターで「事前共有キーのファイル」をダウンロードします。
② プリンターをネットワーク(Ethernet)接続し、PC の IPSec(IP セキュリティ)を有効にすると、IPSec 通信が開始されます。

事前共有キーのファイル

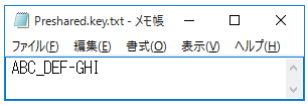
ご注意：

- Windows の IPSec（IP セキュリティ）は、プリンター本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、操作してください。
- 「事前共有キーのファイル」は、ネットワーク管理者の指示に従って、管理してください。

1 MMC(Management Console)から[IP セキュリティ ポリシーの管理]を起動する

2 事前共有キーを使用するポリシーから、[認証方法の編集のプロパティ]を開く

3 Windows の「メモ帳」などで、事前共有キーの文字列を作成し、ファイルの拡張子を「.key」で保存する



- 保存したファイルは「事前共有キーのファイル」として、ステータスモニターを用いて「事前共有キー認証」を設定する際にダウンロードします。
- プリンターの事前共有キーで使用できる ASCII 文字は、以下の表のとおりです。また、最大文字数は 255 文字です。

	2x	3x	4x	5x	6x	7x
0		0	@	P		p
1		1	A	Q	a	q
2		2	B	R	b	r
3		3	C	S	c	s
4		4	D	T	d	t
5		5	E	U	e	u
6		6	F	V	f	v
7		7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A			J	Z	j	z
B			K		k	
C			L		l	
D	-		M		m	
E	.		N		n	
F			O	_	o	

メモ：

- プリンターに「事前共有キー認証」を設定する方法は、ステータスモニターの設定を参照してください。
"事前共有キー認証に必要なファイルの設定" (☞ 119 ページ)

プリンター用の証明書ファイル

ご注意：

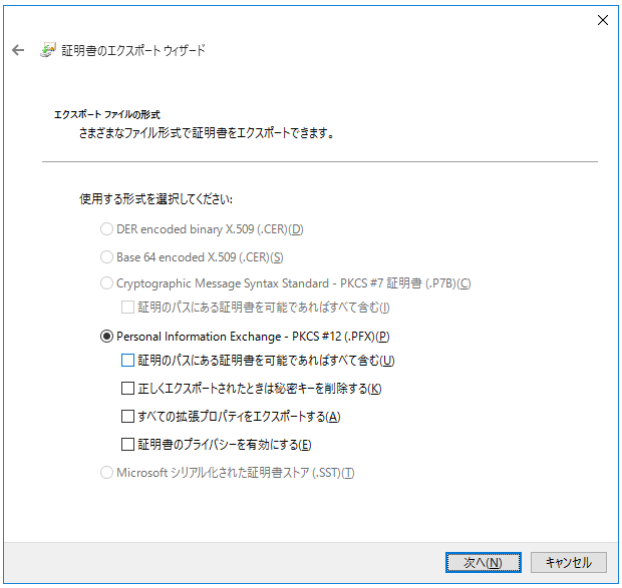
- Windows の IPSec（IP セキュリティ）は、プリンター本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、操作してください。
- 「プリンター用の証明書ファイル」は、ネットワーク管理者の指示に従って、管理してください。
- 「プリンター用の証明書」には、有効期限があります。有効期限の切れた証明書を用いた IPSec 通信は、失敗したり暗号化できないことがあります。

1 プリンター用の証明書を証明機関から取得し、PC の[証明書 (ローカル コンピューター)]にインストールする

- プリンター用の証明書は、「エキスポート可能なキー」として取得してください。

2 MMC(Management Console)から[証明書 (ローカル コンピューター)]を起動する

3 個人のストアを開き、プリンター用の証明書をエキスポートする



- 形式は「PKCS#12」で、必ずパスワードを設定してください。ファイルの拡張子は「.pfx」で保存されます。
- 保存されたファイルは「プリンター用の証明書ファイル」として、ステータスモニターを用いて「証明書の認証」を設定する際にダウンロードします。
- プリンター用の証明書のパスワードで使用できる ASCII 文字は、以下の表のとおりです。また、最大文字数は 255 文字です。

	2x	3x	4x	5x	6x	7x
0		0	@	P		p
1		1	A	Q	a	q
2		2	B	R	b	r
3		3	C	S	c	s
4		4	D	T	d	t
5		5	E	U	e	u
6		6	F	V	f	v
7		7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A			J	Z	j	z
B			K		k	
C			L		l	
D	-		M		m	
E	.		N		n	
F			O	_	o	

メモ：

- プリンターに「証明書の認証」を設定する方法は、ステータスモニターの設定を参照してください。
"証明書の認証に必要なファイルの設定" (☞ 119 ページ)

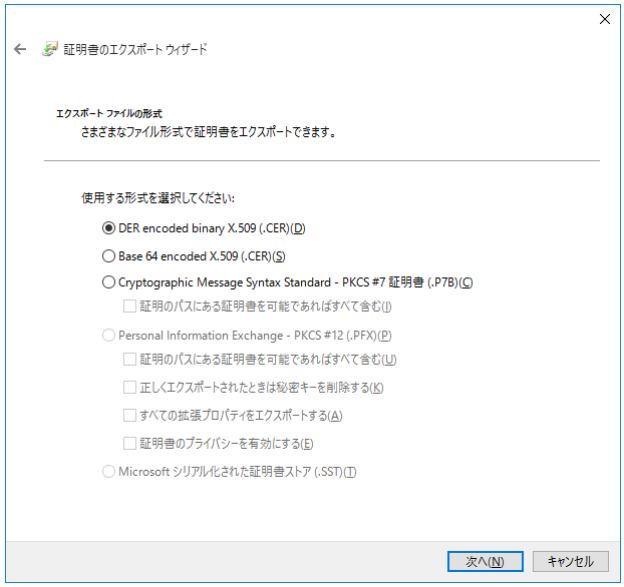
認証機関の証明書ファイル

ご注意：

- Windows の IPSec（IP セキュリティ）は、プリンター本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、操作してください。
- 「認証機関の証明書ファイル」は、ネットワーク管理者の指示に従って、管理してください。
- 「証明機関の証明書」には、有効期限があります。有効期限の切れた証明書を用いた IPSec 通信は、失敗したり暗号化できないことがあります。

1 MMC(Management Console)から[証明書 (ローカル コンピューター)]を起動する

2 証明機関のストアを開き、プリンター用の証明書と同一の「証明機関の証明書」をエキスポートする



- 形式は「DER encoded binary X509」です。ファイルの拡張子は「.cer」で保存されます。
- 保存されたファイルは「認証機関の証明書ファイル」として、ステータスモニターを用いて「証明書の認証」を設定する際にダウンロードします。

メモ：

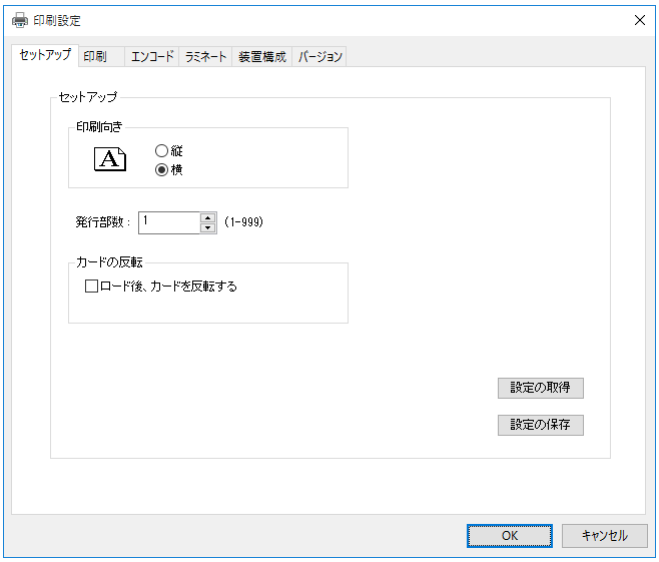
- プリンターに「証明書の認証」を設定する方法は、ステータスモニターの設定を参照してください。
"証明書の認証に必要なファイルの設定" (☞ 119 ページ)

印刷の設定

プリンタードライバーの設定

- "[セットアップ]タブシート" (☞ 86 ページ)
- "[印刷]タブシート" (☞ 86 ページ)
  - "[印刷領域]ダイアログ" (☞ 88 ページ)
  - "[色補正]ダイアログ" (☞ 89 ページ)
  - "[ルックアップテーブル]ダイアログ" (☞ 89 ページ)
  - "[ディザ]ダイアログ" (☞ 90 ページ)
  - "[UV インク]ダイアログ" (☞ 91 ページ)
  - "[プリンター設定]ダイアログ" (☞ 93 ページ)
- "[エンコード]タブシート" (☞ 94 ページ)
- "[ラミネート]タブシート" (☞ 95 ページ)
- "[装置構成]タブシート" (☞ 95 ページ)
- "[バージョン]タブシート" (☞ 96 ページ)
- 設定例
  - "印刷の設定例" (☞ 97 ページ)
  - "エンコードの設定例" (☞ 103 ページ)
  - "カード反転の図解" (☞ 106 ページ)

[セットアップ]タブシート



■ 印刷向き

印刷する向きの設定です。

- 縦

  カードの短い辺が上になるように印刷します。
- 横

  カードの長い辺が上になるように印刷します。

■ 発行部数

発行する部数です。999 まで入力できます。

■ カードの反転

カードの反転動作の設定です。

- ロード後、カードを反転する

  チェックすると、給紙後にカードを反転します。

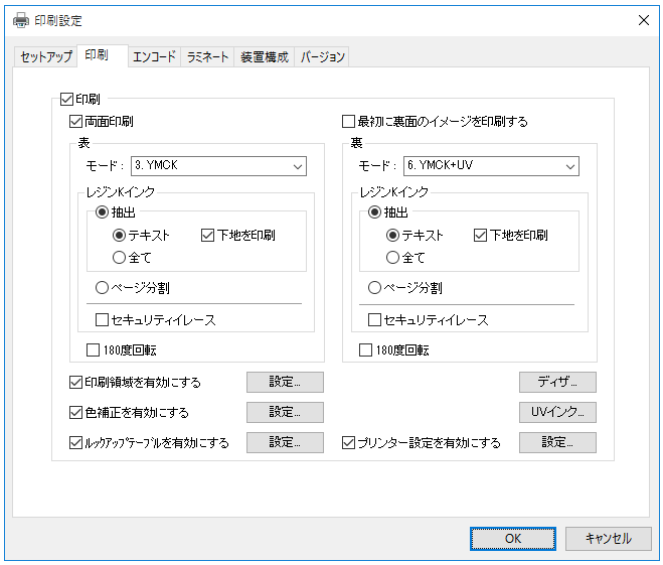
■ [設定の取得]ボタン

指定ファイルから設定情報を読み込みます。

■ [設定の保存]ボタン

設定情報を指定ファイルへ保存します。

[印刷]タブシート



■ 印刷

印刷します。

チェックした場合　：印刷します。
チェックしない場合　：印刷しませんが、エンコードはできます。

■ 両面印刷

カード両面に印刷します。

チェックしない場合　：カードの片面に印刷します。
チェックした場合　：カードの両面に印刷します。

■ 最初に裏面のイメージを印刷する

カード両面に印刷する場合に、裏面のイメージを先に印刷します。

チェックしない場合　：表面のイメージから印刷します。
チェックした場合　：裏面のイメージを先に印刷します。

メモ：

- 両面印刷の場合に、チェックボックスが有効になります。

■ 表／裏

表：カード表面の印刷設定です。
裏：カード裏面の印刷設定です。

■ モード

インク一覧です。印刷に使用するインクを指定してください。

- 1. YMC

  YMC インクで印刷します。
- 2. K

  レジン K インクで印刷します。
- 3. YMCK

  YMC インクとレジン K インクで印刷します。
- 4. YMC+UV

  YMC インクで印刷します。[UV インク]ダイアログで設定したデータを UV インクで印刷します。
- 5. K+UV

  レジン K インクで印刷します。[UV インク]ダイアログで設定したデータを UV インクで印刷します。
- 6. YMCK+UV

  YMC インクとレジン K インクで印刷します。[UV インク]ダイアログで設定したデータを UV インクで印刷します。

ご注意：

- プリンターに装着されているインクリボンと異なるインクを選択すると、印刷時、エラーとなります。

■ レジン K インク

レジン K インクで印刷する要素を指定します。

- 抽出

各ページにある黒色要素をレジン K インクで印刷します。

テキスト　：黒色テキストのみレジン K インクで印刷します。
全て　　：すべての黒色要素をレジン K インクで印刷します。
下地を印刷：指定された黒色要素の背景を YMC インクで印刷します。

- ページ分割

特定ページにあるすべての要素をレジン K インクで印刷します。

- セキュリティイレース

レジン K セキュリティイレース機能を有効にします。

■ 180 度回転

上下逆さまに印刷します。

■ 印刷領域を有効にする

ピールオフインクで印刷する領域と、YMCKUV の各インク共通で印刷しない領域を有効にします。[印刷領域] ダイアログで値を設定してください。

チェックしない場合　：印刷領域を無効にして印刷します。
チェックした場合　　：設定された印刷領域を有効にして印刷します。

- [設定]ボタン

[印刷領域] ダイアログを開きます。
"[印刷領域]ダイアログ" (☞ 88 ページ)

■ 色補正を有効にする

色を補正します。[色補正] ダイアログで値を設定してください。

チェックしない場合　：色補正を無効にして印刷します。
チェックした場合　　：設定された色補正を有効にして印刷します。

- [設定]ボタン

[色補正] ダイアログを開きます。
"[色補正]ダイアログ" (☞ 89 ページ)

■ ルックアップテーブルを有効にする

ルックアップテーブルを使用します。[ルックアップテーブル] ダイアログで値を設定してください。

チェックしない場合　：ルックアップテーブルを無効にして印刷します。
チェックした場合　　：設定されたルックアップテーブルを有効にして印刷します。

- [設定]ボタン

[ルックアップテーブル] ダイアログを開きます。
"[ルックアップテーブル]ダイアログ" (☞ 89 ページ)

■ [ディザ...]ボタン

ディザ処理に関する設定をします。
[ディザ]ダイアログで値を設定してください。
"[ディザ]ダイアログ" (☞ 90 ページ)

メモ：

- [モード]で[2.K]、[3.YMCK]、[5.K+UV]または[6.YMCK+UV]を選択すると[ディザ...]ボタンが有効になります。

■ [UV インク...]ボタン

UV インクの印刷データに関する設定をします。
[UV インク] ダイアログで値を設定してください。
"[UV インク]ダイアログ" (☞ 91 ページ)

メモ：

- [モード]で[4.YMC+UV]、[5.K+UV]または[6.YMCK+UV]を選択すると[UV インク...]ボタンが有効になります。

■ プリンター設定を有効にする

[プリンター設定] ダイアログの設定を有効にします。[プリンター設定] ダイアログで項目を設定してください。

チェックしない場合　：プリンター設定を無効にして印刷します。
チェックした場合　　：プリンター設定を有効にして印刷します。

メモ：

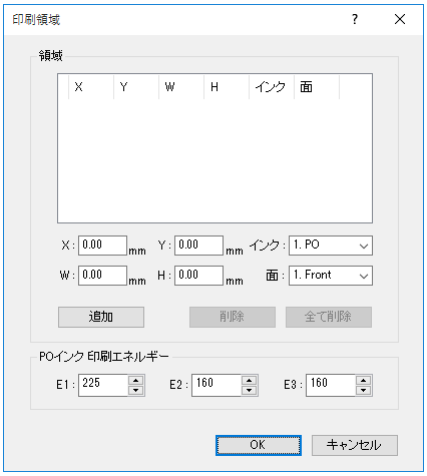
- [装置構成]タブシートの[プリンター設定]をチェックすると、[プリンター設定を有効にする]チェックボックスが有効になります。
"[装置構成]タブシート" (☞ 95 ページ)

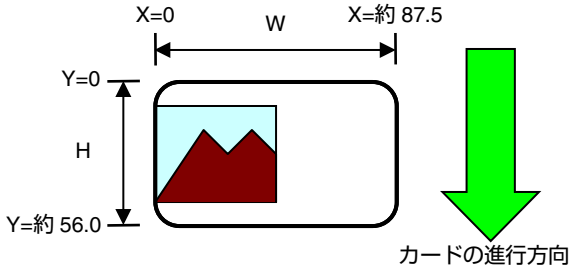
- [設定]ボタン

[プリンター設定] ダイアログを開きます。
"[プリンター設定]ダイアログ" (☞ 93 ページ)

[印刷領域]ダイアログ

ピールオフインクで印刷する領域、および、YMCKUV の各インク共通で印刷しない領域に関する設定です。





■ 領域

領域の情報です。

■ X

領域の開始 X 座標です。ミリメートル単位です。

■ Y

領域の開始 Y 座標です。ミリメートル単位です。

■ W

領域の幅です。ミリメートル単位です。

■ H

領域の高さです。ミリメートル単位です。

■ インク

領域が有効となるインクです。

- 1. PO

  ピールオフインクで印刷する領域です。

- 2. YMCK

  YMCKUV の各インク共通で印刷しない領域です。

■ 面

領域が有効となるカード面です。

- 1. Front

  表面

- 2. Back

  裏面

■ [追加]ボタン

入力データを登録します。8 個まで登録できます。

■ [削除]ボタン

一覧で選択されている情報を削除します。

■ [全て削除]ボタン

登録されているすべての情報を削除します。

ご注意：

- テキストボックスの入力値と「領域の情報」部分の値は、変換誤差のため、異なる場合があります。

メモ：

- アプリケーション・ソフトウェアから見た印刷開始位置は、上記 X=0,Y=0 と一致しない場合があります。
  画像の端から約 1mm は、カードに印刷されません。
  "画像の端が印刷されない" (☞ 128 ページ)

■ PO インク 印刷エネルギー

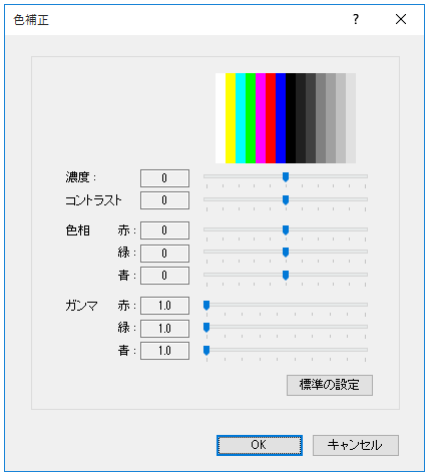
ピールオフインクの印刷濃度です。

ご注意：

- ピールオフの設定は、お買い上げ販売店にご相談ください。

[色補正]ダイアログ

色の補正に関する設定です。



■ 濃度

濃度です。

■ コントラスト

コントラストです。

■ 色相

色相です。

■ ガンマ

ガンマです。

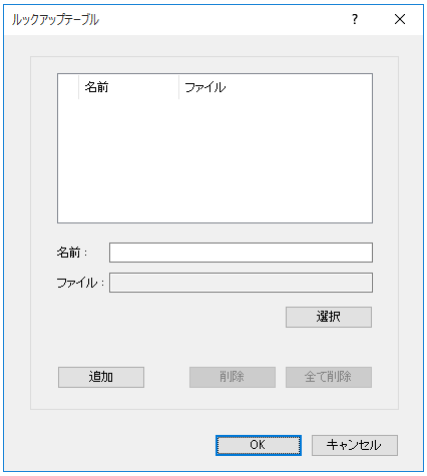
■ [標準の設定]ボタン

設定内容を標準の値に戻します。

[ルックアップテーブル]ダイアログ

ルックアップテーブルに関する設定です。

- YMCK 単位のテーブル変換、または、フルカラーの色変換を選択します。
- 一覧表の行頭をチェックすると、その行のルックアップテーブルが有効になります。



■ 名前

ルックアップテーブルファイルの登録名です。30 文字までの名前を入力できます。

■ ファイル

ルックアップテーブルファイルです。[選択]をクリックし、ファイルを選択してください。

メモ：

- YMCK 単位のテーブル変換は、CSV 形式のルックアップテーブルファイル(*.CSV)を選択してください。
- フルカラーの色変換は、色変換データのルックアップテーブルファイル(*.LUT)を選択してください。

■ [追加]ボタン

入力データを登録します。16 個まで登録できます。

■ [削除]ボタン

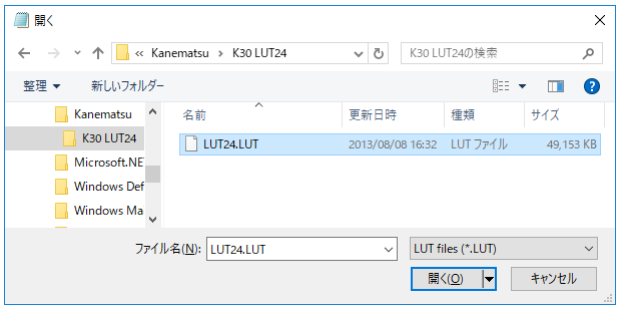
一覧で選択されている情報を削除します。

■ [全て削除]ボタン

登録されているすべての情報を削除します。

■ ルックアップテーブルファイルの登録方法

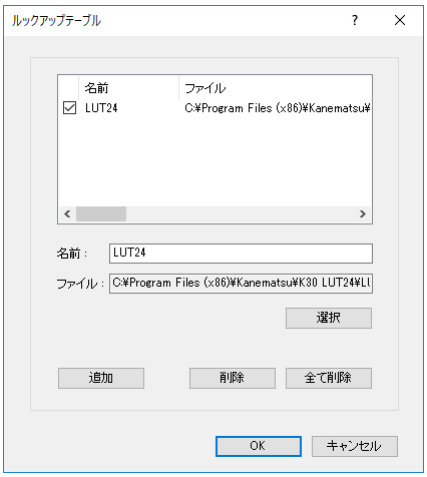
① [選択]をクリックする
- [ファイルを開く]画面が表示されます。



② [ファイルの場所]で、ルックアップテーブルファイルが保存されたフォルダーを選択する
③ [ファイルの種類]で、ファイル形式を選択する
- [CSV files (*.CSV)]を選択すると、CSV 形式のルックアップテーブルファイルが表示されます。
- [LUT files (*.LUT)]を選択すると、色変換データのルックアップテーブルファイルが表示されます。

④ ファイルを選択する
⑤ [開く]をクリックする
- [ファイルを開く]画面が閉じます。
- [ファイル]に選択したファイルが表示されます。

⑥ [名前]に登録名を入力する
⑦ [追加]をクリックする
- 一覧表に登録名が表示されます。



⑧ 一覧表の行頭をチェックする
⑨ [OK]をクリックする

■ YMCK 単位のテーブル変換に用いるファイルついて

- データフォーマットは、CSV(Comma Separated Values)形式です。
- 区切り文字は、カンマ（アスキー文字コード:0x2c）あるいは、LF(Line Feed ＝ アスキー文字コード:0x0A)です。
- フィールド数は合計 1024 個です。256 個のフィールド毎に 4 個のプレーンから構成されます。
- プレーンはイエロー用、マゼンタ用、シアン用、ブラック用の順番に配置します。
- 各フィールドの値は、0～255 です。

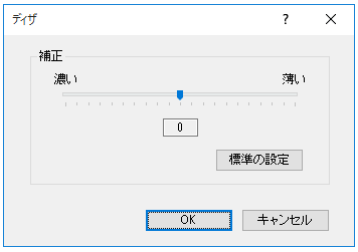
■ フルカラーの色変換データについて

- フルカラーの色変換ファイルは、「色変換データのインストール」で指定したフォルダーに保存されています。
- フルカラーの色変換を使用すると、印刷に時間がかかる場合があります。

ご注意：
- ルックアップテーブルファイルが正しくない場合は、印刷時にエラーを表示し、印刷を中止します。

[ディザ]ダイアログ

ディザ処理に関する設定です。



ご注意：
- 本設定は、[印刷]タブ内の[モード]で[2.K]および[5.K+UV]を指定している場合と、[レジンKインク]のページ分割が選択されている場合に、有効となります。

■ 補正

補正値です。
- 濃い

ディザ処理後の印刷イメージは暗い感じになります。
- 0

標準の値です。
- 薄い

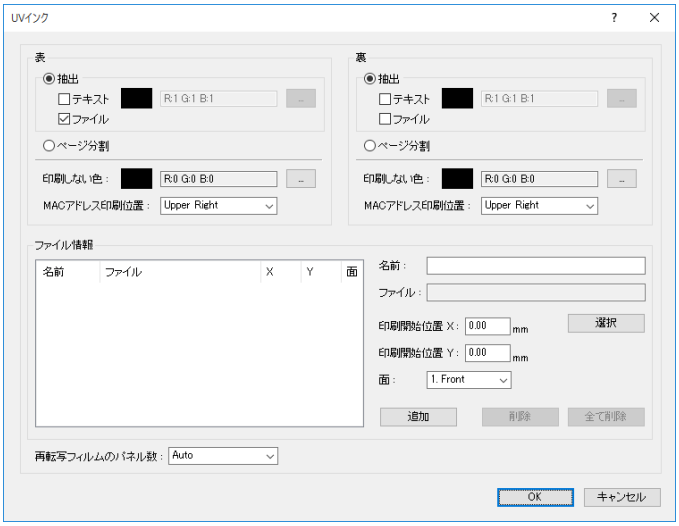
ディザ処理後の印刷イメージは明るい感じになります。

■ [標準の設定]ボタン

設定内容を標準の値に戻します。

[UV インク]ダイアログ

UV インクで印刷するデータに関する設定です。「MAC アドレス印刷位置」や「再転写フィルムのパネル数」も、ここで設定します。



ご注意：

- 本設定は、[印刷]タブ内の[モード]で[4.YMC+UV]、[5.K+UV]および[6.YMCK+UV]を指定している場合に、有効となります。

■ 表／裏

表：カード表面の設定です。
裏：カード裏面の設定です。

■ 抽出

各ページにある次の要素を UV インクで印刷します。
"データの優先順位について" (☞ 91 ページ)

- テキスト
  指定色のテキストを、最高濃度で UV 印刷します。
  白色および黒色は指定できません。
- ファイル
  [ファイル情報]のリストに登録された画像ファイルを、UV 印刷します。

■ ページ分割

特定ページにあるすべての要素を、256 階調で UV 印刷します。YMC インク、レジン K インク、UV インクの順番でページ分割されます。
"印刷ドキュメントのページ番号とページ分割の設定" (☞ 92 ページ)

■ 印刷しない色

指定した色を UV インクで印刷しません。

メモ：

- UV インク画像の背景を、ここで指定します。グラフィック・ソフトウェアなどを用いて、画像の背景を特定の色で塗りつぶしてください。
  背景と同じ画像中の色もすべて印刷されないので、色の指定は十分確認してください。
- ここで指定した色は、[抽出]-[テキスト]で指定した色に影響しません。同じ色を指定した場合でも、その色のテキストは印刷されます。

■ MAC アドレス印刷位置

プリンターのネットワーク（Ethernet）の MAC アドレス（物理アドレス）を、指定した位置に UV インクで印刷します。

- Upper Right
  右上隅
- Lower Left
  左下隅

"MAC アドレスの印刷位置について" (☞ 92 ページ)

■ ファイル情報

UV インクで印刷する画像ファイルに関する設定です。

メモ：

- 本設定は、表あるいは裏の[抽出]-[ファイル]を指定している場合に、有効となります。

■ 名前

画像ファイルの登録名です。30 文字までの名前を入力できます。

■ ファイル

画像ファイルです。[選択]をクリックし、ファイルを選択してください。
"Windows ビットマップのファイル形式" (☞ 92 ページ)

■ 印刷開始位置 X

画像ファイルの印刷開始 X 座標です。ミリメートル単位です。
[セットアップ]タブシートの[印刷向き]が[横]の場合は 0.00～87.4,
[縦]の場合は 0.00～55.9 です。範囲外のデータは印刷されません。

■ 印刷開始位置 Y

画像ファイルの印刷開始 Y 座標です。ミリメートル単位です。
[セットアップ]タブシートの[印刷向き]が[横]の場合は 0.00～55.9,
[縦]の場合は 0.00～87.4 です。範囲外のデータは印刷されません。

■ 面

画像ファイルを印刷するカードの面です。

- 1. Front
  表面
- 2. Back
  裏面

■ [追加]ボタン

入力データを登録します。8 個まで登録できます。

■ [削除]ボタン

一覧で選択されている情報を削除します。

■ [全て削除]ボタン

登録されているすべての情報を削除します。

■ 再転写フィルムのパネル数

使用する再転写フィルムのパネル数です。

- Auto
  UV インクの印刷位置に、他のインクのデータが重ならない場合は、自動的に 1 パネルの再転写フィルムで印刷します。
- 1 panel
  1 パネルの再転写フィルムで印刷します。ただし、UV インクの印刷位置に、他のインクのデータが重なる場合は、インクのデータは補正されます。
- 2 panels
  2 パネルの再転写フィルムで印刷します。

"印刷時の再転写フィルムのパネル数" (☞ 93 ページ)

データの優先順位について

- 抽出されたテキストは画像ファイルより優先順位が高く、必ず、一番上に印刷されます。
- 画像ファイルは登録順に処理されます。印刷範囲が重なった場合は、あとから登録した画像ファイルのデータが以前のデータに上書きします。

印刷ドキュメントのページ番号とページ分割の設定

ページ分割の設定				印刷ドキュメントのページ番号					
レジン K インク		UV インク							
表	裏	表	裏	1	2	3	4	5	6
-	-	-	-	YMCK	YMCK				
有	-	-	-	YMC	K	YMCK			
-	-	有	-	YMCK	UV	YMCK			
有	-	有	-	YMC	K	UV	YMCK		
-	有	-	有	YMCK	YMC	K	UV		
有	有	-	-	YMC	K	YMC	K		
-	-	有	有	YMCK	UV	YMCK	UV		
有	有	有	-	YMC	K	UV	YMC	K	
有	有	有	有	YMC	K	UV	YMC	K	UV

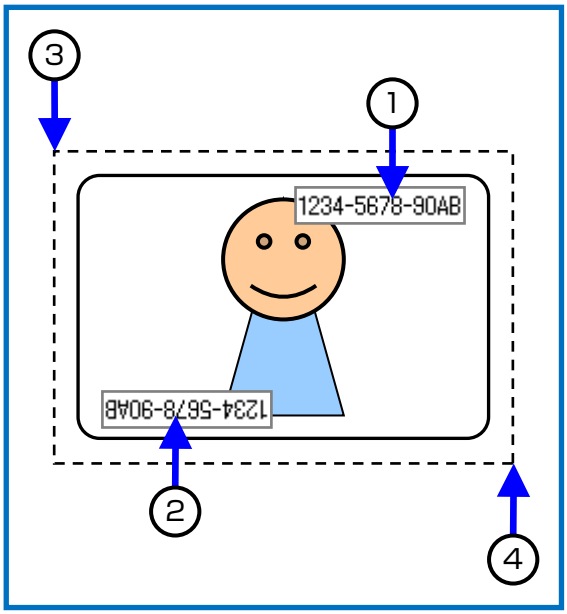
インク名 表面で印刷するインク　インク名 裏面で印刷するインク

- ページ分割の設定をしない場合は、YMC インクのデータから UV インクのデータを抽出か、UV インク用の画像ファイルを用います。

MAC アドレスの印刷位置について

- UV インクで印刷する場合、プリンター本体は、常に MAC アドレスを印刷します。
- MAC アドレスの印刷位置は、表面と裏面で別々にプリンタードライバーで設定できます。以下の 2 か所を選択できます。

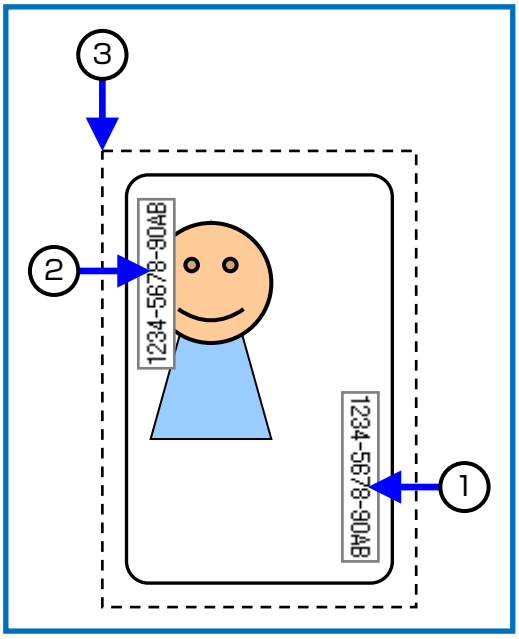
■ 印刷向きが横の場合



① 右上隅(Upper Right)の場合、MAC アドレスの印刷位置
② 左下隅(Lower Left)の場合、MAC アドレスの印刷位置
③ (X=0, Y=0)
④ (X=約 87.5mm, Y=約 56.0mm) (X=1035 pixel, Y=663 pixel)

MAC アドレスの印刷位置	開始 X	開始 Y	幅	高さ
① 右上隅 (Upper Right)	64.69 mm	1.52 mm	19.47 mm	2.88 mm
	764 pixel	18 pixel	230 pixel	34 pixel
② 左下隅 (Lower Left)	3.56 mm	51.73 mm	19.47 mm	2.88 mm
	42 pixel	611 pixel	230 pixel	34 pixel

■ 印刷向きが縦の場合



① 右上隅(Upper Right)の場合、MAC アドレスの印刷位置
② 左下隅(Lower Left)の場合、MAC アドレスの印刷位置
③ (X=0, Y=0)

MAC アドレスの印刷位置	開始 X	開始 Y	幅	高さ
① 右上隅 (Upper Right)	51.82 mm	64.69 mm	2.88 mm	19.47 mm
	612 pixel	764 pixel	34 pixel	230 pixel
② 左下隅 (Lower Left)	1.61 mm	3.56 mm	2.88 mm	19.47 mm
	19 pixel	42 pixel	34 pixel	230 pixel

- MAC アドレスの印刷位置は、上記設定がプリンター本体の設定より優先されます。
  表示の寸法は、画像原点よりの相対位置を示します。実際に印刷される位置には、誤差が含まれます。

メモ：

- アプリケーション・ソフトウェアから見た印刷開始位置は、上記 X=0,Y=0 と一致しない場合があります。
  画像の端から約 1mm は、カードに印刷されません。
  "画像の端が印刷されない" (☞ 128 ページ)

Windows ビットマップのファイル形式

以下の Windows ビットマップのファイル形式(*.BMP)をサポートします。

■ モノクロ／白黒

- ビット数：1

標準では、白色を最高濃度で UV 印刷します。
ただし、[印刷しない色]において白色を指定している場合には、黒色を最高濃度で UV 印刷します。

■ 2 色

- ビット数：1

カラーパレットに対応し、256 階調で UV 印刷します。
ただし、[印刷しない色]においてカラーパレット内の色を指定している場合には、指定されない色を最高濃度で UV 印刷します。

■ 16 色

- ビット数：4

カラーパレットに対応し、256 階調で UV 印刷します。

■ **256 色**

- ビット数：8

カラーパレットに対応し、256 階調で UV 印刷します。

■ **32768 色**

- ビット数：15

256 階調で UV 印刷します。
(MSB)GGGBBBBB-XRRRRRGG(LSB)形式のみサポートします。

■ **24 ビット**

- ビット数：24

256 階調で UV 印刷します。

■ **32 ビット**

- ビット数：32

256 階調で UV 印刷します。

印刷時の再転写フィルムのパネル数

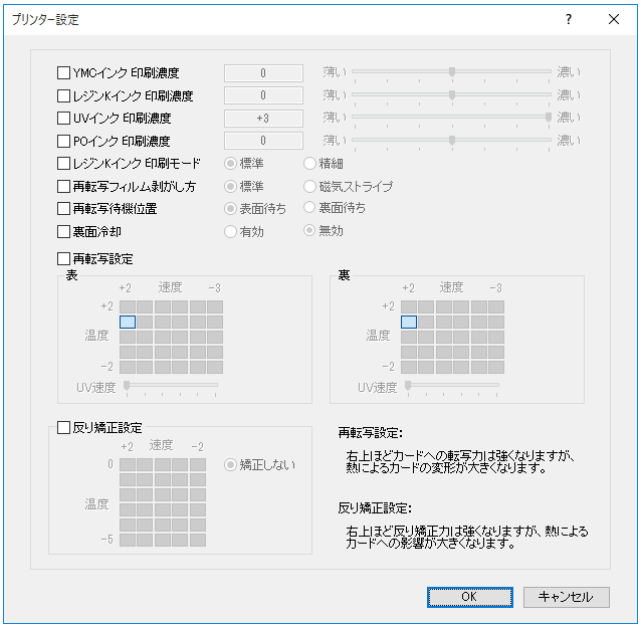
	印刷データ	[再転写フィルムのパネル数]の設定		
		1 panel	Auto	2 panels
MAC アドレスの領域外で、UV インクと重なる印刷データ	なし	1 パネルで印刷		2 パネルで印刷
	YMC インク	1 パネルで印刷 ※：UV インクと重なる部分は、YMC インクを印刷しない	2 パネルで印刷	
	レジン K インク	1 パネルで印刷 ※：レジン K インクと重なる部分は、UV インクを印刷しない	2 パネルで印刷	
MAC アドレスの領域内部にある印刷データ	なし	1 パネルで印刷		2 パネルで印刷
	YMC インク	1 パネルで印刷 ※:YMCK インクを印刷しない	2 パネルで印刷	
	レジン K インク			
	UV インク	MAC アドレスのみ印刷		

- 対象となる印刷データを Pixel 単位で比較し、重なりがあるかどうかを判定します。
- 印刷パネル数は、「2 パネルで印刷」が、優先されます。

[プリンター設定]ダイアログ

プリンターに関する設定です。

- 有効にする設定項目のチェックボックスをチェックし、値を設定してください。設定した値で印刷します。
- 有効にしない場合は、プリンター本体に設定されている値で印刷します。



■ **YMC インク印刷濃度**

YMC インクの印刷濃度です。

- [+]の値で濃く、[-]の値で薄くなります。

■ **レジン K インク印刷濃度**

レジン K インクの印刷濃度です。

- [+]の値で濃く、[-]の値で薄くなります。

■ **UV インク印刷濃度**

UV インクの印刷濃度です。

- [+]の値で濃く、[-]の値で薄くなります。

■ **PO インク印刷濃度**

ピールオフインクの印刷濃度です。

ご注意：

- ピールオフの設定は、お買い上げ販売店にご相談ください。

■ **レジン K インク印刷モード**

レジン K インクの印刷品質です。
[精細]を選択すると印刷品質は向上しますが、印刷速度は低下します。

■ **再転写フィルム剥がし方**

磁気エンコーダーユニットが実装されている場合、[磁気ストライプ]を選択すると、磁気ストライプ付きカード用の再転写フィルムの剥がし方が適正化されます。

■ **再転写待機位置**

ラミネーターが接続されている場合に設定します。
両面印刷の場合、ラミネーターがレディになるまでカードを待機させる位置を設定します。標準は[表面待ち]です。

■ **裏面冷却**

両面印刷時に有効な設定です。
両面印刷の場合、カードの反りが小さくなることがあります。印刷時間に影響する場合があります。

■ 再転写設定

再転写に関する設定です。設定したい矩形（升目）をクリックして値を変更します。
右上ほどカードへの転写力は強くなりますが、熱によるカードの変形が大きくなります。

- 温度

再転写ヒートローラーの温度です。

- 速度

再転写速度です。

- UV 速度

UV インクの印刷時、再転写フィルムが 2 パネルで印刷する場合の設定です。
UV インクを再転写するとき、再転写ヒートローラーの速度を設定します。
UV 印刷に影響しない範囲で、高速化できます。

■ 反り矯正設定

反り矯正に関する設定です。
設定したい矩形（升目）をクリックして値を変更します。
右上ほど反り矯正力は強くなりますが、熱によるカードへの影響が大きくなります。
反り矯正をしない場合、[矯正しない]を選択してください。

- 温度

反り矯正ヒートローラーの温度です。

- 速度

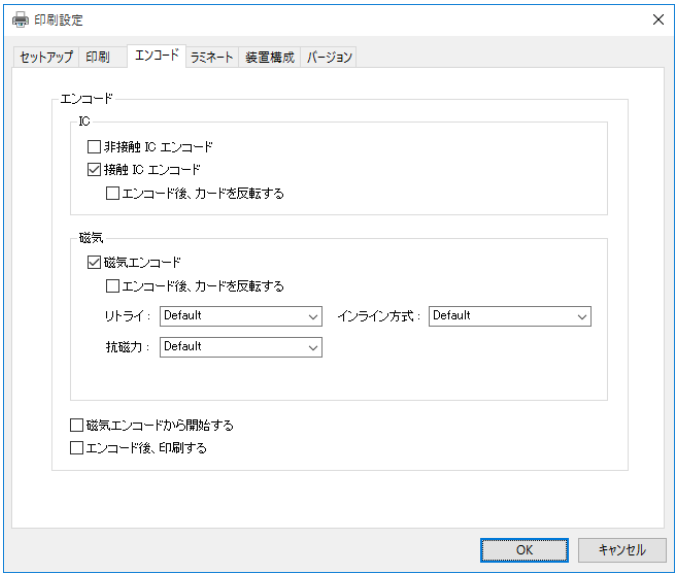
反り矯正速度です。

ご注意：

- 再転写設定や反り矯正設定は、カードの種類やプリンターの使用環境で最適値は変化します。実際の環境で試して、設定してください。
- 再転写設定や反り矯正設定が、プリンター本体に設定された温度と異なる場合、印刷開始までに時間が掛かる場合があります。
- 再転写温度は共通なので、片面の再転写温度を変更すると他面も連動して変化します。
- 反り矯正設定は片面印刷の場合に効果があります。反り矯正設定が高温に設定された状態で両面印刷した場合に、カードが大きく変形する場合があります。
  両面印刷する場合は、[矯正しない]を選択してください。
- 反り矯正設定で[矯正しない]を選択すると、速度は一番速い設定[+2]になります。
- 反り矯正力が強いほど、反り矯正面は艶消し状になりやすくなります。

[エンコード]タブシート

オプションのエンコーダーにおいて、エンコード動作を設定します。



■ IC

■ 非接触 IC エンコード

非接触 IC へのデータ書き込みを許可します。

■ 接触 IC エンコード

接触 IC へのデータ書き込みを許可します。

■ エンコード後、カードを反転する

非接触 IC または接触 IC へのデータ書き込み後、カードを反転します。

■ 磁気

■ 磁気エンコード

磁気ストライプへのデータ書き込みを許可します。

■ エンコード後、カードを反転する

磁気ストライプへのデータ書き込み後、カードを反転します。

■ リトライ

磁気ストライプの書き込み、または読み取りに失敗した場合の最大リトライ数を設定します。

- [Default]は、プリンター本体に設定されたリトライ数です。

■ 抗磁力

磁気ストライプカードに対する、抗磁力です。

- [Default]は、プリンター本体に設定された抗磁力です。

■ インライン方式

インライン・エンコードの方式を選択します。本機能は、[装置構成]タブシートで[ISO 磁気エンコーダー]が有効な場合に、設定可能になります。
"インライン・エンコード" (☞ 122 ページ)

- Default

従来から用いているデフォルトのエンコード方式です。

- Type B

Type B のエンコード方式です。

- Type C

Type C のエンコード方式です。

- None

ISO 磁気エンコードデータは、インライン・エンコードを使用しません。

■ 磁気エンコードから開始する

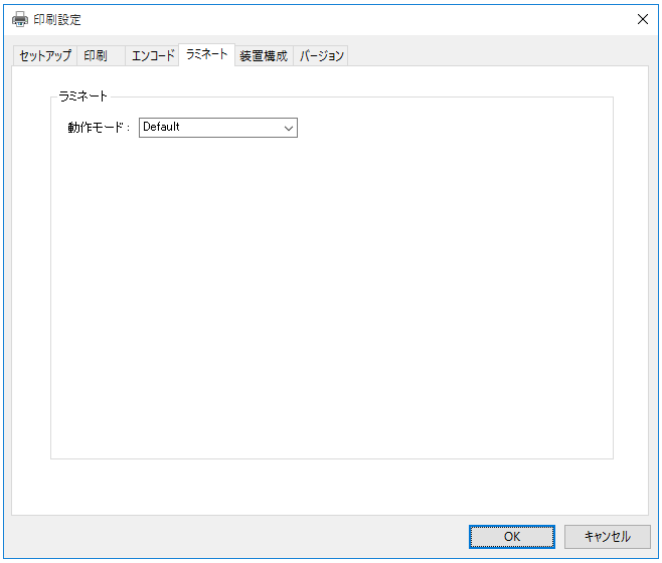
チェックしない場合　：IC→磁気の順番で、エンコードします。
チェックした場合　　：磁気→IC の順番で、エンコードします。

■ エンコード後印刷する

チェックしない場合　：エンコード中に印刷を開始します。
チェックした場合　　：エンコード終了を待ってから、印刷を開始します。

[ラミネート]タブシート

オプションのラミネーターにおいて、ラミネート動作を設定します。



■ 動作モード

- Default

ステータスモニターの『動作モード』で設定された内容で動作します。

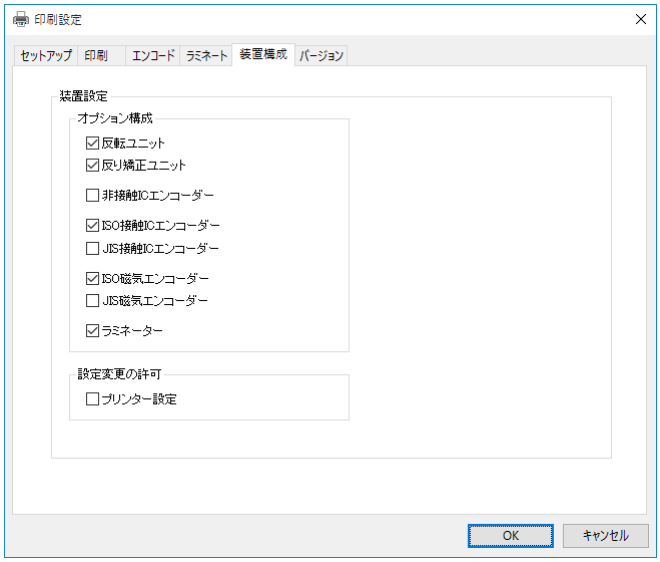
- Pass Through

カードをラミネートしません。

- Laminate

カードをラミネートします。

[装置構成]タブシート



■ オプション構成

オプション搭載の有無を設定します。

■ 反転ユニット

■ 反り矯正ユニット

■ 非接触 IC エンコーダー

■ ISO 接触 IC エンコーダー

■ JIS 接触 IC エンコーダー

■ ISO 磁気エンコーダー

■ JIS 磁気エンコーダー

■ ラミネーター

■ 設定変更の許可

[印刷]タブシートの[プリンター設定を有効にする]機能を許可または禁止します。

■ プリンター設定

チェックしない場合　：[印刷]タブシートの[プリンター設定を有効にする]機能を禁止します。

チェックした場合　：[印刷]タブシートの[プリンター設定を有効にする]機能を許可します。

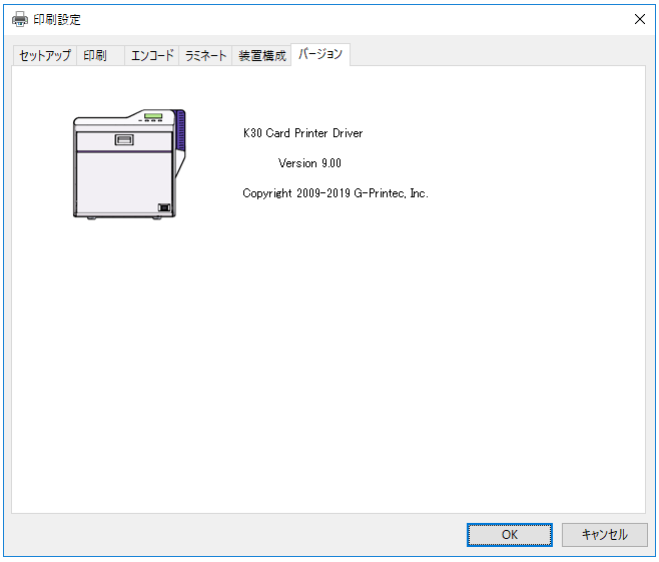
"プリンター設定を有効にする" (☞ 87 ページ)

ご注意：

- 管理者権限のあるユーザー（Administrators グループ）で実行した場合は、[装置構成]の設定ができます。
  管理者権限のないユーザーで実行した場合は、[装置構成]の設定はできずに表示のみとなります。

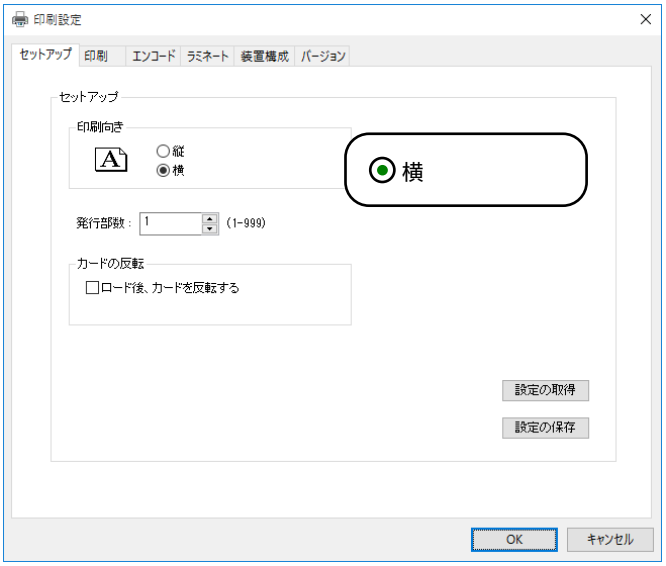
[バージョン]タブシート

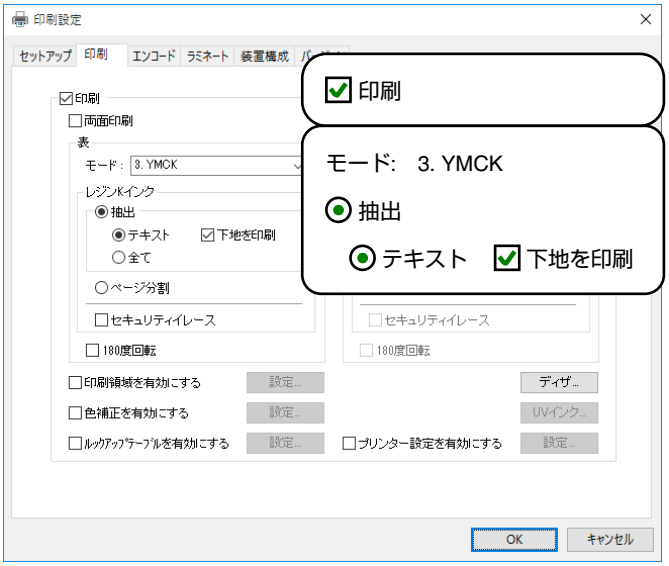
バージョン情報および著作権情報を表示します。



印刷の設定例

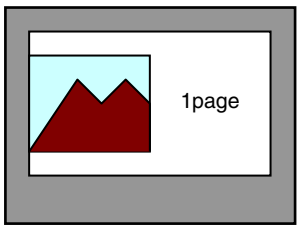
片面印刷（横向き）





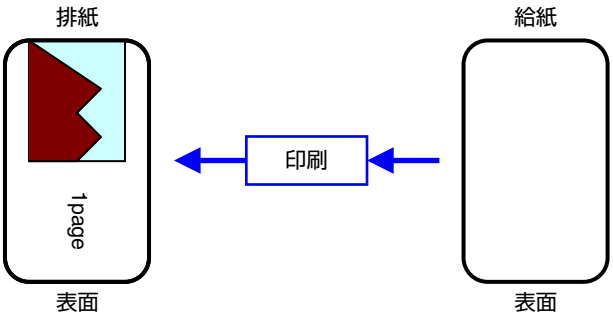
■ アプリケーション・ソフトウェア

- 絵　：カラー
- 文字 ：黒

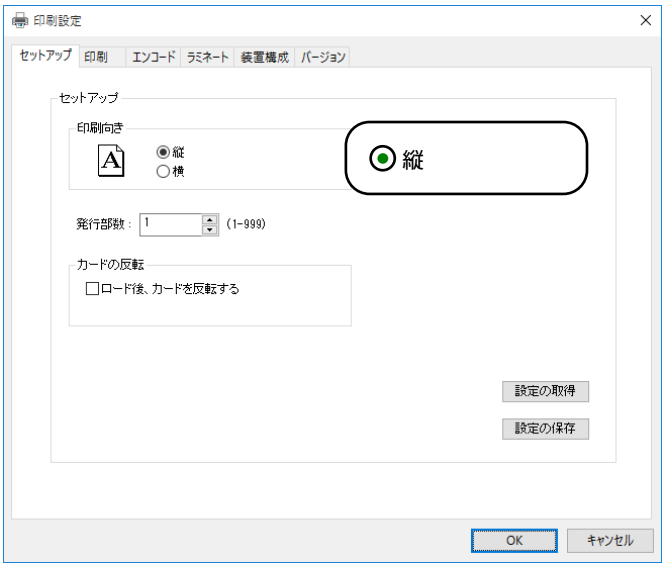


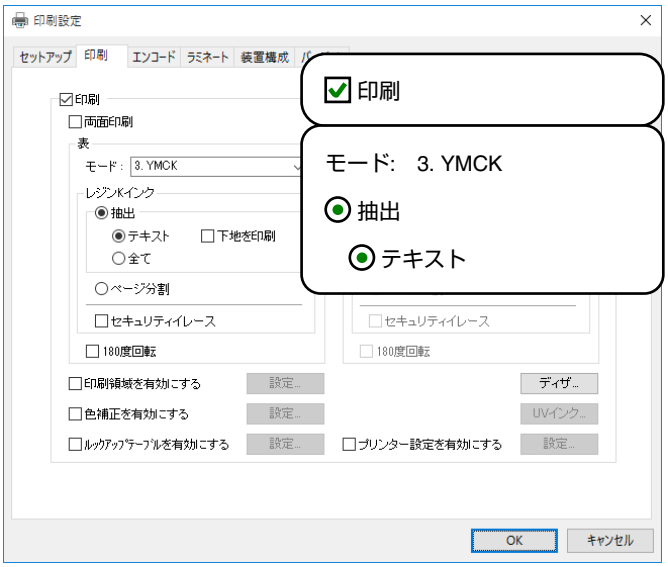
■ プリンター

- 絵　：YMC インク
- 文字 ：YMC インク+レジン K インク



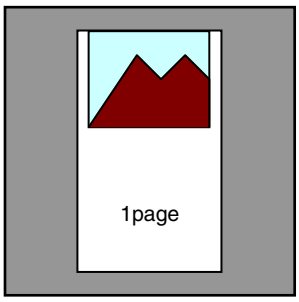
片面印刷（縦向き）





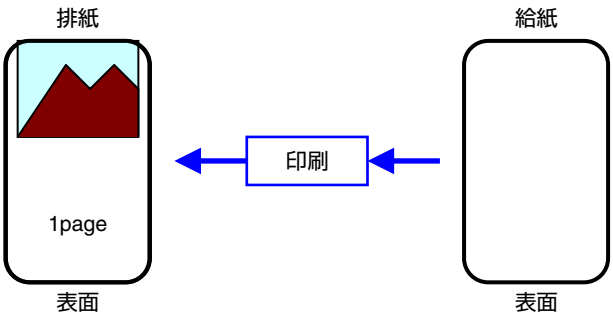
■ アプリケーション・ソフトウェア

- 絵　：カラー
- 文字：黒

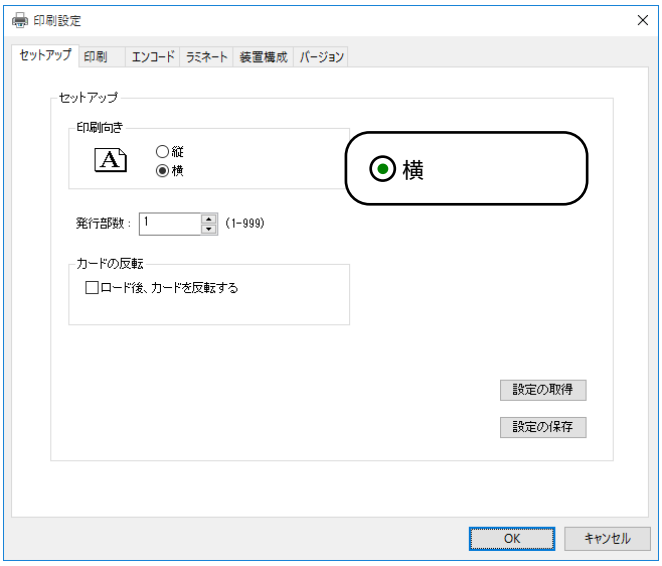


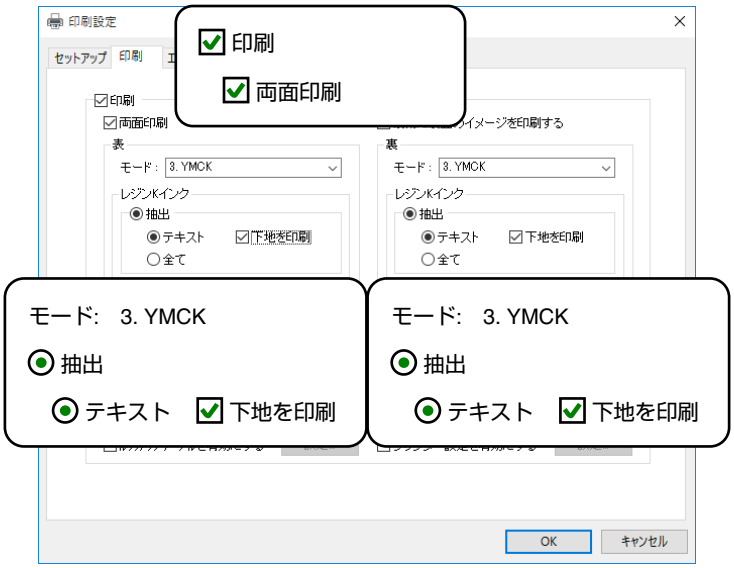
■ プリンター

- 絵　：YMC インク
- 文字：レジン K インク



両面印刷（標準）



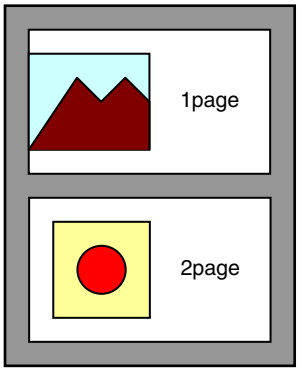


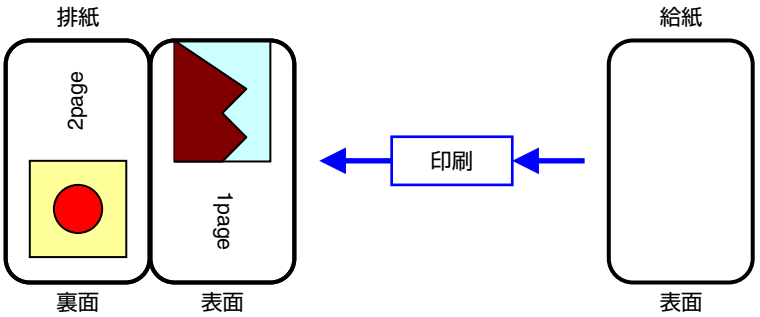
■ アプリケーション・ソフトウェア

- 絵　：カラー
- 文字：黒

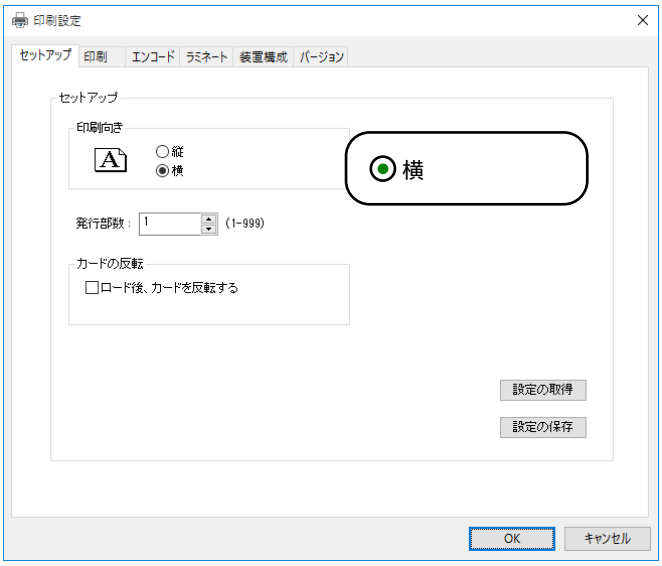
■ プリンター

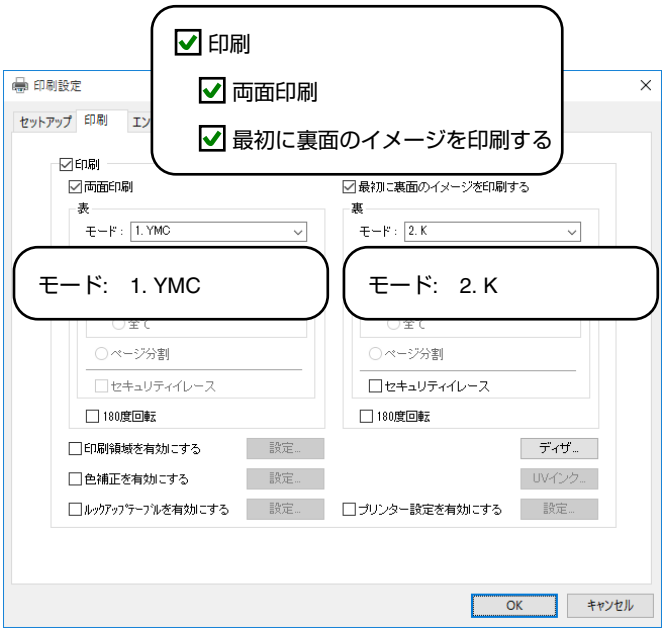
- 絵　：YMC インク
- 文字：YMC インク+レジン K インク





両面印刷（片面ラミネート対応）

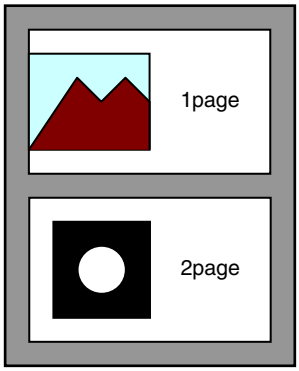




■ アプリケーション・ソフトウェア

1 ページ
- 絵　：カラー
- 文字 ：カラー

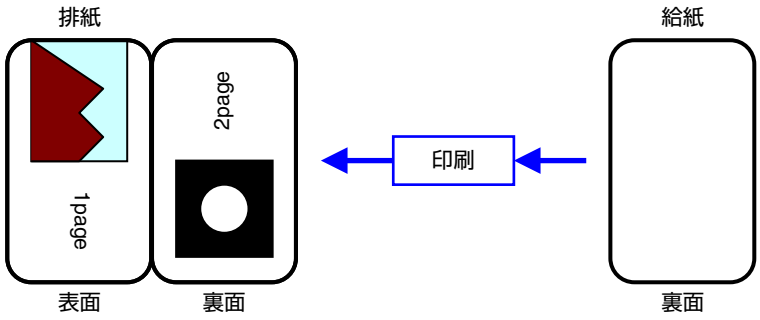
2 ページ
- 絵　：黒色
- 文字 ：黒色



■ プリンター

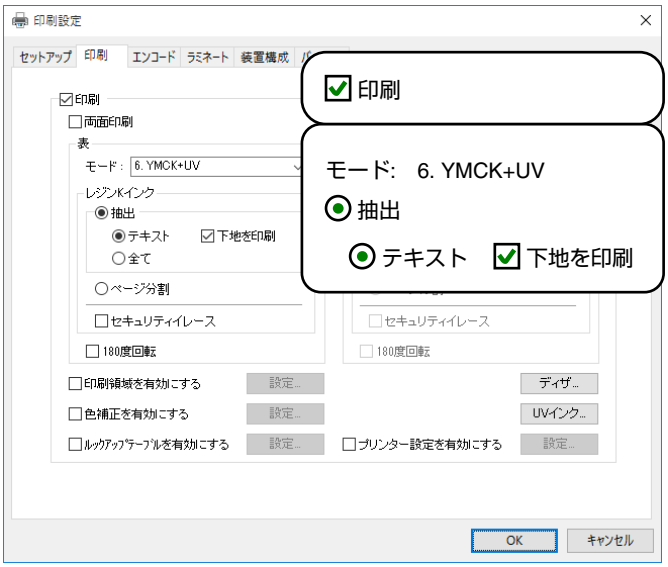
表面
- 絵　：YMC インク
- 文字 ：YMC インク

裏面
- 絵　：レジン K インク
- 文字 ：レジン K インク

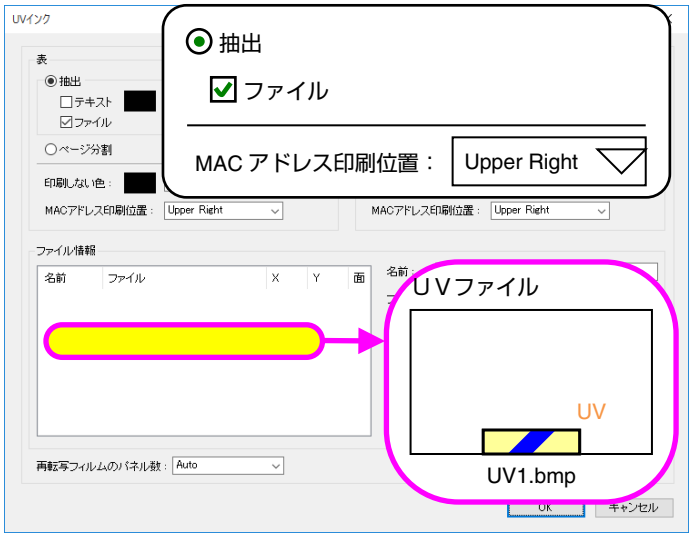


メモ：
- 2 ページ目をカラーに設定した場合は、ディザ処理をして、レジン K インクで印刷します。
"[ディザ]ダイアログ" (☞ 90 ページ)

片面 UV 印刷

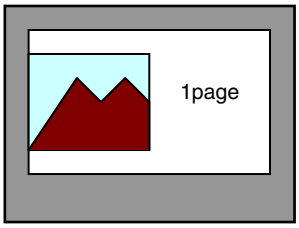


[UV インク...]をクリックすると[UV インク]ダイアログが開きます。



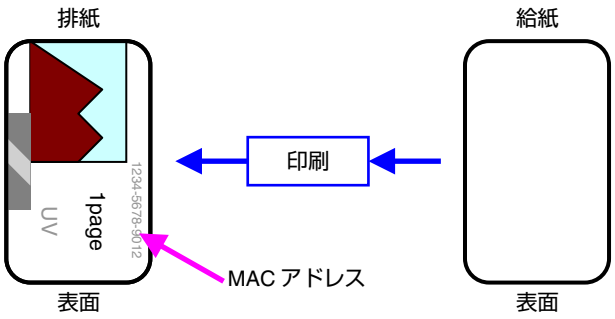
■ アプリケーション・ソフトウェア

- 絵　：カラー
- 文字 ：黒

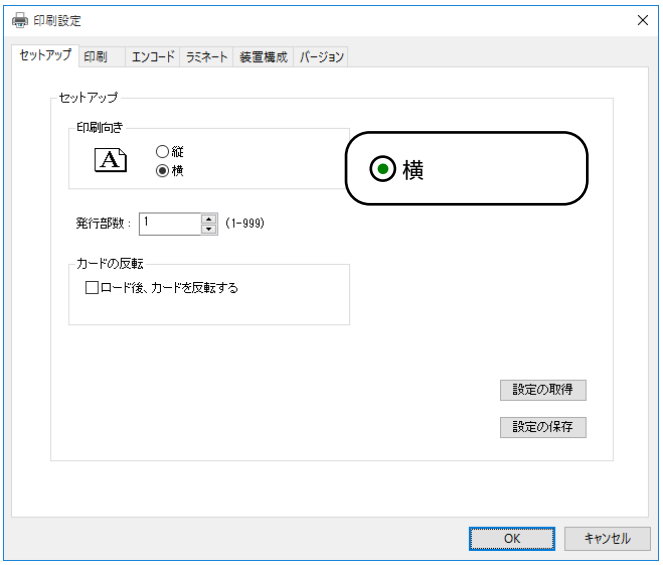


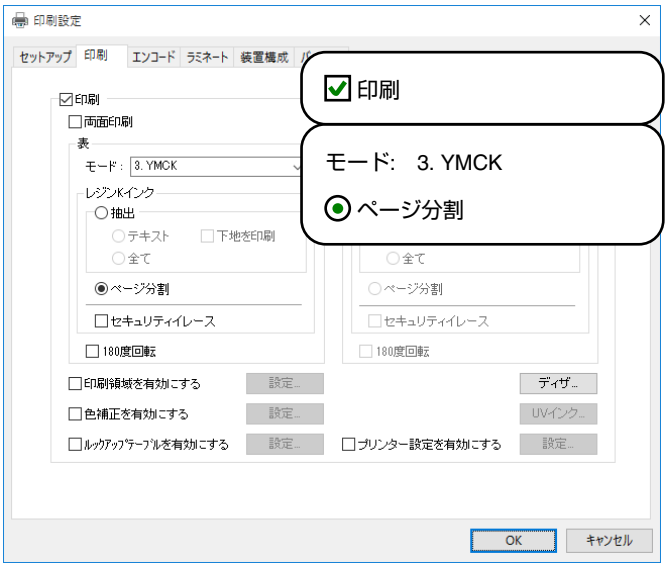
■ プリンター

- 絵　　：YMC インク
- 文字　　：YMC インク+レジン K インク
- UV1.bmp　：UV インク
- MAC アドレス　：UV インク



ページ分割

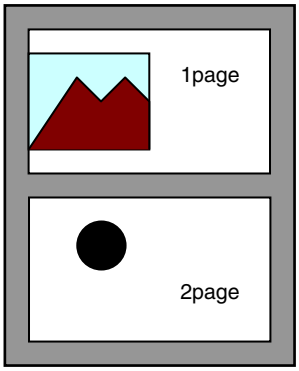




■ アプリケーション・ソフトウェア

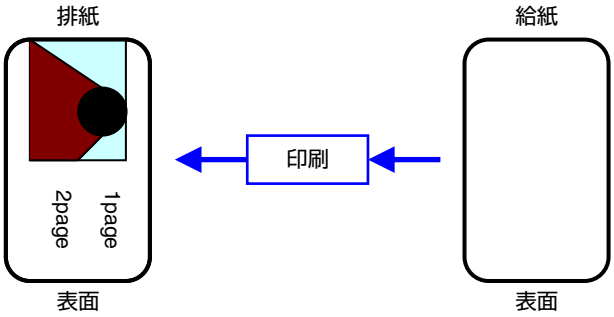
1 ページ
- 絵　：カラー
- 文字 ：カラー

2 ページ
- 絵　：黒色
- 文字 ：黒色



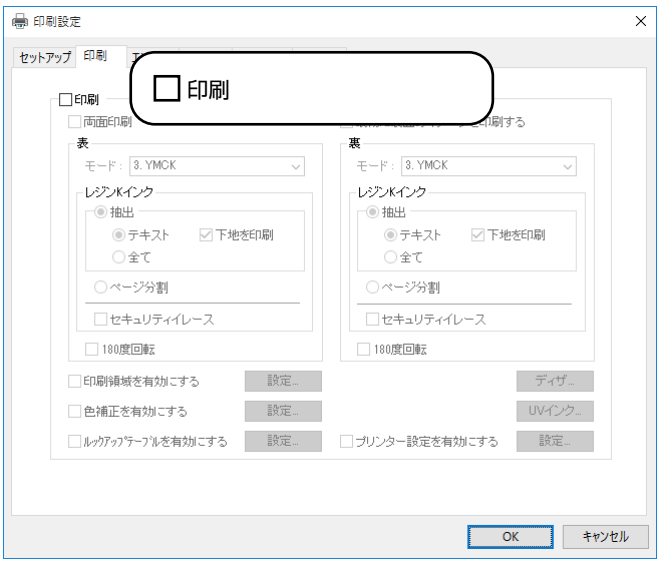
■ プリンター

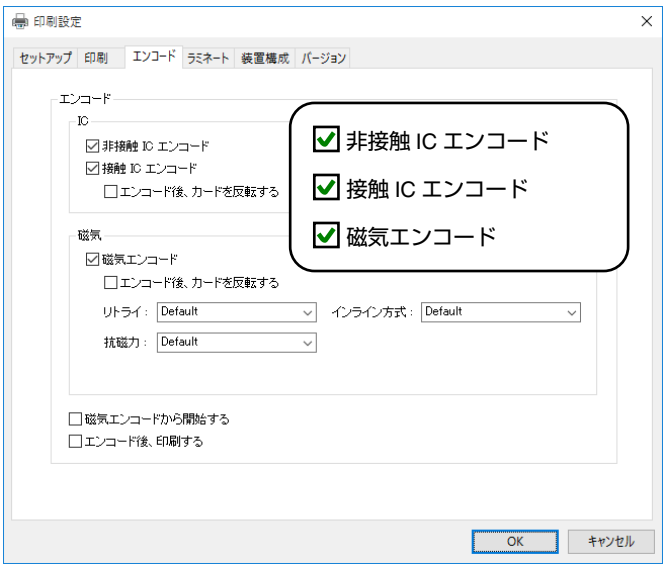
- 絵　：YMC インク+レジン K インク
- 文字 ：YMC インク+レジン K インク



エンコードの設定例

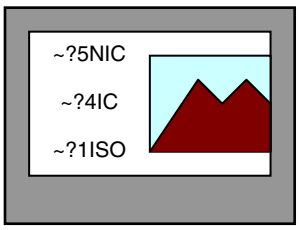
エンコードのみ（ISO カード）





■ アプリケーション・ソフトウェア

- 絵　：カラー
- 文字 ：黒

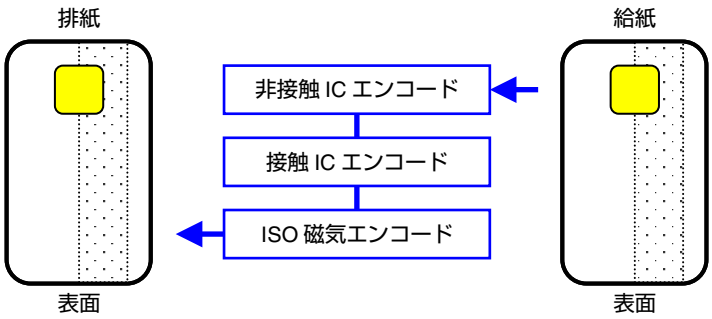


■ プリンター

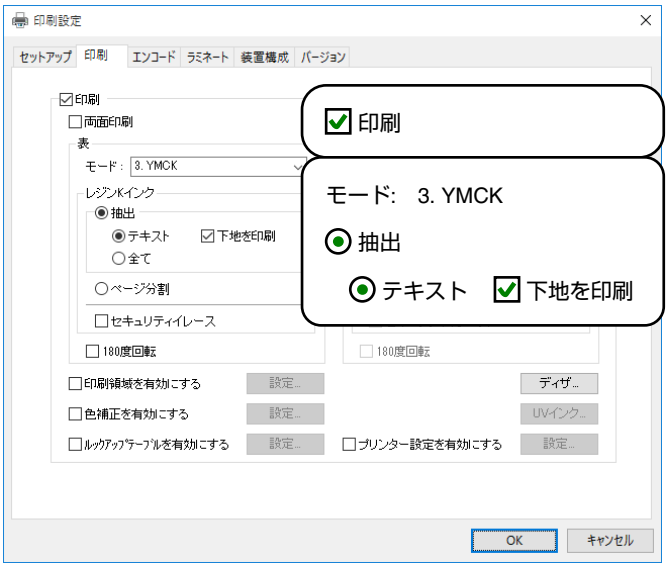
- 絵　：なし
- 文字 ：なし

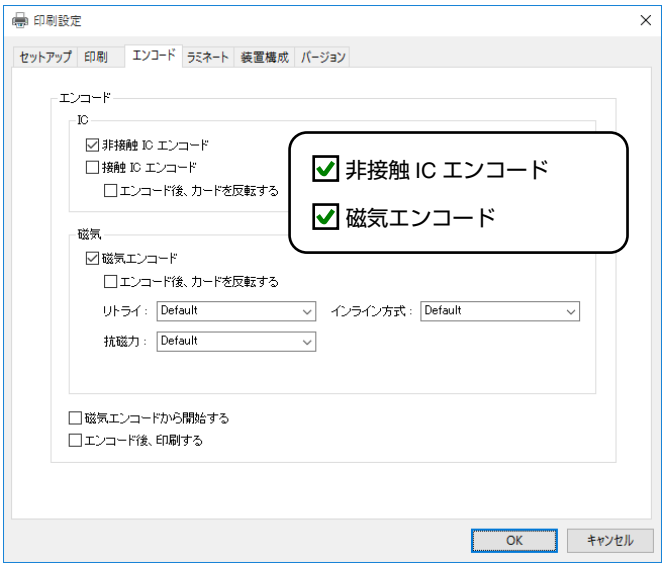
■ インライン・エンコード

- 非接触 IC エンコード・データ　：NIC
- 接触 IC エンコード・データ　：IC
- ISO トラック 1 磁気エンコード・データ　：ISO



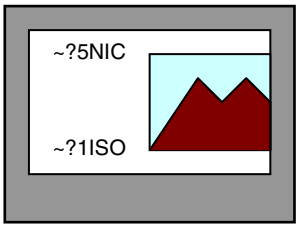
エンコードと印刷（ISO カード）





■ アプリケーション・ソフトウェア

- 絵　：カラー
- 文字 ：黒

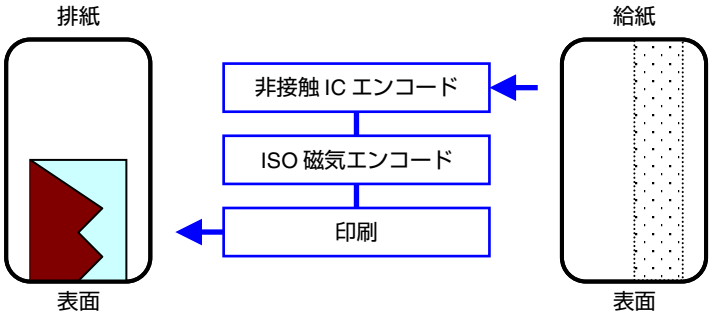


■ プリンター

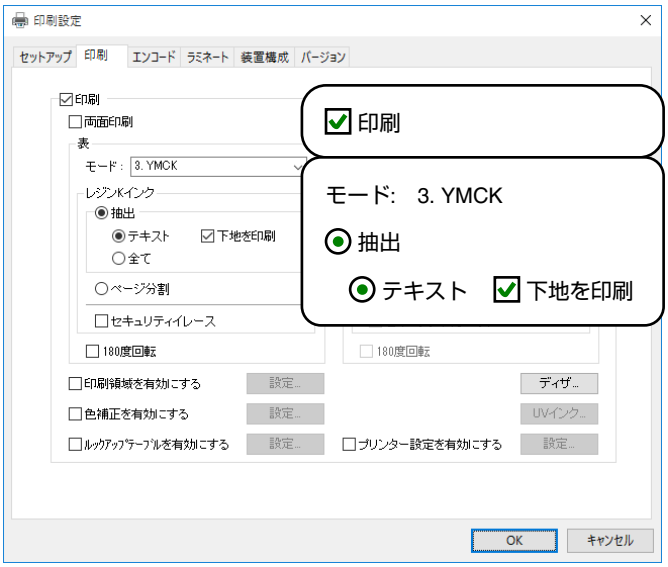
- 絵　：YMC インク
- 文字 ：YMC インク+レジン K インク

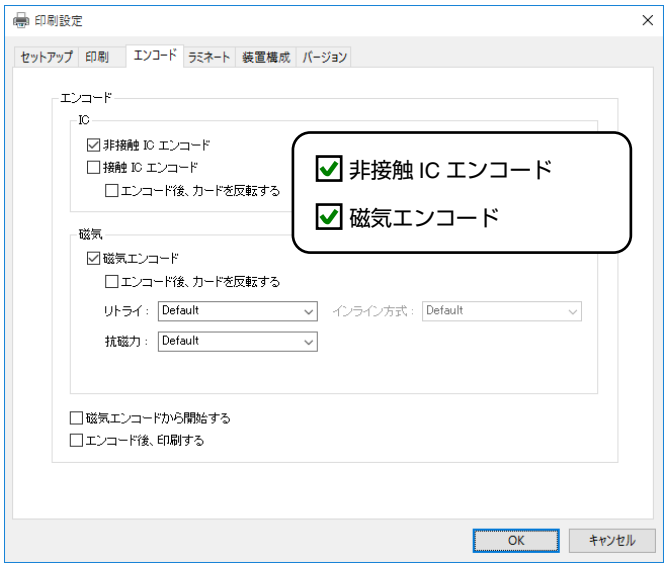
■ インライン・エンコード

- 非接触 IC エンコード・データ　　：NIC
- ISO トラック 1 磁気エンコード・データ ：ISO



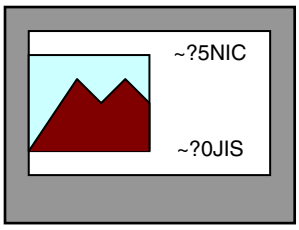
エンコードと印刷（JIS カード）





■ アプリケーション・ソフトウェア

- 絵　：カラー
- 文字 ：黒

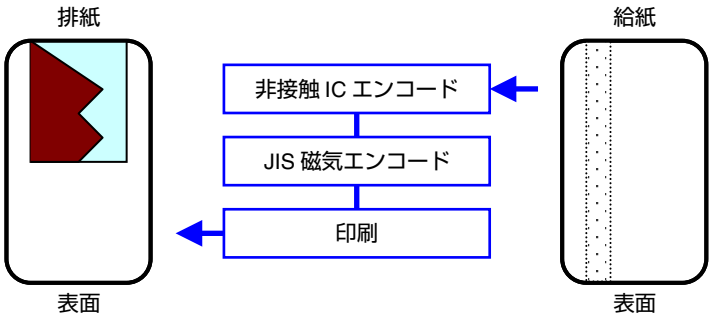


■ プリンター

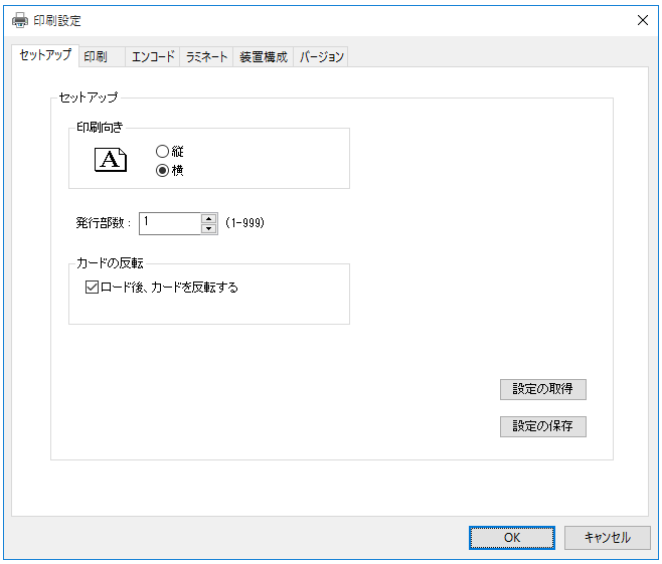
- 絵　：YMC インク
- 文字 ：YMC インク+レジン K インク

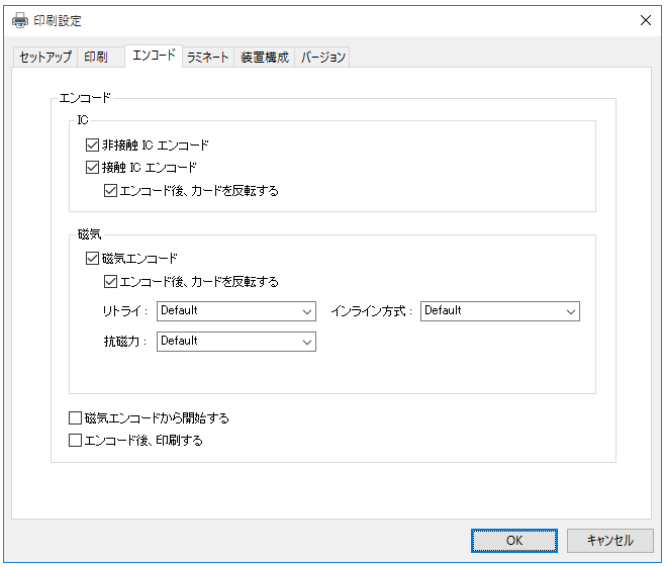
■ インライン・エンコード

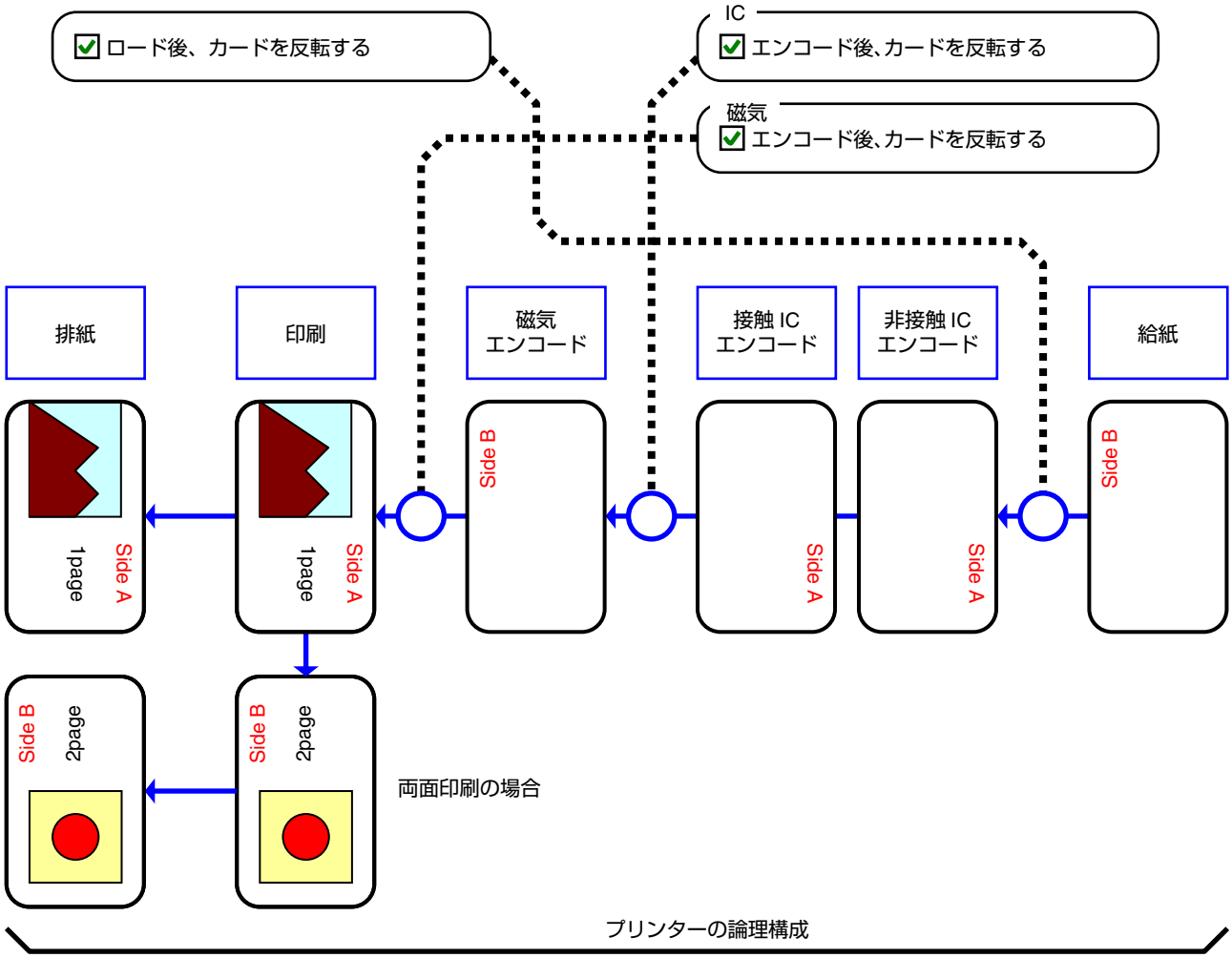
- 非接触 IC エンコード・データ　：NIC
- JIS2 型磁気エンコード・データ：JIS



カード反転の図解


印刷設定
セットアップ
印刷
エンコード
ラミネート
装置構成
バージョン
セットアップ
印刷向き
縦
横
発行部数：
1
(1-999)
カードの反転
ロード後、カードを反転する
設定の取得
設定の保存
OK
キャンセル


印刷設定
セットアップ
印刷
エンコード
ラミネート
装置構成
バージョン
エンコード
IC
非接触 IC エンコード
接触 IC エンコード
エンコード後、カードを反転する
磁気
磁気エンコード
エンコード後、カードを反転する
リトライ：
Default
インライン方式：
Default
抗磁力：
Default
磁気エンコードから開始する
エンコード後、印刷する
OK
キャンセル

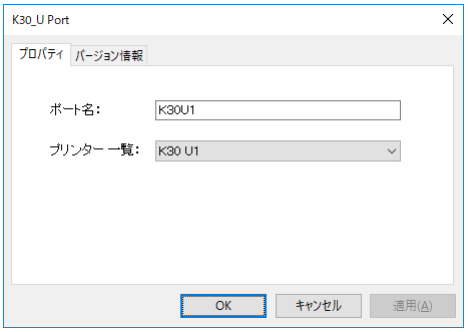

ロード後、カードを反転する
IC
エンコード後、カードを反転する
磁気
エンコード後、カードを反転する
排紙
印刷
磁気
エンコード
接触 IC
エンコード
非接触 IC
エンコード
給紙
Side A
1page
Side B
2page
両面印刷の場合
プリンターの論理構成

ポートモニターの設定

- "[プロパティ]タブシート" (☞ 107 ページ)
- "[バージョン]タブシート" (☞ 107 ページ)

[プロパティ]タブシート

■ USB 接続の場合



■ ポート名

ポートの名前です。24 文字までの名前を入力できます。

■ プリンター一覧

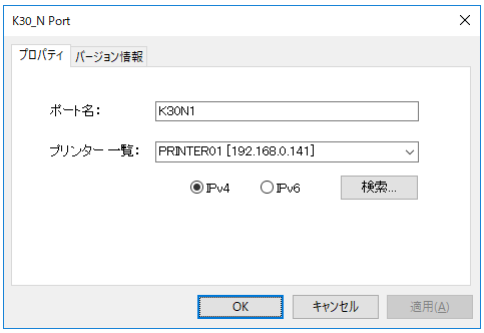
接続されているプリンターの一覧です。選択されたプリンターをカード印刷に使用します。

ご注意：

表示内容が以下の場合は、設定が正しくありません。

- 未接続です
  プリンターが見つかりません。
- 未選択です
  前回使用したプリンターが見つかりません。別のプリンターが接続されています。

■ Ethernet (LAN)接続の場合



■ ポート名

ポートの名前です。24 文字までの名前を入力できます。

■ プリンター一覧

接続されているプリンターの一覧です。選択されたプリンターをカード印刷に使用します。

■ IPv4

- IPv4 アドレスで接続する場合は、[IPv4]を選択し、[検索]をクリックしてプリンターを検索してください。
- [IPv4]をクリック後、[プリンター一覧]に IPv4 アドレスを直接入力すると、プリンターを検索できます。

■ IPv6

- IPv6 アドレスで接続する場合は、[IPv6]を選択し、[検索]をクリックしてプリンターを検索してください。
- [IPv6]をクリック後、[プリンター一覧]に IPv6 アドレスを直接入力すると、プリンターを検索できます。

■ [検索]ボタン

[IPv4]または[IPv6]を選択したあと、プリンターを検索してください。検索結果を[プリンター一覧]に表示します。

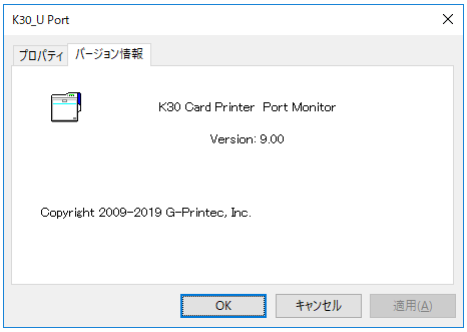
ご注意：

表示内容が以下の場合は、設定が正しくありません。

- 未接続です
  プリンターが見つかりません。
- 未選択です
  前回使用したプリンターが見つかりません。別のプリンターが接続されています。

[バージョン]タブシート

バージョン情報および著作権情報を表示します。



ステータスモニターの設定

■ ステータスモニターとは

ステータスモニターは、プリンターおよびラミネーターの状態を表示したり、プリンターおよびラミネーターの各種設定を行うソフトウェアです。

ご注意：

- コンピューターにはプリンタードライバーがインストールされていることが必要です。プリンタードライバーは、付属の CD-ROM からインストールすることができます。
- ステータスモニターはプリンターの電源を入れた状態でご使用ください。

- "ステータスモニターを実行する" (☞ 108 ページ)
- "画面構成" (☞ 109 ページ)
- "[状態表示]タブシート" (☞ 110 ページ)
  - "状態表示メッセージ一覧" (☞ 111 ページ)
- "[プリンター設定]タブシート" (☞ 112 ページ)
- "[再転写設定]タブシート" (☞ 113 ページ)
- "[反り矯正設定]タブシート" (☞ 114 ページ)
- "[メディア設定]タブシート" (☞ 114 ページ)
- "[プロパティ]タブシート" (☞ 115 ページ)
- "[ラミネーター]タブシート" (☞ 116 ページ)
- "[プリンター選択]タブシート" (☞ 117 ページ)
- "[ロック]タブシート" (☞ 120 ページ)
- "[その他]タブシート" (☞ 120 ページ)
  - "[管理者設定]ダイアログ" (☞ 121 ページ)

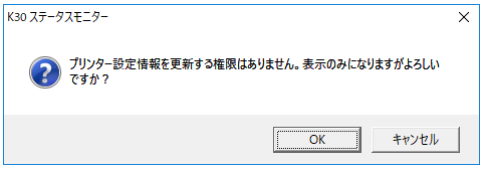
ステータスモニターを実行する

ステータスモニターは、以下の方法で実行できます。

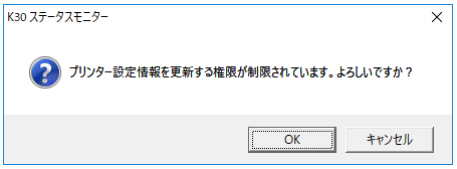
- デスクトップのショートカット（インストール時に設定した場合）から実行。
- スタートメニュー（インストール時に設定した場合）から実行。
- インストールしたフォルダーから直接に実行。

ご注意：

- 管理者権限のあるユーザー（Administrators グループ）で実行した場合は、ステータスモニターからプリンターの設定ができます。
- 管理者権限のないユーザーで実行し、管理者設定の全項目が無効な場合は、ステータスモニターからプリンターの設定はできずに表示のみとなります。
  注意の画面が表示されます。



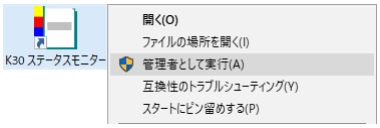
- 管理者権限のないユーザーで実行し、管理者設定の項目が有効な場合は、ステータスモニターからプリンターの設定ができます。
  注意の画面が表示されます。



■ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 の場合

- [管理者として実行]を選択すると、管理者権限のあるユーザーとして実行できます。ダブルクリックや[開く]を選択すると、管理者権限のないユーザーとして実行されます。

① アイコンを右クリックする



② [管理者として実行]を選択する

- [ユーザーアカウント制御]画面が表示されます。

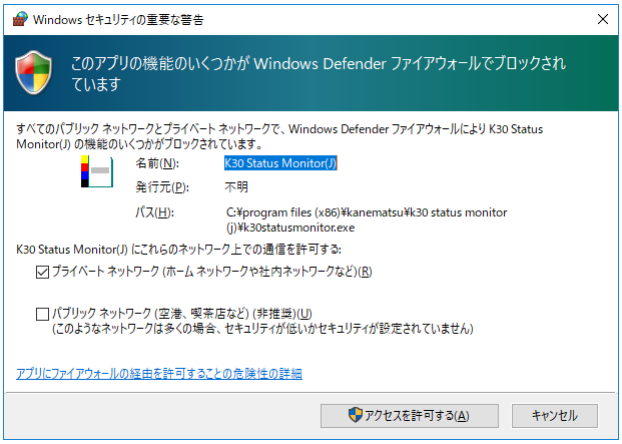
③ [はい]または[許可]をクリックする

メモ：

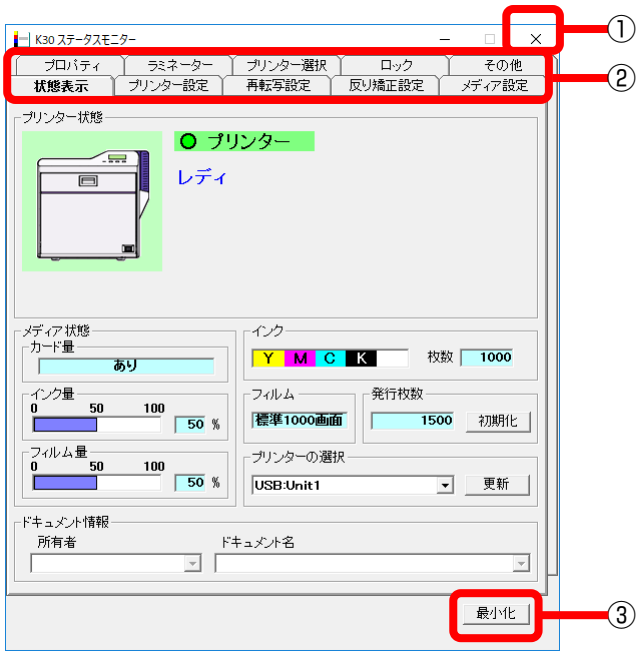
- 管理者権限のあるユーザーでログオンした場合でも、実行時に管理者権限がないユーザーとして扱われることがあります。

ご注意：

- ステータスモニター起動時[Windows セキュリティの重要な警告]画面が表示された場合、[アクセスを許可する]または[ブロックを解除する]をクリックしてください。
  [キャンセル]または[ブロックする]をクリックすると、ステータスモニターが正常に動作しなくなります。



画面構成



① 終了ボタン

ステータスモニターを終了します。

② 画面切り換えタブ

以下の画面に切り換えます。

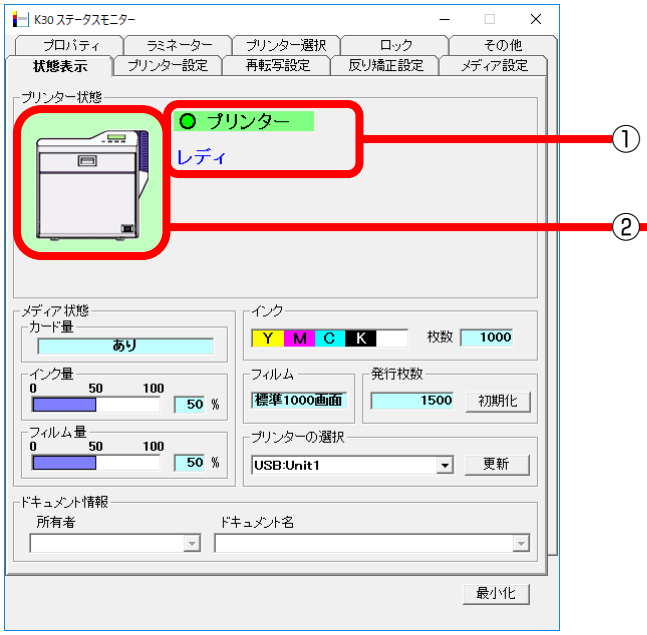
- 状態表示
  プリンターの状態を表示します。
- プリンター設定
  プリンターの印刷設定を表示し、設定します。
  プリンターの装置設定を表示し、設定します。
- 再転写設定
  カードに再転写するときの条件を表示し、設定します。
- 反り矯正設定
  カード反りを矯正するときの条件を表示し、設定します。
- メディア設定
  インクリボンの状態を表示します。
  カードや再転写フィルムを設定します。
- プロパティ
  機器構成を表示します。
  ファームウェアのバージョンを表示します。
  カウンターの値を表示します。
- ラミネーター
  ラミネーターの設定を表示し、設定します。
- プリンター選択
  プリンターを選択します。
  ネットワーク接続の状態を表示し、設定します。
- ロック
  セキュリティロックの状態を表示し、設定します。
- その他
  プリンターのテスト印刷を行います。
  ファームウェアのダウンロードを行います。

③ 最小化ボタン

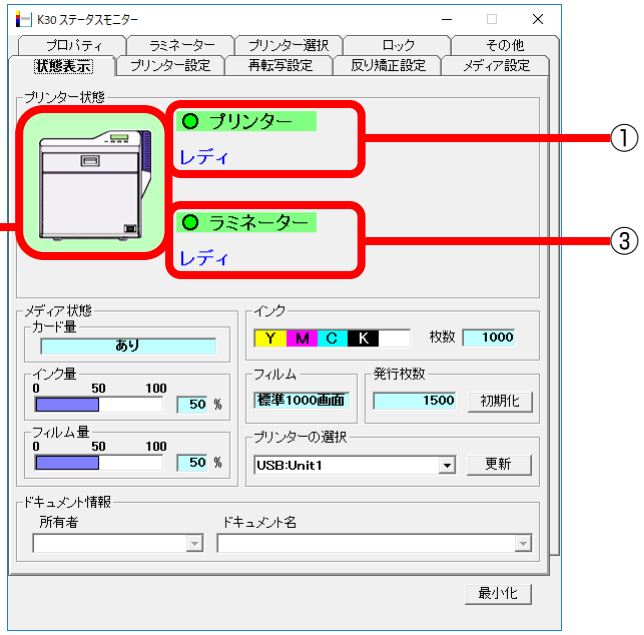
ステータスモニターをアイコンにします。アイコンはタスクバーに表示します。

[状態表示]タブシート

プリンターの状態を表示します。画面は、一定の間隔で表示内容を更新しています。



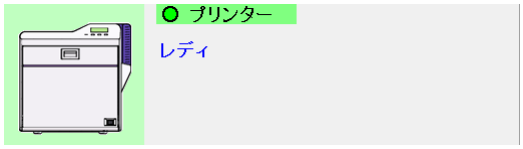
【状態表示】



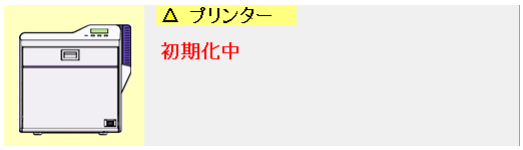
【状態表示（ラミネーター付）】

① プリンター状態

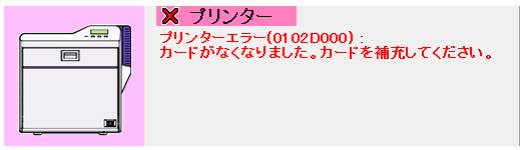
- レディ状態です。印刷を開始できます。



- 動作中です。



- 障害が発生しています。エラーコードと障害内容を表示します。下記の例では (0102D000) がエラーコードです。



詳細については、"エラーコード一覧" (☞ 124 ページ) を参照してください。

② プリンターアイコン

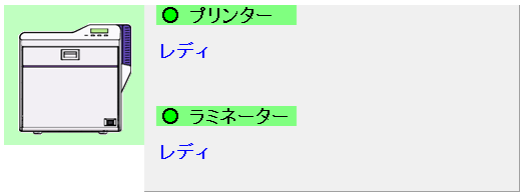
- 通常時は下左図のアイコン表示ですが、カード搬送ローラーを清掃してから 1,000 枚以上のカードを印刷すると、下右図のアイコン表示に変わります。
このアイコン表示されたら、"お手入れについて" の "カード搬送ローラー／ヒートローラー" (☞ 37 ページ) を実施してください。

【通常時】

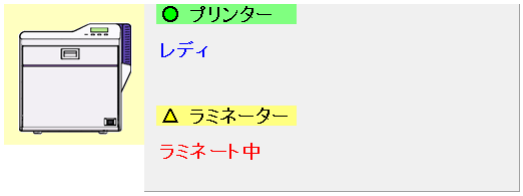
【ローラーの清掃が必要な時】

③ ラミネーター状態

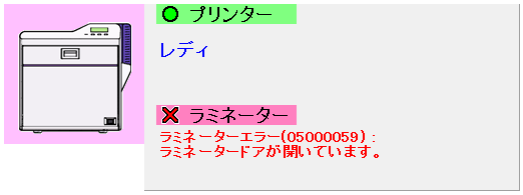
- レディ状態です。印刷を開始できます。



- 動作中です。



- 障害が発生しています。エラーコードと障害内容を表示します。下記の例では (05000059) がエラーコードです。



詳細については、エラーコード一覧 (☞ 127 ページ) を参照してください。

状態表示メッセージ一覧

■ プリンター状態

状態表示メッセージ	説明
プリンターが接続されていません。	プリンターの電源が入っていないか、コンピューターとプリンターが正しく接続されていません。
レディ	プリンターはレディ状態です。カード印刷を開始できます。
初期化中	プリンターは初期化中です。初期化が終了するとレディ状態になります。
オフライン動作中	プリンターは設定モード中、あるいはローラークリーニング中です。終了するとレディ状態になります。
プリヒート中	プリンターはヒートローラーをプリヒート中です。十分な温度になるとレディ状態になります。
ヒーティング	ヒートローラーの温度を設定された温度に調整中です。
カードローディング中	プリンターはカードを発行中です。 カード発行中の動作状態を示します。 カード発行を終了するとレディ状態に戻ります。
カード搬送中	
非接触ICエンコーディング中	
接触ICエンコーディング中	
磁気エンコーディング中	
印刷中	
再転写中	
パワーセーブ中	プリンターは電源消費を抑えるパワーセーブ中です。パワーセーブを終了するには、プリンターの操作パネルで初期化してください。 詳細は"プリンターの設定をする"の "初期化" (☞ 22 ページ) を参照してください。

■ ラミネーター状態

状態表示メッセージ	説明
ラミネーターが接続されていません。	ラミネーターの電源が入っていないか、ラミネーターとカードプリンターが正しく接続されていません。
レディ	ラミネーターはレディ状態です。
初期化中	ラミネーターは初期化中です。
クリーニング中	ラミネーターはローラークリーニング中です。
プリヒート中	ラミネーターはヒートローラーをプリヒート中です。設定温度になるとレディ状態になります。
ラミネート中	ラミネーターはカードをラミネート中です。ラミネートを終了するとレディ状態に戻ります。
パワーセーブ中	ラミネーターは電力消費を抑えるパワーセーブ中です。パワーセーブを終了するには、カードプリンターの操作パネルで初期化してください。
ダウンロードモード	ラミネーターはダウンロードモード状態です。
低温待機モード	一定時間カードを印刷しないとき、ヒーターの温度を下げて待機している状態です。

その他の状態表示

■ メディア状態

メディアの残量を表示します。

■ カード量

カードの残量を[あり]または[なし]の 2 種類で表示します。

メモ：

- [なし]と表示された場合は、カードを補充してください。
  詳細は "カードについて"の"カードがなくなった" (☞ 31 ページ) を参照してください。

■ インク量

インクリボンの残量を 50 段階でパーセント表示します。

ご注意：

- 残量はおおよその目安です。ご使用の方法やメディアの種類などで誤差が発生します。

■ フィルム量

再転写フィルムの残量を 10 段階でパーセント表示します。

ご注意：

- 残量はおおよその目安です。ご使用の方法やメディアの種類などで誤差が発生します。

■ インク

装着されているインクリボンの情報を表示します。インクリボンを正しく認識できない場合、枚数は空白となります。
この場合、インクリボンが正しく制御できない場合があります。インクリボンの取り付け状態を確認してください。
詳細は "印刷メディアについて"の"インクリボンを取り付ける" (☞ 60 ページ) を参照してください。

■ フィルム

装着されている再転写フィルムの種類を表示します。

■ 発行枚数

正常に印刷されたカードの発行枚数を表示します。[初期化]をクリックすると、発行枚数を 0 に設定します。

■ プリンターの選択

複数のプリンターを同一のコンピューターに接続している場合、対象のプリンターに切り換えます。
プリンターが見つからない場合や、検索条件を変える場合は、"[プリンター選択]タブシート"の "プリンターの検索方法" (☞ 117 ページ) を参照してください。

メモ：

- [更新]をクリックすると、接続中のプリンターを検索し、リストボックス中のプリンターが更新されます。
- プルダウンメニューのプリンターを選択すると、選択したプリンターの状態に表示が切り換わります。

■ ドキュメント情報

プリンタードライバーから印刷している場合、その所有者とドキュメント名が表示されます。

[プリンター設定]タブシート

プリンターに設定します。
設定を変更する場合は、変更前の値をメモしてからお使いください。

■ 印刷設定

■ YMC インク印刷濃度

YMC インクの印刷濃度を設定します。

■ レジン K インク印刷濃度

レジン K インクの印刷濃度を設定します。

■ UV インク印刷濃度

UV インクの印刷濃度を設定します。

■ PO インク印刷濃度

ピールオフインクの印刷濃度を設定します。

ご注意：

- ピールオフの設定は、お買い上げ販売店にご相談ください。

■ レジン K インク印刷モード

レジン K インクの印刷品質を設定します。
[精細]を選択すると、印刷品質は向上しますが、印刷速度は低下します。

■ 再転写フィルム剥がし方

磁気エンコーダーユニットが実装されている場合、[磁気ストライプ]を選択すると、磁気ストライプ付きカード用の再転写フィルムの剥がし方が適正化されます。

■ 再転写待機位置

ラミネーターが接続されている場合に設定します。
両面印刷の場合、ラミネーターがレディになるのを待つカード待機位置を設定します。標準は[表面待ち]です。

■ 裏面冷却

両面印刷時に有効な設定です。
両面印刷の場合、カードの反りが小さくなることがあります。印刷時間に影響する場合があります。

■ 磁気エンコーダー

■ リトライ数

磁気ストライプの書き込み、または読み取りに失敗した場合の最大リトライ数を設定します。標準値は[1]です。

■ ISO モード

ISO 磁気ストライプに対する、抗磁力を設定します。標準値は[Hi-Co]です。

■ JIS モード

JIS 磁気ストライプに対する、抗磁力を設定します。標準値は[Lo-Co]です。

■ 省電力

■ パワーセーブ（有効時間）

一定時間印刷や操作をしなかった場合、電源消費量を減らすための機能がパワーセーブモードです。
パワーセーブモードを無効にするか、あるいはパワーセーブモードが動作するまでの時間を設定します。
[無効]にした場合、パワーセーブモードは動作しません。標準は[無効]です。

■ 低温待機モード

約 30 分以上印刷しないとき、再転写ヒートローラーの温度を下げて待機します。標準は[有効]です。

■ その他

■ ブザー音

エラー発生やカードがなくなった場合の警告音、プリンターの操作パネルで ↵ を押した場合の確認音を設定します。
[無効]にした場合、音は鳴りません。標準は[有効]です。

■ 表示コントラスト

プリンターの操作パネル表示の濃さを設定します。

■ 表示モード

プリンターの操作パネルに表示する内容を設定します。

■ カウンターの選択

プリンターの操作パネルに表示するカウンターの種類を設定します。
詳細は"操作パネルから設定できること"の "カウンターの種類" (☞ 25 ページ) を参照してください。

■ [設定]ボタン

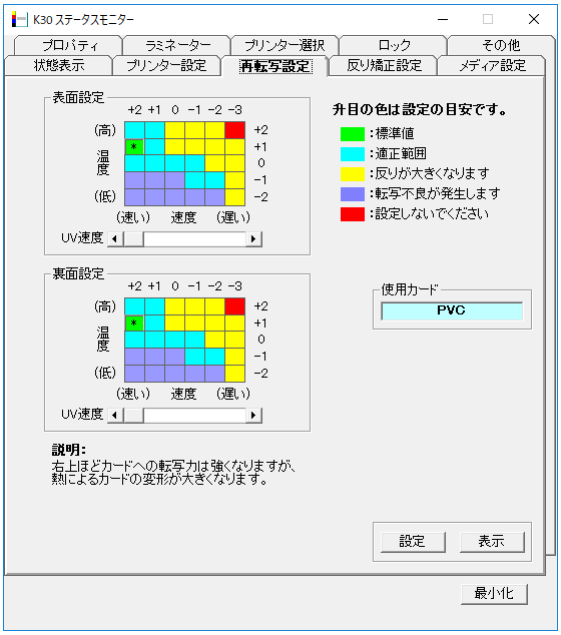
スライドバーやラジオボタンなどで変更した内容を、プリンターに設定します。

■ [表示]ボタン

プリンターの設定状態を画面に表示します。

[再転写設定]タブシート

カードに再転写するときの条件を設定します。



■ 表面設定／裏面設定

■ 設定方法

- 設定部では縦軸に再転写温度、横軸に再転写速度を表示しています。
- 設定したい矩形（升目）をクリックして値を変更します。選択した値には[*]が表示されます。
- 右上ほどカードへの転写力は強くなりますが、熱によるカードの変形が大きくなります。
- 下表のような色分けで設定の目安を表示しています。

色		説明
	緑色	標準値です。
	水色	適正範囲です。 標準値以外を選択する場合の推奨範囲です。
	黄色	反りが大きくなります。
	青色	転写不良が発生します。
	赤色	設定しないでください。

ご注意：

- 設定部の色分けは目安です。カードの種類やプリンターの使用環境で最適値は変化します。実際の環境で試して、設定してください。
- 再転写温度を変更した場合、印刷開始までに時間が掛かる場合があります。
- 再転写温度は共通なので、片面の再転写温度を変更すると他面も連動して変化します。
- 適正値の範囲は[使用カード]により異なります。使用カードは[メディア設定]タブシートで変更できます。
- 使用カードがプリンターごとに異なる場合は、使用カードを設定してください。使用カードごとに設定部の色分けが変わります。

■ UV 速度

UV インクの印刷時、再転写フィルムが 2 パネルで印刷する場合の設定です。
UV インクを再転写するとき、再転写ヒートローラーの速度を設定します。
UV 印刷に影響しない範囲で、高速化できます。

■ 使用カード

設定の適正値はご使用のカード種により変化します。カード種は[メディア設定]タブシートで変更できます。
詳細は"[メディア設定]タブシート"の "使用カード" (☞ 115 ページ) を参照してください。

■ [設定]ボタン

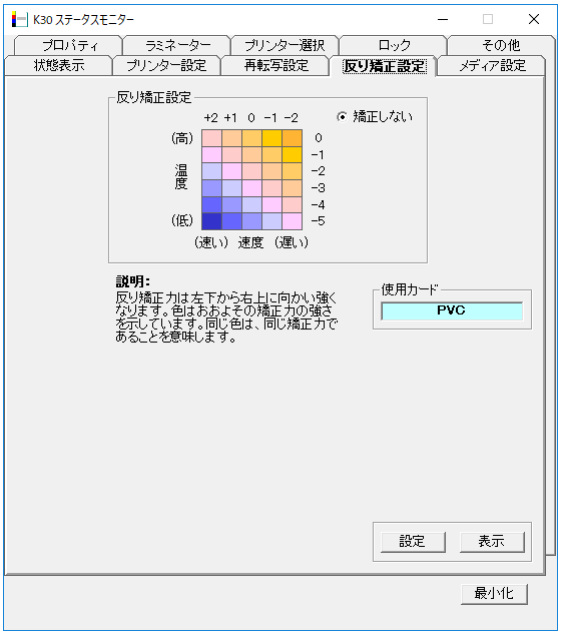
選択した値をプリンターに設定します。

■ [表示]ボタン

プリンターの設定状態を画面に表示します。

[反り矯正設定]タブシート

カード反りを矯正するときの条件を設定します。



■ 反り矯正設定

■ 設定方法

- 設定部では縦軸に反り矯正温度、横軸に反り矯正速度を表示しています。
- 設定したい矩形（升目）をクリックして値を変更します。選択した値には[*]が表示されます。
- 右上ほど反り矯正力は強くなりますが、熱によるカードへの影響が大きくなります。
- 反り矯正力がほぼ同等な部分は、設定部の色分けが同色として表されます。
- 反り矯正をしない場合、[矯正しない]を選択してください。標準値は[矯正しない]です。

ご注意：

- 設定部の色分けは目安です。カードの種類やプリンターの使用環境で最適値は変化します。実際の環境で試して、設定してください。
- 反り矯正は片面印刷の場合に効果があります。反り矯正が高温に設定された状態で両面印刷した場合に、カードが大きく変形する場合があります。
  両面印刷する場合は、[矯正しない]を選択してください。
- [矯正しない]の選択を解除した場合、反り矯正ヒートローラーの温度が下がるまでプリヒートの状態が継続（約 10 分程度）します。故障ではありませんので、そのままレディ状態になるまでお待ちください。
- [矯正しない]を選択すると、速度は一番速い設定[+2]になります。
- 反り矯正力が強いほど、反り矯正面は艶消し状になりやすくなります。

■ 使用カード

設定の適正値はご使用のカード種により変化します。カード種は[メディア設定]タブシートで変更できます。

詳細は"[メディア設定]タブシート"の "使用カード" (☞ 115 ページ) を参照してください。

■ [設定]ボタン

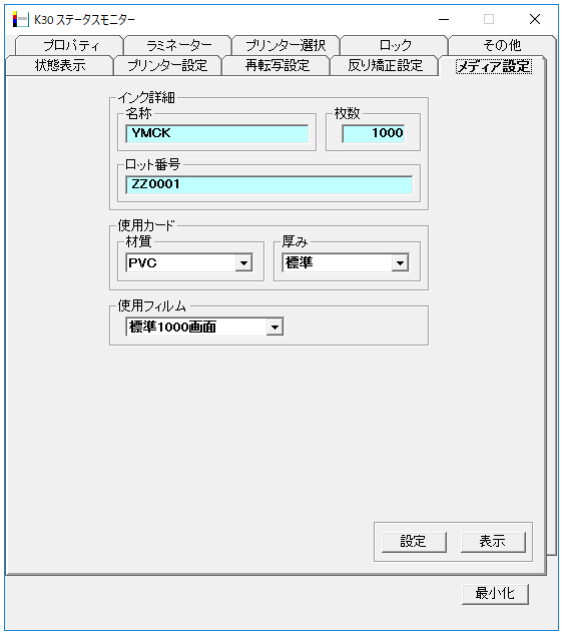
選択した値をプリンターに設定します。

■ [表示]ボタン

プリンターの設定状態を画面に表示します。

[メディア設定]タブシート

印刷メディアを設定します。

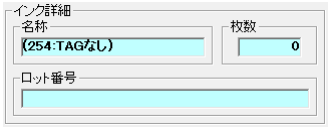


■ インク詳細

■ 名称

装着されているインクリボンの名称を表示します。

- インクリボンが正しく認識できない場合、[インク詳細]の[名称]にインクリボンが認識できない原因を表示します。



表示	インク認識不良時の原因と対処のしかた
(252:TAG データ不良)	インクリボンに貼付の TAG 記録データが正しくありません。インクリボンを交換してお試しください。
(253:TAG 不良)	インクリボンに貼付の TAG との通信が正しくできません。インクリボンを交換してお試しください。
(254:TAG なし)	インクリボンに貼付の TAG が読めません。インクリボンが正しくセットされていることを確認してください。
(255:R/W 不良)	プリンターの TAG リーダーが不良です。プリンターの修理が必要です。

■ 枚数

装着されているインクリボンの仕様としての画面数を表示します。
現在のインク量ではありません。

■ ロット番号

装着されているインクリボンのロット番号を表示します。

■ 使用カード

■ 材質

[PVC]、[PET-G]、[HR-PET-G]のいずれかのカード材質を選択します。選択したカードによって再転写の速度や温度設定の適正値表示が変化します。
その他の材質に対する適正値表示はありません。
[HR-PET-G]： 耐熱 PET-G
"[再転写設定]タブシート" (☞ 113 ページ)
"[反り矯正設定]タブシート" (☞ 114 ページ)

■ 厚み

カードの厚さに合わせて、カードスタッカーへの排出速度を設定します。通常は、[標準]設定でご使用ください。

ご注意：

- 異なるカード厚のカードを使用する場合、"カード厚さを調整する場合" を参照し、調整してください。
  "カードの厚さ調整をする場合" (☞ 63 ページ)
- 使用カードの材質がプリンターごとに異なる場合は、使用カードの材質を設定してください。

■ 使用フィルム

装着されている再転写フィルムの仕様としての画面数を選択します。
現在のフィルム量ではありません。

■ [設定]ボタン

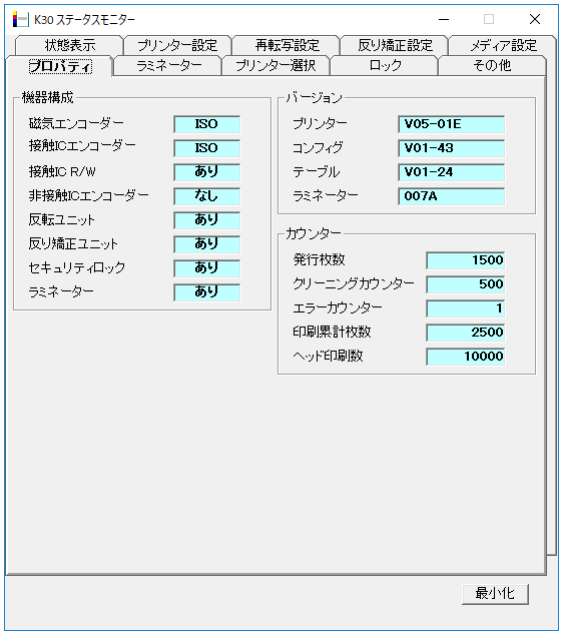
選択した値をプリンターに設定します。

■ [表示]ボタン

プリンターの設定状態を画面に表示します。

[プロパティ]タブシート

機器構成などを表示します。



■ 機器構成

オプション機器の構成を表示します。

ご注意：

- 接触 IC エンコーダーや非接触 IC エンコーダーで[なし]以外が表示されている場合、IC エンコーダーが装着できる構成になっているという意味です。IC エンコーダーが装着されていることではありません。
- IC エンコーダーの取り付けについては、お買い上げ販売店にご相談ください。

■ バージョン

プリンターやラミネーターのファームウェアバージョンを表示します。
ラミネーターが接続されていない場合は、[????????]と表示します。

■ カウンター

プリンターのカウンター数を表示します。

■ 発行枚数 (フリーカウンター)

正常に印刷されたカードの発行枚数を表示します。

メモ：

- [状態表示]タブシートの "発行枚数"で[初期化]をクリックすると、[発行枚数]のカウンター数を 0 に設定します。
  "発行枚数" (☞ 111 ページ)

■ クリーニングカウンター

前回のクリーニング後から正常に印刷されたカードの枚数を表示します。

■ エラーカウンター

正常に印刷されなかったカードの枚数を表示します。

メモ：

- [状態表示]タブシートの"発行枚数"で[初期化]をクリックすると、[エラーカウンター]のカウンター数を 0 に設定します。
  "発行枚数" (☞ 111 ページ)

■ 印刷累計枚数 (トータルカウンター)

正常に印刷されたカードの枚数を表示します。

■ ヘッド印刷数 (ヘッドカウンター)

サーマルヘッドの印刷インクパネル数を表示します。
例えば、YMCK インクをすべて使用し片面印刷した場合、カード 1 枚当たり 4 ずつ加算します。

[ラミネーター]タブシート

オプションのラミネーターにおいて、ラミネート動作を設定します。

■ 基本

■ 動作モード

- ラミネート

カードをラミネートします。

- 通過

カードをラミネートしないで通過させます。

■ 低温待機モード

カードプリンターの設定に連動します。標準は［有効］です。

- 約 30 分以上カードを印刷しないとき、ヒートローラーの温度を下げて待機します。オーバーレイフィルム選択時は、設定にかかわらず常に［有効］となります。（この設定にかかわらず長時間印刷しない場合は、ヒートローラーを Off にして待機します。）
- 設定の変更は［プリンター設定］タブシートから行います。

■ カウンター

- クリーニングカウンター

ローラークリーニング後のラミネート回数が表示されます。ローラーをクリーニングすると 0 になります。

■ 下面設定／上面設定

■ フィルムカセットあり／なし

下面フィルムカセットおよび上面フィルムカセットの［フィルムカセットあり］／［フィルムカセットなし］が表示されます。

- ［フィルムカセットなし］の状態で、［フィルムの種類］、［位置］、［温度］の設定はできません。

■ フィルムの種類

下面および上面の使用フィルムを選択します。

- 両面ラミネートする場合は、上下同じ種類のラミネートフィルムを使用してください。
- 装着したラミネートフィルムと［フィルムの種類］の設定を一致させてください。

■ 位置

下面フィルムおよび上面フィルムの進行方向のパッチ位置を設定します。1 ステップで左右に 0.17mm ずつ調整できます。

■ 温度

下面ヒートローラーおよび上面ヒートローラーの温度を設定します。設定範囲は、90°C から 180°C です。（ステータスモニターのバージョンによって、185°C 以上を選択できる場合があります。その場合は 180°C になります。）

■ 共通設定

■ 速度

ラミネート時のカードの搬送速度を設定します。

■ 冷却時間

ラミネート直前にカードを冷却するための待機時間を設定します。

■ [設定]ボタン

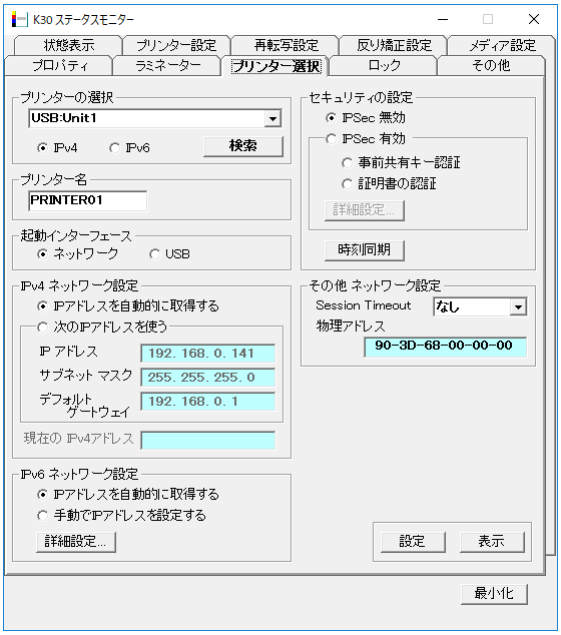
選択した値がラミネーターに設定されます。

■ [表示]ボタン

ラミネーターの設定状態が画面に表示されます。

[プリンター選択]タブシート

プリンターの選択とネットワークを設定します。



■ プリンターの選択

■ プリンターの選択方法

プルダウンメニューに表示されているプリンターを選択すると、選択したプリンターの状態に表示が切り換わります。

■ プリンターの検索方法

[検索]ボタンをクリックすると、検索されたプリンターがプルダウンメニューに表示されます。

■ USB 接続したプリンターを検索する場合

① [検索]をクリックします。
② プリンターが検索され、プルダウンメニューに表示されます。

■ IPv4 アドレスのプリンターを検索する場合

① [IPv4]を選択し、[検索]をクリックします。
② プリンターが検索され、プルダウンメニューに表示されます。

■ IPv6 アドレスのプリンターを検索する場合

① [IPv6]を選択し、[検索]をクリックします。
② プリンターが検索され、プルダウンメニューに表示されます。

ご注意：

- IPSec を有効にすると、Ethernet (LAN)で接続されたプリンターを検索できないことがあります。この場合は、プリンターを登録したあとで、再度プリンターを検索してください。

■ プリンターの登録方法

プルダウンメニューに IP アドレスを入力すると、IP アドレスのプリンターをプルダウンメニューに登録できます。

メモ：

- ステータスモニターを終了しても、登録した IP アドレスが記憶されます。
- IP アドレスの形式が間違った場合は、プリンターの登録ができません。

■ IPv4 アドレスのプリンターを登録する場合

① [IPv4]を選択し、プルダウンメニューに IPv4 アドレスを入力します。
② [検索]をクリックし、登録確認のダイアログを表示します。
③ [OK]をクリックし、入力した IP アドレスのプリンターをプルダウンメニューに登録します。

■ IPv6 アドレスのプリンターを登録する場合

① [IPv6]を選択し、プルダウンメニューに IPv6 アドレスを入力します。
② [検索]をクリックし、登録確認のダイアログを表示します。
③ [OK]をクリックし、入力した IP アドレスのプリンターをプルダウンメニューに登録します。

■ プリンターの削除方法

プリンターを選択し、プルダウンメニューから削除できます。

■ IPv4 アドレスのプリンターを削除する場合

① [IPv4]を選択し、プルダウンメニューから削除したいプリンターを選びます。
② プルダウンメニューから[Delete Printer]を選び、削除確認のダイアログを表示させます。
③ [OK]をクリックし、選択したプリンターをプルダウンメニューから削除します。

■ IPv6 アドレスのプリンターを削除する場合

① [IPv6]を選択し、プルダウンメニューから削除したいプリンターを選びます。
② プルダウンメニューから[Delete Printer]を選び、削除確認のダイアログを表示させます。
③ [OK]をクリックし、選択したプリンターをプルダウンメニューから削除します。

■ プリンター名

選択したプリンターの名前を設定します。
最大 10 文字の ASCII 文字が設定できます。記号文字は操作パネルに表示されない場合があります。

■ 起動インターフェース

起動時のインターフェースを設定します。Ethernet (LAN)で接続されている場合は表示のみで、設定の変更はできません。

ご注意：

- 起動インターフェースの設定に関わらず、USB ケーブルが接続されていると USB が優先されます。
- USB 接続を優先する場合は、コンピューターや USB ハブを動作可能な状態にしてください。

- ネットワーク
  Ethernet (LAN)接続で印刷できます。
- USB
  USB 接続で印刷できます。

■ IPv4 ネットワーク設定

Ethernet (LAN)に関する項目を設定します。Ethernet (LAN)で接続している場合は表示のみで、設定の変更はできません。

ご注意：

- ネットワークの設定は、プリンター本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、設定項目を決定してください。
- ネットワークの設定が正しくないと、他のネットワーク機器に影響をおよぼすことがあります。
- USB 接続のみを使用する場合は、ネットワークの設定を設定する必要はありません。

■ IP アドレスを自動的に取得する

IPv4 アドレスなどの値を DHCPv4 サーバーから自動的に取得します。DHCPv4 サーバーが見つからない場合は、[次の IP アドレスを使う]の設定が使用されます。

メモ：

- DHCPv4 サーバーから自動的に取得した値は、IP アドレスのみ[現在の IPv4 アドレス]に表示されます。
- DHCPv4 サーバーの設定により、IP アドレスなどの値は定期的に変わる場合があります。
- プリンタードライバーなどのアプリケーション・ソフトウェアで IP アドレスを固定して使用したい場合は、[次の IP アドレスを使う]を設定してください。

■ 次の IP アドレスを使う

固定の IP アドレスを使用します。[IP アドレス]、[サブネットマスク]および[デフォルトゲートウェイ]を設定してください。

■ 現在の IPv4 アドレス

IPv4 アドレスを表示します。

■ IPv6 ネットワーク設定

Ethernet (LAN)に関する項目を設定します。Ethernet (LAN)で接続している場合は表示のみで、設定の変更はできません。

ご注意：

- ネットワークの設定は、プリンター本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、設定項目を決定してください。
- ネットワークの設定が正しくないと、他のネットワーク機器に影響をおよぼすことがあります。
- USB 接続のみを使用する場合は、ネットワークの設定を設定する必要はありません。

■ IP アドレスを自動的に取得する

IPv6 アドレスなどの値を DHCPv6 サーバーから自動的に取得します。DHCPv6 サーバーが見つからない場合は、[手動で IP アドレスを設定する]の設定が使用されます。

メモ：

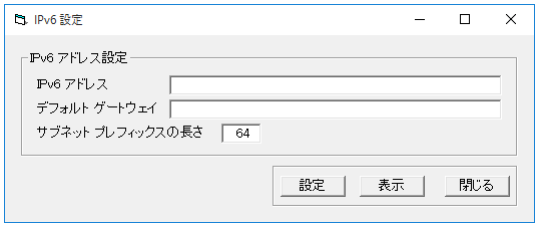
- DHCPv6 サーバーから自動的に取得した値は、[詳細設定]をクリックしたときに、IP アドレスのみ表示されます。
- DHCPv6 サーバーの設定により、IP アドレスなどの値は定期的に変わる場合があります。
- プリンタードライバーなどのアプリケーション・ソフトウェアで IP アドレスを固定して使用したい場合は、[手動で IP アドレスを設定する]を設定してください。

■ 手動で IP アドレスを設定する

固定の IP アドレスを設定します。
[詳細設定]をクリックし、[IPv6 アドレス]、[デフォルトゲートウェイ]および[サブネットプレフィックスの長さ]を設定してください。

■ [詳細設定]ボタン

[IPv6 設定]画面を表示します。
[IPv6 アドレス]、[デフォルトゲートウェイ]および[サブネットプレフィックスの長さ]を設定してください。



■ セキュリティの設定

Ethernet (LAN)の IPSec に関する項目を設定します。Ethernet (LAN)で接続されている場合は表示のみです。設定の変更はできません。

ご注意：

- プリンター本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、設定項目を決定してください。
- セキュリティの設定が正しくないと、暗号化通信ができません。
- USB 接続のみを使用する場合は、セキュリティの設定をする必要はありません。USB 接続では、暗号化通信ができません。
- USB 接続せずにプリンター本体にセキュリティの設定をすることはできません。
- セキュリティの設定で使用するダウンロードファイルは、"IPSec について"を参照してください。
"IPSec について" (☞ 83 ページ)

- IPSec 無効

IPSec を使用しない場合のみ、通信できます。標準は[IPSec 無効]です。

- IPSec 有効

IPSec を使用して通信できます。[詳細設定]の設定が完了すると、[事前共有キー認証]または[証明書の認証]が選択されます。

メモ：

- [IPSec 有効]を選択すると、[詳細設定]が有効になります。
- [事前共有キー認証]ボタンまたは[証明書の認証]ボタンをクリックしても、設定できません。

■ [詳細設定]ボタン

[IPSec 設定]画面を表示します。
IPSec の認証に必要なファイルをプリンターにダウンロードします。

■ 時刻同期

[時刻同期]ボタンをクリックすると、PC の現在時刻をプリンターに送信します。USB 接続およびネットワーク接続で設定できます。

■ IPSec による暗号化通信について

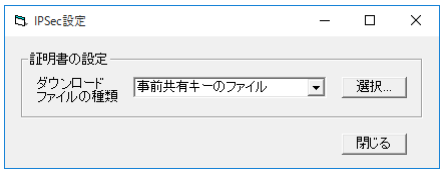
IPSec による暗号化通信の可否は、以下の表を参考にしてください。

プリンターの設定	PC の IPSec ポリシー		
	セキュリティが必要	セキュリティを要求	保護なし
IPSec 無効	通信不可	通常の通信	通常の通信
IPSec 有効（認証に失敗した場合）	通信不可		
IPSec 有効（認証に成功した場合）	暗号化通信	暗号化通信	通信不可

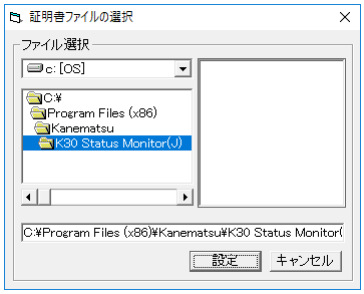
■ 事前共有キー認証に必要なファイルの設定

事前共有キー認証では、事前共有キーのファイルが必要となります。

1 [ダウンロードファイルの種類]で[事前共有キーのファイル]を選択し、[選択...]をクリックする



2 事前共有キーのファイルを選択し、[設定]をクリックする



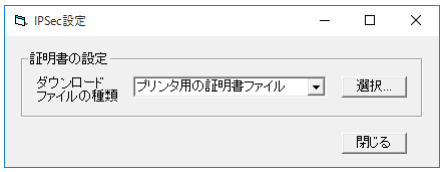
3 [IPSec 設定]画面の[閉じる]ボタンをクリックする

- 画面を閉じると、プリンターへの IPSec 設定が完了します。

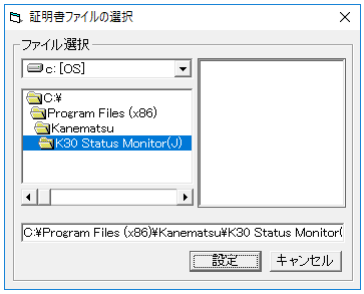
■ 証明書の認証に必要なファイルの設定

証明書の認証では、プリンター用の証明書ファイルと認証機関の証明書ファイルが必要となります。

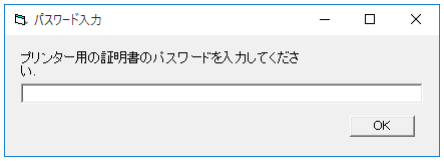
1 [ダウンロードファイルの種類]で[プリンター用の証明書ファイル]を選択し、[選択...]をクリックする



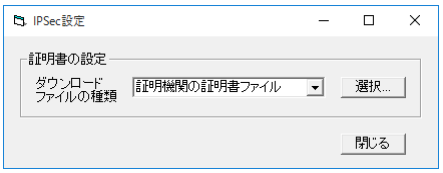
2 プリンター用の証明書ファイルを選択し、[設定]をクリックする



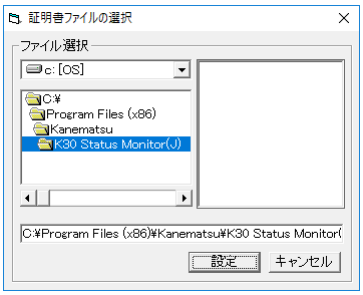
3 プリンター用の証明書ファイルのパスワードを入力し、[OK]をクリックする



4 [ダウンロードファイルの種類]で[認証機関の証明書ファイル]を選択し、[選択...]をクリックする



5 認証機関の証明書ファイルを選択し、[設定]をクリックする



6 [IPSec 設定]画面の[閉じる]ボタンをクリックする

- 画面を閉じると、プリンターへの IPSec 設定が完了します。

■ その他ネットワークの設定

■ Session Timeout

印刷接続後に通信が途切れた場合、通信を切断するまでの時間を設定します。標準は[なし]です。

■ 物理アドレス

プリンターの MAC アドレスを表示します。

■ [設定]ボタン

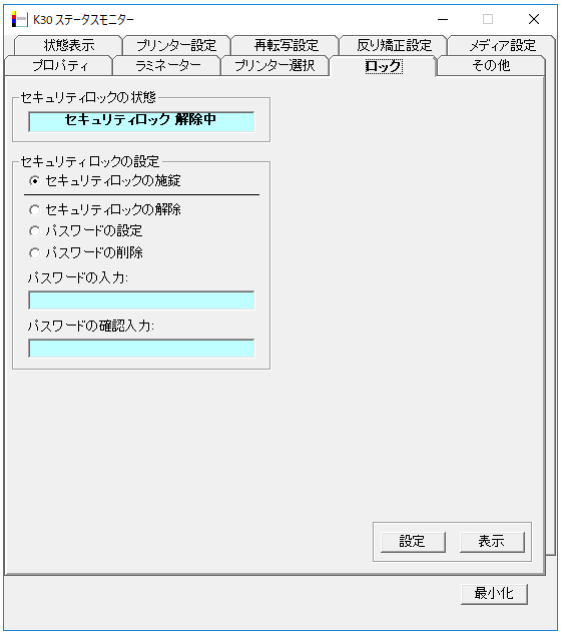
選択した値をプリンターに設定します。

■ [表示]ボタン

プリンターの設定状態を画面に表示します。

[ロック]タブシート

セキュリティロックの状態を表示し、設定します。



■ セキュリティロックの状態

現在のセキュリティロックの状態を表示します。

■ セキュリティロックの設定

- [セキュリティロックの施錠]

[セキュリティロックの施錠]を選択し、[設定]をクリックすると、セキュリティロックが施錠されます。
パスワードが設定されていないと、セキュリティロックの施錠はできません。

- [セキュリティロックの解除]

[セキュリティロックの解除]を選択し、[パスワードの入力]にパスワードを入力したあとに[設定]をクリックすると、施錠したセキュリティロックが解除されます。

- [パスワードの設定]

[パスワードの設定]を選択すると、最大で 8 文字のパスワードが入力できます。
[パスワードの入力]と[パスワードの確認入力]に同じパスワードを入力し、[設定]をクリックすると、パスワードが設定されます。

- [パスワードの削除]

[パスワードの解除]を選択し、[パスワードの入力]でパスワードを入力したあとに[設定]をクリックすると、設定したパスワードが削除されます。

メモ：

- パスワードを変更したい場合は、設定したパスワードを削除してから登録しなおしてください。
- パスワードを忘れた場合は、お買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。
- ステータスモニターのパスワードとプリンターの操作パネルで入力するセキュリティキー番号は、関連ありません。別々の値が設定できます。
  ステータスモニターのパスワードでは、数字以外の文字も設定できます。
  "セキュリティロックについて" (☞ 20 ページ)

■ [設定]ボタン

選択した値をプリンターに設定します。

■ [表示]ボタン

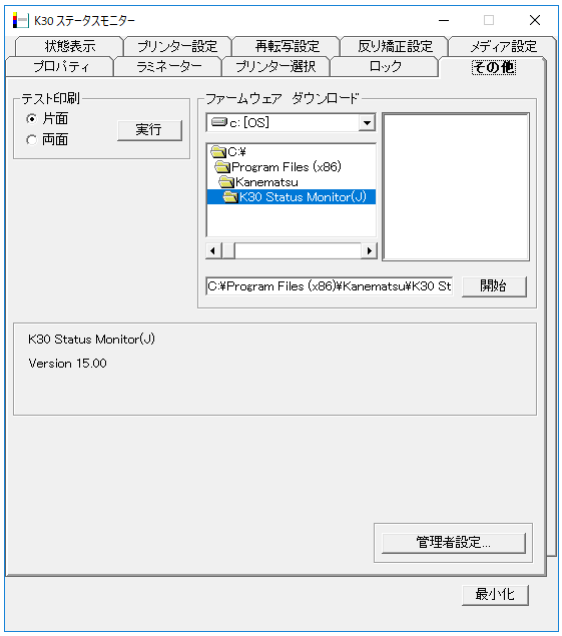
プリンターの設定状態を画面に表示します。

[その他]タブシート

テスト印刷やファームウェアのダウンロードを行います。

メモ：

- Ethernet (LAN)で接続したプリンターは、テスト印刷とファームウェアのダウンロードの項目が表示されません。



■ テスト印刷

テスト印刷ではプリンタードライバーを使用せず、プリンターの自己診断機能を使用します。プリンターが正しく動作することが確認できます。

① [片面]または[両面]を選択し、[実行]をクリックする
- テスト印刷が開始されます。プリンターに内蔵されている標準カラーパターンで、カードを印刷します。

■ ファームウェア ダウンロード

プリンターとラミネーターのファームウェアを更新します。

① プリンターの操作パネルで、「ファームウェアの更新」の手順で操作する
"ファームウェアの更新" (☞ 24 ページ)
② ファイルを選択し、[開始]をクリックする
③ 画面の指示に従って操作する

ご注意：

- プリンターのファームウェアの更新については、サービスマンまたはお買い上げ販売店にご相談ください。
- ファームウェアの更新に失敗した場合、プリンターやラミネーターが起動できなくなります。

■ ソフトウェアについて

バージョン情報および著作権情報を表示します。

■ [管理者設定...]ボタン

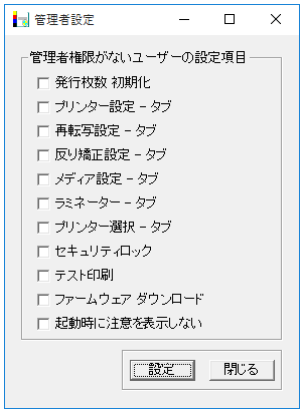
[管理者設定]ダイアログを表示します。
"[管理者設定]ダイアログ" (☞ 121 ページ)

ご注意：

- [管理者設定...]ボタンは、管理者権限でステータスモニターを実行したときのみ表示されます。
  "ステータスモニターを実行する" (☞ 108 ページ)

[管理者設定]ダイアログ

機能またはタブ単位で、管理者権限がないユーザーでも「プリンター設定」などを設定可能にできます。



■ 管理者権限がないユーザーの設定項目

チェックすると、選択した機能またはタブシートを設定可能にできます。

■ 発行枚数 初期化

[状態表示]タブシートの発行枚数[初期化]を有効にします。

■ プリンター設定 - タブ

[プリンター設定]タブシートを設定可能にします。

■ 再転写設定 - タブ

[再転写設定]タブシートを設定可能にします。

■ 反り矯正設定 - タブ

[反り矯正設定]タブシートを設定可能にします。

■ メディア設定 - タブ

[メディア設定]タブシートを設定可能にします。

■ ラミネーター - タブ

[ラミネーター]タブシートを設定可能にします。

■ プリンター選択 - タブ

[プリンター選択]タブシートを設定可能にします。

■ セキュリティロック

[ロック]タブシートを設定可能にします。

■ テスト印刷

[その他]タブシートの[テスト印刷]を有効にします。

■ ファームウェア ダウンロード

[その他]タブシートの[ファームウェア ダウンロード]を有効にします。

■ 起動時に注意を表示しない

管理者権限のないユーザーでステータスモニターを実行した場合、最初に注意の画面が表示されません。

"ステータスモニターを実行する" (☞ 108 ページ)

ご注意：

- 管理者権限のないユーザーで実行した場合、「使用カード」，「IPv4 アドレスの登録」，「IPv6 アドレスの登録」の項目はステータスモニターに保存されません。保存する場合は、管理者権限のあるユーザーで実行してください。

■ [設定]ボタン

選択した値を、ステータスモニターに設定します。

■ [閉じる]ボタン

[管理者設定]ダイアログを閉じます。

インライン・エンコード

インライン・エンコードの書式

- プリンタードライバーの設定で、[エンコード]タブシートの各設定を有効にすると、インライン・エンコードができます。
"[エンコード]タブシート" (☞ 94 ページ)
- エンコードデータは以下に示す特別な文字列（プリフィックス）を用いて、プリンタードライバー経由でプリンターに送ります。これを「インライン・エンコード」と呼びます。
- インライン・エンコード方式は、[エンコード]タブシートの[インライン方式]で設定してください。
- インライン・エンコード方式の設定は、ISO 磁気エンコードデータに対して有効です。ISO 磁気エンコード以外は、デフォルトのエンコード方式で実行されます。

ご注意：

- 画面の取り込みなど、グラフィックとして処理された文字列は、エンコードデータとして認識できないことがあります。文字列の処理については、アプリケーション・ソフトウェアに依存します。
- インライン・エンコードの文字列は、各カードの最初に印刷される画面に入力してください。

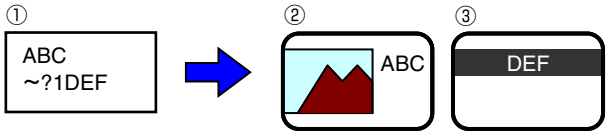
■ デフォルトのエンコード方式

- プリフィックス（チルダ文字[~]，？，数字）を先頭にすると、それ以降のテキスト文字列がエンコードデータとして認識されます。プリフィックスを含めエンコードデータと認識された文字列は、カードに印刷されません。

項番	プリフィックス（半角文字列）	プリフィックス以降のテキスト文字列 ①	使用可能な文字コード表 ②	文字列の最大長 ③
1	~?0	文字列は、JIS2 型の磁気エンコードデータです。④	7 単位コード	69
2	~?1	文字列は、ISO トラック 1 の磁気エンコードデータです。	6 単位コード	76
3	~?2	文字列は、ISO トラック 2 の磁気エンコードデータです。	4 単位コード	37
4	~?3	文字列は、ISO トラック 3 の磁気エンコードデータです。	4 単位コード	104
5	~?4	接触 IC エンコードデータです。	8 単位コード	32760
6	~?5	非接触IC エンコードデータです。	8 単位コード	32760
7	~?6	文字列は、ISO トラック 1 の磁気エンコードデータです。	7 単位コード	69
8	~?7	文字列は、ISO トラック 3 の磁気エンコードデータです。	7 単位コード	69
9	~?8	文字列は、ISO トラック 1 の磁気エンコードデータ（AAMVA 規格）です。	6 単位コード	79
10	~?9	文字列は、ISO トラック 3 の磁気エンコードデータ（AAMVA 規格）です。	6 単位コード	79

① 文字列は連続し、かつ、同じフォントを用いてください。
② 使用可能な文字コード表に一致しない文字が含まれると、正しくエンコードできません。
③ 文字列の最大長は、制御コードを含め、プリフィックスを除いた数です。
④ 半角カタカナ文字も使用できます。使用可能な文字は、カタカナ文字コード表を参照してください。

■ 使用例



① アプリケーション・ソフトウェアのテキストボックスの文字列
② カードに印刷される文字列
③ ISO トラック 1 に送られるエンコードデータ

■ Type B 磁気エンコード方式

- プリフィックス（チルダ文字[~]，数字，始め符号）を先頭にすると、それ以降のテキスト文字列がエンコードデータとして認識されます。プリフィックスを含めエンコードデータと認識された文字列は、カードに印刷されません。
- 始め符号（文字コード表を参照）により単位コードが決まります。
"文字コード表" (☞ 123 ページ)
- 終わり符号（文字コード表を参照）が、文字列の最後に必要です。
"文字コード表" (☞ 123 ページ)

項番	プリフィックス（半角文字列）	プリフィックス以降のテキスト文字列 ①	使用可能な文字コード表 ②	最後の文字
1	~1 始め符号	文字列は、ISO トラック 1 の磁気エンコードデータです。	6 単位コード 7 単位コード	終わり符号
2	~2 始め符号	文字列は、ISO トラック 2 の磁気エンコードデータです。	4 単位コード	終わり符号
3	~3 始め符号	文字列は、ISO トラック 3 の磁気エンコードデータです。	4 単位コード 6 単位コード 7 単位コード	終わり符号

① 文字列は連続し、かつ、同じフォントを用いてください。
② 使用可能な文字コード表に一致しない文字が含まれると、正しくエンコードできません。

■ Type C 磁気エンコード方式

- プリフィックス（チルダ文字[~]，数字，＝）を先頭にすると、それ以降のテキスト文字列がエンコードデータとして認識されます。プリフィックスを含めエンコードデータと認識された文字列は、カードに印刷されません。

項番	プリフィックス（半角文字列）	プリフィックス以降のテキスト文字列 ①	使用可能な文字コード表 ②	文字列の最大長 ③
1	~1=	文字列は、ISO トラック 1 の磁気エンコードデータです。	6 単位コード	76
2	~2=	文字列は、ISO トラック 2 の磁気エンコードデータです。	4 単位コード	37
3	~3=	文字列は、ISO トラック 3 の磁気エンコードデータです。	4 単位コード	104

① 文字列は連続し、かつ、同じフォントを用いてください。
② 使用可能な文字コード表に一致しない文字が含まれると、正しくエンコードできません。
③ 文字列の最大長は、制御コードを含め、プリフィックスを除いた数です。

文字コード表

■ アスキー文字コード表

- 下表は、使用可能なアスキー文字コード表です。エンコードするテキスト文字列は、各単位コードごとに使用可能な半角文字で構成してください。

				b7	0	0	0	0	1	1	1	1
				b6	0	0	1	1	0	0	1	1
				b5	0	1	0	1	0	1	0	1
b4	b3	b2	b1		0	1	2	3	4	5	6	7
0	0	0	0	0				0	@	P	`	p
0	0	0	1	1			!	1	A	Q	a	q
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r
0	0	1	1	3			#	3	C	S	c	s
0	1	0	0	4			$	4	D	T	d	t
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w
1	0	0	0	8			(	8	H	X	h	x
1	0	0	1	9			)	9	I	Y	i	y
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
1	0	1	1	B			+	;	K	[	k	{
1	1	0	0	C			,	<	L	¥	l	|
1	1	0	1	D			-	=	M	]	m	}
1	1	1	0	E			.	>	N	^	n	~
1	1	1	1	F			/	?	O	_	o	DEL

① 7 単位コードで使用可能なテキスト文字の範囲
② 6 単位コードで使用可能なテキスト文字の範囲
③ 4 単位コードで使用可能なテキスト文字の範囲
④ チルダ文字（16 進数値＝7E）

- 下表の始め符号と終わり符号は、エンコードデータとして使用できません。

単位コード	始め符号	(16 進数値)	終わり符号	(16 進数値)
4 単位コード	;	(3B)	?	(3F)
6 単位コード	%	(25)	?	(3F)
7 単位コード	DEL	(7F)	DEL	(7F)

■ カタカナ文字コード表

- 下表は、使用可能なカタカナ文字コード表です。JIS2 型・7 単位コードでカタカナ文字をエンコードする場合、使用可能な半角文字で構成してください。

				b8	1	1	1	1	1	1	1	1
				b7	0	0	0	0	1	1	1	1
				b6	0	0	1	1	0	0	1	1
				b5	0	1	0	1	0	1	0	1
b4	b3	b2	b1		0	1	2	3	4	5	6	7
0	0	0	0	0				ー	タ	ミ		
0	0	0	1	1			。	ア	チ	ム		
0	0	1	0	2			「	イ	ツ	メ		
0	0	1	1	3			」	ウ	テ	モ		
0	1	0	0	4			、	エ	ト	ヤ		
0	1	0	1	5			・	オ	ナ	ユ		
0	1	1	0	6			ヲ	カ	ニ	ヨ		
0	1	1	1	7			ァ	キ	ヌ	ラ		
1	0	0	0	8			ィ	ク	ネ	リ		
1	0	0	1	9			ゥ	ケ	ノ	ル		
1	0	1	0	A			ェ	コ	ハ	レ		
1	0	1	1	B			ォ	サ	ヒ	ロ		
1	1	0	0	C			ャ	シ	フ	ワ		
1	1	0	1	D			ュ	ス	ヘ	ン		
1	1	1	0	E			ョ	セ	ホ	゛		
1	1	1	1	F			ッ	ソ	マ	゜		

① 使用可能なテキスト文字の範囲

エラーコード一覧

プリンターについて (エラーコード:0x01000000～0x01040000)

No.	エラーコード	説明	対処方法(参照ページ)
1	0x0102D000	カードがなくなりました。	カードを補充してください。(☞ 31 ページ)
		カードホッパーが取りはずされています。	カードホッパーを取り付けてください。(☞ 63 ページ)
2	0x0102D100	プリンタードアが開いています。	プリンタードアを閉めてから Reset →↵ を押して、初期化してください。(☞ 22 ページ)
		クリーニングユニットが取りはずされています。	クリーニングユニットを取り付けてください。(☞ 35 ページ)
3	0x0102D300	動作中です。	－
	0x0102D400		
	0x0102D500		
4	0x0102DA00	プリヒート中です。	プリヒートが終了するまでお待ちください。
5	0x0102DB00	初期化中です。	初期化が終了するまでお待ちください。
6	0x0102DC00	オフラインテスト中です。	オフラインテストが終了するまでお待ちください。
		クリーニング中です。	クリーニングが終了するまでお待ちください。
7	0x0102DD00	操作パネルを使用中です。	－
		輸送モードです。	輸送モードを解除してください。(☞ 29 ページ)
8	0x0102DE00	ファームウェアをダウンロードできません。	プリンターをダウンロードデータ待ち状態(ダウンロードモード)にしてください。(☞ 24 ページ)
9	0x0102FD00	パワーセーブ中です。	初期化をすると、パワーセーブがいったん解除されます。(☞ 22 ページ) プリンタードライバーを用いて印刷を開始すると、自動的に初期化されます。
10	0x0102FE00	パスワード認証が終了していません。	－
11	0x0102****	準備中です。	－
12	0x01039000	カードの給紙に失敗しました。	"エラーコード Jam(Hopper) 90"の手順に従って、カードを取り除いてください。(☞ 46 ページ)
13	0x01039100	カード反転機付近にカードがつまりました。	"エラーコード Jam(TurnOver) 91"の手順に従って、カードを取り除いてください。(☞ 47 ページ)
14	0x01039200	磁気エンコーダー付近にカードがつまりました。	"エラーコード Jam(MG) 92"の手順に従って、カードを取り除いてください。(☞ 49 ページ)
15	0x01039300	カード搬送ローラーにカードがつまりました。	"エラーコード Jam(Transfer) 93"の手順に従って、カードを取り除いてください。(☞ 50 ページ)
16	0x01039400	カード排出口付近にカードがつまりました。	"エラーコード Jam(Discharge) 94"の手順に従って、カードを取り除いてください。(☞ 51 ページ)
17	0x01039500	再転写ヒートローラー付近にカードがつまりました。	"エラーコード Jam(Retran.) 95"の手順に従って、カードを取り除いてください。(☞ 52 ページ)
18	0x0103A100	再転写フィルムが切れています。	再転写フィルムを修復してください。(☞ 56 ページ)
		再転写フィルムを検出できません。	再転写フィルムを正しく取り付けてください。(☞ 61 ページ)
19	0x0103A800	磁気エンコードの自己診断で書き込みエラーが発生しました。	カードの仕様を確認してください。
20	0x0103AD00	磁気エンコードデータの書き込みエラーが発生しました。	
21	0x0103AE00	磁気エンコードデータの読み取りエラーが発生しました。	
22	0x0103B000	不正なインクリボンが取り付けられています。	正しいインクリボンを取り付けてください。
23	0x0103B100	インクリボンが切れています。	インクリボンを修復してください。(☞ 54 ページ)
		インクリボンを検出できません。	インクリボンを正しく取り付けてください。(☞ 60 ページ)
24	0x0103****	メディアエラーが発生しました。	カードの仕様を確認してください。

プリンターについて (エラーコード:0x01040000～0x02000000)

No.	エラーコード	説明	対処方法(参照ページ)
25	0x01044400	ハードウェアエラーが発生しました。	電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。
26	0x0104AB00	磁気エンコーダーの機構部でエラーが発生しました。	
27	0x0104AC00	磁気エンコーダーでハードウェアエラーが発生しました。	
28	0x0104C100	ヒートローラーの動作不良が発生しました。	
29	0x0104C200	反り矯正ヒートローラーまたは再転写ヒートローラーの温度が高すぎます。	
30	0x0104C300	内部 24v 瞬断を検知しました。	
31	0x0104D800	初期化時に、ハードウェアエラーが発生しました。	
32	0x0104F000	再転写ヒートローラーの温度が高すぎます。	
33	0x0104F100	再転写ヒートローラーが故障しています。	
34	0x0104F200	再転写ヒートローラーのサーミスターが故障しています。	
35	0x0104F300	反り矯正ヒートローラーの温度が高すぎます。	
36	0x0104F400	反り矯正ユニットが故障しています。	
37	0x0104F500	反り矯正ヒートローラーのサーミスターが故障しています。	
38	0x0104F600	プリンターの使用環境温度が低すぎます。	使用環境条件を確認してください。(☞ 10 ページ) 使用環境条件内の使用で再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。
39	0x0104F800	サーマルヘッドの温度が高すぎます。	電源を入れなおしてください。再発した場合は、電源を切りお買い上げ販売店にご相談ください。
40	0x0104****	ハードウェアエラーが発生しました。	
41	0x01051A00	プリンターへのコマンドが正しくありません。	お買い上げ販売店にご相談ください。
	0x01052000		
42	0x01052100	セキュリティキーが設定されているため、新たにセキュリティキーを設定できません。	－
43	0x01052200	設定されているセキュリティキーと一致しません。	－
44	0x01052300	セキュリティキーが設定されていません。セキュリティロック機能が有効ではありません。	－
45	0x01052400	プリンターへのコマンドが正しくありません。	お買い上げ販売店にご相談ください。
	0x01052600		
46	0x01052700	インクリボンの指定が間違っています。	プリンタードライバーのインク設定と、取り付けられているインクリボンを合わせてください。(☞ 86 ページ)
47	0x01052A00	プリンターへのコマンドが正しくありません。	お買い上げ販売店にご相談ください。
48	0x01052B00	磁気エンコードのデータが正しくありません。	カードの仕様を確認してください。
49	0x01052C00	IC エンコーダーが実装されていません。	－
50	0x01052D00	磁気エンコーダーが実装されていません。	－
51	0x01052E00	オプション機器が実装されていません。	－
52	0x0105****	コマンドエラーが発生しました。	お買い上げ販売店にご相談ください。
	0x010B****		
53	0x0142A200	再転写フィルムがなくなりました。	新しい再転写フィルムに交換してください。(☞ 33 ページ)
54	0x0142B200	インクリボンがなくなりました。	新しいインクリボンに交換してください。(☞ 32 ページ)

プリンタードライバーについて (エラーコード:0x02000000～0x05000000, 0x09000000～)

No.	エラーコード	説明	対処方法(参照ページ)
1	0x02******	プリンターが見つかりません。	プリンターの接続を確認してください。
2	0x0300274D	プリンターが見つかりません。	プリンターの接続を確認してください。
		USB 接続のプリンターは、Ethernet (LAN)から印刷できません。	Ethernet (LAN)接続で印刷する場合は、プリンターから USB ケーブルを取りはずしてください。(☞ 64 ページ)
3	0x03******	プリンターが見つかりません。	プリンターの接続を確認してください。
		通信エラーが発生しました。	
4	0x04******	通信エラーが発生しました。	プリンターの接続を確認してください。
5	0x09******	コマンドエラーが発生しました。	コンピューターの設定を確認してください。
6	0x10000103	磁気エンコードデータの書き込みエラーが発生しました。	カードの仕様を確認してください。
7	0x10000201	接触IC エンコード用プログラムが見つかりません。	お買い上げ販売店にご相談ください。
8	0x10000202	接触 IC エンコーダーと通信できません。	
9	0x10000203	接触IC エンコードデータの書き込みエラーが発生しました。	カードの仕様を確認してください。
10	0x10000301	非接触IC エンコード用プログラムが見つかりません。	お買い上げ販売店にご相談ください。
11	0x10000302	非接触 IC エンコーダーと通信できません。	
12	0x10000303	非接触IC エンコードデータの書き込みエラーが発生しました。	カードの仕様を確認してください。
13	0x10000401	ユーザープログラムが見つかりません。	お買い上げ販売店にご相談ください。
14	0x10000403	ユーザープログラムがエラーを返しました。	
15	0x10000501	磁気エンコード用プログラムが見つかりません。	
16	0x10000503	磁気エンコードデータの書き込みエラーが発生しました。	カードの仕様を確認してください。
17	0x10000504	磁気エンコードデータの読み取りエラーが発生しました。	
18	0x10000505	磁気エンコードのコマンドエラーが発生しました。	お買い上げ販売店にご相談ください。
19	0x10000601	終了通知プログラムが見つかりません。	
20	0x10000603	終了通知プログラムがエラーを返しました。	
21	0x10001001	インクリボンが認識できません。	プリンタードライバーのインク設定と、取り付けられているインクリボンを合わせてください。(☞ 86 ページ)
22	0x10001002	インクリボンの指定が間違っています。	
23	0x10001003	IC エンコーダーは実装されていません。	－
24	0x10001004	磁気エンコーダーは実装されていません。	－
25	0x10002000	プリンターが見つかりません。	プリンターの接続を確認してください。
26	0x1000200*	準備中です。	－
27	0x10003000	指定された LUT ファイルが見つかりません。	プリンタードライバーのルックアップテーブル設定を確認してください。
28	0x10003001	指定された LUT ファイルを開けません。	
	0x10003002		
29	0x10003004	指定された UV ファイルが見つかりません。	プリンタードライバーの UV インク設定を確認してください。
30	0x10003005	指定された UV ファイルを開けません。	
	0x10003006		

ラミネーターについて (エラーコード:0x05000000～0x06000000)

No.	エラーコード	説明	対処方法
1	0x05000050	カードの給紙に失敗しました。	カードプリンターと正しく接続されているか確認してください。
			カードを取り除いてください。
2	0x05000051	カード搬送ローラーにカードが詰まりました。	ヒートローラーの温度が高すぎるか、カード搬送速度が遅すぎる可能性があります。最適な設定の方法については、お買い上げ販売店にご相談ください。 カードを取り除いてください。
3	0x05000052	カード排出口付近にカードが詰まりました。	
4	0x05000053	上側フィルムがなくなりました。	新しいラミネートフィルムに交換してください。
5	0x05000054	下側フィルムがなくなりました。	
6	0x05000055	上側フィルムが切れているか、上側フィルムを検出できません。	ラミネートフィルムが正しくセットされているか確認してください。 ご使用のラミネートフィルムの種類と設定が合っているか確認してください。
7	0x05000056	下側フィルムが切れているか、下側フィルムを検出できません。	
8	0x05000057	上側フィルムのマークを検出できません。	ラミネートフィルムが正しくセットされているか確認してください。
9	0x05000058	下側フィルムのマークを検出できません。	
10	0x05000059	ラミネータードアが開いています。	ラミネータードアを閉めてください。ラミネータードアを閉めても、初期化が始まらない場合は、操作ボタンを押して初期化してください。
11	0x0500005A	フィルムカセットがありません。	ラミネートする面のフィルムカセットを入れてください。
12	0x05000060	サーモスタットが断線しました。	電源を切り、再度電源を入れてください。再発した場合は、お買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。
13	0x05000061	上側ヒートローラーの温度が高すぎます。	
14	0x05000062	下側ヒートローラーの温度が高すぎます。	
15	0x05000063	上側ヒーターの内部温度が高すぎます。	
16	0x05000064	下側ヒーターの内部温度が高すぎます。	
17	0x05000065	上側ヒーターでハードウェアエラーが発生しました。	
18	0x05000066	下側ヒーターでハードウェアエラーが発生しました。	
19	0x05000067	上側ヒートローラーのサーミスターが故障しています。	
20	0x05000068	下側ヒートローラーのサーミスターが故障しています。	
21	0x0500006B	上側ヒートローラーでカムエラーが発生しました。	
22	0x0500006C	下側ヒートローラーでカムエラーが発生しました。	
23	0x0500006D	ラミネーターの使用環境温度が低すぎます。	使用環境温度範囲内でご使用ください。低温環境で起動する場合、周囲が暖まっても本機内部が冷えている場合があります。1 時間程放置してから再度投入してみてください。
24	0x0500006E	上側フィルム供給エンコーダーでエラーが発生しました。	電源を切り、再度電源を入れてください。再発した場合は、お買い上げ販売店、またはサービスマンにご相談ください。
25	0x0500006F	下側フィルム供給エンコーダーでエラーが発生しました。	
26	0x05000070	上側フィルム巻取りエンコーダーでエラーが発生しました。	
27	0x05000071	下側フィルム巻取りエンコーダーでエラーが発生しました。	
28	0x0500007D	その他のエラーが発生しました。	

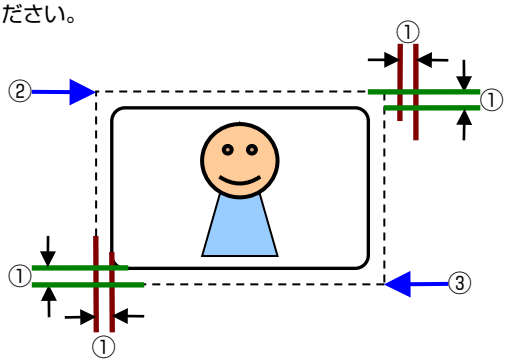
よくある質問

- "印刷設定について" (☞ 128 ページ)
- "UV インクについて" (☞ 128 ページ)
- "その他" (☞ 129 ページ)

印刷設定について

画像の端が印刷されない

- アプリケーション・ソフトウェアにある印刷余白の設定を確認してください。
- 画像の端から約 1mm は、カードに印刷されません。以下の図を参照してください。



① 約 1mm
② (X=0, Y=0)
③ (X=約 87.5mm, Y=約 56.0mm)

カードに印刷されずに、排出される

- [印刷]タブシートの[印刷]チェックボックスがチェックされていないと思われます。[印刷]チェックボックスをチェックしてください。

"[印刷]タブシート" (☞ 86 ページ)

黒色をレジン K インクで印刷したい

- [印刷]タブシートの[モード]で、[2.K],[3.YMCK],[5.K+UV],[6.YMCK+UV]のいずれかを選択してください。

"[印刷]タブシート" (☞ 86 ページ)

セキュリティイレース機能を使用したい

- [印刷]タブシートの[モード]で、[2.K],[3.YMCK],[5.K+UV],[6.YMCK+UV]のいずれかを選択し、[セキュリティイレース]チェックボックスをチェックしてください。
  レジン K インクに対して、セキュリティイレース機能が有効になります。
- セキュリティイレース機能は、YMCK インク、YMCKK インク、YMCKUV インクが有効です。
- 設定の詳細については、お買い上げ販売店にご相談ください。

"[印刷]タブシート" (☞ 86 ページ)

印刷設定の内容を記憶させたい

- [セットアップ]タブシートの[設定の保存]をクリックすると、印刷設定の内容をファイルに保存できます。
- [セットアップ]タブの[設定の取得]をクリックすると、保存したファイルから印刷設定の内容を元に戻せます。

"[セットアップ]タブシート" (☞ 86 ページ)

フルカラーの色変換で印刷したい

- [印刷]タブシートから[ルックアップテーブル]ダイアログを開いて、「色変換データのルックアップテーブルファイル」を登録してください。

"[ルックアップテーブル]ダイアログ" (☞ 89 ページ)

UV インクについて

UV インクで印刷したい

- [印刷]タブシートの[モード]で、[4.YMC+UV],[5.K+UV],[6.YMCK+UV]のいずれかを選択し、[UV インク...]で項目を設定してください。
  プリンターに UV インクがセットされていないと、印刷時にエラーが発生します。

"[印刷]タブシート" (☞ 86 ページ)
"[UV インク]ダイアログ" (☞ 91 ページ)

右上隅の画像が印刷されない

- UV インクで印刷する場合、プリンター本体は、常に MAC アドレス（物理アドレス）を印刷します。
- UV インクの設定で再転写フィルムのパネル数を 1 パネルにした場合、MAC アドレスの印刷範囲内（右上隅または左下隅）の画像は、印刷されません。
  MAC アドレスの印刷範囲内と YMCK インクが重ならないように、画像を配置してください。
- 再転写フィルムのパネル数を 2 パネルにした場合は、YMCK インクの画像は印刷されます。

"MAC アドレスの印刷位置について" (☞ 92 ページ)

画像の一部が印刷されない

- UV インクの設定で再転写フィルムのパネル数を 1 パネルにした場合、UV インクと YMC インクが重なる部分は印刷されません。
  UV インクと YMC インクが重ならないように、画像を配置してください。
- 再転写フィルムのパネル数を 2 パネルにした場合は、YMCK インクの画像は印刷されます。

"印刷時の再転写フィルムのパネル数" (☞ 93 ページ)

UV インク画像の背景を印刷したくない

- グラフィック・ソフトウェアなどを用いて、画像の背景を特定の色で塗りつぶしてください。
  [UV インク]ダイアログの[印刷しない色]で、その特定の色を設定してください。
  なお、背景と同じ画像中の色もすべて印刷されないので、色の指定は十分確認してください。

"印刷しない色" (☞ 91 ページ)

UV インクで印刷されない

- 設定したファイルは、サポートされていないファイル形式です。

"Windows ビットマップのファイル形式" (☞ 92 ページ)

- 他のアプリケーション・ソフトウェアが、設定したファイルを使用している可能性があります。

レジン K インクに隠れる

- UV インクの設定で再転写フィルムのパネル数を 1 パネルにした場合、レジン K インク部分には、UV インクが印刷されません。

"印刷時の再転写フィルムのパネル数" (☞ 93 ページ)

その他

磁気／IC エンコードをしたい

- インライン・エンコード以外の方法は、専用ソフトウェアが必要です。
- 詳細については、お買い上げ販売店にご相談ください。

ネットワークから共有すると印刷できない

- コンピューターのアクセス権限が適正でない場合、ネットワーク共有でプリンタードライバーのインストールが完了しても、印刷できないことがあります。
  ネットワーク管理者の指示に従って、アクセス権限を適正にしてください。

常に USB で使用したい

- ステータスモニターで、[プリンター選択]タブシートの[起動インターフェース]を[USB]に設定すると、インターフェースが USB に固定されます。

ネットワークの IP アドレスを設定したい

- ネットワーク設定をする場合は、プリンターを USB 接続し、ステータスモニターで設定する必要があります。
  USB ドライバーをインストールしてください。ネットワーク設定を終了後、USB ケーブルをはずしてください。

K30 シリーズ
カードプリンター

B5A-3291-00